14.2ロ-149
1200501167499
14.2ロ
149

始

昭和二年

大阪貿易彙纂

大阪府立商品陳列所

1420-149

昭和二年

大阪貿易彙纂

寄贈本

昭和四年 寄贈 一二四

148-82

凡例

一、本書は昭和二年阪神兩港に於ける重要輸出入品の概況を叙述す

二、本書採錄の輸出入品は阪神兩港に於て輸出又は輸入年額二百萬圓以上のものとするも、本年は阪神兩港として著しく重要ならざるもの十數項は之を省略せり

三、第三、第四編の輸出入國別表は本所の特殊調査に係り、第一編の悉さゞる所を補ふの外、江湖の資料としての價値大なるを信ず

概表中國名の支は支那、關—關東洲—香—香港、印—印度、海—海峽植民地、暹—暹羅、佛印—佛領印度支那、亞露—アジアロシア、埃—埃及、濠—濠洲、細—其他の亞細亞、瑞—瑞西、典—瑞典丁—丁抹、チ—チエコスロバキア、弗—其他のアフリカ、喜—喜望峯、合—北米合衆國、北米—其他の北米、加—加奈陀、布—布哇等とす。

昭和三年十二月

大阪府立商品陳列所

昭和二年

大阪貿易彙纂

一、輸出品彙報

綿糸……一
綿織物……四
白木綿……10
縞木綿……一一
綾木綿、綾金巾、ジーンス……一三
綿縮……一四
綿フランネル……一五
晒金巾、晒シーチング……一六
更紗……一七
天竺布……一九
小倉織……一一
綿ボプリン……一三
綿繻子……一四
生金巾、生シーチング……一五
被褥布……一六
綿帆布……一七

メリヤス類……六八
綿ブランケット……六九
綿製浴中……七〇
手巾……七一
陶磁器……七二
硝子瓶及硝子製品……七三
琺瑯鐵器……七四
ゴムタイヤー……七五
洋紙……七六
薄荷……七七
樟腦……七八
石鹸……七九
魚油、鯨油……八〇
除虫菊……八一
紡績機……八二
鰯及水産物……八三
小麥粉……八四
麥酒……八五
精糖……八六

二、輸入品彙報

牛皮及水牛皮……八七
革類……八八
油精……八九
棉子精……九〇
菜子精……九一
豆粕……九二
硫安……九三
肥料……九四
燐礦石……九五
硝石……九六
製紙用パルプ……九七
洋紙……九八
生ゴム……九九
曹達灰及苛性曹達……一〇〇
A曹達灰……一〇一
B苛性曹達……一〇二
牛脂……一〇三
石油……一〇四

染料……九九
硝子板……一〇〇
銅（塊及錠）……一〇一
錫（塊及錠）……一〇五
鉛（塊及錠）……一〇六
亞鉛（塊、錠及粒）……一〇七
アルミニユーム（塊並錠）……一〇八
銑鐵……一一〇
鐵板……一一一
鐵（條、竿、Tアングル型類）……一一一
金屬工及木工機機……一一二
發電機及電動機類……一一三
三、大阪港輸出入年計表
四、神戸港輸出入年計表

輸出貿易品彙報

綿織糸

輸出狀況

全國輸出額表

昭和二年

二〇番マデ	七〇、三四〇擔	五、六五一、五九〇圓
二〇番以上	二八一、六一九	三三、一四二、八一九
計	三五二、九六八	三八、七九四、四〇八

阪神兩港輸出額表

昭和二年

大阪港	二七〇、八五七擔	三〇、六一一、四六三圓
神戸港	五一、五八八	四、七九三、〇〇〇
全國輸出國別		

昭和二年

支那	八六、二八六擔	九、二〇五、〇二〇圓
關東州	八、八七	八六六、六八三
香港	三八、六六	三三、六四七、九二三
印度	一六三、三四	二〇、〇四〇、一三一

昭和元年	一七五、三四〇擔	一五、一三七、九四四圓
	四四、一三二	五五、三八八、三九一
	六二、六六三	七〇、七六、三五五
大正十五年	四一九、五八〇擔	五一、一八四、一四一圓
	二六、六七六	二、六三四、〇〇〇
昭和元年	二七、九二擔	三、七〇五、三五四圓
	二、四五五	一、一八〇、三九三
	八七、八五九	八、〇九二、一六五
	二六、九五〇	二、八六八、一六八
大正十四年	三八三、五三六擔	四〇、五〇三、三五六圓
	五四八、八七三	八二、六二四、九一〇
	九三二、四〇八	一三二、一六、九五五
大正十四年	六一〇、七四四擔	八六、一三九、二八四圓
	二二三、八四九	三二、六五八、〇三〇
大正十四年	五九八、三五四擔	五二、〇五二、二六一圓
	一七、五六〇	二、〇九二、三四五
	一七六、五六三	二〇、七三三、四九一
	二六、一五二	三八、七六、八三

隣印	二四、七〇	一、三五八、五一六			
比島	五、七五五	六七二、五四九			
其他	三五、〇七四	三、〇三三、五九七			
計	三五二、九六八	天、七四四、四〇八			
	三一、六六六	二、九七四、一六四	二七、〇四五	三、八九、三三三	
	九、六〇三	一、〇二七、二〇六	九、五六八	一、一七九、一三四	
	四一、三九	三、六四〇、七三六	四二、〇六三	五、二七、六一〇	
	六二六、六五三	七〇、七二六、三五五	九三、四〇八	二三、二六、九六五	

一昨年は一億二千萬圓、昨年は六千萬圓、而して本年度は三千八百萬圓、木綿糸の輸出額は年と共に減少しつゝあ
る。大正五年頃までは一億足らずとは言へ、生糸に次いで本邦輸出品中の第二位にあつたものが、七八九年の好況時
代には一億五千萬圓に達した事はあつたが、大正六年以來綿織物と地位を代へ、爾來綿織物が年と共に輸出額を増加
し今や四億前後の輸出額を示すに至りしに反し、今や綿糸は其十分の一に過ぎざる地位に墮ちてしまつた。
斯く綿糸輸出が減少しつゝあるのは、支那、印度等我が大市場に於ける生産が漸次發達増加し來つた事を以て最大
の原因とするが、これは時勢必然の現象と見る可きもので、今後と雖も我が綿糸の輸出は特別な突發的事件の發生せ
ぬ限り、尚ほ減少する事はあつても、再び往年の如く増加する事はなからうと思はれる。これは綿糸といふ一つの製
品ではあるが綿布に織らるる可き原料用の製品たる點に於て、本邦の立場が今後必然的に全製乃至精製品の生産にあ
らざる可からざることを現實に示す一例とも考へられる次第で吾人は綿糸輸出の減少を以て毫も悲しむことせざるのみ
か、寧ろ輸出品内容が動きつゝあり進みつゝある一の變轉であり向上であるとして喜んでもよいと思ふ。現に綿織物
が別項記述の如く年々増加しつゝある事は之れを證するものと言ふ可きであらう。

内地市況　本年の我綿糸界は不況にして且惠まれざる多事の年であつた。操業短縮、支那の内亂、印度の關税引上
等之である。

先づ商況を顧るに年初諒闇中に年を迎へた事と、支那時局案じの爲め、一月には本年中の最安値を示したが、前年
來暴落を重ねてゐた米棉が漸次上向歩調に轉じ、ミシシッピ河の洪水や、作付反別減少の發表に依て大勢強氣化し、
銀價昂騰は二月頃印度方面の注文を喚起するなど先つ氣をよくした。四月金融恐慌の突發殊に近江銀行の休業は甚し
く市場を悪化せしめ、紡績操短の實現を見るに至つたが、操短に加ふるに米綿、銀塊の引續き騰貴せるに對米爲替の
暴落で、市價は俄然大復活を見せ二百圓丁を示した。

四月二十二日から休會してゐた取引所は五月十四日再會するや、米棉高、印棉暴騰、對外爲替安等の影響に加ふる
に操短の結果も利いて十四五圓の急騰を來した。

然るに六月に入るや天候見直しで米棉の反落あり、内地地財界不振と支那内亂による滯荷増加あり、下旬には排日
愈々悪化して七月に入る。米棉印棉共に不良を傳へられて暴騰、大阪では二百四十圓と暴騰したが、内外需要梗塞し
て八月は賑はしからず、こと見えしも原棉の强氣發表に押されて二百五十六圓の高値を出し、九月に入つては更に米綿
豫想强氣となり、二百七圓に達せんとしたが、何分にも實需方面振はず、印度關税引上の決定を見たので暴落を免れ
なかつた。十月は全く反對に米棉は天好良好、印棉も豊作を見越され、實需振はず滯荷は増加する等でさつぱり面白
からず、僅かに月末米棉見直と紡績操短で持直しを見たのみ。十一月には實需の振はざる一方銀の暴落、上海の罷業
等で保合ひ餘程安定裡に過ぎた。十二月には綿業不振が米棉相場の上に反影して若干安値を見せたが、操短が利いて
大體平凡裡に越年、尚行先手堅かる可き氣配を含んでゐた。

次に生產消費を數字的に見るに左の如し。

昭和二年度綿糸需給表（單位梱）

		綿糸出來高			輸出高	内地需要高殘高	
		上半期	下半期	計	殘高	輸入高	計
右十六年	左二十年	七九、六八五●五	七七、三三〇	一五七、〇一五	四八四	一、二四二、二〇一	
其他		四〇六、三四九	八二七、九四七●五	一、二三四、二九六	一、一七三、六五八●五		
其他		六一、二三七●五	三七八、三二四	四四〇、五六一	二三七	一、一七三、三〇一	
其他		三七四、六七三	七八四、六七三	一、五五〇、一七〇	二、四二五、八九九●五		
其他		一、六六五、五九三●五	七九五、一七〇	一、六六五、五九三●五	二、八二一	二、四二五、八九九●五	
其他		一、五二四、七八四	七七九、二〇三●五	二、三〇四、九八七	二、九九七	二、四二五、八九九●五	
其他		二、一四〇、八〇一	二、一二九、〇八二●五	四、二六九、一三六●五	二、四二五、八九九●五		
其他		二、一八二、三五〇	一、八二一、三五〇	三、六四、六八〇	二、五七九	二、四二五、八九九●五	
其他		二、三五、六八二●五	一、八二一、三五〇	四、〇五六、五三二●五	二、四二五、八九九●五		
其他		二、四三六、七八三●五	二、一二九、〇八二●五	四、五六五、八二五●五	二、四二五、八九九●五		
其他		二、一八二、三五〇

紡績聯合會調査による數字左の如し。

	運轉錘數	綿糸出來高	綿布用原糸使用高	輸出高	内地供給高
大正元年	三、四二一、八四二・五	六六九、五四四	一、六五三、二一〇	三七四、九二三	一、六九九、一七一・五
昭和二年	四、八二一、四三〇	二、五三〇、六六二・五	七三三、九二一	一一、五六五	一、六八二、四九六・五
大正十五年	五、〇〇三、九三三	二、六〇七、七四六・五	七四〇、四八五	二〇五、三〇五	一、六六三、七五六・五
同十四年	四、六九八、七五三	二、四三六、九二六	六八、九五五	二九三、九二六	一、四五九、九〇二・五

運轉錘數は本春財界恐慌と共に操業短縮を實施するに至りしより五月以來一割五分を減じ、結局前年に比し六分餘を減ずることゝなり、綿糸の出來高も略同じ割合で減少した。消費方面で目立つのは海外輸出の激減であつて、本年は昨年に比し實に四割の減退である、社外内地消費は僅か乍ら增加した。

次に會社成績方面を見るに本年の成績も引續き良好でなかつた。綿糸相場が前述の如く常に供給過剩に壓されて思はしからず、下半期を通じて採算割れであつた爲め、一方原棉値上りに若干の相殺を見たが、一般に利益を減じ、二三の會社では減配が實行された。一般に綿糸の輸出は前述の如く必然的に減少して行く可き運命にあるものと言ふ可く、爲替高や印度の關稅なぞの原因は假令無かつたとしても、大して違ひはなかつたらうと信ぜられる。綿糸から綿布へ生地ものから加工綿布へと移つて行く所に本邦綿業品輸出の將來はあるものと信ぜられる。

綿織物

輸出狀況　生糸と綿布この二者が我輸出貿易上に於ける地位は重大である。殊に生產上の努力如何に依つて更に輸出額增加の可能性を有する點に於て、吾人が綿布に期待する希望は大きい。大戰以後に於ける我綿布輸出の年と共に增加しつゝある事實は大いにこの期待に副ふ所であり、紡績會社及輸出業諸氏の努力を多とするものであるが、最近に到つて我綿業は第二段の飛躍をなす爲に一大試練の時代を經過せねばならないのではないかと思はれる樣になつて來た。試みに輸出金額を見るに、大正十四年四億圓を突破してから再び延びる力なく、昨年本年と少しづゝ減じ本年は遂に三億八千萬圓に下つて了つた。何故に斯の如くであるかといふ事を考へる時吾人は種々の理由を考へることが出來る。世界的綿業不況の時代とも見られる。圓爲替の比較的恢復が輸出探算を困難にした事も考へられる。支那政局不安定も相當祟つたと言へる、併し之らは未だ絕對的の障碍とは言へない。それよりは支那紡績の發達、本邦細物生產の未だ充分發達せざること、英米綿布の競爭等の方が遙かに注意す可き現象であらう。支那紡績の大半は邦人經營の下にあるから、大きな眼で見てその發達はむしろ喜ぶ可きことでなければならない、併し本邦紡績の重心が内地にある以上、内地に於てはより高い地位を保つ必要がある。支那紡績の發達が支那に於ける需要を滿すには未だ間があるし、需要品の内容に於ては更に支那紡績の獨りよく供給し得る所ではない等の事實から考へる時は、成程支那紡績の發達は可なり本邦紡績の痛手であるにしても、綿糸に對する綿布、太糸ものに對する細ものといふ樣に、常に一歩を先ずることに依つて新しき活路は開かれる可きものである、現在斯くなりつゝあるのであるが、更に數歩を先ず可き必要があるのを痛感する、支那のみならず印度に關して略々同樣の關係にあると言へる。支那印度紡績の發達を以て我斯業に對する脅威者とすることなく、むしろ我國を覆轍する好個の試金石であるとし度い、斷じて日本紡績の勃興に依て感じた英國の不安の轍を踏まないだけの積極的進歩に邁進す可きである、吾人は本邦經濟の將來の爲に切に之を祈るのである。

次に綿布の加工程度の問題であるが、本邦輸出綿布は英國其他の高級品と支那邊りの生地ものとの間に板挾みになつて居る、而して主力は今尙依然として生地ものにある、生地ものも容易に國際商品としての地位は動かさる可きものではなく、支那印度に減少する一面に於ては近東地方及アフリカ等に新しい市場が開拓されつゝあるのであるから益々此方面の努力も必要であるが、此事は反面に於て從來の市場に於ける需要品が高級化しつゝある事を語るものであるから當然高級品の生產輸出に精進する必要がある。今試みに生地綿布と加工綿布との輸出狀況を見るに大正十三年には加工綿布三、生地綿布七の割合で輸出されたのに、十五年には前者六割二分八厘、後者三割七二の割合となり本年度も亦略此割合である一事である。最近數年間に於ける加工綿布輸出の增加は誠に驚く可きものがあり、彼の綿糸の激減、生地綿布の減少の反面に於ける著しい現象であつて我綿業輸出上の諸現象を顧みるとき、此趨勢は大いに助

長を要するものであるが、本邦紡績諸會社中に於ては鐘紡の外加工設備を有するものなく、專ら粗布や金巾に主力を置けるが如く見えるのは頗る遺憾に堪へず、此點大いに當業諸社の考一考を望む次第である。

全國綿織物輸出額表

昭和二年

	大正十五年	同　十四年
綿木綿（段）	四、五三一、九一五圓	一九、三八二、八二圓
絣木綿（同）	八六、三二	二四二、九七
白木綿（碼）	五七、六一〇、一八九	七、〇七、八三四
色木綿（同）	三、六二六、〇九三	八七九、九八四
綾木綿（同）	一三一、四九六、四四五	四一、三一〇、七七二
綾金巾ジーンス（同）	一七五、六〇五、八九九	四二、一四七、三六三
小倉織（同）	一四、三八九、九一九	五、五六六、二七
被褥布（打）	一三二、二〇六	二、〇七五、八三
綿縮（碼）	三九、四三二、八六	八、三四三、四二七
綿フランネル（同）	六四、九一一、二八五	一九、三三八、九二五
生金巾（同）	三一四、四三八、九三六	六四、七八五、九四四
生シーチング（同）	二六七、二五五、一一〇	四〇、八五、一七九
晒金巾（同）	七一、二六〇、五〇三	一六、二七〇、五九五
晒シーチング（同）	一、三三四、二三五	三〇七、二四二
色金巾、絣金巾（同）	四八、五九〇、二三七	九、九六三、三四九
更紗（同）	七四、三六二、九一九	一五、八二六、二〇一
天竺布（同）	五九、八九二、六三	一三、二〇五、三八
綿帆布（同）	三、九二二、五二一	一、八九三、八六八
綿ポプリン（同）	七、六九三、三一六	二、八九二、七〇
其他の綿織物（同）	—	—
計	五六、四二九、三四六	一一〇、八三五、七九五

全國綿織物輸出國別表

昭和二年

	大正十五年	同　十四年
支那	一二三、四九二、四四八圓	一九、五〇一、七七四圓
關東州	一三、一一九、〇六三	三〇、五七六、七三九
香港	二九、五八三、〇八八	七〇、三五四、二四二
印度	八六、一二六、九八六	一四、五九九、五九三
海峽植民地	一〇、〇四一、八八三	四、九六三、三六五
蘭印	四九、二四七、〇八七	一、七七二、八九二
亞露	五五七、二六七	九、八六〇、一七七
比律賓	一一、三四三、四三一	二、九一一、五一四
シヤム	四、〇八八、三六八	一、八九二、六七六
米國	四二九、四〇三	二、六六四、六三六
亞爾然丁	四、七五七、七八	二一、九四〇、八三〇
アフリカ	三三、三四四、八四〇	八、二九六、八二〇
濠洲	四、八一八、三三八	六八三、〇五六
新西蘭	四八七、三六六	三三〇、二一七
布哇	二五二、六八三	一四四、五六四、六五〇
其他	一六三、〇三五、三五三	四三二、八五〇、四二
計	三八三、八三六、六三六	

全國紡績會社機械織綿布出來高表

昭和二年

	上半期	下半期
天竺布	二五、八七八、七三八	九、五九九、〇八〇
粗布	一〇五、三八一、五五六	九三、六三三、九七〇
金巾 薄地	六、四四七三、二四九	一四〇、九三九
金巾 厚地	二〇八、五〇三	五、七八五、〇四〇
金巾 並巾	四六、〇三二、四五一	五六、二九〇、〇一九
金巾 二巾	一二、七一〇、八六七	一〇九、二七五、七六三
金巾 三巾	一〇三、六七三、四九七	一二五、六六三、四九四
キャリコ	八、二九三、三三一	—
綾木綿	三六、八八七、一四七	三六、九八一、一五五
片綾	一五、九七〇、四四七四	九四四、七七三
細綾	四二、九七九、三七八	四三、〇一六、五一九
綾木綿 雲斉	二七〇、四三七	一〇四、〇八六
綾木綿 葛城織	—	二一、四八七
綾木綿 生薄織	—	—
薄織	—	—
ネル 綿ネル	二五二、四一五	—
ネル ネル生地	二五、七三五、四一一	二五、三八〇、九六三
厚織木綿	一、一七六、〇一三	一、四三七、一四四
小倉	—	—

大正十五年

	上半期	下半期
天竺布	二三、〇八一、六二二	一二、八三〇、六九六
粗布	一〇八、九六〇、五七二	一〇七、七九五、三六六
金巾 薄地	九六九、四六四	八四〇、四四五
金巾 厚地	六、六三三、〇五一	五、七五五、〇四〇
金巾 並巾	四六、二三八、一四九	四〇、六三〇、二八三
金巾 二巾	一〇九、五三二、六八四	九二、七六三、六〇一
金巾 三巾	七一、二〇五、五〇二	七、八四〇、八四二
キャリコ	七、二九八、七五八	四三、一八七、九〇八
綾木綿	四六、二二五、五三三	五、二九九、一四一
片綾	五、五六〇、七九一	三六、七四九、〇四三
細綾	四六、二五八、九〇八	一、〇一五、七八四
綾木綿 雲斉	三五九、三六七	—
綾木綿 葛城織	六二、八五六	一四、八〇〇
綾木綿 生薄織	六、二四〇	一四八、二四〇
薄織	—	三、八七〇
ネル 綿ネル	二六、〇六七、四〇〇	二、四二一、二四〇
ネル ネル生地	一、八三四、七五一	一、五八四、四五九
厚織木綿	八四、五九九	
小倉		

同 十四年

	上半期	下半期
天竺布	一〇、八五〇、三八二	七、一〇八、一三二
粗布	一〇一、三三四、四六六	一〇一、九二三、七五三
金巾 薄地	一、二一七、七七一	二七二、八三〇
金巾 厚地	七、二三五、三六九	六、五三三、三一一
金巾 並巾	四七、三三五、二八五	四四、〇三六、六三五
金巾 二巾	九七、〇七〇、二六九	九九、八八九、一一〇
金巾 三巾	六八、四四九、七四八	七三、三三八、九八〇
キャリコ	四、一九五、三五三	五、一七五、四七六
綾木綿	四八、九七一、三〇九	五三、二九一、六六六
片綾	五、四四〇、〇七三	五、三六六、九六九
細綾	四〇、一五四、八二七	五五、四七三、八三三
綾木綿 雲斉	五八、五一〇	二〇三、七四四
綾木綿 葛城織	—	三、二一〇
綾木綿 生薄織	六七、三一〇	三〇、〇三三
薄織	二二、五三八	五九、九七八
ネル 綿ネル	一九、〇七三、一二五	二八、八一四
ネル ネル生地	三三、一九一、六六六	五五、二七一、〇九九
厚織木綿	三、〇三四、一二五	一、一四五、一四四
小倉	九六、五九二	一〇六、一九二

綿糸

	上半期	下半期
綿糸	二三、八四三、五二六	一八、七九二、五四八
綿布 綿布	六、七〇一、三七三	六、二八三、一二三
綿布 敷布地	—	二、八八一
綿布 細布	七〇、八〇七、六二六	六九、三一七、三二八
綿布 小巾白木綿	三四、四〇七、九六九	二八、九五〇、八八九
綿布 大尺巾	二、七五〇、九二八	三、七八九、五二三
綿布 帆布	三、二七、四四七六	二、九八三、三八八
綿布 寒冷紗	一、二六八、七九六	一、六三四、五五七
ゴム芯地	六七、四九八	一〇、一九三
飛行機翼地	—	—
ドーテイ	五、〇三七、五一五	五、四四三、〇五四
瓦斯金巾	一五四、五五七	五九二、七八六
端尺	九、八九四	—
雑布	一〇、一〇三	二、七四六
計	六五〇、九七、七一七	六三四、五七一、一〇五
總計	一、二九四、六六八、八三	

海外狀況　上海の綿布市況　二月一日以後二分五厘附加稅實施の噂あるため、舊正明後の需要に應ず可き問屋の買氣も控へられ閑散乍ら在荷は薄く大阪値高のため相場は手堅かりしも折柄の爲替急落に好出合も見えしが、漢口事件の成行案じに、今一つ買氣定まらざるものあり、月末には舊正明後の需要見越で五枚繻子、八枚繻子、晒、金巾、更紗等の現物賣りありしも小口にして、大體閑散を免れなかつた。

二月には舊正明早々で實需もなく、爲替急騰に好出合も見せず、罷工による運輸杜絶で荷揃もなく、僅かに加工品の小口現物引合ありしのみ。

三月に入るも爲替高で全く出合商內なく、月央濕州地方の排英貨に晒金巾弗々引合を見しも、依然爲替高で出合難く、相場のみ依然手堅し、四月辛じて爲替安で出合を見たが、時局不安こ日本の財界恐慌を眺めて依然閑散、五月に入り天津筋の需要で十四封度、十二封度細布、顏細綾等の引合あり又爲替安で漸く本國値段この間に出合を見、弗々手合を見るに至つたが、實需不振閑散をつゞく、六月に入るも同樣手合少く、本國より値を合せ來る氣配見ゆるに至りしも山東出兵反對氣配に買手つかず依然たる閑散裡に七月に入り大體同樣で漢口筋への賣行あり、加工綿布、殊に五枚八枚繻子の荷動活潑なりし外日貨排斥も加はり殆ご商內を見ず、月末に至り漸く排貨の終熄こ、九月一日より實施の輸入稅一割二分五厘見越で引合旺盛を見せ、五枚八枚繻子中心に多量の手合があつた、八月には再び爲替高、紙幣の續落、長江筋の不安で市場閑散、九月は月央以後長江筋の、需要に加工綿布の引合あり、爲替も安く出合多かりしも米棉反落に腰を折られ、加工もの、外閑散、十月も依然振はず、爲替安に出合はんこするも米棉安に嫌はれ十一月も僅かに繻子更紗等が安値又は在荷薄に取引あり或は漢口廣東筋の實需當用買あるのみ、これも忽ち手當一服の有樣こなり、漢口より時局安定見越の思惑買四川溫州の朱子取引ありしを目立てるものこする位なり、十二月には長江筋へ染五株、變り織晒金巾等買進あり、活潑ならざるも當用的に廣東漢口は安値を狙つて染五枚八枚等を買ひ、殊に漢口よく買ひ流石に長江奥地久しき取引杜絶の後たるを思はすものがあつた、年末には舊正明引當の當用買の外さして活氣なく越年した。

以下各種綿布の輸出概況を述べて特に阪神重要輸出品たる本年の跡を顧みる事こする。

い、白木綿

輸出額

		全國	大阪港	神戸港
昭和二年	五七、六一〇、一八九碼	七、〇三七、八三四圓	六、一六〇、〇三七圓	七四六千圓
大正十五年	七二、三六七、五四四	二一、〇三五、八一〇	六六、三八〇、四九六	九、三四九、二三三
同十四年	七三、六〇九、三二一	二二、〇六二、七四〇	六六、二九、四三三	九、八二四、四五三

前表の如く本年度白木綿の輸出は全國に於て數量一割五分、金額に至つては正に四割の著しき減少を來した。本品輸出の大部分を占むる大阪が略々同樣の關係數字を示すこさも當然である。

減少の原因如何こ考へるに、大體本品の如き粗綿布の輸出が漸次需要の減退に伴つて少くなりつゝあるのは今日の大勢であるこいふ事を考へざるを得ないのであつて、生活程度の低い地方に於ける比較的用途の廣いものこして今後尙相當の需要はあるにはあらうが、あまり戀々こして輸出減を歎するのも氣が利かぬこ思ふのである。

本品の輸出先の主なる地方は依然こして滿洲を筆頭こする。上海附近及印度地方は僅か乍ら之に次ぐ地方である。大阪からの直接積出が多いのも九割以上が滿洲向けである點を原因こする。所で本年の滿洲は奉天票の下落で購買力が減つたこいふか、兎角採算が困難であつた。一般に今年の滿洲は張御大が北京に何うやら頑張り通して居たから大きな動搖もなく、八九月を本品輸出の全盛期こして他は增減不定大體平調こ言ふ可きであつたが、奉票の下落は相當本邦製織筋の採算に不利を來し、多くは絕えず滯貨の消化に苦心をつゞけた、數量以上に金額の減じた事情は此邊にある。

尙ほ上海附近及滿洲に於ける地元製織品の增加、家庭の自家製織も相當あるこは、爲替關係上不利な場合に於て特に我輸出に影響を來す樣である。

內地側こしては本年は見込製織が可なり多かつた樣であるが、本年は前記の樣な譯で大體閑散であつた爲め、すつかり當てが外れて肝心の需要期に於て二萬七八九月頃であるが、本年は前記の樣な譯で大體閑散であつた爲め、すつかり當てが外れて肝心の需要期に於て二萬臺の滯荷があつた。急に減產もした樣な譯であつたが兎に角本年は思はしい年ではなかつた。

ろ、縞木綿

輸出額

	全國	大阪港	神戸港
昭和二年	四、五三二、九二碼	九八五、八七二碼	一、四二九、一八五碼
	一九、三八二、八一三圓	三、一〇七、二九四圓	六、六二六千圓

大正十五年	四、〇四一、七八	三、五六〇、二九九	二、七一七、五九九	一、三二九、三四六	九、〇六八
同十四年	四、一二三、一六六	二四、〇三五、九八一	二、〇五三、〇三七	二、〇五三、八七四	二、七五〇

本年度本品の輸出は、全國的には數量に於て約一割の增加ありしに反し金額に於ては却つて一割方前年よりも減少した。値段の低下上これは止むを得ない所であつたが、數量に於ける增加は本邦輸出品としての重要さを確實さを示すものとして喜ぶ可きであらう。神戸港は昨年と大差ないが金額の減少は前にも見出される。大阪港に於ける輸出の激少は大阪が支那を主たる相手とせる關係上、本年度支那時局の不安を的確に反影せるものたることを知るのである。

本品は大部分染色糸織物であつて、捺染及染色布は極めて一部分に過ぎない、殊に大阪から輸出されるものは全部糸染布である。本品中に於て最も重要なるは縞三綾であつて、これは蘭領東印度を主たる市場とする、他の地方及他種のものはすべて從たるもので、一蘭印の半分にすら其金額は達しない。外に五彩布や大尺布もある。用途は極めて廣汎で、廣く男女一般的に各種の用に供せられるが、男用上衣に仕立てゝの普通着とされるのは其代表的なるもので ある。南洋印度も小亞細亞方面に於ける需要は極めて良好で、前途も亦有望なるものと信ぜられる。印度に於ける國內產の下級品は相當の販路を以てゐるが、彼らの嗜好から見て遙かに本邦品の方が歡迎されてゐる樣であるがなほ此上に望むならば今少し重目のものとすればより大なる賣行が信ぜられる、トルコでは伊太利波蘭等の製品が勢力を保つてゐるが、これは適當なる取引開始に依つては本邦品を以て優に代つて侵入せしめ得ると信ずる、たゞトルコに於ては比較的大柄なものたるを要する事を從來閑却してゐた爲め印度からの再輸出も思はしくなかつたのではあるまいかとも思はれる。一般に本品は生地の堅牢、染糸織たる點から來る縞柄の强さなどに於て普通衣として前記皆地方の實需があるのであるから、更に研究するに於ては市場の維持擴張は今日本邦品の好評から推して充分期待される有望品である。

は、綾木綿、綾金巾、ジーンス

輸出額 全國 大阪港 神戶港

昭和二年	綾木	二三一、四九六、四四七圓	四一、三一〇、七三四圓	二八、七九五、四五七圓	一二五、三九九、二〇七圓
	綾金ジ	一七五、六〇五、八八九	四二、一四七、三六五	二三六、四五〇、七二八	四、二八六、〇〇〇圓
大正十五年	綾木	二一八、六四七、四六六	三五、九六一、四二一	二七、〇六七、三〇二	二九、四九四、九一二
	綾金ジ	一七二、七四四、八〇四	四五、〇三〇、八八九	二四一、六五六、八一三	八、〇六五、六一七
同十四年	綾木	二一〇、七四二、〇九四	三八、三〇一、八三七	三八、一八三、七〇七	三三、三八六、〇〇〇
	綾金ジ	一五九、九三五、九〇四	五〇、七三九	二三六、〇六三、六七一	九七、九九五、〇〇〇

綾木綿及細綾は、世界を通じて極めて普遍的な需要を有する綿布であり、從つて供給國も少からず、其間略々一定の市場範圍ともいふ可き分野があるとしても、この普遍的な事情の爲に値段の上に於ける僅かなる開きは直ちに實行に大きな廣狹を結果する。本邦紡績の立場としては、此程度の綿布は最も生產力の中心に位し、所謂經濟番手に相應する製品である。本年の如く綿布輸出が大體面白かつたとは言へない中に於て、本品が比較的優勢を保つて來た理由は此邊にあると言ふ可きである。即ち本年は細綾の方が金額に於て僅かの減少を示しただけで數量は綾木綿と共に昨年より增加し、金額も合計に於ては三分方の增加であつた。

本品輸出の過半は糸染布であり、次は生地布が約四分の一を占め、これは綾木綿を主とし、染色、漂白、捺染等の加工をしたものは極めて僅かであるが、加工品は大體に於て增加の傾向がある。

支那と印度とは本品の二大市場である。而して印度は綾木綿を主とし、支那は細綾を主とし、なほ印度は生地及糸染の縞が多く、支那は染色及捺染加工品が多い。其他綾木綿は蘭領東印度あり、約六百萬圓の輸出を見た、埃及、海峽植民地、比律賓などこれに次いで甚だ重要なる市場である。細綾では支那に次いで蘭領印度等では外出襯衣、上衣、ズボン、ピジヤマなどとして用ひらる、こと極めて廣い、殊に婦人の上衣としても使用も阿弗利加南米に若干の輸出があるが、まだ微々たるものである。

支那人の細綾の用途は殆ど無限といふ可く、殊に女衣、寢具、襯衣其他所有方面に使用されてゐる。印度、蘭領東

さる〻様になり、蘭領東印度では各離島に至るまで日用品として廣く需要がある。

に、綿　縮

輸出額

	全國	大阪港	神戸港
昭和二年	三九、四三三、八〇六碼	三〇七三、一四三碼	一七、六五八、八四九碼
大正十五年	四五、〇四五、一五五	三、二三三、九四一	二三、九五四、三五一
同十四年	三六、一七七、六六五	一、四六二、五三六	一九、五七〇、八三一
	一〇〇四四、七七	五八三、八八六	六、二七、〇〇
	一九、三四三、八四二円	五七一、九七五圓	四、三四四、四三圓
	二、五四四、〇〇〇	六九六、九〇九	六、九五四、一三六
	一〇〇四四、七七	一九、五七〇、八三一	六、二七、〇〇

最近數年間に於て綿縮は年々著しい輸出增加を示しつゝあつたものであるが、本年は一割方の逆戻りを示し金額に於ては更に大きく三割方の減退を見せ一昨年にも及ばざるに至つた。總輸出額の六割を占むる阪神兩港に於て畧同樣な立場にあるのは當然である。

元來綿縮の製織は大體に於て本邦獨特と言つてもよい位のものであつて、最近數年間次第に各國に需要を喚起し、大小の差はあつても兎に角其輸出先は世界的のもので、形勢甚だ有望と見る可きものである。我輸出品を通じての惡幣とも言ふ可き無用の競爭に基く粗製品の出現がとかく切角伸びかけた需要の芽を蹂みにじる樣な現象が本品の上にも米國邊りに於て近年見えかけてゐたが、これらも輸出減の有力な原因をなして居ると思はれる。勿論米國は大した市場ではないが一例として此際其感が深い。

印度は本品輸出市場としての首位に位し、本年阪神兩港からの輸出は百三十萬圓を示してゐるが之を昨年に比すると百萬圓、一昨年に比しても七十萬圓の減少に當ることは頗る心外である、其理由の那邊にあるか今何らの情報をも得てゐないが來年も亦斯の如くなるに於ては本書として充分調査を試みんと欲する所である。印度に次ぐ重要市場たる濠洲に對しても昨年度阪神兩港から合計百七十萬圓に對し本年は八十八萬圓、即ち殆ど半減してゐる。喜望峯の五十萬圓も昨年より二割近い減少であり、ペルー、蘭領東印等何れも可なりな減少で少からず失望させられる。支那も一昨年よりは遙かに多いが昨年に比すると約半減して四十萬圓になつて了つた。要するに本年の綿縮輸出は全世界を通じ各市場とも同樣減少にしてゐるのを發見する。近年米國が良質の綿縮を生產する樣になつた關係もあり、日本では內地に好需あり輸出は採算上思はしからず、各地や〻飽かれた氣持も加はり、本邦としては比較的細糸を要する本品の生產は輸出上あまり好條件を惠まれない等の關係があるにしても本年の著減は遺憾である。

ほ、綿フランネル

輸出額

	全國	大阪港	神戸港
昭和二年	六四四、九〇二、二六五碼	四〇、七四四、四六九碼	二四四、一〇五、三四四碼
大正十五年	五九、七九四、〇七七	九、九九四、二三二圓	九、三三三、八八一圓
同十四年	四九、一九二、二三七	三四、九八一、八七一	二四四、七〇、六六三
	一七、八三八、一七)	三七、八九三、六六五	九、一〇六、〇〇〇
	一九、三四三、八四二円	一〇、〇三九、九七二	二一、八六三、三二一
	二、五四四、〇〇〇	六九六、九〇九	七、七九三、〇〇
	一〇〇四四、七七	一九、五七〇、八三一	六、二七、〇〇

最近數年の間綿ネルは年每に數量金額共に順調なる輸出增加を示しつゝあり、一般綿布不況の本年に於ても本品のみは前記の如く、此傾向を保つてゐるのは快心に堪へない。即ち本年は昨年に比し數量に於て一割、金額は四分であるが、兎に角本品輸出の更に伸びて行く可き力を充分見せてゐる。

本品の內容を加工別に見るに染色ものが約半數を占め、稍々下つて捺染布あり、此二者を主とし、生地物、糸染物漂白布等並んで下位にある。

支那は本品輸出先として第一位にあり、本年は大阪から七百七十萬圓、神戸から三十六萬圓、合計八百萬圓を示してゐるが、昨年に比し百萬圓餘を減少してゐる。次は印度で、神戸から三百五十萬圓、大阪からは百萬圓、昨年より十餘萬圓だけ聊か減少してゐるが、一昨年に比すれば尙ほ五割の多額にある。次に香港の百九十萬圓は昨年より四十萬圓の增加、アルゼンチンの百四十萬圓は昨年より六十萬圓の增加、比律賓の萬圓は昨年より四十萬圓の增加、喜望峯の五十萬圓は昨年に倍するなど二流以下の市場に於て素晴しい增加を示してゐるのを發見する。

之ら市場の狀況を見るに、支那に於ては若干の英國品も見られるが、大半以上が本邦品に依て占められてゐる。印度に於ても本邦品は値段の點に於て從來市場に多く見られた英獨伊等のものを驅逐した形を見せてゐるが、製品の統一ざいふ點によく〳〵の注意を拂はねば取扱商人を不安がらせる模樣がある。印度では毛織物の代用ざいふ風に使用されてゐる。アルゼンチンに於ては本年の著しい增加が示す如く極めて有望な市場で、伊豫の白無地絣ものの如きは特に面白く、紀州の無地捺染の如きも頗る有望ざ見られる。但し絣ものに於ける柄の研究は當市場に對して第一に着眼す可き點である。

へ、晒金巾及晒シーチング

輸出額

		金額	大阪港	神戸港
昭和二年	晒金	七一、二六〇、三五三碼	六〇、八〇三、〇三三碼	一、八〇八、八〇二圓
	晒シ	一、三四一、二五五	四六一	三〇六、二三
	計	七二、四九四、七二七	六〇、八〇五、四九二	一、二五、〇二四
大正十五年	晒金	五七、四八八、四三	一〇、七〇四、九七五	一、二一〇、二五
	晒シ	一、七四一、〇九〇	四六一	六、四三五、一〇一
	計	五九、二六二、五六三	一〇、七〇九、三八六	一、二一六、一八七
同十四年	晒金	五三、六七六、五七三	一、四四三、四一三	一八、五四三、四一三
	晒シ	—	—	—
	計	五三、六七六、五七三	一、四四三、四一三	一八、五四三、四一三

茲に晒金巾ざ晒シーチングざを一括して記述するも、前表の如く晒シーチングの性質上漂白は減多になく殆ざ言ふに足りない。晒金巾は僅かづゝ乍ら年々輸出數量を增加し、本年もあまり香しい年でなく、相場も出にくかつたにも拘らず、數量だけは從來の調子に改むることなく若干の增加を見せてゐる。大體我國ざしては晒加工にも少し早く設備をなしも少し早く、より以上の輸出の見る可きであつた、此點聊か當業者の着眼の遲かりし點を憾む次第で今後ざ雖ども一つ思ひ切つた設備をした方がよくはないかざ愚ふ。我輸出先ざしても本邦品の持分は割合に少い樣であつてそれは必ずしも競爭上何うざいふのではなく、本邦生產の不充分なことを主因ざしてゐる樣に考へられるのである。

支那方面に對する本年度金巾の輸出は殊の外活潑であつた。尤も相場は昨年に比し終始下押氣味であつた事は認められるけれざも、數量に於ける增加は著しいものがある。殊に香港に對するそれを見るざ、四百五十萬碼、百萬圓を大阪から、二十二萬圓を神戸から出し、昨年に比し四倍乃至五倍に達してゐる。支那本國に對しては大阪一千萬圓、神戸十七萬圓で昨年より僅かに減じてはゐるが數量は二三分方增加し、關東州へも六十七萬圓、昨年より一割減であるが、數量に於ては一割方の增加である。蘭領東印度に對しても昨年の二十八萬圓に對し本年は三十八萬を增加し數量に至ては九十九萬碼に對する百八十萬碼ざ殆ざ二倍に近い增加を見せた。

ざころで斯の如き增加は、値段は本年度の大勢止むを得なかつたざして數量の斯の如き增加は何を示すかざいふ問題であるが、本邦晒金巾は支那に對してこそ一千萬圓以上を出してゐるが、他は言ふに足りない、即ち支那に對して支那の如き需要がなかつたからではない。現に香港を例にざるざ、英國製晒金巾は大方二萬反近くの輸入があるに對し本邦品は今までその半分に過ぎなかつた、本年は互角の所まで本年はじめて來たざいふ程度のもの、これを支那に於ける場合ざ比べて餘りにも話が違ふのを發見するのである。蘭領東印度に就ても從來の仕出國別は和蘭六五%、英國三一%に對して何ざ本邦品は二%ざいふ小量に止つてゐた。これからぼつ〳〵蘭、英品ざ相撲にならうかざするざいふ位のものである。

大勢生地綿布輸出減少の傾向にある本邦ざしては差當り晒加工々場の擴張をなし幾分でも其輸出高を增加することは極めて緊要ざする所で紡績諸會社の考一考を重ねて慫慂せざるを得ない所以である。

と、更紗

輸出額

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	六四、三四八、三二七碼	一七、七二九、二〇二圓	一七、八三、二〇圓
	四七、一四六、九六碼	一三、〇六六、三六八	五、三〇二、〇〇〇圓
昭和元年	七五、四六二、三六六	一八、四〇八、七四四	一五、八六〇、三六〇
	五九、六八四、九三	一二、九六一、三八	五、三三二、〇〇〇
同二年	七四、三六二、九一九	一五、八三六、二〇一	六、四三三、二五五
	五四、八八七、六八〇	九、三七二、六二五	一九、四六九、八五〇

本年の更紗輸出は數量に於ては略々前年と大差なく、引續き相當の出荷を見つゝあるが、金額に於ては約一割半に達する減少で、一般綿布界の大勢を免るゝことは出來なかつた。殆ど全部が阪神兩港の積出に係る事は加工地關係上當然であるが、本年は神戸からの積出が異常に增加した。

各地概況　本年の輸出先に於て注目されるのは、支那への減少と印度への增加である。支那は年々我國更紗の最大市場としての存在で優に全輸出高の七割以上を占むるのであるが、而して本年も遙かに他の市場との比較を絶してゐるこゝた變化はないが昨年に比すれば可なりの減少を來した、即ち昨年は支那に對し大阪から五千四百萬碼、一千百八十萬圓、神戸から二百七十萬碼、九十萬圓、計五千六百萬碼、千二百七十萬圓に達したに比し、本年は兩港計四千七百萬碼、八百餘萬圓に過ぎず、數に於て二割、金額に至つては正に三割半に達する減少を來した。元來支那に於ては、日本品と英國品とが對立しつゝあり、近年本邦品の値段及栖行の點に於ける優越から完全に獨占的立場を獲得するに至つたばかりであつたが、本年は不幸にして數次に亘る內亂の久しき壓迫と、日貨抵制に禍さる、所少からず、以上の如き結果を見た、來年は稍々時局の平靜も期待されるから、再び大いに見直し得られること信ずる。

支那への減少に反し香港への積出しは昨年の阪神兩港計二百六十萬碼、八十六萬圓に過ぎなかつたものが、本年は五百七十萬碼百五十萬圓となり、略二倍の盛況を示した、勿論支那への減少を補ふには足りないが、實需に對する商人の手段として抵制熱を和けて行く道として香港なる地位の便利が、此數字を示すに至つた原因と見られる。殊に大阪からの香港向積出が前年の二十八萬碼が本年は二百萬碼となつた如きは特に注目に値する所である。

印度は自國に於て或程度の紡織の發達あるため、事實相當多量の綿布輸入國であるにしても、生地綿布の輸入は比較的增加の傾向のない國であるが、加工綿布に至つては之と反對に年々增加しつゝあるのを見るのである。更紗に於ても亦然りで、此增加數字中に在つて覇を爭ふもの亦日英兩國品である、吾人は遠からず本邦品の優越を見るに至る可きを信ずるもので、兩三年來の傾向も亦その勢を見せつゝあり、尤も昨年は輸出爲替の不利なので可なり英國に抑へられたが、本年は再び底力を示す事を得た、即ち昨年の阪神兩港計四百六十萬碼百五十萬圓に比し、本年は八百萬碼、二百四十餘萬圓に達した、これは昨年の不振に依つて目立つが、決して一時的事情に因るものにあらず大體此數字は普通の基準と見て今後を測つてよいものと思はれる。比律賓の二百二十萬碼七十五萬圓は昨年と大差ないが、シヤムの二百四十萬碼、八十四萬圓は昨年の七十萬碼、二十四萬圓に比し驚く可き增加で、大いに有望なる市場たることを示して來た。

全體から見て神戸からの積出が大阪からのそれに比し增加率の大なることは、兎角不振の近時として、市場開拓に努力の結果神戸でなくては船便のよくない地方への販路の增加を示すものと見る可く、私かに欣快に堪へない所で、我更紗のために天地の開け行くものとして前途の多望を信じたいのである。

ち、天竺布

	全國	大阪港	神戸港
輸出額			
大正十四年	五九、八七六、二七碼	三、二五五、六八五碼	二、〇八六、六九八碼
	一六、五七六、八四八圓	九、四〇四、四六四圓	五、八四九、〇〇〇圓
昭和元年	六〇、八九〇、九三	六、五八三、六一二	八、〇九一、〇〇〇
	一五、六四四、四一〇	二六、六九四、六三	
同二年	五九、八九二、八五	二六、五三一、一九七	七、四三二、四五〇
	一三、二〇五、三八	五、三一四、八三五	

近兩三年來天竺布はその輸出數量に於ては殆ど固定的で大なる變化はないが、金額は前表の示す通り逐年幾分づゝの減少を示し、殊に本年は昨年に比し一割五分以上を減じてゐる。一般的な不況は安値品でなければ需要を喚起することが出來ないといふ結果を明かに語つてゐるが、實用的綿布としての需要は尙ほ充分將來に期待を有つことが出來

る。阪神兩港が殆ど全國輸出高の全部を占むることに例年とかはりがない。因みに本品の大半は染色布であつて八百餘萬圓を占め、次に約四百萬圓が生晒布で、其他は漂白、捺染、糸染など一部分をなしてゐる。

天竺布の第一の輸出先は支那であつて、支那のみで總輸出高の四分の一近くを占める。しかし支那が果して將來長く我天竺輸出市場として從來の如くてあり得るかといふに、最早やそれは過去の問題であつて、今後は次第に輸出高を減じて行くものではないかと思はれる。試みに阪神兩港の最近三ケ年間の對支輸出高を見るに、一昨年が六百萬圓昨年が四百三十萬圓、而して本年度は三百二十萬圓と遞減し、數量はそれ程甚しくはないが之とも比例して減少しつゝある。これは天竺がその生地の實用的な點から支那南北を通じて廣汎なる需要を有する點に變りはないのであるけれども、支那紡織の發達は製織法の比較的簡單な本品をして長く海外よりの供給に待つの必要なきに至らしめつゝある事を以て主要なる原因とするもので、本邦としては形勢を大觀し別種品に將來の重點を置くを必要とするものと言ふ可く、特に安價に提供し得た場合に於ての外輸出額を增加することは不可能とせざるを得ないものである。支那を除けば他の諸國は遙かに下位にあるが、第二に來るのは印度であつて、本年は大阪から四百萬碼、七十六萬圓、神戸から二百六十萬碼、七十萬圓の輸出あり、昨年の兩港計五百八十餘萬碼百六十萬圓に比し、金額は減じたが、數量に於ては約八十萬碼を增加してゐる。關東州へ大阪からの三百萬碼五十三萬圓は昨年に比し數量一割五分、金額三割減で、之は支那の場合と同樣に見る可きである。次に蘭領東印度に對しては、大阪二百七十六萬碼四十六萬圓、神戸三百九十萬碼百〇四萬圓で、昨年の兩港計五百萬碼百三十萬圓に比し可なりの增加たることを認められる、比律賓は更に著しい增加を示してゐる、神戸からのそれはないが大阪からだけで昨年の四百八十七萬碼百四十七萬圓を示せるに比し本年は八百〇六萬碼、二百二十二萬圓となり、實に數量八割、金額七割に近い增加を示した、小倉や天竺の染色布が比律賓に於て日用仕事衣小供衣野良衣等としての需要は極めて廣汎普遍なものであることは、頻繁なる洗濯等を行ふ點から見て本品の需要の底力を信じ得る次第で、單に本年の好調のみならず、將來更に有望なる市場たることを信じられる、殊に本年は麻の下落、椰子の風害等で一般購買力の低かつたに拘らず此數字を見た事は頗る欣快に堪へざる所で、今後長く我大竺市場として健實なる發展を見ん事を期待される次第である。其他埃及、濠洲、海峽植民地、運羅など何れも百萬圓級以下の市場であるが、之らの地方は原價の低下次第では充分開拓の餘地ある市場として忘れられない地方である。

り、小倉織

輸出額

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	七、七九五、二六六碼 四、五八五、二三圓	一、〇九五、七三三圓	四、九四八、九三三碼 三、三六七、五四四圓
昭和元年	七、八八七、三六九 三、五七四、六六〇	一、六一九、六四九 一、八四七	三、〇三三、九三七 一、八三三、七〇三
同二年	一四、三八九、九一九 四、三五七、四六二	一、三二八、一五八 九、七五五、三六一	一四、一四六、〇六二 四、一四六、〇六二

本年度本邦小倉織の輸出は俄然新しい記錄を以て增加した、全國昨年の輸出が七百九十萬が本年は千四百萬碼となれること右表の示す通りである、金額は之と同じ調子には行つてゐないが、約二割を增加した。大阪港に於ては前年と殆ど變化なく、むしろ若干少くなつてゐるが、神戸の增加が著しい、而して阪神兩港が殆ど全輸出高を占むる關係も例年と變りはない。大部分は糸染布であつて、染色生地漂白などもあるがこれらは極めて一部に過ぎない。

支那、蘭領東印度、埃及、濠洲、印度及比律賓は本邦小倉織の重なる市場である。本年は從來シーチング級のものに開かれた埃及へ俄然百四十萬圓を神戸から輸出した事、蘭領東印度の從來せいぐ二三十寓圓に過ぎなかつたのが、これも進出著しき神戸が主となり、兩港計二百三十萬碼九十萬圓、昨年の正に五倍に近い數字を示した事が特に注意を惹く。地質が强靱で而も趣あり、糸染織上の堅牢なる柄行は切に前記諸國に於ける一般實需に合せるものといふ可く、一般の好みの向上は將來更に本品の市場を席巻ならしむるに至ることを豫想される。支那が他種綿布の例に拘らず、本品獨り昨年と變化なく、數量に於ては却つて增加して三百四十萬碼約百萬圓を買つてくれた事は、粗布や金巾の場合と比べて充分注目に値する所で多大の暗示を得るに難からぬ所である。蓋し支那斯業も未だ本品程度のもの、經濟的生產迄には發達してゐない事の外、一般の好みの存する所を窺へるのではないかと考へる。比律賓に於ける本

品は意想外に一般土人の日用愛用する所で、シャツ衣服地としての普遍性は相當確實となつて來た樣である、各地市場で本邦小倉の實需に合し値段品質の恰好な事は取扱商人をして主力を本邦品に置かしむる傾向まで認められないでもない現代は本品の爲めのみならず本邦斯業の爲にも喜び度い、僅かではあるが、新西蘭、布哇、アルゼンチン等へも若干の荷が動いて行くなど亦然りである。

ぬ、綿ボプリン

輸出額

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	五、七八五、九七三碼	二、五四五、八五三圓	一、六〇〇、一三一圓
昭和元年	七、八七八、六五五	四、六四〇、一六三	二、八〇六、六六四
同二年	七、六九三、三一六	四、一四四、九一三	二、九六八、七八八

右表で見る時は本年のボプリン輸出は僅かの數量減と稍々大なる金額減とを以て、極めて平凡裡に經過したかに見える、別項市場の概況を除いては極めて平凡なる一年であつた。たゞ神戸が他の綿製品と同樣可なりの增加を示した事は注目される。而して全國輸出高は阪神で殆ど全占せることは例年の通りである。

從來第一の輸出先であつた支那は、本年は激減して、香港比律賓に先ぜられて第三位となつた。比律賓への本年の輸出は實に素晴しいものがあつた、即ち殆ど神戸一港からの積出であるが昨年の七十三萬碼四十七萬圓に對し百三十五萬碼八十二萬圓は殆ど二倍に近い增加である、同地が近年我綿布市場として比年重きを加へつゝあることは何種品に於ても認められる、所であるが、本品の斯かる增加は豫想の外であつた、各國品の自由公平なる競爭に勝つて此數字を示したことは、決して獨りボプリンのみの有望な事を證するのみならず、我綿製品一般の將來に充分の希望を示してあまりあるものと信ずるのである。香港へは兩港より百三十萬碼七十八萬圓で昨年より若干の減少であるが大なる變化はない、印度は比律賓と相並ぶ狀勢を示し、百七十萬碼九十三萬圓、昨年の三倍に近い激增を來してゐる。

る、綿繻子

輸出額

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	二〇、八二五、七九七碼	五六、〇四四、〇二三圓	四、三九七、〇〇〇圓
昭和元年	一六四、一〇三、四八一	六六、四五四、九二七	一〇、九五七、〇〇〇
同二年	一五九、二五二、五〇六	五六、一四二、三四六	九、二〇八、五七六

綿繻子は粗布金巾等と共に我輸出綿布中の花形である。前者は生地綿布としての廣汎なる需要を相手とするもので相當歷史の古いものであるに反し、本品は比較的歷史の新しいもので、前者とは全く別な高級加工品に屬する。輸出金額は何れも五六千萬圓前後であるが、金巾の如きに對して同一水準にまで進出した事は實に可驚異であつたのみならず、昨年度の如き遂に綿布中の第一位を占めた事は未曾有の現象で、我綿業品の新傾向として其精製品化を深く喜んだ所であつた。卒然として出現し直ちに一流綿布となるを讓つたが、その商品としての重要さは何ら異る所なく依然六千萬圓に近い輸出高を有する。而して其殆ど全部は阪神兩港よりの積出たること生產地の然らしむる所である。

本品は支那人の着物になるものである、從つて輸出先は必然支那が第一である。七割までを支那が占め、若し關東州香港をも合して言へば八割以上を占めるのみでなく、其他の地方に於ても在留支那人の衣用が主となるのであるから、本品輸出先の分野に依つて支那人の居住數を推知するへの方便となる位である。他の用途に至つては殆ど言ふ可きものがない。

支那への輸出は阪神兩港共に減じた、神戸昨年の五百萬碼四千五百萬圓は一億〇九百萬碼三千七百萬圓に減じた、時局の不安、日貨の抵製もあるが、中流に屬する衣料となる本品は本年の如き四民困憊せる時に於ては購買高は甚しく減少する、關東州は昨年と大なる變化なく一千百萬碼三百

萬圓であるが、香港は前年の大阪五百萬碼百七十五萬圓、神戸の一千萬碼五百五十萬圓に比し本年は夫々一千萬碼三百六十萬圓及一千百萬碼五百五十萬圓と約二割餘を增加してゐる、明かに騷亂圈外に對しては活氣があつた事を示すものである。

印度及蘭領東印度も可なりの增加である、即ち印度へは兩港からの輸出三百三十萬碼百五十五萬圓で、昨年の百四十萬は七十萬圓の二倍以上に達し、蘭印へは千三百萬碼四百十五萬圓で、昨年の六百萬碼二百四十萬圓に比し、これも二倍の增加である、比律賓へも三十萬圓前後に過ぎないが漸增の氣勢があるなど、本國に限らず支那人の居る所へは充分販路を擴げつゝあつて、今や對立の英國品は遂に本邦品の敵でない事が認められつゝある。殊に支那に於ける競爭に於ては我に絶大の地理的强味があり、旁々本品の前途尙ほ洋々たる希望がかけられるのである。

を、生金巾及生シーチング

。　。　。

		全國	大阪港	神戸港
昭和二年	金	三二四、三八六、九三六碼	六四四、七五六、九四四圓	二三〇、一三九、五〇一碼	四三、五六〇、四〇五圓	七、五〇五、六一〇圓
昭和二年	シ	一六七、二五三、一一〇	四〇、八五五、一五九	四七、六九六、六〇三	一二三、五六七、三八〇	三〇、三九三、五五五
昭和二年	計	四九一、六九二、一〇四六	六八五、五〇〇、一二三	二六七、八五六、一〇三	一五七、二三七、七八五	三七、六九六、一〇五
大正十五年	金	二六二、〇六〇、二七三	五五、五九三、九四二	一九三、八八二、二五九	四六、六二九、七二三	一四、五六四、四五四
大正十五年	シ	一九五、〇二六、一一四	五三、三八三、二四三	二六、八九八、九九九	一四、九四七、一八五	六、四二一、七九七
大正十五年	計	四五七、三七六、三八七	一二七、九四七、一八五	二三四、〇九二、〇九五	六一、六七二、九六三	二〇、九八一、〇三一
同十四年	金	二九九、〇九二、〇九五	八二、六五五、九六三	一七五、七三五、八〇二	五二、六六八、二六四	二六六、三九、一八六
同十四年	シ	一七五、七三五、八〇二	三二五、六四一、三二六	二四三、四八八、〇六六	七一、七二二、一九四	二四、八三一、四〇三
同十四年	計	四三五、四一七、八九八	一二四、九九一、三四〇			

生金巾の六千萬圓、生シーチングの四千萬圓、合計一億圓といふ全國輸出數字は、我輸出綿布の中に於て、重要なる地位にあることを示すに充分で、精製品へと轉換の必要ある本邦斯工業に於ても、依然等閑にし難きものたるを知るのである。

支那印度蘭領東印度の如く我重要綿布市場に於ける生地布の傾向としては大體に於て年々需要を減じつゝある、それに拘らずシーチングが何うにか五百萬圓前後の數字を保つてゐるのは一にかゝつて阿弗利加及近東地方への輸出增加に依て補はれたるに因るものである。

シーチングに反し生金巾の方は稍高級品に屬する所から、シーチングの需要が減じた地方へ代つて需要され、完全に其あとを補充するとは言へないが、大體の程度までではシーチングに代りつゝあるとも見られるのである。從つて其輸出先は支那印度爪哇等を主な地方とし、埃及東阿方面は微々として未だ見る可き需要を見ない。

シーチングは前年來の好調子を以てバルカン、エヂプト方面への成約多く、相場も頗る强調を辿つたが、漸次賣行減少し、同時に在荷の激增を見たが、七月頃から印度、アデン方面の需要が俄に起り、一般に相場も新高値を示したが、十月に入り米棉の反落に逢ひ、賣行頓に減少し十二月に入るも恢復の模樣なく、相場は綿糸の手堅き成行を眺めながら更にその影響なく、相場はヂリ安、原價採算を遙に下廻るに至つた、斯く安値に落込んだため十二月後半エジプト、バルカン方面久し振りに買出動し、弗々商談を見たが高値は見送勝にて活氣に乏しかつた。

因に近年在支日本人紡績粗布が邦品の販路たる印度南洋アフリカエヂプトバルカン方面に著しく進出し値頃の割安を以て多大に脅威し、今後の一大勁敵たるは免れない。大體に於て本年の如きは特に活氣なく、大體材料高の割合に相場は伸悩み勝ちで他品へ轉換するか、少くとも本品の減産をなすことは一般の傾向となつて來つゝある。これは本年度に見られた著しい現象として記錄せねばなるまい。

最近支那長江筋には一部重目もの及銘柄物を除き本邦品は殆んど其跡を絶つに至り、今後も此悲運を辿らねばなるまい。北支方面は尙ほ一縷の期待を嘱されてゐるが、これも上銘ものに限られてゐる。本年は上半期前半に於て滿洲及印度、下半期前半に於て印度に相當輸出され、米棉高に連れて、軍人細布九圓臺を突破したが、高値には實需つか

す、滿洲も最近時局不安奉票不安定に依て當用買の外活況を呈することはなかつた。

生金巾は印度及支那に大部分輸出され、本年一三八九月頃に最もよく出た外に八九月には上海香港にも相當量の積出が行はれ、漢口も政情の安定を得て、其頃より少量乍ら弗々輸出された。最近在支邦人紡績には並巾の如き細番手ものにまで製織の手を染むるに至り割安の關係上太物同樣將來支那の輸出は漸次困難を呈する模樣である。

上半期に賣行よく下半期に減退するは晒金巾の本質上然らしむる所であるが、下半期一時需要の減退から探算は頗る惡かつたが、年末十一月頃から支那長江筋の英國品在荷薄及時期關係上頓に買氣づき、米綿安にも逆行して相場上伸し、一時探算不引合のため減產の結果忽ち在荷を一掃され、遠く來年三四月頃のものまで成約された。

わ、被褥布

輸出額

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	七六、一七打 一、九三五、一三圓	一五、三二打 三九〇、五七圓	六〇、八〇六打 一、五四四、〇〇〇圓
同十五年	一〇五、五八一 二、五五五、一〇七	一四、一四、八三七	八五、六五二 二、一八〇、五二一
昭和二年	三二、二〇六 二、〇七五、八三	三四四、三六五	一〇九、八三三 一、七一八、六六三

本年の被褥布輸出は昨年に引續き更に其數量を增加し、一昨年に比すれば正に二倍に近い數字を示すに至つた。主として亞細亞の最寄市場への積出港たる大阪が振はざるに反し、神戸が著しく增加してゐることは他の綿製品中に於ても屢々見らるゝ現象で、これは我斯業品が近年極力遠隔の市場に販路を求むるに熱心なる結果で、本年の新しい現象の一である。阪神兩港が本品輸出に於て殆ど全國のそれを形成してゐる事に於ては例年と變りはない。尙ほ本品は依然漂白生地もので、糸染布、染色布か僅かに之に次ぎ、其他は言ふに足りない。

本品はさほど大きな商品とまでは言へないが、其販路に至つては支那印度南洋から阿弗利加濠洲北米南米に亘り廣汎なる市場を有する。第一の市場は印度で比律賓である。印度に於ては日英兩國品の對立久しく、昨年の六十餘萬圓の輸出を見たるが如きは著しい進出であつて、一に當業者の研究宜しきを得て、製品の上に同地向として充分の用意ありしに因るものであつたが、本年に入るや印度有望と見らるゝや商人間に過度の競爭あり、値段其他の點に於て無理多く、本年は結局三十三萬圓に落ちた。而も數量に於ては大した減少を見てるないのであるから、切に當業者の堅忍を以て確固たる市場の形成さるゝ樣になり度いものである。比律賓への輸出は印度の減少に反し、昨年の一萬八千打から本年は二萬五千打に增加した。金額は四十五萬圓から四十二萬圓に減じたが、此數字は印度を凌いで本年の輸出先としての第一位をなすものである。同地に於ける一般實用綿製品が漸次本邦品に依て支配されつゝあることは近年明かに看取される所で、被褥布の如き近年土人全般を通じ殆ど悉く使用する程の日用品たるに至つてゐるから今後とて市場そのものが先天的に大きくはないが、固定的需要ある好販路たるを失はないであらう。米國、阿弗利加、北米、濠洲南米など何れも十萬圓に足らざる市場ではあるが、本年新に見られた出荷量で、其結果は今後に徵す可きも他の地方の狀勢から推して必ず相當の市場となる可きことを疑はない。

か、綿帆布

輸出額

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	二、八九二、七八〇碼 一、八八三、三七圓	一、三五五、五九四圓	七二六、二〇六碼 五〇九、〇〇〇圓
昭和元年	二、三九五、四九二 一、八九九、四八二	一、二三二、三四	九四六、〇九七 六六二、三五五
同二年	二、八二三、八六八 一、八九三、八六八	一、〇四一、一一〇	六九二、七九六

本年の我綿帆布輸出は數量に於て新記錄を示したが、金額に於ては却つて昨年より僅かの減少を見せた。金額は他種綿布に於ても認めらるゝ共通の事情で、本年として止むを得ない所であるが、數量が前表の如き進出を示した事は我綿業の底力を海外に伸しつゝあるものとして欣快とする所である。

支那は我綿帆布の第一市場で總輸出額の四分の一に近い持分をなす、即ち本年は神戸から四十一萬碼二十七萬圓、

大阪から八十二萬碼三十二萬圓、之を前年の兩港計百萬碼五十萬圓に比し格段の增加を來した。殊に神戸は昨年の四倍以上に上る輸出を示すなど頗る活氣あるものであつた。支那靴材料としての方面に固定的需要があるから、支那が本品市場としての地位は將來も充分續くであらう。香港も昨年の兩港計八十三萬碼四十三萬圓に對し本年は百〇五萬碼四十二萬圓、即ち金額に變化はないが數量に於ては二割方を增加した。同地は從來二三年間排英運動で中繼港として活動減から我帆布も減少してゐたが、漸次以前の如く復活し行くの兆を茲に發見される。海峽植民地は兩港計三十萬圓、前年に比し八萬圓を減じた。其他印度比律賓濠洲喜望峯蘭領東印度佛領印度支那など十萬圓內外の市場が散在してゐるが狀況昨年と大した變化はない樣である。

メリヤス類

輸出狀況

綿メリヤス製品全國輸出國別表

	昭和二年		同元年		大正十四年	
支那	三六、三八打	一、三四、九五〇圓	四七三、二四三打	一、七八八、八四四圓	三〇三、九八八打	一、三四、〇八三圓
關東州	一四四、四〇六	六七九、七三	一五五、七四三	七一九、四〇九	一五五、三八二	六七二、〇〇三
香港	九三、七五六	二六九、八九六	三七、八七二	一七八、五五一	五九、八七	二五九、六〇四
英領印度	二、七八七、二六五	八、四四九、〇〇五	二、四七二、二八二	八、八七八、二二五	二、三二〇、八六九	九、四九三、一七八
海峽植民地	三二一、〇七七	六二八、四二七	二〇六、九二四	五八三、九〇三	二六四、四三三	八三五、八二二
蘭領印度	四〇七、二四六	二、二四、三九六	六一七、七二六	一、八六二、七二二	四五七、〇三〇	一、七二九、九六八
比律賓	一、五〇五、一〇〇	四、五七五、九六六	一、二七二、三三〇	三、三九九、七五二	一、〇七〇、六五二	三、八〇〇、七三五
英國	一、三四〇、〇四四	四、六四〇、四五五	六〇七、八二二	二、三四一、七二一	九七二、一三一	四、九九七、一三四
亞爾然丁	三一、三三三	一四二、六九〇	二五、九四〇	六二、七二一	五六、四八一	一八八、九二五
阿弗利加	一、二九、〇五〇	三、四三二、七六六	八二一、四二六	二、四五四、九六六	八九二、四五四	二、九九一、九九一
濠洲	二三、二八三	二一〇、三〇二	一七六、八五五	八二、九六一、四八三	六六、一九三、八七九打	二七、九四七、八〇二圓
其他	二、六八八、二六六	一〇、三四一、七三一	一、〇五五、〇七七	四、九九〇、〇四四	五五、九六一、四八三	二三、〇七五、三〇二
計	九、五七四、〇一四	二九、〇五七、一三一	二六、三三四	七四、三五二、八八七	二七、〇五三、八七七	七五三、八八七

右表は全國のものであるが、其約九割は阪神兩港の占むる所たることは附錄國別表に依て知る所である。市場の分野も大體本表に依て知ることが出來る。本年はメリヤス製品につて可なり惠まれた年で比律賓、蘭領東印度、英國阿弗利加等何れも昨年に比して百萬圓前後の增加を示してゐる。英國は一割二分に近い增加を示してゐる。從つて輸出總額に於ては昨年に比し數量約二割、金額一割二分に近い增加を示してゐる。

製品別の輸出狀況を列擧するに次の如くである。

い、綿メリヤス肌衣

	全國		大阪港		神戸港	
大正十四年	六、一九三、八七九打	二七、九四七、八〇二圓	一、三九八、三七九打	七、三五二、五四二圓	四、七〇〇、六二九打	二九、九八一、〇〇〇圓
昭和元年	五、九六一、四八三	二三、〇七五、三〇二	一、二五〇、六八五	七、四四八、五二九	四、三三六、六四五	二五、〇一〇、〇〇〇
同二年	六、一九三、八七九	二七、九四七、八〇二	一、三九八、三七九	七、三五二、五四二	四、七〇〇、六二九	二九、九八一、〇〇〇

ろ、綿メリヤス靴下

	全國		大阪港		神戸港	
大正十四年	一、一五一、九八五打	二、四八六、三七四圓	一四〇、一〇六打	三九九、九五九圓	一、〇〇四、一九二打	二、〇〇六、〇〇〇圓
昭和元年	一、三〇八、三五七	二、三三五、九九三	一七八、三九一	四三〇、一三七	一、一二五、〇一三	一、八七六、〇〇〇
同二年	一、一五一、九八五	二、四八六、三七四	一四〇、一〇六	三九九、九五九	一、〇〇四、一九二	二、〇〇六、〇〇〇

は、綿メリヤス手袋

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	二〇、三五一打	一八三、一四九打	一六、八八三打
昭和元年	二八〇、一五三	二六〇、六七八	二一、三五五
同二年	二九三、三六八	二六二、三九〇	一九、三四四

に、綿メリヤス地

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	八、五二一、二五六碼	一、〇二五、九三碼	七、四九五、四六二碼
昭和元年	八、四三六、〇三〇	九九三、五二〇	六、四六八、九七）
同二年	九、三二一、九六九	六三二、九六七	七、七五八、一一七

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	二、二五六、八六四圓	五九五、五二九圓	一、六七〇、三三五圓
昭和元年	二、八六九、九二八	九九三、五二〇	一、八七六、四〇八
同二年	二、八六八、四八二	六三二、九六七	二、二四五、五二四

各地概況　印度、比律賓、英國と相變らず我莫大小製品の大市場をなす。印度に於ける我莫大小は獨占的地位にあること既に久しく、當地本品使用の普及と共に販路は大となるとも小さくなることはなからうと信ぜられる。この事は比律賓に就ても同樣であつて、今後の問題は一に之ら市場の人口購買力に基く自然增加を待つのみであると言つても過言ではあるまい。本年印度は昨年に比し金額の上に於ては僅かの減少を示してゐるが數量は僅か乍ら增加してゐる。英國に於ては莫大小關稅の引上が遂に實現は見なかつたがある。比律賓と英國の本年の增加は可なり著しいものがある。比律賓と英國の本年の增加は可なり著しいものがある。までもその見越的輸入の多かつた關係もあるが、それにしてもそこに本邦莫大小に就て一の自信を吾人は感じ得るのである。比律賓では糸價の下落に乘じ同地商人が可なり買進んだ模樣があつて、同地の如く我獨占的市場に於ては當然一年間の平均消費量を推算出來るのであるから本年の買進みは若干次年度の輸入高に影響して來ることになりはしないかと思はれる。尙ほ同地は大阪にとり大事な莫大小の華客で、比律賓に依て專ら動いて行く工場が、大阪に十數家あるといふ有樣であるが、專ら肌衣であつて靴下等の如きは本邦品絶無に近い。現在の所我莫大小肌衣は殆ど第三國からの競爭を感ぜず、千二百萬の人口ある市場に固定的出荷量を有するのであるが、斯うなれば當然價の上の變化以外は自然增加に因る需要增あるのみである。價の變化とは高級化である。現在絹又は有光糸製メリヤスは米獨品あり、法外に高く賣られてゐて極く僅かではあるが一方の存在として許されてゐるから、或は將來此方に向くかも知れない。現在に於ては値段は急に高くも出來ないから柄の上に變化を與へて行く事が必要でみらう。同地土人の好みから言つて、一度メリヤスに柄の世界が完全に展開された場合には流行が商戰の勝敗を決する分目となりはしないかと思はれる。數年後の比島斯界は柄の上の商戰化するであらう情勢を吾人は今日感ぜざるを得ないのである。尙ほ靴下は人絹交りの編ものが米國から來て獨占的に見えるし、婦人用の長いのも法外に高く賣れてゐるのであるから、近く內地人絹生額の增加値下りに依ては充分研究の可能性がありはせぬか。木綿製の安いのは支那から相當入込んで本邦品は到底競爭が出來まい。

要するに一般綿業界惠まれざりし本年に於て數量金額共に新しい記錄を出して增加せる我メリヤスは既に世界的のものたることを信じて可なりと言ふ可く、東の米國製品と對立し、更に微細な點に研究を重ね行くに於ては必ず米國の上に出で、各地市場に進出し得る事を期して信じ度いのである。

綿ブランケツト

輸出狀況

最近三ヶ年輸出額

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	二九、六〇〇擔 四、七四四、一四〇圓	六六一、八〇九圓	二四、九八二擔 四、〇六〇、〇〇〇圓
昭和元年	二六、六二四 三、五八八、八〇五	五三、〇六二	三、〇五五、〇〇〇
同二年	二五、八二九 三、三五五、八四六	四五〇、六九〇	二、七七〇、六二四

諸事好調子に惠まれた一昨年を最高として我綿毛布は年々減つて行く一方である。併し金額では兎も角、數量に於ては甚しく減少したといふ程の事もなく、よく一般不況の中を隱忍して市場の維持に努められてゐることは右表に依

ても知らるゝ所である。各地に於ける綿毛布の需要は事實上增加はするとも減少はしない狀況にあるに反し、本邦からの輸出の思はしくないのは一に少からざる競爭の存するにある。即ち元來我綿毛布は歐洲大戰當時英伊獨白等の製品出廻減を機として製造輸出起り、爾來今日まで地位を保つてゐるもので、今日右諸國品の復活に對抗する必要から見て、餘程當業者の緊褌を要するものであらう。

各地概況　香港、印度、支那、蘭領東印度、海峽植民地、シヤム、比律賓等を主なる市場とする。就中今年は印度が最も多く、阪神兩港よりの積出計五千百五十擔六十八萬圓、昨年と大差なく數量は僅かではあるが增加した。支那へは三千五百擔四十萬圓で殆ど昨年の半分に激減してゐるが、何分塗炭の苦を嘗めた民衆の購買力は甚しく振はざるものがあつた。香港は五千擔六十六萬圓で昨年より十五萬圓增加、馬來は四十萬圓で僅か乍ら減少し、蘭領東印度は二十八萬圓で昨年と大なる變化はないが數量は一割以上の增加である。シヤムの三十九萬圓は昨年に比し四割方の增加である。その他比律賓の十五萬圓をはじめ米國其他の北米、喜望峰、ブラジル、チリーなど僅かながら各地方へ分布されつゝあつて、果して本品がよく歐洲品と對抗して勝つて行けるか否かは更に今後を待てる有樣にあると言へる。

綿製浴巾

輸出狀況

最近三ヶ年輸出額

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	一、〇八二、九七七打	一二五、六五九打	九一〇、六三二打
	四、三二〇、三二〇圓	三三五、五九三圓	三、八三三圓
昭和元年	一、〇八〇、三六七	一〇八、九五一	九三七、二六八
	三、一九八、四〇七	二六四、八三五	二、八六二、九〇〇
同二年	一、三六六、一九五	一〇六、四三五	一、三九九、三四四
	三、三九六、四六九	三四、一四一	三、〇四一、三七七

阪神兩港の輸出高が殆ど全國のそれを占むるものであるが、本年は著しく神戸からの積出增加が目立ち、ひいて全國的に五割以上の數量の增加を昨年に比して發見する。

各地概況　總輸出額四百萬圓に足らない本品も、その輸出先に至つては極めて廣汎なるものあり殆ど世界地圖にすべての國へ多額少額の分布をなせること附錄年計表の示す通りである。主なるものは印度の三十六萬打九十一萬圓、蘭領東印度の二十九萬打三十六萬圓、海峽植民地の十九萬打三十六萬圓、埃及の二十一萬圓、濠洲の十五萬圓、比律賓の十萬圓、暹羅の十四萬圓、米國の十萬圓など之に次ぐものである。右の中印度が昨年より十五萬圓增加せるをはじめとして、埃及が昨年十四萬圓から本年は二十一萬圓となり、中部アメリカ諸國が三萬圓から十一萬圓となり、玖瑪が四萬圓から八萬圓となり、南米の諸國品が一萬六千圓から六萬七千圓と五萬圓を增し、和蘭が昨年の僅々八百圓から本年は六千圓となり、土耳其が一萬七千圓から四萬四千圓となり、埃及喜望峰以外のアフリカが四千圓から二萬二千圓となりしなど、何れも僅かづゝではあるが、各地に亘つて勃々出て行つてゐることは注意に値する。支那に六萬圓しかなく、米國へ十餘萬圓出るといふことなどは頗る國際商品の動きといふものに關し興味を惹く所、香港は昨年より二萬圓方增加して九萬圓を算するが、支那及關東洲は最早今後は自國產に押されながら減るとも增すことはなからうと思はれる。因みに近來浴巾生地製の寢衣が東南洋各地にまで流行を見んとしてゐる如きは本品新需要方面を豫告するものではないかと思はれる。

手巾

輸出狀況

最近三ヶ年輸出額

	全國	大阪港	神戸港
大正十四年	一、六九五、一九八打	一二〇、三五二打	八二九、一六一打
	六、五七五、六四七圓	三三四、〇四三	三、五八一、〇〇〇圓
昭和元年	一、六八一、三三	一三〇、七三三	一、一六八、〇〇〇
	五、一八三、一二四	三四、九二	五四九、九二
同二年	一、九一〇、三四八	一三三、九六六	一、三八七、六四五
	六、三一一、三三	六五六、四〇四	六、九八七、六四五

本年の手巾輸出は數量金額共に前年に比し約二割方の增加を見た。右の中大部は絹製手巾であつて約六百萬圓に近く、綿製手巾は四十萬圓弱に過ぎない。本年の增加は言ふまでもなく絹製の活氣ありしを原因とするものや、綿製は總體數字を左右する程の立場にはないのであるが、絹製と同樣否これ以上に今日の綿製手巾としては手綾い綾抜きや半ばなレース、刺繍もさる事ながら、鮮麗目を奪ふ許りの明るくすつきりしたプリント加工に研究の活路の存する事を注意し度い、今日世界の生活一般の傾向からして絹製に主力は置かれるであらうが、決して綿製が今日のまゝで伸び得ざるものと斷定して了ふ可きものではあるまいと思ふ。現に佛國製英國製を主とし、時には米國品まで綿手巾が南洋支那邊の市場に相當見られるのであるから我當業者の着眼を望むや切である。元來綿手巾はその手觸りの加減に於て何ごも言へない所のある英國に優るものはないが、佛國品のよく各地で好まれるのは一にその優れたる圖案にある。大膽なる大碁盤を晴やかな紫ゼ全面に太く捺染したものなごその例であるが、今日の各地の好みから言へば、こゝに綿手巾の生面があつて、一に圖案の勝敗を決するのではあるまいかごまで思はれる次第である。切に研究が望ましい。絹製のそれに施されてゐる今日の加工意匠を更に流行に先ぜしむるご同時に、移して綿製の方にも同じ道を取つたならば今日の數字は更に大なるものごなる可きを信ずる次第である。

尙ほ輸出先の傾向に就ては附錄輸出品年計表を參照すべし。

陶磁器

輸出狀況　吾國陶磁器の聲價はつごに海外に高く、日本品ごえ云へば陶磁器を思ふ位海外至る所に日本陶磁器を見る位にて、歐米に於ける東洋趣味の普及は益々日本陶磁器の需要を旺盛ならしめつゝある。然し飜つて本年度陶磁器類の輸出高を見るに三千四十九萬一千三百九十五圓で昨年の三千三百十八萬二千三百七十圓に比すれば二百六十九萬九百七十五圓(八分)の減少であまり香しき結果ではない。之が原因ごも思はしきものは支那內亂による奥地方面の需要を充分に滿す事が出來なかつた事や、金融の不確實による手控へ等による支那方面向の減少、並びに米國方面に於けるチエコスロバキヤ、獨逸、白耳義等の競爭品に對する宣傳思はしからず、之等の品物に蠶食された事等に原因するものごも見ねばならぬ。大體日本品ごして海外に輸出さるゝものは紅茶、コーヒーセット、洋皿類より、蓋物、小皿類砂糖入、土瓶等にて總體安物なるを以て世界を風靡しつゝある現狀で國情ごして支那、南洋方面向はこれにても止むを得ぬ事ご思ふが、少なくも東洋趣味の高調されつゝ、ある歐米を相手ごする高級品の輸出方面についてはより一層力を加へ、或はその模樣に於て、販賣方法に於てよく該國の風習を理解しその趣向に適する物を案出して伸びるだけの備を必要ごしはすまいか。安物のみを以て支那、南洋ご同じく歐米に向ける時は、生產方面に秩序を有する獨逸物等の安物ご自然逐角せざるべからず、この競爭に於ては必ずや日本に多少の不利を認めざるを得ざる現狀にある事は一般のよく知悉する所、生產方面に於ける研究ご一面販賣方面に充分の考慮をなし、よく之等外國の思潮を吾物ごする樣心掛けられたきものである。次に陶磁器の輸出統計に見るに

	全國	神戸	阪神兩港
昭和二年	三〇、四九一、三九五	四、二八八、六三三	四、八三三、四六〇
同元年	三三、一八二、三七〇	六八四四、八三七	六、〇八二、九六一
大正十四年	三五、一七二、七三八	八三三、九六一	七、七三〇、〇五九
		九四六、〇五九	

全國輸出國別表

	昭和二年	同元年
支那	一、五九六、三一〇圓	二、三八一、六〇三圓
關東州	一、一八九、三七五	一、二三三、二四五
香港	六八六、五三三	三〇三、四四三
印度	二、五三五、六六一	二、九五三、九六九
海峽植民地	九三七、〇四一	一、七四四、四五六
蘭印	四、二五三、五二三	三、二六〇、〇七五
比律賓	八五〇、九八三	六五一、四八九
英國	四二六、七二六	五二一、七七六
佛國	二九二、三四六圓	五九五、〇二四圓
和蘭	五二六、八五〇	四九九、三一三
米國	二三、二四四、〇一三	一三、九四七、八五六
加奈陀	一、三三五、四六二	一、三七七、五六三
亞弗利加	二五七、三六	一五九、四一八
濠洲	三六六、九五二	一七八、二四五
其他	九五三、〇八七	一、一二一、四五七
	八五〇、九八三	六五一、四八九
	二、三六〇、二九〇	二、三五三、四四〇

內地商況　本年は財界不況のため、內地賣行はかく〳〵しからず、値段は多少弱含みであつたが年末問屋小賣店等の不況を見越しての買控へで、一般荷薄となり、多少強含みに轉じた樣ではあるが、まづ〳〵凡調であつたと云へる。

海外事情（北滿）當地方に於ける陶磁器製食器類の一ヶ年需要は約七十萬圓內外で、日本品が八割を占めて居る。其他獨逸品、支那楊子江沿岸物、土產品等である。需要期は十月から四、五月頃でクリスマス前後が最も賣行旺盛で露西亞人向としてスープ皿、肉皿の六吋、七吋、八吋、九吋物、コーヒ茶碗、コーヒ皿、バタ入、スープ大型皿、肉皿セット物等で、支那人向としては茶注、茶碗等が大部分を占めて居る。兎に角實質本位的需要が現時旺盛で上等品はあまり向かぬ。

（印度）方面は琺瑯鐵器と共に日用品として陶磁器の需要は旺盛で、元より安物が實用的として需要されるがその模樣方面に於て、日本の風俗、山水等を取入れた美麗なものが喜ばれる樣で、回敎徒の嗜好に合致する模樣を研究する事も必要であらう。尙取引方面に於て少量の取引にも客をそらさぬ事、取引を敏速にする事等は競爭者多きこの方面に於て特に心掛くべき點と思はれる。

（南洋）この方面への輸入の中日本品が最も優勢で皿類に於て八割、茶碗類大部分、鉢類六割は日本より向けられて居る。この方面に於ける氣受けは案外よい樣であるが、最近獨、白、チエコの進出目覺しく、取引方法に充分の餘裕を見せつゝあり相當の對策を今にして必要と思ふ。

（米國）に於ては日本品相當活躍しつゝある現狀で、何れの地に於けるとも等しく、人情風俗趣味を充分に研究して益々その市場を維持發展せしめねばならぬ。

（加奈陀）に於ける日本品は年々增加の傾向にはあるが何と云つても關稅の關係上英國品に押され勝である。たゞ經濟的に將來あるこの國に於てその增しつゝある需要を歐洲品によつて得らるゝ事は惜しむべきであらう。特に品質よりも取引方面に留意する要があると云ふに於てをやである。

硝子鑪（附硝子製品）

輸出狀況　モラトリヤムの影響は小工業家を以てする斯業に大なる打擊を及ぼし、一般に市價低落し、爲替關係と印度、南洋方面の需要增加により內地取引關係は割合に閑散であつたに係らず相當の輸出を見た。硝子鑪に於ては前年度の千百四十萬打、四百十九萬七千圓に比し、本年は千四百六十八萬打、四百三十五萬八千圓と數量に於て二割八分、價格に於て四分と何れもの增加であつた。コップに於ても數量に於ては一割七分の增加であつたが價格に於ては四分の減少であつた。珠玉及球に於ては前年度の二百八萬六千圓に比し本年は四百五萬一千圓と約二百萬圓の增加で硝子製品全體として見る時は本年度千六百五十七萬一千餘圓、昨年度の千四百二十六萬五千圓に比し二百三十萬圓餘の增加であつた。然し一昨年大正十四年に比しては七十萬圓餘の減少であつた。之を各種類別に表示すれば

硝子製品輸出品別表（窓硝子を除く）

	昭和二年		同元年		大正十四年	
魔法鑪	一、九九、四一九打	一、七六八、七三三圓	一、五九三、六六二打	一、六三、九二四圓	一、六八七、七五四圓	
其他の鑪	一四、六六八、七九八〃	四、三九八、三六七	一四、一九七、六二一〃	二、三九六、一三二〃	四、二九〇、九一九	
コップ	三、四二八、五四六〃	二、二一〇、三四〇	二、九〇八、一三二〃	一〇四、七六四	三、一六四、九七〇、六四六	
時計硝子	九七、二四八哥	一九四、一〇〇	一〇四、七六四哥	一八四、九九三	九一、七九四哥	一六七、〇五五
珠玉及球	—	四、〇五一、五九九	二、〇八六、二四四	—	—	三、六五七、六六五
鏡	一七、〇〇九千個	二、五二四、七一〇	二、三一〇、八一〇	一四、九〇三千個	一四、九〇三千個	二、九三三、三三六
其他	—	一、五〇三、一〇一	一、五九五、〇〇八	—	—	一四、八四五、八四一
計		一六、五七一、〇四九	一四、三六四、八二			一六、八四五、七四六

右の中その主なるものについて見るに

硝子鑪　之が輸出は前述せる如く內地安の爲と支那、印度、南洋、比律賓方面に於ける需要增加の爲前年度に比し多量の輸出を見た。たゞし價格に於てはさしたる增加は見て居ない。

全國及阪神兩港輸出表

阪神兩港國別輸出表

	大阪港			神戸港	
	昭和二年	同元年	大正十四年	昭和二年	同元年
支那	一、五二四、九八圓 打	四七〇、二五三圓	六、〇二三、八四七打	一六五、九七八圓	二、一七五、一三九圓
關東州	一〇七、七八三	五四、一八八	一、三九四、九九五	四、三九三	一、八七六
香港	四三、七三一	一〇三、四五三	二、八八八、九八八	七三、九〇四	四九、三〇五
印度	二、二四四、八〇七	六三五、六〇九	二、七九六、一三三	二九一、五五六	九〇、五二九
海峽植民地	五八八、六四七	一八六、六四四		一二一、五八〇	八三、一四〇
蘭印	九二四、八二〇	四二一、五六〇		二五、八二六	八四、五六六
比律賓	六三、八一五	一三七、三四四		七九、五一三	五二、七五三
濠洲	二六〇、九五四	六五、四三		四、八〇一	三〇、三二
喜望峰	一三四、五七六	二七、八二		一〇五、四〇三	八、〇三三
其他	五九、六六四	三一、九一七		四八〇、三七六	一五四、四九八
計	二六、一三〇、七八	二、一四〇、七八八		二五二、一一〇	七九、三一九
	三、〇〇三、六三一	一、三五五、二七			

罐類の中で最も多量に輸出されるのは諸藥罐及び斤罐で近年多少づゝ增加の狀態にあり鑛泉瓶類は支那を主とするがこの方面に於て近年著しく減少し反對に比律賓方面に多少販路が開拓されつゝある模樣で藥罐は支那、印度、南洋方面へ斤罐は主として南洋方面へ出される。支那方面に於ては昨今硝子工場增加し粗惡廉價品は支那物で需要を充されゝる傾向になりつゝあり。印度、南洋方面に於てはコップ類のみならずこの罐類まで廉價に多量に獨逸、チエコスロバキヤより輸入され、日本製品の一大競爭品となりつゝある。

コップ類は印度、蘭印、海植方面が主で支那、比律賓がこれに亞いで居る。印度、蘭印方面に於ける該品は相當根强き地盤を有し就中蘭印方面に於ては殆んど本邦品の獨占舞臺であつたが、他の瓶類と等しく、否より以上獨逸品、チエコ品等の進出を見つゝある。

珠玉及球は本年は非常な增加を見て居るが之は府下同業者組合の組織により歐洲向販路の擴張と印度、北米方面の需要增加に負ふ所大で四百萬圓を突破した事は一に同業者の努力の然らしむる所と云ふ事が出來やう。

魔法瓶は支那方面向が大部分で本年は相當增加して居る。之は時の然らしむる所で逐年增加を見つゝある。

內地狀況　本年度內地生產額は正確には不明なるも、昨年度の財界の影響等より考察して數量に於て一割價格に於て約二割の減少であると云はれて居る。大阪府下生產高について見るも板硝子を除く他の硝子製品總額千五百萬圓、昨年の千八百萬圓に比し優に一割七分の減產であつた。府下生產高を品別にすれば

品種	割合
鑛泉酒罐類	二割一分
化粧用並藥瓶類	二割四分
食器類	一割七分
裝身具類	一割五分
其他	二割三分

海外狀況　（印度）本邦硝子製品輸出の二割二分を占むるものは印度で、印度輸入硝子の四分の一を占めて居る。戰時中七割を占めて居た吾國製品は戰後逐年減少して以上の如き狀況となつて居るが他面、獨逸、チエコスロバキヤ製品は年々增加し大正十五年度に於ては獨逸二割、チエコ二割六分と增加して居る。その他英、白より一割見當づゝ入つて居る。印度に於ける硝子製品の需要は氣候の關係上今後とも尙增加する事と思はれる。

（蘭印）當方面輸入の大部分は日本品就中大阪製品大部分を占めて居る。本年度該地方に於ける罐類の賣行は可驚多量に昇り封度罎の如き前年度に比しその輸入倍額に增加したと云はれて居る。而も當市場品薄を報じられて居る位で

需要は愈々增加の傾向にある。この種鑵の中、繪付もの、プレーンもの、形變りもの等賣行良好の由である。藥鑵類は日本品殆んどを占めて居る。

（比律賓）方面に需要される鑵類は殆んど輸入品で日本品が八割を占め、米國品が一割二、三分を占めて居る。近年比島方面の日本よりの鑵類輸入の增加せる事は喜ぶべき事である。

琺瑯鐵器

輸出狀況　本年度琺瑯鐵器類輸出總額は五百九十三萬三千餘圓で、昨年の五百九十七萬圓に比し僅かばかりの減少ではあつたが一般製品價格の下落が一割以上一割七、八分を告けて居た事よりその數量に於ては相當な增加であつたと見られる。

そも〳〵かくの如く多量の輸出を見たるは、印度、蘭印、比律賓方面の需要增加及生產に於ては前期に比し一割以上もの增產を見て居ながら內地取引は財界不況、金融拘束の後をうけて概して思はしからず相當の滯貨を生じ、價格も自然下落せるによるものと思はれる。

全國及阪神兩港輸出表

	昭和二年	同十四年	大正十五年	同十四年
大阪	三、一〇九、一九八圓	二、二四六、三六六圓	二、九七七、七〇〇圓	一、四四二、〇〇〇圓
神戸	二、五〇九、六四三	一、二六六、〇〇〇	二、六二三、〇〇〇	一、二六六、〇〇〇
全國	五、九三三、〇三六	六、九〇八、〇五六	五、九七〇、三三八	六、九〇八、〇五六

大阪神戸兩港は全國の九割五分を輸出しその殆んどは大阪製品であると云つてもよい。嘗ては支那方面へ多量の輸出を見たが今や支那內地に於て製造するもの益々多く、支那向輸出も年々減少を見、大正十三年以來夫々百七十八萬圓、百三十萬圓、百十八萬圓、本年は約六十七萬圓と漸減して居る。昭和二年度の輸出先は印度の百三十萬圓を最とし、支那、蘭印、海植、比、暹、關東洲、香港の何れも五、六十萬圓之に亞いで居る。

內地狀況　輸出に於て前年度とその價格大して相違なき如く生產類も亦大した相違はなかつた樣である。大阪府下の生產狀況について見るに最も重きをなすは洗面器で、全額の三割三分を占めて居る。外に皿類が一割六分、茶瓶類が一割三分、鍋類九百、其他三分と云ふ順序である。

價格の變動は府の調査によれば

品種	前期末	本期末	變動の割合
洗面器（三十糎一打）	二、一〇圓	一、八〇圓	一割八分下落
茶瓶（十個）	二、七〇	二、三五	一割三分下落
丸鍋（十個）	一、五五	一、四五	一割下落
スープ皿（二十六糎一打）	一、三〇	一、一五	一割下落

かくの如く總體的に下落を見たるは一般原料品が前期に比して總括的に大約一割方の下落を見たると生產過剩による同業者の競爭及金融狀態惡化による窮狀打開の爲の投賣等に負ふものと云ふ事が出來る。

海外狀況　（北滿地方）哈爾賓を中心とした北滿一帶に亘る我が輸出琺瑯鐵器の數量は年次增加し最近一ヶ年の約三十萬圓の內吾が製品約七割を占め殘餘の三割は獨逸墺太利瑞典米國の順位である。我製品は品質はあまり良くはないが廉價なる爲一般向に珍重せられ相當根強き地盤を持つて居る。製品の主なるものは洗面器、洋食皿、茶瓶、コツプ杓子、鍋等である。

（印度）本製品は堅牢なると格安なるとにより一般印度人家庭向として喜ばれ、輸入高年額四百萬比留に達し、本邦よりの輸入が大部分を占めて居る。外に獨、英、チエコ、墺太利品等も多少づゝ入つて居る。大正十四年に終る三ケ年間の統計に見るに

	英國	獨逸	墺太利	チエッコスロバキヤ	日本
大正十二年	二八六、二〇三留比	九九六、〇三六留比	七三、一八〇留比	一九九、六五六留比	一、五〇二、六五二留比
同十三年	三二、四八五	九四五、二六五	二三七、四二五	二三三、六八五	一、三七三、五二九

右の中チエコスロバキヤは最近非常なる努力を以て販路を擴張しつゝあり、印度方面に於ける本製品の販賣に對しても目覺しき活躍を演じ、年々その地盤を確立しつゝあり、昨年度來の吾國琺瑯鐵器同業組合に於ける値上げ斷行の際の如きも却つて値下げを行ひ、拔くべからざりし我が地盤を相當に侵蝕したと報じられて居る。獨逸製品も亦大量生產、生產原價の遞減新意匠の案出等により大いに進出を企圖しつゝある樣なれば、同業相戒めてよくその販路を維持せねばならぬ。

（瓜哇）この方面に於ける輸入品の中辨當入、洗面器の琺瑯及び湯沸し、皿、指洗ひ、コツプ、サジ等の約半數は本邦品で只鍋類及衛生器具類は琺瑯と歐洲品にて獨占せられて居る。兎に角歐品は品質優良なるを以て今日尙ほ相當の地盤を有する向あるも、すべてに便利なると近年業者の努力の跡により着々本邦品は歐品の地盤を侵蝕しつゝある事は喜ぶべき現象で今一段の努力と研究は確かに瓜哇方面に於ける獨占的地位を確立するものと信じ、かくあらん事を希望する。

（比律賓）同島住民も亦、南洋、海植方面と住民を同じくする係關上本製品の嗜好相當強く、近年需要頓に增加し、品物は琺瑯と日本品に俟つの有樣で、交通不便なる同島に對する日本の立場は最も有利なるものがあり將來益々有望なるものと思はれる。

ゴムタイヤー

輸出狀況　本年度ゴムタイヤー輸出總額四萬九百十五擔、四百九十四萬二千圓（一割八分二厘）二十萬五千五百七十四圓（四分三厘）の何れも增加であつた。輸出先の主なるものは、支那、蘭印、海植、關東州で支那へは一萬四千七百二十二擔、百六十五萬七千二百八十一圓を出し、地の利を得たる吾國は支那に於て重要なる地位を占めて居る。前年に比し數量に於て三千四十五擔（三割六分三厘）價格に於て九萬九千三百五十圓（六分四厘）の增加で將來共有望なる市場である。蘭印へは一萬二千三百四十一擔、百六十萬百八十四圓で前年度に比し、千八百七十一擔（一割三分二厘）三十五萬二千六百九十圓（一割八分）の減少であつた。蘭印向の主なるものは自動車用タイヤー、チユーブ及び自轉車用タイヤー、チユーブで自動車用タイヤーチユーブ類は段々と米國品に蠶蝕されつゝあるが、自轉車用タイヤー、チユーブ類は日本品が首位を占め、自轉車の販路擴張と相俟つて益々有望と見られる。之を港別に見るに殆んどが神戸港から積出され、大阪港としては記するに足りない。

最近三年間輸出統計を掲ぐれば

	全國	神戸港
昭和二年	四〇、九二擔　四、九四二、〇〇一擔	三九、〇一六擔　四、七二七、九七四圓
大正十五年	三四、六一〇　四、七三六、四三七	三二、八九一　四、五五六、〇〇〇
大正十四年	六八、二七〇　九、四六九、八四〇	六六、四二五　九、二九二、〇〇〇

全國輸出國別表

	昭和二年		大正十五年		同十四年	
支那	一四、七三三	一、六五七、六二一	一二、六六七	一、五五七、九三一	三二、七九八	三、二六一、二五五
關東州	三、二七七	三三一、四五〇	一、七九六	三三五、三三五	三、八六四	三五七、〇五二
海峽植民地	八、八二四	一、一三〇、四八〇	六、二三八	九〇八、九七七	一三、六九五	一、七〇七、〇二七
蘭印	三、三四一	一、六〇〇、一八四	一四、二二三	一、九五三、八四四	二七、三三三	三、七九、七八七
其他	一、七八一	三三、五九六	六八七	九一、三三〇	一、八〇〇	三三四、六八八
計	四〇、九二五	四、九四二、〇〇一	三四、六一〇	四、七三六、四三七	六八、二七〇	九、四六九、八四〇

海外狀況　世界に於けるゴムタイヤー類の類出狀況を見るに自動車用タイヤーのケースについては佛蘭西が第一で米國と匹敵して居たが本年は米國が第一で佛、加奈陀が之に亞いで居る。

世界自動車ケース輸出高調（單位千個）

	一九二七年	一九二六年	一九二五年	一九二四年
米國	二、六三一	一、四九七	一、七四〇	一、三八九
加奈陀	一、六九九	一、一五三	八四八	五〇〇
佛國	二、二三四	一、九二五	一、八七三	一、六七七
伊國	七二七	七二〇	八〇一	六六七
英國	九三二	九〇四	八七三	五五〇
獨逸	一六五	二〇九	一七五	一四四
日本	一五六	一三八	一二七	一一八
白國	二九〇	一九五	一四四	八六
計	八、八四四	六、七二〇	六、四〇〇	五、一三一

米國のゴムタイヤー工業の實勢力は驚くべきものであるが、英國がゴムタイヤー輸入に對し、輸入稅三三、三分の一%を課する事となつた爲相當の打擊を受けた事は之等英領への輸出の減少した事によつて知られる。同時に加奈陀、英本國及び濠洲に於けるゴムタイヤー製造は非常なる增加を見た事はその輸出增加によつて伺ひ得られる。かく米國は關稅によつて大なる壓迫をうけたが同國資本の英本國及加奈陀に入つた額は莫大なる事を見逃す事は出來ない。

（米國）　米國は世界生ゴムの三分の二、三六六、〇〇〇噸を消費して居るがその生ゴムの八十四%三〇七、四四〇噸まではゴムタイヤーとチューブに使用されたと報じられて居る。又ゴムタイヤー類に再製ゴムの使用される量も莫大なるもので、一九二六年六〇、八六五噸と計上されて居る。一九二七年度は生ゴム消費量も三七一、〇〇〇噸で再製ゴム消費量も亦前年度に比し約一萬噸の增加を見て居るから、自動車製造高は割合に不振であつたがゴムタイヤー類の製造は相當多量に上つて居ると思はれる。

同國一九二七年度のゴムタイヤー類輸出高は四二、六一七、九〇〇弗で一九二六年に比し二八%の增加である。之を年別に見るに

	數量	價格	單價
一九二〇年		五三、〇二四、〇二五弗	
一九二一年		一六、三二五、四二四	
一九二二年		三〇、七〇二、九六二	
一九二六年		三〇、三三〇、七〇八	

之を品別に見るに次の如し。

	一九二六			一九二七		
	數量	價格	單價	數量	價格	單價
ケース（自動車用）	一、四九七千個	二四、三五六千弗	一六、二七弗	二、六三二千個	三二、七七六千弗	一二、八四弗
チューブ（同）	一、一二七	三、〇二四	二、六八	一、六三一	三、四九九	二、一三
ソリツドタイヤー（同）	九八	三、四五八	三五、二四	九七	二、八八七	二九、七六
ケース及チューブ（自動車用外）	七二	二九	—	六一	一六六	—
ソリツドタイヤー（同）	一、五二一	五〇二	—	一、七五五	四三六	—
タイヤー修繕補助品	—	一、六二三	—	—	一、八三二	—
合計	—	三三、一四四	—	—	四二、六一七、八九七	—

（蘭領東印度）爪哇及スマトラの一九二七年に於けるタイヤー類の輸入狀況と日本の地位について見るに次表の如し

日本の地位	首位國の輸入額	輸入總額
日本よりの輸入額	米 三、〇四二、一三四盾	六、一〇八、二五六盾
九中四	米 四三五、二五八	九三〇、八四一
自動車タイヤー	—	一、〇一三、二六四
自動車チューブ		三三二、八二六
九中二		
自動車タイヤー		
六中首	米 四二七、〇八八	六八六、九九六
自轉車チューブ		
八中二		
自動車馬車用重厚タイヤー		
一二、九七六		
一三、九七六		
八五、九〇四		

洋紙

輸出狀況　輸出洋紙の主なるものは印刷料紙、煙草用紙、烏の子紙、連史紙、包裝用紙、板紙等で紙類（日本紙を含む）としての本年度輸出總額は一千九百二十六萬圓、昨年度の一千九百萬圓に比し僅かに二十六萬圓の增加に過ぎなかつたが數量に於ては一億一千百餘萬封度で昨年に比し一千萬封度の增加であつた。支那へはその五割强を出しては居るが支那の動亂等の爲、昨年さあまり變りがなく、一昨年に比しては相當の減少であつた。香港、印度、米國向のものは多少づゝ增加を見て居る。

全國及阪神兩港輸出對照表

		昭和二年		同元年		大正十四年	
印刷料紙	大阪	八五、一六〇噸	一、五三五、七二三圓	九八、九一五噸	二、〇六一、三〇一圓	一五九、三九二噸	三、一五六、八〇七圓
	神戸	二三、九三一	三、四八四、九一五	二、七〇四、〇〇〇	一五五、〇四〇	二二五、〇一四	三、五四二、〇〇〇
	全國	四七八、七八八	七、九六四、八五二	四、三四三、九八七	一三、一五七	四九一、五七〇	九、八六九、七四二
煙草用紙	大阪	一四一、〇九九	一、〇二六、三一〇	一三、一五七、一六六九	一、〇九二、六六九	一三、二五四	一、一二四、七八一
	神戸	七、五六六	四五四、五一〇	八、六六四	五四四、〇〇〇	一四、三〇七	九一〇、〇〇〇
	全國	二一、六七五	一、四八一、六八八	二三、〇三七	一、六四七、八八二	四七、九六二	二、〇三一、九〇八
包裝用紙	大阪	二五、三四七	四四九、八二一	二一、二五〇	七一〇、〇二〇	二〇、一五三	四二七、五八三
	神戸	一九、〇五二	四二〇、二四〇	二七、八三	一、八二一、七六一	二、六六一	六六二、〇一〇
	全國	四五、三六八	九三〇、五七七	四九、七六六	一、一八二、七六一	三四、九〇六	一、一三八、九一〇
板紙	大阪	八三、五九三	七七四、〇六三	四三、七三〇	五五六、三五五	六三、五七四	八三〇、三四四
	神戸	八四、〇九五	八三〇、三八四	四六、〇〇八	五七四、一四〇	？	？
	全國	一七七、九八七	一、七八六、九四五	二三、九九九	一、三九九、〇三一	一五九、三三九	一、八五二、九九三

印刷料紙は主として支那、關東州方面へ向けられ、煙草用紙は支那、關東州、比律賓へ出て行く。烏の子、連紙も同樣支那、關東州がその需要先で板紙は支那、印度方面の需要が多い。

昭和二年度中全支那、關東州への輸出を全輸出に對比して見るに次の如し。

	支那		關東州		全輸出	
印刷紙料	四六、九〇三千封度	五、八六〇、四五九圓	五、三七千封度	六二、四八六圓	六三、八五八千封度	七、九六四、八五二圓
烏の子	三、三二	七九八、八六七	七四三	一四七、六七一	五、三一八	一、二五三、八一八
紙板	五、三七八	五七四、六四六	一、七六六	一四二、五九三	三、一五五	一、七八六、九四五
紙包裝用紙	四、〇〇八	五九七、一五七	九七、一四六	九七、〇四九	六、〇四九	九三〇、五七七
其他	—	二、九三九、一六七	九四九、三六五	一六、四四七	—	七、三二八、〇〇六
紙類合計	五九、五九八	一〇、七二〇、二九七	八、四七二	一、九四八、五七八	一二、七二〇	一九、二六三、一九八

內地狀況　昭和二年度中に於ける日本製紙聯合會々員各社の製造高は十一億五千百五十餘萬封度で、未曾有の多量を示し、前年度に比し七千六百八十六萬封度（七分一厘）の增加であつた。昭和二年中の操短による減產量は一億二千百噸封度と見積られて居るから現時の生產能力は莫大なるもので本年中新抄紙機の設置は十臺で既設能力に對し六分の能力增加と云はれて居る。一方洋紙需要高は是亦未曾有の巨數に上つた。即ち十一億五千二百餘萬封度で昨年に比し八千六百二十餘萬封度（八分一厘）の增加で、本年中は圓本の流行で一エポックを畫したる位にて之に消費されたる印刷料紙の數量は一ケ月三百萬封度の多量に上つた。

洋紙需給統計表（單位千封度）

年	未運轉臺數	製造高	需要高	對前年增加率 製造高	對前年增加率 需要高
大正十三年	九	八、七、三八三	八、四四、八一〇		
大正十四年	一六	九二、七二一	九八、八〇二	一三、〇	一三、〇
大正十五年	二七	一、〇七四、六四七	一、〇九九、一四八	一三、九	一二、三

本年中洋紙相場は全集物、圓本流行等により前年に比し非常な需要増加であつたに係らず八分一厘ど前年度同様漸落の歩調を續けた。

重要洋紙相場表

	印刷用紙（千歳印一封度）	B模造紙（一封度）	更紙（四六封度百合印卅六封度半）
	一七、八錢	一六、〇錢	四、四〇圓
二月	一七、三	一五、七	四、一〇
四月	一七、一	一五、五	四、〇
六月	一七、〇	一五、三	四、八〇
八月	一六、九	一五、三	四、〇〇
十月	一六、八	一五、二	四、〇〇
十二月			

薄荷腦及油

輸出狀況　本年度薄荷腦輸出高は四千七百三十二擔、四百八十九萬七千六百二十八圓で昨年の五千二百八十七擔、一千四萬九千四百七十五圓に比し數量に於ては五百五十五擔價格に於ては五百十五萬一千八百四十七圓ど非常なる減少であつた。之が原因には色々ど數へられるが、何分昨年度は近年稀なる安値にてそれだけ多量の輸出を見、米國あたりに於けるストック多量にて本年度價格は前年度に比しより廉價であつたに係らず注文の少なかつたによるものど見るより外はない。本年度歐洲向は別に大した減少を見て居ないに米國向の非常な減少を見た事は之を裏書きして居はすまいか、そも〳〵薄荷腦の主なる輸出先は米國で五割後は英、獨、佛、印度等へ向けられる。日本產薄荷草はメントール含有量七〇%あまりで、その含有量の多き事に於て他國の追隨を許さない。薄荷油は四千百二十八擔、二百三十一萬四千五十八圓で前年度に比し數量に於て六百六十三擔價格に於て二百十一萬一千八百十三圓の減少である。その輸出先についも見るに、英、佛、獨方面へ夫々三割乃至二割五分位づゝ出され、米國へは殆んど行かぬ。薄荷腦ど

して多量に輸出さる、米國に油どしてあまり出ない原因は、同國に於ける薄荷の栽培が近年盛で薄荷油どして盛に輸出する程度にまでなつて居るが、氣候風土の關係上、日本に於けるが如く多量の薄荷腦を得る能はず、殆んど薄荷油どして終る程度のものであるからである。

薄荷腦及油輸出表

全國

		數量	價額
薄荷腦	昭和二年	四、七三三擔	四、八九七、六八圓
	昭和元年	五、二八七	一〇、〇四九、四七五
	大正十四年	四、一〇八	二、一一七、二一二
薄荷油	昭和二年	四、二八六	一、三二四、〇五六
	昭和元年	四、七九一	四、四三五、八七一
	大正十四年	五、二八四	五、三〇九、〇〇五

神戸

		數量	價額
薄荷腦	昭和二年	三、八〇四擔	三、九七〇、〇七二圓
	昭和元年	四、五四六	八、八二一、〇〇〇
	大正十四年	三、七六七	二、一三四、三三五
薄荷油	昭和二年	三、二五六	一、八二七、六一五
	昭和元年	四、一八	三、九六〇、〇〇〇
	大正十四年	四、七八四	四、七九二、六〇七

大阪

		數量	價額
薄荷腦	昭和二年	三九三擔	三七八、六三〇圓
	昭和元年	—	—
	大正十四年	一三九	二八八、七五五
薄荷油	昭和二年	二六七	二四三、三四八
	昭和元年	一三九	八三、七五五
	大正十四年	七六	五七、三一〇

上に示す如く輸出薄荷腦及油の夫々約八割を出す神戸港について其の輸出狀況を見るに

神戸港輸出國別表

		薄荷腦 二擔	薄荷腦 三、二一〇圓	薄荷油 九二擔	薄荷油 四七、五三七圓
香港		一九三	一九七、一四八	二二	六四、二四三
印度		一九六	二一、八一七	五八	三〇、一六三
海植		二一六	二三、八一七	八	六、一四五
蘭印		九	四、七九五	一八四	一〇二、一七〇
佛印		五	四、九〇一	九六六	五八七、五一六
英國		六四六	六五一、一九八	六六〇	四二四、二六八
佛蘭西		四一四	三六一、三七五		

獨逸	四一九	四八〇、七三八	四四四、八〇三	
北米	一、七四一	一、七三四、二九〇	一五、九二五	
濠州	三五	四五、四九五	三六、八六六	

內地生產狀況　本年度薄荷油の收穫高は約百四十萬斤見當で前年度に比し相當少なかつた。然も昨年度は近年にない安値と云はれ腦としての輸出も又記錄的の多量に昇つたわけであるが、輸出を本位とする本品の相場は海外の狀況注文に左右される事多く、昨年度の見越的買煽りの後をうけて、內地ストックも殆んどなく品がすれの感あつたに係らず本年度は米國筋からの大口注文少なく、相場も自然冴えず、斤八圓見當を往復して居たわけで大正十三年末の一斤四十圓見當を稱へた當時を顧みれば思ひ半に過ぎるものがあらう。油の相場も又香ばしからず、一ケ年を通じて斤三圓八十錢頃より四圓の間を往復して居たわけで矢張り大正十三年末の十七、八圓に比し非常なる低落である。

外國狀況　薄荷は日本の特產にして腦としての輸出は全世界の大部分を占めて居る、他に薄荷の產地としては米、英、獨、支等が知られて居る。

（米國）に於ては禁酒法實施以來刺戟性菓子、飲料としての需要激增しつゝあるが同國に於ける栽培も近年日本種を入れて著しき增加を示し腦を採取するには未だ充分ではないが、油としての生產は三千擔餘と計上されて居る位で、輸出も年々增加し、一千擔より一千四、五百擔の輸出を見る有樣でその輸出先は英、獨で將來日本品の競爭品として相當注目に値するものがあらう。

（支那）品は殆んど自然生のもので、メントール含有量も二十%止りで香氣も惡るく、不純でありその產額も取るに足りない。

（英國）品は少量ではあるがその製品の香氣よきを以て市場に於ては非常に喜こばれて居る。

（獨逸）は日本の薄荷油を年々多量に輸入し、之より腦を晶出精製して居るが、日本に於て充分に腦を取り去つたものを使用して尙腦を晶出し、その價格も非常なる低廉を以て市場に供給する有樣で、日本として他山の石とすべき何物かゝあらう。その上最近人造薄荷の製造隆盛にして確たる統計は得られないが、相當の多量に適して居る樣子で價格の如きも常に天然品よりは二割方以上も安く、而も尙相當有利に運轉されつゝある由にて米國方面に於ける栽培薄荷の脅威以上に吾國薄荷を脅かすものと思はれる。英國に於ても亦人造薄荷はすでに市場に出で相當安價に取引されて居ると傳へられて居る。

樟腦

輸出狀況　神戶が輸出の九割八分强を占めて居る。本年度總額三萬六千七百四十一擔、五百六十三萬七千七百三十二圓で前年度、前々年度に比し數量に於ては何れも增加で大正十一年以來のレコードではあるが價格に於て昨年度に比し尙九萬五千圓、一昨年度に比し百六十四萬二千圓の減少であつた。

樟腦輸出表

	昭和二年		昭和元年		大正十四年	
神戶港	三六、一五二擔	五、五四八、三一九圓	三〇、一七二擔	五、一〇〇、〇〇〇圓	三四、一三七擔	七、二三五、〇〇〇圓
全國	三六、七四一	五、六三七、七三三	三〇、三八三	五、七四三、一六七	二四、四〇〇	七、二四五、七五三

全國樟腦輸出國別表

	昭和二年		昭和元年		大正十四年	
印度	七、〇四〇擔	一、一六九、〇五一圓	七、三四五擔	一、四三三、二四四圓	六、一〇〇擔	一、三一〇、六八七圓
英國	二、五五〇	四〇六、八〇四	一、八九一	三五七、一〇三	三、八七二	七九六、五四五
佛國	一、三七九	三一〇、六二八	二、八五四	五六八、六九一	三、一七七	六四八、二九三
獨逸	二、五二四	五九〇、五八二	一七〇、七四三	三四〇、八三一	二、四四〇	四八五、三六三
合衆國	一五、六四三	二、二四四、二〇一	二三、五五四	四、七四〇、八四二	一四四、九三二	三一、七五七、〇四七
濠州	九六七	一八二、五七〇	二〇〇、七五八	四〇、一三四	八〇八	一八三、三〇四
其他	二、八四二	六六八、四九八	二、八四二	六八一、八〇七	三、一三三	六六六、四七三

計　三六、七四一　五、三二七、七三三

輸出の四割までは米國へ向けられ、印度二割英國八分と云ふ順序で米國、歐洲向のものはセルロイド原料として需要されるもの大部分で、印度は多少趣を異にし、薫香料として宗教儀式に使用されるものが多い。

他に樟腦油として二萬二千四百八十八擔、六十七萬二千百二十一圓の輸出を見て居る。之も大部分は神戸港より輸出される。今神戸港について見るにその主なる仕向先は米國の一萬四千八百七十擔、四十六萬四千六百八十二圓、獨英、香港等である。

昭和二年神戸港樟腦油輸出表

支那	四九擔	三、三九圓	香港	一、二九四擔	三一、四九圓
印度	八九六	二〇、三三	英國	一、九五	四〇、五二五
佛國	三五六	一八、六九六	獨逸	二、三六	五七、四六〇
合衆國	一四、八七〇	四六四、六八二	豫州	四二九	一二、六四六
其他	二八六	九、〇九七	合計	三、三二	六六八、二八

臺灣からの樟腦輸出高は約一萬二千擔樟腦油として三千六百擔ばかりで輸出先は内地よりのと同じ事で移出されるものは樟腦として一萬擔、樟腦油として四萬擔ばかりである。

内地狀況　戰時中一時一千二百萬斤近くの生産を見た樟腦生産高も戰後經濟界の不況により多少づゝ減少し今日八百萬斤を生産しつゝある。その中三百萬斤は内地産で五百萬斤は臺灣産と見る事が出來る。最近五ヶ年間の生産統計を見るに次の如し。

日本樟腦生産高

	臺灣	内地	總計
大正十二年	六二萬斤	一三四萬斤	七三六萬斤
同十四年	四五六	三六七	八二三
昭和二年	五〇三	二七七	七八〇
同十三年	五二四萬斤	二六六萬斤	七九〇萬斤
昭和元年	四八八	二九七	七八六

相場は割合に冴えず年初百斤二百十圓見當を稱へて居たが尚八月頃までは二百圓臺に留まつて居たが八月中頃からガタ落ちで年末既に百五十圓を稱へるに至つた。之が原因については米國へ這入る獨逸合成物の値段引下げにつられての下落と見られて居る。

現今樟腦として供給されて居るものを大別して天然、合成兩品に分つが、その中天然品は殆んど日本品が世界の需要を獨占して居る形で多少支那方面からも出されるが問題外である。合成樟腦は獨逸品が最も優勢である。世界樟腦需要總額一千百萬斤の中八百萬斤は天然品で後の三百萬斤は合成品と推定されて居る。

獨逸、佛蘭西、伊太利、スペイン、英國方面に於ける樟腦合成は年と共に盛大で獨逸は年三百萬封度以上を輸出し四百萬封度以上の國内消費をなし、佛國、伊太利等は自家用或は國内用に過ぎないが何れも年産二、三百噸を出して居る模樣である。

合成樟腦が如何に發達したかは樟腦の一大消費地たる米國貿易統計を見れば其關係が一目瞭然である。

米國樟腦輸入統計

年次	天然樟腦(精、粗製共)		合成樟腦	
一九一五	四、八六六千ポンド	一、四〇五千ドル	一六ポンド	三ドル
一九一六	六、九七九	二、一三五	—	—
一九一七	二、一五八	四、〇五五	四六九	一七四
一九一八	四、七四四	二、二五三	—	—
一九一九	四、一二〇	三、〇七九	—	—
一九二〇	八、三四〇	四、三五九	一六千ポンド	三九千ドル
一九二一	二、九八八	二、二四七	二三五	二三五
一九二二	二、二五五	二、二四四	—	—
一九二三	四、四九九	三、六四四	二五五	一八三
一九二四	三、一五五	四、七七七	四六〇	二七六

一九二五	三、六三四	六八二
一九二六	三、八一〇	一、二七七
一九二七	三、三二一	一、三三七

合成樟腦は一九一五年僅に一六封度其の價三弗輸入されたのみである。然るに一九二七年には約二七五萬封度其價約一三三萬弗約一三ケ年間に數量として一七萬倍價格に於て四四萬倍の增加を示したのである。此の數字のみにても合成樟腦工業の近年に於ける隆盛振りを窺ひ知ることが出來る。

現今の所では內地に於ける生產原價の遞減に努力せる爲、價格も相當安價にて品質的に天然品に多少劣れる合成品に對して優勢なる立場にあるが將來合成品の品質改良と生產費遞減は天然樟腦をして現狀に晏如たらしめないであらう。

石鹼

輸出狀況　輸出石鹼の重なるものは化粧用石鹼で、支那、滿洲へ向けらるゝものが殆んどを占めて居る。歐洲戰後歐米の東洋市場に於ける勢力弛緩せるに乘じ支那市場より殆んど歐米品を驅逐せるかの概ありしも、今や支那中部より南方に於てのみにても三百萬圓に近き輸出を見、支那市場より殆んど歐米品を驅逐せるかの概ありしも、今や支那中部より南方に於ては歐米品の再現と、上海はじめ中部以南に斯業の勃興が商標の未だ確立せざりし日本石鹼の販路を蠶蝕して、年々輸出高の減少を見つゝあり、市場の如きも北部支那及滿洲に限られたるかの如き概あり、南部支那　南洋方面と南下するに隨つてその勢力は見る蔭もなき有樣である。元よりその原因たるものに種々あらう。或は不正品の輸出が痛く本邦品の聲價を失墜せりとも見られるが現時に於ては、內地工業保護の目的の爲に設けられたる關稅が石鹼の原料たる牛脂及香料に相當多額にかけられ、就中香料生產原價のまゝ二、三割に及ぶと云ふ石鹼原價に大なる影響を及ぼし、地の利を得たる、滿洲及北支那に於てのみ、諸外國品との競爭可能なる現狀であるとと見るべきではなからうか。

本年度化粧石鹼輸出高百四十一萬打、百五十四萬で昨年度百四十六萬で昨年度百六十五萬圓に比し、數に於ては五萬打の三分五厘の減少に過ぎなかつたが、價格に於ては九萬圓、五分五厘の減少であつた。其他の石鹼に於ては昨年度の四十八萬斤が本年度は二十三萬斤と半減して居る。支那への輸出高は六十萬四千七百圓で昨年の七十五萬八千四百圓に比し十五萬三千七百圓の減少、關東洲へは七十九萬七千八百圓で昨年に比し七萬圓の減少で香港向は三萬圓はかりの增加を見た。

全國及阪神兩港輸出表

		全國	大阪	神戶
昭和二年	化粧用	一、四一〇、二〇五打	一、二七九、三四八	三五、三九〇打
	其他	二三四、六八一	四五、一八七	八二、三六六
大正十五年	化粧用	一、四六四、〇三九	一、三四九、三二八	一九八、四一五
	其他	四八一、六二一	—	三六、一五一
大正十四年	化粧用	一、六九七、〇五〇	一、六七一、〇四八	一六三、五六〇
	其他	一、九〇三、三五九	—	一、八一四、八九三

化粧用石鹼

		全國	大阪港	神戶港
支那		五六七、四〇二打	五六一、〇九六圓	九、六九八打　九、九八八圓
關東州		五五四、二二五	六九九、三八三	二九三　四三〇
香港		三五〇	六〇六	一〇七、七四四　六四四、六四三
印度		一、七〇五	二、七一〇	一九、三九六　一四四、二一〇
海植		一、七二四	三、八五三	一六、八五〇　一三、八四〇
蘭印		三五〇	七五六	三三、五六〇　一三、九四〇
アロ		六、一七九	八、八五六	— —

計　一、三三六、八六　一、三九九、三四八

右の總計表にも現れたるが如く化粧石鹸輸出の八割まで大阪港より出、神戸港は之に亞いで居る。洗濯石鹸は神戸港が重で大正十四年の如きは全國の九割までを出し、昨年は全國の五割、本年は全國の四割を出して居る。神戸港よりの洗濯石鹸の輸出がかくの如き推移を來したるは同地に於ける日本リバープラザース株式會社製品が支那方面向洗濯石鹸として年々重きをなして居たのであるが大正十五年末に上海に引擧け、同地に於て支那向洗濯石鹸の製造を開始し、之を引繼ぎたるベルベット石鹸に於ては殆んど前工場の生產を停止し居りしが如き狀態にて、爲に神戸よりの洗濯石鹸の輸出が著しき減少を見たるものと見る事が出來る。

　内地商況　生產必需品としての石鹸は年々その需要と共に生產を增加し、大正十五年七月以向昭和二年六月に至る一ヶ年間の生產額は大約二千三百十三萬圓で前期に比し九十二萬圓の減少を示しては居るがその中リバープラザース會社の生產不能による兵庫縣下に於ける減產百四十萬圓を度外視する時は却つて前期に比し約五十萬圓の增加で、數量よりすれば本年は原料の低下と同時に製品の市價も前年に比し、一割乃至二割方の下落であつたから相當の增加を見た次第である。

　原料牛脂、椰子油、硬化油共に何れも前年に比し二、三圓方の下落であつたが製品としては市場の如何により値を高下するの困難なる立場から表面的にはあまり値下りはあらはれて居ないもの、景品其他の出費として一割乃至二割を見ねばならぬ狀態で探算狀態は普通であつたらしい。

　輸出物に於て統計に表はれたのみでは數量の三分五厘減に比し、價格が僅か五分五厘減で前述せる如く原料内地市場安に思へば探算狀態が割合に良好であつた樣であるが、あたかも内地に於て景品其他の出費がありし如く、この方面に於ける探算狀態も亦内地同全である。

　海外狀況　支那にては上海、北京方面に於て石鹸工場が年々增加の趨勢にあり、今又英國リバープラザース會社が神戸に於ける工場を上海に移轉するあり支那に於ける斯業は今や日本に於ける明治中期の概があるが、どちらかと云へば現今支那に於ける製品は、低級化粧石鹸或は洗濯石鹸で、高級化粧石鹸の如きは技術的に未だ多量に生產されるに至らない。一面支那に於ける石鹸の需要は年々增加しつゝあり或は年々平均一割見當の消費增加を示すとさへ云はれて居る。日本内地に於ける斯業が年々その製造高を增すと共にその品質も改善の後歷然たるものあり、今や世界何れの地に於ても、何れの國の製品とも品質に於て劣る事なき現狀よりすれば、支那に於ける高級石鹸市場を獨占する事はあながち無理な事もあるまいと思はれる。たゞ化粧用外石鹸の輸出が年々減少するの事實は、之等が安價なる爲到底支那に於て競爭する事の出來ない事實を示して居るに過ぎない。機械力の應用に俟つ事大なる斯業は、高級品と云へども支那に於ける將來に就ては晏如たるを許さず、今に於て支那人の嗜好を指導し、日本品としての立場を確立しなければならぬと思ふ。一般に支那人は實利性が强く、安價にして永保ちのするものを好むが、又その反面に强烈なる刺戟を求むる事を考慮せねばならぬ。

　南洋印度方面に於ては英國のリバープラザース會社製品、米國のコルゲート會社製品等相當强固なる地盤を有し日本品は壓倒さるゝ傾向にあり、この方面に於ける販路は現今に於ては製造原價の高き關係上あまり開拓されて居ないが、該地方に於ては氣候の關係上水浴を探るとか、或は印度に於ては宗教的に動物油脂よりの石鹸をあまり歡迎せぬ等、その地方民情をよく調査して、之に適當せる品物を送る樣にすれば相當未來はあるものと思はれる。

魚油及鯨油

　魚油こそは日本の特產品にして、内地五千萬斤、朝鮮五千萬斤、計一億萬斤の莫大なる生產高を有する。その中本年度輸出總額六十萬四千百五十一擔、七百四十八萬四百六十三圓で、前年度に比し數量に於て約二十七萬擔八割八分價格に於て三百萬圓、七割の增加であつた。之を最近三ヶ年間につき對比して見れば次の樣である。

魚油及鯨油輸出表

昭和二年	全國 六〇四、一五一擔 七、四八〇、四六三圓	神戸 三〇、八二擔 三、一四五、九八圓	大阪 九、〇三〇擔 一三二、三三四圓

昭和元年	三三〇、二六八	四、四五五、八八	一、一九七	三四四、七二六	三三五、一五七
大正十四年	二五二、八九五	四、三七、二六八	一、六四六	三五、七七九	三三〇、八三

即ち本年度は前年度に比し九割近き輸出増加を見て居るが之は主として、四月以來の財界の不安による内地需要減退と、産地の豊漁による製品安による海外の注文殺到の爲であると思はれる。

神戸港は全輸出額の七割を出し、横濱が二割、大阪が一割位の見當で、その輸出先は、昨年あたりまでは獨逸へ五割以上六割も出されて居たが、本年は確たる統計は手に入らないが五割位は米國へ向けられた樣子である。

今神戸港の統計について見るに

神戸港魚油鯨油輸出國別表

昭和二年		昭和元年	
支	三〇、一六四	八、七四	三三五、三八五
英	四六、〇五九	六七、二四七	一六、一五八	二三五、一二三
獨	四七、五二八	六三五、五八〇	二〇一、一〇七	一、四〇三、三六四
伊	一四、〇四三	二四六、八六六	一、〇六〇	一六、〇一八
和	一三、二八六	一五四、一五二	二、二二五	一六〇、七九
丁	四一、〇九七	五六六、〇〇〇	一、七四七	二三、〇四〇
合	一九六、四二六	一、九四八、二六〇	六〇、八八八	六六、一、七三
濠	三三、一七九	二六二、五六六	一四四、四六四	一七三、九四七
計	四三〇、〇八一	五、一四五、九一八	三、〇七〇、八一三	

内地狀況　北海道は各種魚油の生産地として古くより最も重要なる地位を占め、その漁獲高は市場を左右するの有樣であつたが、關東の大地震以來、潮流の關係によるものと思はれるが朝鮮に於ける鰮、鰊の漁獲量は頓に增大し、昨今は年七百五十萬貫の魚油を生産する有樣で昭和二年度朝鮮より内地向移出高も七百四千五萬六千貫（四千六百五十七萬六千斤）の高に上つて居る。昭和二年度朝鮮の漁場は近年になき豊漁であつた事と、四月に於ける財界大恐慌による影響は漁油の市價を極度の不利に導き四月より五月へかけて殆んど暗黑的相場を出し取引も殆んどなかつたが五月以來海外取引も旺盛となり、相場も多少立直つたわけである。即ち鰮油について見るに年初一罐二圓二十錢位であつたが三月二圓六十錢位を稱へられた、四月には二圓十五錢位となり然も相場あつてなきが如く取引も不能であつた。五月二圓二十五錢位で海外商談もボツ〳〵初まりかけたが、八月より九月にかけては二圓五十錢より二圓七十五錢位で輸出も主としてこの間に取決められた樣である。年末は二圓六十錢位で終つた。鯑は鰮に比して約五十錢高であると見て差支へあるまい。

魚油を各種類別にして、その生産高を知る事は出來ないが、鰮油六割、鯑油二割、鯨油一割、鮫、鱈其他一割と云ふ見當であらう。

魚油生産總額一億萬斤としてその六割は輸出され、殘り四千萬斤の九割までは硬化油原料となり他はボイルド油等に費消されて居る。

除蟲菊

輸出狀況　本年度輸出高は六萬八千三百五十九擔、三百六萬七百三十七圓で昨年度に比し數量に於て一千十一擔の增加であるが價格に於ては四十四萬七千三百六十五圓の減少であつた。その輸出先の主なるものは米國で年々全輸出額の九割以上を入れて居る。之に次ぐは英國、佛國、加奈陀、香港、濠洲では何れも米國に比すれば僅少である。

最近三ケ年輸出表

	全國	神戸港
昭和二年	六八、三五九擔　七五九圓	六八、三五七擔　三、〇六〇、三八七圓
昭和元年	六六、三四八　三、五〇八、一〇四	六六、二六五　三、三〇四、六〇三
大正十四年	五五、六九八　三、七二一、二三六	五五、六九八　三、七二一、二三六

即ち日本輸出の殆んど大部分は神戸港を經て出されて居るわけで神戸港よりの國別輸出先を見ればその大略を知る事が出來る。

神戸港國別輸出表

支那	九六擔	三、七九四圓	
英國	九九六	三〇、九八三	
米國	六三、〇〇四	二、八二四、五四九	
濠州	一、三二三	六八、三一四	
香港	七七〇	三五、五四四	
佛國	一、〇一六	四六、四七七	
加奈陀	一、一六三	五〇、七五六	

本年度生産狀況は昨年度の生産過剩により、近年になく貫一圓五十錢の相場を稱へし爲、生産者は作付反別を減じ肥料の手控へ、旱魃等の爲約二割方の減産を傳へられて居る。兎に角昭和二年度除蟲菊生産推定數量は百七十萬貫見當で昨年度からの在荷二十二三萬貫と併せて百九十五六萬貫の供給量であつたと云はれて居る。內地市況は、昨年度の增産により一時非常なる低落を見たが、本年の減收を見越して一時戻した、然し本年に入つて大手筋の投物現はれ四月頃には百斤二十七圓頃まで下押し、七月三十一圓を稱へられたが尙賣惜しみの傾向で年末多少戻した樣である。ダルマチヤ除蟲菊　ダルマチヤは除蟲菊産地として世界に有名で本邦と競爭的立場にあるが本年度產額は各種取混ぜ總計五百乃至六百噸と見積られて居る。

紡績機

輸入

	全國	大阪港	神戶港
昭和二年	一五六、二六四擔	一五二、一三三擔	六六、五四二圓
昭和元年	一三六、六七三	一三〇、六四四	七四、三四三
大正十四年	九六、〇三六	七、七〇七	一四、九二〇
	一〇、三五四、七五三圓	八、八六四、七〇三圓	一、三〇三、〇〇〇
	八、一六六、七五二	六、三三四、〇〇〇	
	七、七〇七、〇四二	五、四八〇、〇〇〇	

紡績事業の發展は其の量に於いても質に於いても頗る顯著なるもので、即ち大正元年は世界第十位であつたものが大正十五年には第七位に進み、又大正元年の製產品內容は太番手大部分を占めて居たが最近では精製品たる細番手本位となり、一面には半製品たる綿糸工業に甘んぜや其の主力を織布に傾く事に至つた從つて此に要する紡績機並に織機業の輸入亦逐年增加を來し本年度紡績機の輸入高は全國にて十五萬六千二百六十四擔價額一千二十萬四千七百五十三圓に上り、吾が阪神兩港において之を見るに數量千三百二十一萬七千八百七十五斤、價額八百九十三萬八百四十五圓を見、前年に比して二百七十萬千四百二十三圓の激增を見たのであつた。

鰯附水產物

本年度海產物の總輸出高は二千十四萬圓で前年の二千二百六十六萬圓に比しては二百五十二萬圓の減額であり其主たるものは食鹽の出減百萬圓、鰯約二百萬圓、煎魚五十萬圓等を主なるものとす、就中鰯の輸出は左の通りであつた

昭和二年	一五三、三九九擔	昭和元年	三九、二三一
	五、一六七、五五四圓		七、〇三九、三三三
大正十四年	三〇二、四九八		七、二七一、三六七

即ち漸減の趨勢を辿つて來て居る。之が主要輸出港たる神戶の狀勢を見るに數量は一〇八四五一擔價格三、四一七三四五であつて前年に比し數量に於て一萬九千五百擔價格に於て五十四萬圓の減額であつた、輸出先は香港を第一とし(二一、〇五四一三六圓)で前年に優つて居るが海峽植民地は(八二七、六〇〇圓)前年に比し三十二萬圓を減じ支那に對しては(一〇七、一五八圓)前年の八分の一に激減し其他諸方面に對する輸出額も著減したが其市場は依然として佛印(一五九、〇九五四(蘭印)八六、五〇三)比律賓(四二、四六九)布哇(三〇、九七四圓)等を主たるものとする、大阪港よりの輸出は別項統計表の如く、何れも前年に比し減少して居ると之を全國的に見る時は數量に於て三割價格に於て二割六分の減少を示した、之れ本年は不漁に加ふるに需要不振の影響を受けて輸出大減退を示した。

水產物　に就て見るに總輸出額は二千十四萬五千圓で前年に比し約一割一分即ち二百五十萬を減じた、其主因は重要需要先なる支那に於ける年末の動亂が一般購買力を減衰せしめたると日貨排斥の結果六月以降特に七月よりは本邦品ボイコットのため商況不安を極めた、幸ひ年末に至り恢復を見たが價格より考察する時は依然不況で例年市價に比

し約一割見當の減價を示した、前記の如く鰯は其最も甚しいものであるが昆布（三、二六八千圓前年より一、〇〇八千圓減）の外鱈、鱒、鮑、乾鰕、海參等であつたが之に反し輸出增加を示したのは煎魚（五二九千圓）で三割五分の增加に當るが支那市場が安價品需要を語る證左である、此外貝柱と鮮魚具とがそれであつた。

小麥粉

本年度の內地小麥收穫高は六百六萬四千餘石で、前年に比し、十六萬九千五百石の增收になるその結果として又米繭安も伴はれて農民の金融逼迫等により出廻期に大暴落を演じ近年に於ける安値を示した。製粉會社の內地小麥使用高は近時漸減して總額の三割位に過ぎなかつたが二年度は內地麥暴落の爲、採算有利の關係に著しく增加した。

本年の外國小麥相場は、上期漸騰步調で推移し、下期は世界小麥の增收豫想で反落し、年末にかけて幾分引締つたが、一年を通觀して大體不振であつた。シカゴもボートランド小麥も略同步調で推移し、五月に高値を現はし九、十月に安値を出してゐる。前二ケ年も九、十月の交に於て底を入れたが本年も亦同樣の足取である。外國小麥が九、十月頃に多く底を入れるのは相當注目に値する、本年の內地小麥相場は新麥出廻前までは比較的高値を維持し、六月の出廻になつて農民の金融逼迫、米安、繭安等から、農家が賣急ぎの態度に出でた爲め俄然大暴落を來し、八月には六圓八十錢ぐいふ大正十三年以來の安値を現出した。其後多少引返して、年末には七圓六七十錢に反騰したけれども、なほ昨年の最安値と畧同値である。本年の製粉相場は日本製粉整理の關係で六月までは主として外麥相場の變動にのみ因つて騰落したが七月以降は內麥の暴落販賣競爭の影響が著しく、殊に十一月以降の市況急惡化は關西筋の投賣が主因をなしてゐる。市況推移の概略を述べると、一月は三圓臺で軟弱商狀二月以降五月迄は漸騰步調を辿り、五月の四圓四十二錢か天井で六月以降は內地小麥の暴落で惡化し、九月には遂に三圓八十五錢に落ち近年の安値を示した。茲に於て日清製粉と三井物產とは賣値の協約を結び松本製粉これに參加し、九月下旬三圓九十五錢以下の賣止めを申合せた。其後協定價格を二回に亘りて引上げた爲め市況は急速に立直つて來たが十一月になつて關西の小製粉會社が金融難から投賣を初めたので再び惡化し關東も關西も順應して協定價落を引下げた。併し關西筋の投賣は一時的に終り投物一巡後間もなく引締つて來た、め十二月には協定價格の引上げと相俟つて市場は漸く安定し、市價は四圓臺に落ち着いた。通觀すれば本年の製粉界は前年より更に不況であつた。日清粉と三井物產の價格協定はいはゞ、不況の產物で此協定は今後の製粉界に相當の力をなすであらう。本年の外國小麥輸入高は七百七十七萬四千擔で前年に比し三割三步の激減に當り過去三年間の最少額である我國一ケ年の外麥輸入高は九百萬擔が常態とされてゐる。昨年は常態よりも百二十萬擔少なかつた。本年の輸入が少なかつた原因は（一）前年より持越原料が多かつた事（二）日本製粉の外麥輸入が少なかつた爲、外麥の需要が內麥に轉化され事等に因る。製粉會社は本年も引續き操短を實行し、日淸、日本の兩社は既述の如く四割の生產制限を行つた。それでも尙ほ能力の過剩を免れなかつたのであるが、日本製粉整理と日淸製粉の輸出とによつて、それを緩和し得た事は前述の通りである。本年の製粉製造高は（水車製粉並に小製粉會社の製造をも合せて）三千六百七十萬袋と概算せられる。前年に比し、百六十萬袋の減少である。本年は前年より能力が增加してゐる上に操短率が一割程緩和されたので生產高は增加する筈にあるに拘らず反對に右の如く減少したのは日本粉の生產高が激減した爲に外ならぬ。本年の製粉輸出高は三百三十七萬九千袋で前年に比し、百十七萬袋の減少してゐる。これは從前多額の輸出を行つてゐた日本製粉が整理の結果輸出の餘裕を失つたためでそれにしても此程度ですんだのは日淸製粉が新規に輸出を始めたからである。日淸粉の本年度輸出は二百五十萬袋に上り、總額の八割近くを占め殘る二割が日本粉、增田の輸出である。輸出市場に於ける日本、日淸の地位は全く轉倒した。尙本年の製粉輸出に於て注意すべき點は從前の輸出が一種のダンピングであつたに對し昨年は一袋十一錢位の利益を擧げたことである。これは日淸が獨逸式の集約的製粉機械を用ひ、特殊の原料を使用したゝめにも因るが一面製粉技術の進步經營の合理化等も與つてゐる。兎も角、これまで採算不引合にあつた製粉輸出に對し日淸製粉が相當の利益を見得るまでに漕ぎつけたのは成功ぐいふべきである。本年の製粉輸入高は八十九萬七千袋で前年に比し、五十七萬袋を增加してゐる。これは內地の製粉市價が一時外國粉より割高を維持したゝめ黑惡筋の輸入を促した結果である。製粉の內地消費は近年殆んど增加せず本年の消費高は三千四百萬袋で前年と大差ない、消費の增加しないのは粉價の騰貴にも因るが主因は不景氣の影響である。

麥　酒

昭和二年の麥酒界は前年來の不況を承け能力の大過剩を示すに至つた。これを販賣高の九割を占めてゐる麥酒建値協定の三社について見るに、三社の釀造能力は合計百二十六萬石なるに對し三社の實際釀造高は七十一萬千石で總能力の約五割八分にしか當らない。三社は種々な名目に精口し景品を添付する等激烈なる販賣戰をしたが、景品添付は結局明に建値協定の主旨を沒却してゐるが麥酒賣行不振の際に於て競爭の一手段として一時は盛に行はれたものである。これさいふのも畢竟各社が麥酒界の大勢に逆行して增產計畫を進めた祟りである。如上麥酒界の需給狀態は著しい不權衡を示してゐるのに日本麥酒鑛泉の西之宮工場は二年末に竣成し、更に年產十萬石の能力を加へたから、本年は一層不權衡の度を加へた、麥酒釀造高は大正十三年を最高記錄とし、爾來年と共に減少する許りで昭和二年は概算七十八萬石に過ぎなかつた。其內建值協定三社の釀造高は七十一萬千餘石に上り丁度九割を占めてゐる。建值協定三社中昭和二年に於て釀造高の增加したのは麒麟麥酒だけで他の二社は何れも減つてゐる。麒麟麥酒の釀造高增加は年初以後販賣組織を變更して自家直營としたト販路開拓の爲積極方針を以て進んだからである。別表は建值協定三社の釀造高を比較したものである。

麥酒釀造高(單位石)

		大日本麥酒	キリン麥酒	麥酒鑛泉	合　計
十四年	上期	二九六、八七一	一〇一、一〇二	三九、五七二	
	下期	二三五、六二四	二七、五三三		七三四、〇六一
十五年	上期	三二一、五〇	一〇三、六九三		
	下期	一四四、五六七	五八、一八四		七二六、三三八
昭和二年	上期	二六四、一九九	二六、七六〇		
	下期	一八四、〇三七	六三、一四四	三九、九三七	七二一、一八八

麥酒の輸出先は大部分支那沿岸、南洋方面で需要者の多數は該方面に在住する邦人が主である。從つて其數量も太

したものではない。昭和二年中の輸出高は近年珍らしい多額に上つたが、それで尙ほ四萬石に達せず釀造高の約二十分の一しか當らない。三四年以來麥酒釀造力は大過剩を示してゐる、然も輸出向きには戾稅の奬勵があるにも拘らず輸出の甚だ振はないのは全く外人に對する宣傳不充分にあると思はれる。

(大正十二年)二三、七〇八石(同十三年)二一、三八七石(昭和二年)三九、四四三石

(備考)　昭和二年輸出高は、十月までの實數を本とした推定である。又小壜一ダースを二升一合六勺大壜一ダースを四升三合二勺として換算した。

輸出狀況　本年の麥酒輸出額は四、二四六圓(前年二、五四三圓)で主たる市場は支那(二、〇三九千圓)關東洲(六二九千圓)英領印度(四九七千圓)蘭領印度(四二七千圓)香港(三一四千圓)海峽植民地(二五七千圓)其他(八二千圓)であつて各地悉く增加して居るが就中支那は約三億(前年七三一千圓)に達した、總額に於て前年の六割六分增しに當つて居る、之れは列國駐屯軍隊方面の需要に應じたる結果と見られて居るが然し嚴寒輸出年度大正八年の七百二十萬圓に比しては二分の一を超えたる額にすぎない。

精　糖

本年本邦糖況を顧るに上期の內地市況は大體海外主要市場の不振に從ひ、漸落步調を辿つてゐる。內地糖價は十五年暮から活況を呈し、一月十日大阪長期先物は、前場中廻に十六圓十九錢と市場開始以來の高値を付け、納稅現物亦十九圓九十五錢に騰貴した。然るに其後は海外市場が一齊に落潮に轉じたのと、內地需要不振の爲め一月中旬以後は次第に低落して、二月十八日砂糖會社の間に內地砂糖協賃が成立しても、殆んど無關心の有樣であつた。加ふるに三月になり大正十五年度の產糖が聯合會の豫想よりも三十萬擔增の七百五萬擔と報ぜられ、次で四月には未曾有の金融恐慌襲來し市場人氣を一層萎縮せしめ了つた。處が七月十七八日頃から日糖を背景とする大手筋が買占に取かゝつた此がため、市況は急に好轉し大阪長期先物は、七月二十七日十五圓を突破し、八月五日大阪長期先物は、十五圓九十

三錢、納稅現物は二十圓丁度迄暴騰した。九月以後は殆んど日糖系買占團の仕手關係で、全く需給關係とは別に相場は騰落し年末大阪長期十二月限は十六圓三十七錢と昨年の最高値に暴騰した。反之九月より賣出された昭和二年度糖即ち新糖二月限りは世界糖況に比し、約二圓以上の安値をもつて終始した。次に精糖を見るに一月七日環境の活況により二十四圓七十錢まで騰貴したが分密糖の不振、不景氣の深刻化せる影響にて爾後急落し、一月末には二十三圓七十錢となつた。其後六月九日に糖業聯合會は二月に決定せる精糖及び耕地、白糖の供給總數を更に一割減に改正し、翌十日水曜會は精糖二十四圓以下賣止めを聲明し、多少の好轉を見る迄は、全く閑散保合の裡に過ぎた。然るに七月末に至り、前記の如く分密糖の硬勢に轉じたるとき、品拂底、地方實需の季節的買付等により漸騰保調となつた。併しそれも一時的に過ぎず再び頽勢に轉じたので、十二月十五日、一月迄の供給額を更に一割減じ次期へ持越す事とした が、市況には殆んど影響なかつた。處へ廿四日、日糖が二萬七千擔協定外の朝鮮より逆輸入したことが判明したので市況は頓に惡化し、年末には遂に廿三圓丁度となり、昨年の最安値に崩落した。

精糖輸出　本年の精糖輸出高は二、六三一、〇五七擔二八、九一七千圓で主として支那（二、六八二千擔、價格二四、六一九千圓）關東洲（二二九千擔、二、四五九千圓）露領亞細亞（七九千擔、一、六一二千圓）其他（九二千擔、二二八千圓）に出したが前年に比して數量に於て一割二分價格に於て一割五分（五、一一九千圓）を減した。これは前半期に於て一割二三分の增加を示したるに係はらず後半期に於て相殺し更に漸減した。之れ山東出兵と共に排日險惡とし均單價は十圓九十九錢（昨年の十一圓三十三錢）にすぎず、前年より三割內外の下落を示した。

主因は前記の如く支那輸出が著減し前半の增加も後半に於て相殺し更に漸減した。之れ山東出兵と共に排日險惡とし なり上海を中心とし輸出旺盛期に於て却つて不振を極め、八月以降多少緩和したるも對本邦商自由敗引を許可せざりしため香港物瓜哇物の商談旺盛なるに引かへ減退一方に向つた。北滿關東洲方面も亦奉天票下落のため不振をつゞけ此の不成績を示したものである。

輸入品彙報

牛皮及水牛皮

輸入狀況　吾國牧畜業は未だ幼稚にして現時日需品として旺なる需要を見つゝある皮革工業用原料皮の供給は內地產牛皮によつて充す事は九牛の一毛にも等しく、年々歲々多量の原料皮を輸入して居る。就中吾國に於て最も盛に鞣皮されつゝあるボックス革、調帶用革、靴底革用としての牛皮、水牛皮の輸入は莫大なるもので昨年度は一千二百五十萬圓以上の輸入を見たものであつた。本年度は四月以來の財界パニックによる爲替の暴落と世界的原料皮拂底による原皮騰貴の影響を覿面に受け、昨年まで年々增加の趨勢にあつたものが本年は十八萬四千八百七十九擔、七百九十七萬九千圓と云ふ激減せる數字を示した。

最近四ヶ年間の輸入高を示せば

		金額	數量	金額
昭和二年	一八四、八七九擔	七、九七八、九三二圓	七、九二〇擔	一、九六八、六三七圓
大正十五年	二六三、八二六	二二、五五八、三八一	一二八、五一三	四、五二三、六〇六
大正十四年	一五三、一七六	八、一九二、二八八	一七〇、五〇九	一、三二二、三二九
大正十三年	一八三、七三三	七、八八〇、〇八六	一七二、六九二	二、四四七、〇〇〇

之が仕出地に就て見るに支那、米國、英印、亞爾然丁、濠洲、英國等で昭和元年度支那五割、米國三割五分、英印三分五厘、亞、濠、英は各三分內外で本年も大した相違はなからう。

牛皮相場　昭和二年度に於ける原料皮の昂騰振は實にすばらしいもので、之は主として世界原皮供給不足に負ふ所最も大なるものである。今之が一ヶ年間の狀況を見るに

牛皮相場表（鹽皮一オンス）

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
北米産（F、O、B）	一四仙	一三	一三	一四、五	一五、五	一七、五	二〇	一八	二三	二三、五	二三、五	二四
內地産	三三錢	三一、五	三一	三三	二七、五	二七	二七	二七	二六	二三	二三、五	二六

前表に見る如く北米物は月々非常なる昂騰を續けつゝあり、爲替の不利と相俟つて相當の高値であつた。一面內地産牛皮相場は年初に於ては北米物等の上等品に比し割高であつたが、四月以來の大恐慌は內地牛皮をして世界の相場に追隨せしむべく、あまりに金融梗塞され、却つて下落の現象を見、外國原皮との間に非常なる値開を生じ、爲に內地牛皮が非常なる勢にて消化されたる模樣である。

海外狀況　支那に於ける水牛皮輸出高は一九二六年四萬五千擔、百十三萬海關兩、一九二五年三萬八千擔、百二萬海關兩であつた。牛皮の方は一九二六年十九萬八千擔、六百八十九萬海關兩、一九二五年十九萬三千擔、六百五十九萬四千海關兩で之等輸出先は日本向四割、英國三割、佛國一割三分、獨逸、伊太利、香港が一割內外である。日本向の積出を港別に見るに漢口、上海が大部分を占め山東方面からは僅少である。

米國に於ける最近の屠牛數は次の如くで一九二七年度に於ては多少の減少を見た樣である。即ち

	牛	犢牛
一九二五	一四、六六、〇〇〇頭	一〇、〇九、〇〇〇頭
一九二六	一四、九七、〇〇〇	九、五四三、〇〇〇
一九二七	一四、〇〇〇、〇〇〇	九、〇三〇、〇〇〇

米國に於ける牛皮類貿易統計は左の如くである。

輸入

	一九二六		一九二七	
牛皮	三、三四〇千枚	三、〇九三千弗	四二、三五九千圓	
犢牛皮	七、一一〇	一〇、四三三	六、四五六	一、四七一
計（其他を含む）	三六八、三七六封度	九六、八二一	四四七、一四二封度	一二二、八四六

輸出

	一九二六			一九二七		
	總額	日本向	加奈陀向	總額	日本向	
牛皮	一、〇九三千枚	六、七六七千弗	一、六七千枚	六二六千枚	五、九四三弗千	二八
犢牛皮	七五九	二、〇三七	四五	三九八	一、三九	三、三三

印度に於ける牧牛數は一九二四年に於て一億八千萬頭、緬羊八千七百萬頭と計上され、同地に於ける皮革業は相當の生產能力を有し、印度政府に於ても斯業に力を致して居る關係上年々隆盛に趨きつゝあるが生皮として輸出する量は一九二四——二五年に於て六千七百萬留比に達して居る。その中英國向が大部分の九割を占め、吾國へは六分弱を入れて居る。その他米國、伊太利へ多少づゝ出るが現行稅率のある以上は殆んどが英國へ向ふ事は止むを得ない事である。

南米に於ては亞爾然丁が主なる原皮供給國で昨年度一九二六年に於ける同國屠殺數は牛四百萬頭、年三百八十萬頭と計上されて居るがより以上の屠殺數を有するとゝ云はれて居る。牛皮は殆んど全部か輸出され、その輸出枚數よりその概數を伺ひ知る事が出來やう。

牛皮、犢牛皮輸出高（單位千枚）

	一九二六	一九二五	一九二四
乾牛皮	一、七四一	二、〇三三	一、四四一
乾犢牛皮	六四九	七一〇	六、五六六
鹽漬牛皮	五、五二一	五、五八八	一、二五五
鹽漬犢牛皮	一、〇五六	一、〇七五	二、七九
計	八、八四	九、四〇六	

然して之等の輸出先を見るに一九二六年獨逸向二百八十萬枚、北米百七十五萬枚、白耳義百〇三萬枚、伊太利七十八萬枚、英國の六十三萬枚等である。

革類

日本に於ける生活様式一變の氣運は益々濃厚になり、皮革製品に對する需要も年一年增加の趨勢にあり、內地革生産高も自然逐年增加しつゝある。

昭和二年度はこの大勢を持續する事と思はれたが、財界の不況による購買力の減退と一般工業家の金融梗塞による仕入手控へとによりその生産額に於て相當の減少を見た事は別項牛皮、水牛皮の輸入減及次表に示す革類輸入統計上同ひ知る事が出來る。

全國皮革類輸入表（牛皮及水牛皮を除く）

	昭和二年		大正十五年		大正十四年	
牛、馬、羊革	三〇、一〇六斤	一〇、一一、三九圓	一六八、三八二斤	五四、六八一圓	三二、四九一斤	二八、一二五圓
塗りたるもの	三一、三四二	二、六二九、二四三	二八三、八四八	二、三〇三、五七七	二七三、八一五	二、二七九、五三一
染又は着色のもの						
其他						
靴底革	一、三三八、八三	一、六〇四、八三〇	一、七四五、三四一	一、五七九、七五五	一、二六八、一九三	一、五八九、三五六
其他の牛、水牛馬革	六四四、五五六	一〇九、九三三	八四四、〇九六	一三五、四四〇	五三、〇〇八	九八、七一）
ローラーレザー	一〇、八二	一四五、八七一	二一、〇一六	三三三、八五〇	一九、五二七	三九四、一六三
其他の綿羊、山羊革	一、四六六、五五六	二、八三二、四六六	一、六八二、三二五	三、一八一、三二八	一、一〇八、九〇六	三、一〇八、二九七
其他の革類	三七四、七三三	二四五、三一三	二五七、三四三	三〇一、六三八	九四、〇六七	一四〇、五七八
革製品						
機械用帶及管	四二、二一〇	一四七、一四四	三五、九三〇	一三五、六四一	三三、一四五	一四七、二六一
帽子用裏革	三七、一八三	一四三、六九八	六二、三三三	四六四、〇九八	六一、一三七	五三三、五三〇
其他	—	—	—	—	—	五四、〇〇〇

全國革類輸入國別表

	昭和二年		大正十五年		同十四年	
印度	九六六、六六九斤	二、三三四、二〇六圓	二、三〇九、一六四斤	一、〇四四、一三四圓	二、七四一、四七四斤	一、〇七七、六三〇圓
海峽植民地	三、五八八	九、五八三	一、六六二	五三三	三三、三〇八	六三、〇六六
英	二四五、四四九	七五五、二七七	三八三、九二六	一、一四九、四二一	一七一、二〇〇	七五九、五五五
獨	四〇、二九五	三二、九八〇	二七、八四一	一九九、四二一	二一、四三七	一九四、二一三
北米	一、九四三、八五一	五一、〇八三、八四四	四、一九九、四五九	一、五七四、四六八	三、七八八、五九八	六八、八五五
其他	八四四、〇七四	一七三、九二三	二六、一四二	九三、七二三	二一、三三三	二、八五〇、〇〇七
計	三、二七五、九二六	七、六六八、六五五	四四、九二七	一、八五八、四九七	六一、三七二	七、六三八、七九一

革類阪神兩港輸入表（昭和二年）

	神戸港			大阪港		
	數量	價格		數量	價格	
牛、水牛、馬綿羊、山羊革						
主要仕出地						
（米）	一三、八八一斤	四二、七六一圓	（米）	三、九一〇斤	一六、一四八圓	
塗りたるもの	一五六、一三一	一、三九、五五八	（米獨）	一四四、七四三	一〇八、一〇一	
染又は著色したるもの	一、三〇八、七四〇	九八三、五四七	（米）	二七、二四六	二四四、六〇九	
靴底革	九八二、三五〇	四六、二六九	（英）	二、五八二	七、〇四九	
其他の牛、水牛、馬革	一三五、五〇四	九、九八七	（英）	一四〇	一、七四九	
ローラーレザー	二、七六六、八五〇	一、一三二、六二六	（印）	二、六一六	二、〇七七	
其他の綿羊及山羊革	二六六、八四三	三八、三四一	（米）	八〇四	三三七	
屑革	二八、一〇八	三八、四〇四	（佛米獨）	一四七	四八六	
機械用帶及管	三四、一〇二	四、四六五	（英米）	一、六八二	二、一五六	

內地市況　昨年末來徐々に騰貴しつゝありし皮革製品の市價は四月の財界不況によつて一時壓さへられた氣味であつたが世界の大勢に抗すべくもなく七月以降騰貴に亞ぐに騰貴を以てし、七月末日本皮革製鳳凰印子百斤百五十三圓

のもの、年末には百六十八圓見當の高値を稱ふるに至つた。これが原因は四月以來爲替安による輸入減、品薄にも起因しやうが、その最大原因は何と云つても原料の暴騰に歸せねばなるまい。之は歐洲方面に於ける需要の增加と相俟つて米國の屠殺牛減少による品不足によるもので、米國のみならず世界各地に於ける原皮の供給にも變調を來し、年初北米物にて一封度一三仙位のものが年末二四仙を稱へ、單寧劑の如きすら年初百二、三十圓位のものが年末二百圓を稱し居る有樣で製品の騰貴は止むを得ぬ所で却つて製品の價格が原料品騰貴の後に隨ひ得なかつた位である。

本年度革類相場は次表によつてその大勢を知る事が出來る。

一九二七年度革相場表

	靴底革鳳凰印象皮（二百二十斤）物	舶來黑キット	茶	靴底革鳳凰印象皮（二百二十斤）物	舶來黑キット	茶
一月	一四八	一七五	一七五	二月	一六五	三一〇	三一〇
三月	一四五	一七〇	一七〇	四月	一六三	一七〇	一七〇
五月	一五三	一七五	一七五	六月	一六〇	一七五	一七五
七月	一六〇	一八〇	一八〇	八月	一六〇	一八〇	一八〇
九月	一六〇	一八〇	一八〇	十月	一六七	一八五	一八五
十一月	一六八	一八五	一八五	十二月	一六八	一八五	一八五

海外狀況　（米國）米國一九二六年の皮革輸出は四九、八一二千弗で一九二七年には五四、〇二八千弗と增加して居る　輸出の重なるものは甲革及パテントレザーで英、獨、加、日がその重なる仕向地である。製品としての一九二七年上半期間の輸出は一一、一六〇千弗で前年同期に比し殆んど變りはないが靴の輸出のみは著しき增加で三百八十四萬足、八百十六萬弗、前年同期に比し五割五分增とは刮目に値するものがある。輸入は輸出にも增して增加して居る即ち一九二六年二八、六二二千弗のもの一九二七年三七、四三六千弗となり、その五五%まではカーフやキップの甲革で米國業界は技術的進歩の跡著しきものあるも今猶牛皮鞣革の外に出でないうらみがある。然も前記せる如く輸入共活氣ある如くなるも本年度米國業界は一般に原皮缺乏と之に基く市價の昂騰に會ひ、一方原皮高の割合に製品市價之に伴はず一般に不振でつあたと見るべきである。たゞ彼等がかくの如き內面的惱みを他にしてその鵬翼を歐洲各國のみならず、極東に於ける新市場の開拓に努力しつゝあるは偉とすべき所である。

（英國）英國の輸出にはその屬領より入つたものの再輸出も相當額にのぼつて居るから之等を差引き純輸出について見るに一九二七年一二、九四〇千磅で消費は一二、五四七千磅であつた。之を一九二六年の輸出一一、四四七千磅、消費一一、二八四千磅に比し何れも一割近くの增加で吾日本の生產輸入が何れも內地消費の爲にするものと比し面白き對照をなして居る。その仕向先は獨、米、加奈陀でその重なる品種は底革、甲革、加工革及革製品で、前三者は何れも增加を見て居るが、トランク、袋物等の製品だけは期待に反し減少を見た事は米國該製品の輸出減と共に面白き事でその原因はチエコスロバキヤ、瑞西、獨逸、佛蘭西等の革加工等にその市場を蠶蝕されつゝあるによるものと見られる。輸入では粗鞣革、鞣羊、山羊革の輸入が著しく增加し、甲革の如きも相當の輸入を見た。要するに英國本年の藥界は常軌を保持したに過ぎない。

（佛蘭西）一九二七年の革輸出量は四三、七六三、六六、三九六封度、四〇、九一一、一〇四弗で本年度は近年になき輸出高を示し一九一三年頃に比し二倍に近い。底革は極めて少なく甲革が殆んどである。仕向先は獨逸、英國である。佛國品がその市場にて好評を博して居る事はその品質、意匠にもよる事ながら爲替率の低廉なる事による製品安にも負ふて居ると見る事が出來る。

輸入は七、二七四、七三九封度七、〇三〇、七二五弗で一九二六年の九、六一七、七八七封度七、八八九、三七六弗に比し相當の減少を見た。

（獨逸）本年度輸出は五四、七〇七、三六九弗で、戰前に比し尙多少及ばないが戰後のレコードで、彼等は著々市場恢復の實を擧げると共に益々その廣き信用と爲替安を利し歐米各國は勿論、世界各地に於て歐米各國よりその市場を獲得せんとして居る。輸入は輸出よりも却つて激增し、昨年一七、三〇五、九三二弗から本年三一、九四八、〇七四弗となつた。之は主として底革類等で該製品は外國品安によつた爲である。

油　糟（附豆糟）

本年度棉子糟の輸入は百萬四千三百六十一擔、四百七十八萬五千九百一八圓で昨年度に比し、數量に於て三萬八千七百擔の增加價格に於て四十三萬四千餘圓の減少で、菜子糟は百七萬九千九百八十九擔、四百四十三萬五千六百三圓で昨年度に比し五十五萬九千七百圓、二百九十二萬五千圓の減少、豆粕は一千九百七十六萬四千六百五十八擔、八千八百七十七萬一千十八圓で昨年度より減ずる事、百三十萬六千擔、二千百三十萬六千圓であつた。

之の原因が奈邊にあるやと見るに云ふまでもなく、恐慌後の爲替相場の暴落による輸入探算點が高められ、且つ肝腎の夏肥手當期間がモラトリヤムの期間に相當するので地方の手當が相當遲れ、輸入商並びに問屋筋も昨年秋肥及本年春肥に於ける市況不活潑に業を奏して居た事とて、先物買付を極度に手控へた事と、油糟が支那の內情等に支配され、例年よりは相當の減少を見た事等による。

棉子糟

棉子糟は殆んど大部分が支那から輸入されるもので上海がその仕出地である。大正十五年九月以來、昭和二年八月に至る十ケ月間の上海積出高は板六萬七千三十八袋（一袋百二十斤入）粉六十萬七千九百六十袋（同）上で、價格は粉百斤六月の五圓四十五錢を最高に年初年末共四圓二、三十錢を稱へて居た。

菜子糟

之は支那と英印から殆んど半々に入つて來る。支那に於ける菜子糟の工場は長江筋と漢口物が相當多く、昨年度の支那對日向輸出は近年になき多量に上り、例年首位を占めて居た英印に代つたが本年に入つて年初より武漢方面に於ける動亂と、作柄不良の爲輸入は相當減じた。之が本年度に於ける菜子糟の輸入減少の最大原因と見做される。

相場は沖渡漢口物百斤年初三圓七十錢位を稱へて居たがヂリ高で五月四月を稱へ又多少低落したが年末四圓四十錢位を稱へた。

豆　粕

豆粕は日本への輸入肥料中の大宗で大正七年に於ては各種輸入肥料中豆粕はその七割四分五厘を占め其金額八千五百八十四萬圓でその以後豆粕の輸入は年々增加したが、輸入肥料總額の增加も著しく同時に同窒素肥料として含窒量に比して割安にして使用便利な硫安に蠶蝕され大正十四年に於ては五割六分九厘昭和二年度ば五割四分一厘と年々減少しつゝある。

豆粕は主として滿洲產のもので大連港積出物がその大部分を占めて居る。そも〳〵滿洲に於ける油房中比較的進歩せる設備を有するものは大連と哈爾賓とで、其他安東、營口にも多少はあるが何と云つても勢力のあるのは大連　哈爾賓で自ら二大分野をなして居る。今までは大連油房業は全滿に於ける斯業の半ばを占め中樞をなして居たが哈爾賓油房は露國の浦潮港貨物蒐集策としての東支鐵道貨物運賃秘密割引に保護されて自然生產方面に有利な立場となり近年著しくその生產額を增加し來りつゝある際、たま〳〵昭和二年度には東三省官憲が特產買占めによつて大豆價引上策に災され大連豆粕生產は相當の打擊をかうむつた。最も年初に於ては昨年末來の好況の後をうけたると官銀號筋が一月半から大豆を市場で賣出した爲探算が引合ひ上半期は二千五百六十萬枚と新記錄を作つたが下半期に入つて官商筋の買占め惡辣を極め未曾有の悲境を現出し、終に昭和二年度二千八百九十六萬枚と云ふ激減を見た。一方哈爾賓の生產高は愈々その生產力を增し絕好の機會をつかめるの觀があり本年度浦潮港豆粕輸出高は前年度に比し約三割の增加を見るに至つた。今浦潮港積出と大連港積出豆粕につき本船渡の値段を此較して見るに常に浦潮物が一枚につき七、八錢方割安で甚しきに至つては十五六錢の開きをすら見ると云ふに至つては大連、哈爾賓油房業の近來の狀態も推知する事が出來やう。

內地市況　本年度豆粕の市況は一般肥料と等しく漸落したが六月頃には農家の買進みの爲意外の高値を現出したが何分滿洲大豆の作柄良好が傳へられ、圓價の恢復と銀價の硬調とで以後あまり香しからず。九月には一圓九十一錢の安値にまで落ちた。然し、一時先安見込で農家の手當も多少遲れて居たのか需要期に入つて急に買付けたによつて、九月中旬以來多少反撥を見、年末多少弱含みの一圓九十五錢で越年した。

硫安（附肥料界）

本年度硫安の輸入を國別に見るに

	昭和二年	昭和元年	大正十四年
關東	三九、四三七噸	一五、三八噸	三一、五五七噸
印度	八、四六五	一	八、二一、六六八
英國	一、〇〇九、七三三	六四〇、五〇五	四五一、四九〇
獨逸	二、二七四、二〇八	二六、九七六、三六五	四、六一六、五六一
米國	一、一四五、三四二	九、七六三、五二四	一七、一八一、一八一
濠洲	六七九、〇四五	七四二、三五九	八、九四四、九四五
其他	八五、九六一	六一、〇七二	三五九、三三七
計	一二三、五四六	一、〇一八、七八三	一三四、六四九
	四、九三二、七八	四四、九六二、二〇五	三二、一八四、九六二

で獨英米から殆んどを輸入して居る形で、本年度獨逸よりは二百二十七萬五千擔で昨年に比し六十三萬八千擔の大減少にあたり、英國よりは百萬九千擔の著しき減少を見た。總體に於て硫安は前年より七十六萬七千擔の減少を見たが之は主前年よりは、四十六萬六千擔の著しき減少を見た事が出來る。一方米國よりは六十七萬九千擔と三十三萬擔の增加であつた。一面英國硫安の增加は日本プラナモンド社の販賣方策の成功せるこして獨逸硫安の減少に負ふ所と見る事が出來る。之を港別に見るに神戸と横濱がその殆んどを入れて居るものと云はれて居る。

神戸港硫安國別輸入表

	大正十三年	同十三年	同十四年	昭和元年	同二年
支那	三、八一八ピクル	二六、二一一圓	四、二三五圓	三六、二五〇圓	
關東	二二、四一三	一〇五、五八三	二七五、八二四	二七、四八三	
印度	八、四六五	六七、四〇〇	六一、七五四	五一、三八	
佛印	一、六九三	一二、〇〇〇	三〇五、四九〇	二、三六九、八三七	

	大正十三年	同十三年	同十四年	昭和元年	同二年
英國	四〇三、二四五噸	三一、九三、八四七	三、二五〇圓		
獨逸	一、〇九一、九六六	八、三九三、五三七	二九九、八八八		
白耳義	一、三五五	一〇、四〇〇	一、九二八、九六八	二四、三五〇〇	

硫安は窒素肥料中、他の豆粕、智利硝石等に比し、使用法簡便なのと、最近に於ける含有單位窒素に對する價格の低廉なる爲、非常な勢で使用される事となり、輸入も年々增加を示し、同時に內地生產も年々增加の趨勢を見て居る。之を最近數年間の輸入狀況について見るに積出國は獨英米でその他は極めて少ない。

	英國	米國	加濠	計
大正十三年	六〇、三〇〇噸	七九、四八一噸	三四、三五七	二四、三五〇〇
同十三年	五八、九八〇	三一、九二三	二九、九四八	二九九、八八八
同十四年	四四、〇五三	五一、九三〇	一、九二八、九六八	一、九二八、九六八
昭和元年	三八、〇三三	六六、八五六	一九三、九九)	二四、三五〇〇
同二年	八五、四四七	三一、二〇一	一八九、二九五	二四、三五〇〇

之によつて見るに獨逸よりの輸入は大正十三年大戰克復後初めての輸入を見たのであるが以後累年大體增加の數字を示して來て居る本年度多少減少を來したのは昨年來の多少の滯貨と農家經濟の不振による買付差控による一般不況、並びに英國物の飛躍に依るものと、內地市價維持の爲三井三菱が一時獨逸品に對し或種の制限を加へたる爲で獨逸に於ける合成窒素業の現狀よりすれば今後とも尙相當の活躍を見る事と思はれる。

英國物は昨年一昨年は炭坑爭議等により生產減によりその輸入も一時減少を見たが本年に至り非常なる增加を見前年に比し五割五分の激增を見たわけである。

米國物は最近鬼角不振を續け本年度の如きも前年度に比し五割二分の減少を見たが之は同國に於ける消費の增加にもよるが、その最大原因は同國生產が割合に不振なる爲と見られる。

內地市況　昨年來の暴落步調は本年に入つて食止められ、五月、六月には百六十四圓まで反撥したが下半期ストツ

クが相當多く、一般に警戒氣味で、春肥の需要も割合に少なく、七月以來百二十圓臺にまで落ち年末までこれを持續した。

硫安相場

	内地硫安(十貫)		輸入物(トン)	
	高	低	高	低
一月	五、四五	五、四〇	一三七	一三六
二月	五、三三	五、三〇	一三八	一三五
三月	五、三〇	五、三	一四一	一三八
四月	五、四〇	五、三五	一四三	一三五
五月	五、四五	五、二五	一四四	一三八
六月	五、八〇	五、二五	一四四	一三八
七月	五、四〇	五、二〇	一三七	一三五
八月	五、三三	五、三〇	一三八	一三五
九月	五、三〇	五、九	一四一	一三八
十月	五、九〇	五、七八	一四三	一三五
十一月	五、〇九	四、八五	一三九	一三五
十二月	四、九〇	四、八八	一三八	一三七、五

尙硫安の內生產高は年々增加しつゝあり、本年度の生產高は日本窒素の設備擴張及び電氣化學の增產により十七萬五千噸の多きに達した。之を前年度に比し一割七分の增加で五ヶ年前の大正十一年に此すれば約二倍の增加である。

硫安內地生產高(單位噸)

大正十一年	九一、八二四	大正十二年	一〇三、五〇
大正十四年	一三二、九五〇	昭和元年	一四九、三〇〇

海外商況 (獨逸) 合成アムモニア製造法が工業的に成功し、一九二五年度に於ては窒素肥料の製造高百八十萬噸、戰前の三倍餘に增加し、一九二七年上半期に終る一ヶ年間の製造高も窒素として六十萬噸を生產するに至つた。一九二六年の窒素としての製造高四十七萬噸に比するも著しい增加である。

この中獨逸國內消費は三十九萬噸、輸出は十九萬噸と換算されて居る。

肥料

本年度日本の肥料原料輸入高は二百十五萬三千餘噸、一億六千三百三十餘萬圓で前年度に比し非常な減少であつた之は元より內地肥料製造工業の發達に依るものとはいへども、寧ろ肥料需要の不振に負ふ所大なるものがある 之を種類別に示せば次の如くである。

肥料類輸入表(人造肥料聯合會調査)

	數量(單位トン)		價格(單位千圓)	
硝酸曹達	五二、三九	二四七、五七四	六、三九一	三一、六八三
硫安	二四七、五七四	四〇三、九九	三一、六八三	四一、八三
獸骨粉	三一、二三三	三七、三〇二	二、八五六	三、四五四
骨粉	三七、三〇二	六四、二八四	三、四五四	四、四三五
菜種粕	六四、二八四	六一、四九〇	四、四三五	一、二八六
其他油粕	六一、四九〇		一、二八六	

硫酸加里	三一、〇〇一	四、一八三	
燐礦石	四〇三、九九	一〇、七八三	
豆精	一、一七五、九七六	八八、四三六	
棉實粕	五九、七八三	四、七八五	
フィッシュグアノ	一、三二八	一六三	
其他	三一、八一六	三、八六三	

殆んどすべての種目に於て減少を見て居るが、たゞ硝石及び硫酸加里のみは增加して居る。就中硫酸加里の增加は興味ある問題で之は近年、內地肥料消費の上に於て割合に無機質肥料の使用量增大し、爲に有機質肥料の中に多少づゝ含まれて居た加里質の補給が思はしくなく、加里肥料として特に施用するの必要に迫られつゝある爲で將來とも尙この傾向は一層著しく現はれる事と思はれる。

一方內地肥料生產高を見るにその重なるものは過燐酸で一時操短によつて生產調節を行つたが、後半期協調破れ結局前年度と殆んど變らぬ二億四百萬貫の生產を見た。

總體に於て年々增產の途を辿りつゝあり昭和二年度は矢張り前年度に比し約十二萬噸增加の百七十萬噸近くと見積られて居る。

一般肥料界は上期末に割合に活況を呈したがその後は不振を續けた。就中、硫安、硝石、過燐酸の落調は甚しかつた在庫品の如きも本年末に比し百四十萬個增と未曾有の激增で、本年度新界が如

何に苦境にあつたかゞ同ひ知られる。

（蘭印）　蘭印に於ける輸入肥料の重なるものは砂糖栽培に使用される硫安で年々その輸入量は増加しつゝあり、その仕向地は獨逸が三萬八千七百噸、米國の三萬五千八百噸、英國の二萬八千八百噸、其他で合計十一萬噸で、その他煙草農園に對して過燐酸類の需要多く、調合肥料として日本よりの供給地としては相當有望である。

燐　礦　石

輸入狀況　本年度輸入高は六百七十八萬七千擔　一千七百六十六萬三千九百七十圓と記錄的輸入を見たと云はる、昨年度に比するも尚數量に於て約八千擔　價格に於て百六十二萬圓の増加を見た。

全國燐酸礦石國別輸入表

昭和二年

	一ピクル	二圓	大正十五年 一ピクル	大正十五年 二圓	大正十三年 一ピクル	大正十三年 二圓
支那	二、五六二、七二四	五、四四九、四二三	二、〇六〇、五二〇	四、三五九、八八三	一、六六二、五九〇	三、五二五、八七六
米國	一、六八一、〇〇七	二、五三〇、〇四七	二、〇五一、四四〇	三、一六四、二〇七	四八七、四五〇	一、〇三一、九六〇
阿弗利加	二、五四三、四四五	四、七五五、五一〇	二、六六七、八一八	四、一八八、三七五	四、九六八、〇〇六	七、四八三、五六〇
其他	六、七七、二〇六	一〇、七六三、九五〇	六、七九九、六三九	九、一四九、四六七	四、六〇八、七五五	七、四八三、五六〇
計						

阪神兩港輸入國別表（昭和二年度）

	大阪港 一	大阪港 二圓	兩港計 一	兩港計 二圓
阿弗利加	三〇九、一九七	三三三、一七二	三〇五、一九七	三三三、一七二
合衆國	一、〇八一、六二五	一、七二一、八三五	二、一六一、七二〇	二、七九二、四五五
埃及	四九六、一三〇	六六、八九二	五〇四、三二六	五九九、八〇〇
其他	三八一、四〇〇	二九一、四九七	五二三、三七八	五五六、三三〇

計　一、五九七、六五七　二、三七一、八一〇　四、六六四、一四七

内地商況　本年度の燐礦石の價格は沖着値段噸當り低度物約二十圓、高度物三十八圓見當であつた。アンガウル燐礦は高度物だが割合に安く、南洋廳と人造肥料聯合會の契約拂下値段は二十六圓六十錢で昨年度に比し一圓十錢方の騰貴であつた。昨今に於ける農家の嗜好は高度物の過燐酸に向ひ低度物の需要は段々減少しつゝある。本年度生産高に於ては高度物、低度物ゝ大した相違はなかつたが販賣高の上より見る時は相當の開きがある。即ち本年度過燐酸石灰生産高高度物九千三百二十九萬六千貫、低度物八千八百六十五萬四千貫、後者が八千七百八十四萬五千貫であつた。

本年度全過燐酸石灰生産高は一億八千百九十五萬五千貫、六十七萬三千九百噸で昨年度に比し、二千二百九十萬八萬五千噸の減少であつた。之は主として震災以來供給過剰に苦しんで居た燐肥界が昨年末から本年度初にかけて一四ヶ月間の製造全休をなし、引續き六月中旬までの四ヶ月間二割の限産をなし、惡化せる市況を回復し各社共瀕死の狀態より脫却せんものゝ方策によるものであつたが、二、三月頃までは限産による効果は現はれず、却つて一時長縮し、一月頃一圓三十錢から二月一圓二十六錢頃に落ちた。四月から六月へかけて一圓五十五錢までも騰貴し、こゝに希望せる需給關係良化による市價吊上に奏効せるもふである。一面又この市價昂騰の裏に需要の増加せる事も見逃す事は出來ない。

過燐酸石灰生産販賣高（單位千貫）

	生産高 上半期	生産高 下半期	生産高 合計	販賣高 上半期	販賣高 下半期	販賣高 合計
大正十三年	八五、六三三	七五、四四八	一六一、〇八〇	九七、六八八	五七、五三一	一五五、一九九
同十四年	九一、五六七	九七、五九七	一八九、一六四	一一〇、〇四八	九〇、九八	二〇一、〇四六
同十五年	一二三、〇五九	一二〇、八六五	二四三、九二四	一二三、九二四	六八、四〇二	一九二、三二六
昭和二年	一八一、九五五	一二七、四三六	三〇九、三八六	一二七、四三六	六一、七二一	一八九、一九八

かくて生產減少と共に販賣高は增加し、ストックは一時に消化され、燐肥界はサバ〳〵した氣分になつたが、之によつて又々十月に入るや限產協定決裂し自由生產となり、如實に於ては各社共自重して相當の限產をして居たが、市場は混亂し九月末一圓三〇錢、十月末一圓二十五錢、十一月最低一圓二十一錢、十二月一圓十五錢と非常な暴落をまねいた。

硝石

輸入狀況　硝石としての仕出地は矢張智利で獨逸からも多少入るか極めて少量である。

全國硝石輸入表

昭和二年

智利	九二九、六七四擔	六、七二〇、一二三圓	大正十四年	六二、一八四擔	五、一四七、二八〇圓
其他	四、四〇六	三四、〇六〇		二、二九四	三五、一八〇
計	九三四、〇八〇	六、七五四、一五五		六三、四八八	五、一七三、五六〇

昭和元年

智利	一、〇六六、二五五擔	八、四七五、五八四圓	昭和二年	五三、〇〇〇擔	三、七九九、九二〇圓
其他	八三	七六九		三、〇五〇	二五、一八〇
計	一、〇六六、三三八	八、四七二、三五三		五六、〇五〇	三、八二五、一〇〇

神戸は日本に於ける硝石輸入の過半を占めて居る。智利硝石のみについて見るも次の如くである。

神戸港智利硝石輸入表

昭和二年

一月	二六圓	二圓	五月	高	低
二月	二六、五	二五	六月	二九圓	二五圓
三月	二〇	二六	七月	二六	二〇
四月	二〇	二六	八月	二五	二〇

昭和元年

一月	五二圓	五圓	九月	三一圓	二五圓
二月	二五	二四	十月	三〇	二三
三月	二四	二三	十一月	二七	二三
四月	二三	二二	十二月	二四	二三

大正十四年

一月	五六、〇〇九擔	四、三三、〇〇〇圓	五月	三五九、六四〇擔	二、九五二、〇〇〇圓
二月	四、三三、〇〇〇圓		六月		
三月			七月		
四月			八月		

内地市況　硝石は化學用藥品原料として相當使用されるが肥料としての需要が多く、市價は之によつて左右されて居る現狀である。

本年度は昨年來の農作物市價暴落、繭價の不振等による農家財政の窮乏と金融荒熄、昨年度に於ける莫大なる輸入によるストックの豐富等の爲內地市場はあまり活氣なく、爲替の不利と相俟つて輸入は相當壓へられた模樣である。相場は昨年來の下落步調を本年も續けたと云ひ得る。年初は一般肥料相場の高騰に左右されて多少高調を帶び、昨年末一二五圓頃のもの三月には一三〇圓を稱へたが、七月以來本國相場不味の爲手持品處分を急いだ等の關係上一屆下押となり、十、十一、十二月には春肥の需要期であるにも係らず一一四圓—一一二圓と近來になき安値を現出した

本年一月より十二月までの相場を示せば

海外商況　世界に於ける硝石の供給國は智利で、智利國歲入の大部分を占めて居る位で、其輸出額は年々全輸出額の五〇%以上を占むるを例として居る。一九二六年は智利硝石組合販賣制度の最終年度で同年に於ける公定値段は相當高く、他の窒素肥料との競爭上不利の立場にあり合成窒素肥料にその販路を侵蝕され、生產工場の閉鎖するもの續出し、輸出は減少して全輸出額に對する割合も四五%と低下するに至つた。

智利國硝石輸出額

	數量（キンタル、メトリコ）	金額（ペソ）	全輸出額	兩者の割合
一九二三	二、八二九、九〇六	九二、四七六、八〇九	一、六二一、六三一、四一九	五八%
一九二四	二、三三四、四〇二	九七〇、一六五、六五五	一、八〇四、三六六、六八八	五四
一九二五	二、四九一、八九七、三三二	一、〇三一、四八七、一六七	一、八六八、八五五、一二一	五五
一九二六	一六、六八一、六九三	七一〇、三三〇、八四六	一、六四二、六五五、二七五	四三

之を國別に見るに

智利硝石國別輸出表

	數量（キンタル メトリコ）	金額（ペソ）	數量	金額
米國	八、〇六七、四二四	三四〇、七五五、四八四	四八七、五四〇、七七〇	
英國及埃及	五、四九八、二九七	九四〇、三三四	四〇七、五六九、七三一	
日本	一、一五三、四一三	二四九、八三七、八五九	二八、三五六、五九三	
布哇	六三〇、九三六	二七、一三六、二三三	一八、八九一、七三三	
	五五四、八八六	二四、四七六、九六一	二三、一七二、四〇三	

智利硝石は且つては歐米に於ける無機質窒素肥料として廣く愛用されて居たが最近之等諸國に於ける人造無機肥料の低廉による競爭に常に押され氣味で、昨一九二六年の實行さは益々渉々しからず、本年四月十四日より之等に對抗し、本國に於ける硝石業の窮狀を脫せしめる意味に於て舊來の組合販賣制度を廢し、自由販賣制度を採用するに至つた。自由販賣制度による出荷は七月以降の事に屬するが、その後の動靜は、各地に於ける消費熱を煽り、需要殺倒の形である。卽ち七月以降、十一月末日までの五ヶ月間の全世界に於ける消費高は六十一萬六千七百十二噸で、是を前年同期の四十八萬四千六百三十二噸に比すれば、三割六分五厘、十三萬二千七百十二噸の大激增であつた。元より之は自由販賣制を當越して買控へて居た爲の買氣旺盛なのさ、市價の低落した爲ではあるが、市價さへ引合へば硝酸性窒素肥料の需要は依然さして盛なる事を示すもので、智利國の意氣込又大したもので、七月以降作業工場の數も逐次增加の模樣で、生產高も亦從來の萎靡不振に引換へ格段の活氣を見るに至つたこ云はれて居る。

製紙用パルプ

輸入狀況　我國パルプ事業の隆盛は年々パルプ輸入量を減じつゝあり、就中メカニカルパルプの輸入は年々非常なる勢にて防壓されつゝあり。化學パルプ等特殊なるパルプ類は內地斯業の隆昌にも係らず相當量の輸入を見つゝある

昭和二年

	數量	金額	數量	金額
メカニカルパルプ	六〇九、九八封度	三四、二八圓	二〇、三四〇、一四〇封度	一四七、七四三圓
其他のパルプ	二〇、三四〇、一四〇	二一、八九五、九四一	一三九、八五八、四〇〇	一〇、八七〇、三九
計	二〇、九四九、六〇〇	二一、九三〇、一五九	一四三、五五四、八三〇	一二、〇一七、八二

全國製紙用パルプ國別輸入表

昭和二年　　大正十五年　　大正十四年

	數量	金額	數量	金額	數量	金額
英國	二四、七四八噸	五〇四、五五六圓	一五、八一〇噸	一七三、五一〇圓	五、七三九噸	七八、七四〇圓
獨逸	六八、九一九	六六五、四七二	九五、九六四	一、〇五三、〇六七	一一一、一三一	一、三三一、〇三一
瑞典	一六三、三六一	一、七六〇、五〇七	二三七、五三八	二、四七七、二一七	三四、九六四	三、九八七、二五五
諾威	二九、四一三	一、八〇四、六一七	九二、二八七	一、一〇三、三九三	八一、六二九	一、一〇九四、七九五
米國	五四、三六	九九三、五七七	七九三、一〇五	八〇二、八〇二	二一四、七四八	二、五二三、三八〇
加奈陀	七二五、七〇三	六、〇八〇、二六五	五二七、二〇	五、三四、三七	五三九、七八二	五、七四〇、六〇五
其他	五一、六五二	五三、一七	三七、一三六	一四、九三五、一〇六	一二、三九九	一四八、五〇三
計	一、二〇七、一三三	一二、九三〇、一五九	一、〇六九、一五三	一一、〇一七、八八二	一、三二一、〇六三	一四、九三五、一〇六

製紙用パルプの仕出先は加奈陀がその大宗で數量に於て五割九分、價格に於て五割強を入れた。前年度に比し二割強の增加である。諾威、瑞典は之に亞いで居るが、瑞典よりの輸入は近年漸減しつゝあり、諾威が之に代りつゝある樣である。

內地パルプ業　吾國木材パルプの製造の發達は大正中年よりの事で、最近の斯業は正に世界のパルプ生產國として認めらるゝに至つて居る。その生產高は山林局の調査に見るに

	亞硫酸パルプ	クラフトパルプ	碎木パルプ	合計
大正十二年	一九、三七噸	—噸	一五八、七九九噸	三八、一〇六噸
大正十三年	八三、三八	—	一三三、八四六	三五七、〇八四
大正十四年	二〇、六七一	一、一一〇	二〇三、九二五	四二四、七〇六

大正十五年　二五八、六八三　六、八五六
昭和二年　二六七、四九一　八、九二八

ご年々著しき増加を來して居る。一方輸入は約七萬一千三百噸ご計上されて居るから內地需要の一割二分弱に相當して居るに過ぎない。この現狀よりするも吾國のパルプ工業は殆んご自給自足の域に達して居るご云ひつべく、新聞用紙、印刷用紙、包裝用紙の殆んごは將來他國の供給に俟つまでもなく、たゞ特殊なるパルプの輸入は止むを得ざるものので、日本ごしてパルプ自給の根本たる原料木材の供給如何がかゝつて大問題であらう。

海外商況　（加奈陀）は無限に近い原料ご安價なる水力ごを併せ有する上、英政府最近の關稅政策の傾向は加奈陀パルプ並びに新聞用紙の最大需要國たる米國の加奈陀に於ける斯業投資を盛にし、工場の擴張、新設が續々ご行はれ、其生產能力は年々增加する一方である。

本年度加奈陀木材パルプの輸出は晒亞硫酸パルプに於て約二〇%の增、硫酸曹達パルプにて略同額であつた外は一般に前年度に比し減少した。人造絹絲工業勃興の氣運は該國に於けるこの種原料パルプの製造を促し、最近續々ごの種パルプ製造工場の新設を見つゝあり。近き將來に於けるレイヨン用パルプの雄飛は囑目すべきものがあらう。

最近數年間に於けるパルプ輸出金額を示せば、

	ケミカルパルプ	メカニカルパルプ	計
一九二三	三三、[illegible]〇五六弗	九、五五二、八九二弗	四二、九八六、九四八弗
一九二四	三五、〇[illegible]一、六二九	一一、一三二、一七七	四六、一七三、七九六
一九二五	三三、三〇〇、四七	八、三六四、七二一	四一、三六五、二四二
一九二六	三九、一〇〇三、九七九	一〇、九〇五、八九一	四九、〇〇八、八七〇
一九二七	三九、三〇〇、六九〇	一〇、三三七、〇四九	四九、八三七、三二九

加奈陀パルプの輸出先の大宗は米國で全額の殆んご八割乃至九割を入れて居る。その他英、日、濠方面に仕向けられる。

（瑞典）瑞典に於ける木材パルプ工業は一八五〇年頃にはじまり、水力並びに唐檜木の供給良ろしきご、水運の便ごにより現時の盛大を致したものである。メカニカルパルプは一九二六年四十五萬三千噸で約五割は國內製紙原料ごして消費され、殘餘は海外に輸出されて居る。ケミカルパルプごして一九二七年には百二十七萬噸である。その中亞硫酸パルプは一九二五年九十六萬八千噸、硫酸曹達パルプは一九二七年には四十七萬噸であつた。之を價格について見るに一九二七年化學的パルプの生產高二億七千萬クローネ、機械パルプ五千五百萬クローネである。年初亞硫酸パルプ英國沖渡しローネである。然し本年度の同國市況について見るにあまりさへなかつた樣である。年末二、六〇弗から二、七七弗に下落し、クラフトパルプの如きも二、八二百封度二、九四弗から三、〇七弗のもの年末二、六〇弗から二、七七弗に下落し、クラフトパルプの如きも二、八二弗二、九三弗から二、三〇弗二、五〇弗まで低落して居る。三月頃にはサルフエートパルプの生產は莫大なる高に上り、米國に於ける生產增加に刺戟されて一時危機に臨んだが年末には案じられたほごのストツクも殘さず、殆んご賣却された模樣である。

洋紙

輸入狀況　輸入洋紙の主なるものは印刷包裝用紙で、共に紙類輸入の三分の一以上の額に上つて居る。印刷用紙中五八瓦未滿のものは前年度百二十萬圓であつたものが二百三十八萬圓ごあつたものが二百三十八萬圓ごなり、七萬圓から二百三十二萬圓ごなり、七萬圓ごなり、アート紙も百七萬のもの、減少せるは內地生產增加に負ふ所多く、アート紙は關稅引上の影響に負ふものごなり、五八瓦以上のもの、減少せるは內地生產增加に負ふものごなり、五八瓦未滿の印刷料紙の增加せるは東京報知新聞社がその用紙を瑞典より取よせたるによる特殊なる關係によるものであらう。包裝用紙は昨年度の七千三百四十九封度、八百六十八萬圓より四千五百三十三萬封度五百三十萬圓ごなり四割位の減少を見たが之は內地該品抄紙機の新設運轉による生產增加の爲で、その他一般洋紙額の輸入は全般に亘つて減少して居る。即ち昨年度紙額總輸入量一億四千百六十四萬封度、二千百六十一萬圓のもの本年は一億一千三百十七萬封度、一千五百二十七萬圓ごなり二割、價格に於て三割の減少を見たわけである。

全國洋紙輸入表

印刷料紙（五十八瓦未滿）	二〇〇、一三二噸	二、三八四、一〇八圓			
同　其　他	一六五、五一三	三、三一五、七三五			
筆記用紙	三五、九九八	九五六、〇三五			
包裝及燐寸用紙	三三九、九七九	五、三〇六、七一八			
模造羊皮紙	三五五、六四五	一、〇一〇、七四五			
板　紙	三一、六一六	六四三、三二二			

大阪港

印刷料紙（アートペーパー）	三、〇〇三噸	六七、三六五圓			
同（有色のもの）	四一、〇六九	六八、四六七			
同（五十八瓦未滿）	二一、三九一	一六七、四四五			
同　（其他）	六、六七三	一三一、三一〇			
筆記用紙	二、四四六	五五、〇六九			
包裝用紙	三八、八〇九	六六九、四〇三			
模造羊皮紙	三、四四三	九二、四八三			
板　紙	三、一七三	五五、八四四			

昭和二年全國種別國別輸入表（價格のみ）

瑞典

印刷料紙（五八瓦未滿）	一、二六一、九一三圓	
同（五八瓦以上）	二四五、四二九	
同　（アート）	三七、八五九	

英國

印刷料紙（五八瓦未滿）	三一四、三三三圓	
同（五八瓦以上）	一、三八六、〇九九	
同　（アート）	七、八〇三	

獨逸

印刷料紙（五八瓦未滿）	三二四、八〇七圓	
同（五八瓦以上）	三〇六、〇九七	
同　（アート）	三五七、七三五	

北米

印刷料紙（五八瓦未滿）	一八、五一八圓	
同（五八瓦以上）	四三、〇〇三	
同　（アート）	一五七、六六一	

諾威

印刷料紙（五八瓦未滿）	四〇九、四三一圓	
同（五八瓦以上）	八四、六八一	
同　（アート）	—	

加奈陀

印刷料紙（五八瓦未滿）	—	
同（五八瓦以上）	—	
同　（アート）	—	

昭和元年

印刷料紙（五十八瓦未滿）	一、一二九、七七八噸	二、三八四、一〇八圓			
同　其　他	五、〇九八、一三一	三、三一五、七三五			
筆記用紙	一、〇九九、二三三	九五六、〇三五			
包裝及燐寸用紙	八、六八六、二六一	五、三〇六、七一八			
模造羊皮紙	一、三五八、六四〇	一、〇一〇、七四五			
板　紙	一、一六二、一九五	六四三、三二二			

神戸港

印刷料紙（アートペーパー）	一二五、〇二六噸	二七、一九二圓			
同（有色のもの）	七、五九八	一、三六、三三九			
同（五十八瓦未滿）	五一、五三三	六〇九、四四七			
同　（其他）	二六、八一九	五八二、〇八九			
筆記用紙	二、七〇二	三一四、〇一八			
包裝用紙	一五五、四九八	二六、三四六、〇六二			
模造羊皮紙	一五、七三五	四六二、九四四			
板　紙	一五、八四二	三〇二、五八六			

大正十四年

印刷料紙（五十八瓦未滿）	六二、九四四噸	一、二〇一、九八二圓			
同　其　他	一七一、九九九	四、〇六七、九一一			
筆記用紙	三一、六四五	一、〇〇一、九二五			
包裝及燐寸用紙	三六六、四八二	六、八二三、二七二			
模造羊皮紙	二六、五九二	七七一、九四八			
板　紙	四六、三一〇	八九〇、〇六六			

阪神兩港

印刷料紙（アートペーパー）	七、七六六噸	一九二、五九一圓			
同（有色のもの）	一二、六六七	二〇四、八〇六			
同（五十八瓦未滿）	六二、九三三	七七七、〇九二			
同　（其他）	三三、四九一	七二三、五九九			
筆記用紙	一四一、一八	三六九、〇八七			
包裝用紙	九四四、二八七	三、〇二五、四四六			
模造羊皮紙	一九、一四七	五五五、四二七			
板　紙	一九、〇一五	三五八、四三〇			

筆記用紙

包裝及燐寸用紙	二、九八一、五六九	六二六、三四三
模造羊皮紙	四三九、〇四五	一三、六七三
板　紙	八一、六六六	一八、一六三
計（其他を含む）	五、〇六九、五三八	二、一七三、〇六七

先の表に示す如く印刷料紙の三分の一、包裝用紙の二分の一、模造羊皮紙、板紙の二分の一は阪神兩港の輸入にかゝつて居る。その仕出國及各國による仕出品の異なる狀態も亦前表によつて明らかに知る事が出來ると思ふ。

海外商況　（加奈陀）一九二七年は色々の困難があつたに係らず相當の進展を見た。その大宗たる新聞用紙の生產能力は需要よりはよほど大きい高に上ると云はれて居る。一九二七年の生產能力は機械の新設なので一日千六百噸と計算されて居るが何分生產過剩の爲、前年度の如く全能力を以て生產する能はず、年產二、〇八六、九四九噸で前年度に比し二〇五、二一二噸と漸く一一%の增加を見たに過ぎない。然し昨年までは米國に亞いで居たが本年は米國の新聞紙生產高一、四八六、〇〇〇噸を遙かに凌駕した。輸出方面について見ると全紙額の九割を占めるものは新聞紙で一、八八一、八六〇噸一二三、二二二、〇九四弗、昨年度一、七三一、九八六噸一一四、〇九〇、五九五弗に比し約九%の增加であつた。その大部分は米國へ向けられて居るが兎に角加奈陀の斯業は地の利を得、水力の低廉、木材の豐富と相俟つて正に世界の製紙王國たらんとして居る。

（瑞典）新聞用紙の生產量は昨年度の一九九、五〇〇噸に對して本年は二一六、四〇〇噸の生產を見た。他の紙類の正確なる統計は不明だが、兎に角一般製紙工場は一年を通じて相當の注文をうけ休止せる工場を見なかつたと云はれて居る。たゞ加奈陀の新聞用紙生產增加、各國に於ける紙生產增加輸出增加による價格の下落により豫期せる如き良成績は上げ得なかつた樣である。然し又他の一面支那の內亂、獨逸の佛蘭西への賠償金支拂、諾威等この價格協定等で多少は貿易を順調ならしめた。英國に於ける包裝用紙に對する關稅引上げは同國向輸出を減少しはせぬかと恐られて居たが結果は却つて增加して居る。クラフト紙がセメント袋として需要され獨、英、佛へ相當出された新聞用紙、

模造羊皮紙等は前年度に比し多少の減少を見た。新聞用紙輸出量は一七一、七三七噸で、昨年度は一七四〇三九噸であつた。

（獨逸）　同國一九二七年度製紙高は相當增加したが之は輸出の增加よりも國內需要旺盛に負ふもので今後しばらくは同國內需要はその調子を維持するものと見られて居る。價格の如きほ他の諸國紙相場の落潮にも係らず一ケ年を通じて上げ氣味で前年末指數一四七、四（一九一三年＝一〇〇）から本年八月一五〇、四十二月一五二、一と上つて居る紙額の輸出は前年度に比し多少の減少を示した。その中、包裝用紙の減少は著しく前年の一三三、〇〇〇噸から九〇一六二噸と落ちた。同樣に書翰紙も三四、二九二噸から二二、六一三噸に減じた。印刷用紙は二二〇、五一〇噸で十三％板紙は二一％アートペーパーは一六％何れも增加を見た。總體に見て多少の減少を見たのは獨逸國內紙價が割合に高かつたによるものである。

一九二七年に於ける世界新聞用紙生產消費高に就て見るに次表に示す如くである。

昭和二年世界新聞用紙統計（單位短噸）

國名	製造量	輸入量	輸出量	差引國內需要量
加奈陀	二、一〇八、七、〇〇〇	—	一、八二、〇〇〇	三〇五、〇〇〇
北米合衆國	一、〇八六、〇〇〇	二一、〇〇〇	二一、〇〇〇	三、〇四〇、〇〇〇
英國	七三〇、〇〇〇	九八、〇〇〇	二九、〇〇〇	九二三、〇〇〇
獨逸	五六五、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	四二八、〇〇〇
日本	二〇四、六、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三七、〇〇〇
瑞典	三九、〇〇〇	一九二、〇〇〇	一九二、〇〇〇	五一、〇〇〇
ニューファウンドランド	二〇五、〇〇〇	—	—	一〇四、〇〇〇
芬蘭	二〇〇、〇〇〇	八九、〇〇〇	八九、〇〇〇	一〇四、〇〇〇
諾威	一九二、〇〇〇	一七二、〇〇〇	一七二、〇〇〇	二八、〇〇〇
佛蘭西	二三一、〇〇〇	一九〇、〇〇〇	一九〇、〇〇〇	二、〇〇〇
計（其他を含む）	六、四三四、〇〇〇	二、三二四、〇〇〇	二、三二四、〇〇〇	五、九三四、〇〇〇

生ゴム

輸入狀況　本年度原料ゴム價は昨年度末來の低落步調を九月頃まで保ちつゝあつたが、大體に於て一進一退の趨勢を辿つて居たと云はれる。一面內地ゴム製品需要は相變らずの增加で一般加工業者は割合に安易なる操業をなした樣である。

原料ゴムの輸入は價格に於てこそ昨年度に比し少なかつたが數量は依然增加を示した。

全國生ゴム國別輸入表

昭和二年		昭和元年		大正十四年	
印度	二一七、二七擔 二、二〇〇、六〇八圓	八九、八六擔 一〇、八六九、六七二圓		四八、九八〇擔 五、九二一、九八二圓	
海植	三一七、八六六 三一、八七、八三	二八、一三一、六一〇	一七、一三八	一七三、三八五	二六、七七三、九九七
英國	一、二九八 一五三、八四六	一〇一	一七、八三八	五六一	九三、九四八
其他	六、六七〇 七五七、四四五	九九一、三〇一	五、〇一八	五、〇一八	八二一、九九
計	三五六、九三 三四〇、三九八、七八〇	二〇四、九三 二三五、九四四		二三五、九四四	三三、六一〇、六九五

內地商況　昨年度暴落の餘勢をうけて本年も亦依然落調を續けた。年初以來六月までは一封度八十錢から八十五六錢の間を迷つて居たが九月には六十八錢まで低落し、十月以來多少好調を見、十一月には九十四錢の高値を取戻したが十二月には八十七錢と腰がくだけて越年する事となつた。

海外商況　昨年度初め倫敦相場四六片七〇九の記錄的高値を稱へたゴム値も同年四月以來輸出制限率を撤廢せる爲各業者の供給量は一時に增大し、爲に一時人爲的に保たれて居た相場も、米國に於ける生ゴム消費の減退と相俟つて需給關係を惡化し二、三月以來低落に亞ぐに低落を以てし、二十一片臺にまでなつた。こゝに於て英政府は又々輸出許可率を八割にして之が調節をはかつたが、本年に入るも尙その步調に變りなく、十月以來思惑筋の買煽りの爲多少

生氣を帶びた樣に見られるが尙伸び惱みの狀態である。之が原因には種々の箇條もあらうが主として世界の供給額が英散府の輸出制限に係らずあまり減少を見ない一面に世界消費の三分の二を占める米國に於ける自動車業不振の爲需要が少なく、かて、加へて米國ゴムプールが相當市場を牽制した事、昨年來のストックが相當增加した事等によると見るべきである。

英政府が相場恢復策としての輸出制限もあまりその効果を見なかつた主なる原因は左の如きものであらう。

第一の原因　本年度の供給量が輸出制限法實施に係らずさしたる減少を見なかつた事、即ち馬來及錫蘭等英國輸出制限區域内に於ても昨年度來の未使用輸出許可證が多數殘つて居た事、密輸出か相當あつた事、その他標準生產量過大見積等により年初輸出制限があまり効果なく相當の出荷を見た。一方馬來及錫蘭に於てこそこの制限率を設けて居るか、蘭領東印度に於ては之が掣肘をうける事なく一昨年來の好況に支配され作付反別が相當增加し、爲に本年の如きも昨年度に比し尙二割增の輸出を見た模樣である。之を數字によつて見るに

蘭領東印度最近生ゴム生產高

大正十三年一三〇、七八六噸、同十四年一六一、九七六同一八八、〇〇〇、昭和二年二二七、〇〇〇

即ち馬來方面に於ける積出高は昨年度三十九萬一千噸のものが本年は三十七萬一千噸と約二萬噸の減少であるのに蘭印に於ては約四萬噸の增加を示したわけである。

第二の原因　世界消費の七、八割にも相當する米國の消費が同國に於ける自動車工業の不振によるゴムタイヤーの需要減と再生ゴムの使用が相變らず增加した事によるもので生ゴムの使用量があまり增加して居ない事等で、之等は本年度に於ける英國の輸出制限法の効果を少なからしめた重なる原因と見るべきである。猶又英國の輸出制限法及蘭印に於けるトラストに對抗して米國ゴム同業者によつて組織されたるプールが活躍して市價を左右して居た事を見逃す事は出來ない。

生產地狀況　（馬來）一九二五年來の俄景氣に亞ぐ二六、二七年は共に閑散で二六年初以來ゴム價下落の傾向は二七年中頃まで續き輸出制限による統制もその効なく一志四片頃にまで下落した。そもそも馬來に於けるゴム輸出高は、

大正十三年二五九、七三四噸同十四年三一六、八二五同十五年三九一、二七二昭和二年三七一、三二一噸でその生產能力が年々增加しつゝある事はその栽培面積の增加と樹齡が段々採取の好時期に立至つた事とにより察する事が出來る一九二七年度英領馬來のゴム輸出高は數量、三七一、三二一噸で、價格五一九、四八八千弗に上り之を前年度に比し二萬十四噸（五分一厘）一億九千八十七萬三千弗（二割六分八厘）の減少である。之を國別に見るに

一九二七　一九二六

英本國	二一、三四四千弗	八三、九九四噸
米國	三三三、四八二	二四二、三六八
歐大陸	三六、八二三	二七、五八七
英屬領	一〇、六二六	七、九四一
日本	二七、〇四二	一九、六二三
其他	三〇二	一七二

（蘭領東印度）　栽培ゴムとしては馬來に遲れて起つたのであるが年一年とその栽培面積を增し、生產高も大正十年の七三、四〇三噸が本年二二七、〇〇〇噸と約三倍に增加して居る。その原因たるや前述せる英領馬來の輸出制限法による市價吊上策の恩惠に依るものと見るべく、土人栽培ゴムの如きすら目覺しき增產である。現今の採算狀態を保つならば尙引續き多少づゝの增算を見る事と思はれる。

曹達灰及苛性曹達

曹達灰及苛性曹達國別輸入表

昭和二年　　昭和元年　　大正十四年

英國	一、三三五、九四三擔	七、二四九、四〇八圓	一、八二九、七九九擔　八、三八二、五七七圓
米國	二五八、六八二	二、〇八一、三一〇	一二三、九三七　一、一九八、八七〇

阿弗利加	六二五、一四二	二、六五三、三五九	
其他	一三六、五九八	六四一、二八六	
計	二、三五六、三三五	二三、二四二、〇八二	

A、曹達灰

輸入狀況

曹達灰輸入表

	昭和二年		昭和元年		大正十四年	
大阪港	三二、三三〇擔	九、九六四圓	三三、九四八圓	一、二五三、三六〇圓	五九三、八五六	二、〇六七、〇七二
神戸港	五〇一、一七九	四、八八一、一五〇	八七三、〇〇〇	三、四五三、〇〇〇	四八九	九、二八九
全國	六一〇、五七〇	二、五九二、七〇二	二、一六七、八二五	七、八三五、九四三	二、三三七、〇四〇	二一、六五五、八〇八

昨年度は近年になき減少を見たが本年はブラナモンド宛も相當買込みに努力した事と昨年度の輸入減による品薄の後をうけて、硝子工業が割合に不振であつたに係らず以上の様な増加を見たわけである。然し一昨十四年度に比しては尚相當の減少であつた。

然して昭和二年度曹達灰値段を見るに次の如くである。（但し大阪硝子同業組合取扱價格）

昭和元年十二月八日より八圓八〇（月印）五圓五五（マガヂー）昭和二年五月十三日より夫々九圓〇〇、八圓七五、五月廿三日より九圓〇〇。九、圓五（月印は九圓五十六錢二厘五毛に値上ありしも組合との契約値の爲）八月十二日より八圓八〇　八圓四七五　八圓〇五。九月二十八日より八圓四七五　八圓二〇　十一月十八日より八圓四七五　八圓四五（月印は八圓六十錢五厘に値上ありしも組合は契約値により）

內地狀況　現今內地消費高は約十萬噸でその中旭硝子及日本曹達灰に於て三萬噸あまりを生產するに過ぎず、殘餘は輸入に俟ち、硝子工業の基礎として又他の工業の藥品として之が自給自足は工業政策上重要なる事にて之が對策として曹達灰助成案なるものが商工審議會によつて頻りに審議されて居るが未だ議會へ提案の運に至らず、原料塩の高價なるにブラナモンド社の時々のダンピングに內地工業は不安定なる狀態を續けつゝある。今尙、ブラナモンド社製品が日本を風靡して居るに云つても差支へない。旭硝子の製品は自家用にして使はれる以外市場へ出る量は極めて少量である。

B、苛性曹達

輸入狀況

粗製苛性曹達輸入表

	昭和二年		昭和元年		大正十四年	
大阪港	八五二擔	七、一四三圓	一擔	一圓	擔	圓
神戸港	五〇一、一九七	四、一八六、一五〇	三、七六九、九三三		—	—
全國	六八二、四二九	五、九九九、一三九	五、三八〇、〇九二		三、八一九、八五三	

苛性曹達の輸入は主として英國、米國からで內地需要を百萬擔と見積つてその六割强は輸入し、外の四割弱は內地生產と見る事が出來る。最近數年間輸入は數量、價格共逐年增加の一途を辿つて居るが之は內地紙工業の盛大と石鹼工業の隆昌其他工業界の需要增加によるもので內地生產の少々の增產を以てしては之を補ふ能はざるに起因するものと思はれる。曹達灰と併せて年々一千萬圓以上もの輸入を見る事は四面海をめぐらして居ながら、原料塩採取の不備の爲あたら原料鹽の供給に苦しみ自然斯業の勃興を見ない事は遺憾。この上もなき事である。

只今の所內地品、輸入品の割合が上記せる如く四對六位の割合であつて常に內地市場は英國品の左右する所で、內地品も之に追隨するの止むを得ざる狀態にある。本年度初は米國品の入貨も相當あり、自然英國品との競爭上さした る高値も現出しなかつたが後半期爲替の關係上米國品が割高になつたにつけて財界不況の折柄に係らず英國ブラナモンド社が二十錢方値上げをなす等は如實にその間の經緯を語るものである。

牛脂

牛脂輸入高

全國

昭和二年	三三五、三〇六擔	五、〇二六、四五三圓			
昭和元年	二四五、五四三	六、三三四、〇五一			
大正十四年	二〇七、七八	五、九四一、九九三			

神戸港

昭和二年	四、二九七擔	九五、〇五六圓	
昭和元年	一〇、五三三	二五二、〇〇〇	
大正十四年	二四四、九八〇	七五〇、〇〇〇	

大阪港

昭和二年	九九、九四四擔	二、二三五、七〇五圓	
昭和元年	一〇九、五七一	二、八八一、一七八	
大正十四年	七七、六八六	二、三六、四三〇	

本年度輸入は前表に示す如く數量に於て一萬二百擔（四分一厘）價格に於て百三十萬圓（二割五厘）の減少であつた。輸入の九割までは濠洲物で、支那産のものは約一割見當と見る事が出來る。そも〳〵支那産のものは牛脂の市價昂騰せる時に多少づゝ增加する傾向であつたが、本年は濠洲物が近年になき安値を稱へた爲、之に壓へられてあまり入らなかつた。本年牛脂の輸入が昨年度に比し、價格の安かつたに係らず數に於ても四分あまりの減少を來しだ事は、內地石鹼業が割合に不振で、牛脂の代用として硬化油を盛に使用して、探算點を引上げ樣とつとめた事に負ふ所最も大なるものがあると思はれる。最近に於ける石鹼製造技術の進歩は著しく、化粧石鹼類に於て牛脂代用として硬化油を使用するも以前と劣らぬ製品を出す樣になり、化粧石鹼に於ては直接に非常なる影響あり、牛脂よりは多少割安たして牛脂代用品としてあまり劣る事なき硬化油の使用は當然の歸決であらう。

海外商況　かく牛脂價額暴落の原因と見られるものは歐洲向需要の減退によるもので、牛脂に代る硬化鰐の使用が石鹼製造方面に盛になつた事その他人造バターとして、各種工業用として盛んに使用される樣になつたが爲であるとの觀察をする向もあるが、確たる理由は認められない。

內地硬化油工業は最近生產能力を增加し、現在生產社（合同油脂グリセリン、旭電化、大阪酸水素、ベルベット石鹼、北海油脂工業、日本曹達、山桝硬化油製造所）の生產數量は本年度約三萬噸と見積られし居る。その中內地消費高は約二萬五千噸見當で殘餘は輸出されて居る。その輸出先としては獨逸及地中海沿岸地方で所謂オリーブ油石鹼の本場へ向けられつゝあり、これ等より類推する時は彼地に於て硬化油の石鹼工業に使用される量は蓋し尠少にはあらざるべく、今後日本內地石鹼業者研究の結果は必ずや牛脂の一大脅威となるであらうと思はれる。

石油

輸入狀況　近年自動車、飛行機の發達著しく軍艦の液體燃料使用、各工業方面に於けるデイーゼルエンジンの普及家庭燃料としての石油の使用增加等の爲石油の消費高は年々增加の趨勢にあり最近一ケ年の消費高一千萬石と推算されて居るが內地の生產高は消費の五分の一にも及ばず輸入高も年々增加しつゝある。

輸入先の重なるものは蘭印、合衆國で重油揮發油は普通蘭印が多く燈油は合衆國が多い。

全國鑛油輸入高

昭和二年

原油	一六三、六五六、二五五ガロン	二三、九八四圓	
揮發油	一八、二〇一、二六一	一一、〇〇六、二〇四	
燈油	五三、四八二、七八一	三七、九八八、三〇六	
其他	三三四、六七〇	三、三九、五三三	
計	三三四、六七四、九六七	六六、二九六、九二七	一、一四七

全國國別輸入表

揮發油

昭和二年

蘭印	七、四八四、九五三ガロン	五、四九〇、〇〇九圓	
米	一〇、七六、一三	五、五二五、五三	
其他		一九六	六九三
計		一八、二〇一、二六一	一一、〇〇六、二〇四

昭和元年

原油	二一七、八五五、六〇四ガロン	一〇三、一四二、八九八ガロン	二五、七〇一、七二四圓
揮發油	二九、二五二、六二六	一八、二三五、七二三	一四、五二六、一四七
燈油	三三、八五六、〇〇三	一七、〇〇一、四二五	三三、八〇三、八三三
其他	五六、八〇九	五、八九七、五八二	四六九、九六二
計	二八〇、四八七、〇四二	六〇、三三二、七八四	一五九、三五七、七七六

大正十四年

原油	一四、八五三、六七二ガロン	二、九四五、一五七圓	
揮發油	七、六六三、九〇六	五、五七九、八四四	
燈油	一六	一六	
其他	三三、五二七、六〇三	一七、五二五、一五七	

蘭印	三、九四一、九七七	二、二五五、二九八	九、八二八、一五六
米領	二七、八四四、六〇四	一四四、八六四、九九九	二一、九五五、二五七
其他	二、六五六、二〇〇	一、八三八、〇三九	一、三四三、四九〇
計	三三、四八三、七八一	二七、九六八、三〇六	三二、八六六、〇〇五

內地狀況　新潟地方は例年よりも增產を來したが、秋田地方は非常な減產であつた爲、本年度內地生產高も百五十萬石見當で前年度よりは多少の減少であつた。外に臺灣の油田は相當の增產で十五萬石位、結局前年度と大差なき事になつて居る。

海外狀況　昭和二年度石油界は非常な悲境にあつた。それが主因は米國產油が近年になき增產で月七千五六百萬バーレルを出し五月頃より在荷も三億萬バーレルを突破するの有樣で、米國の市價は非常な低落を見た。自然米國品の輸入殺倒して內地市價に大なる影響を及し八月より九月の交へかけて揮發油の如き一函につき八十錢乃至一圓の暴落を示し、輕油の如きも三十錢方と一般に大暴落を演じたわけである。其後幾分引戻したるも其程度は僅かで依然不況裡に越年したる。

石油の主產地は米國、露國、メキシコ等で昭和二年度世界石油總產額十二億四千四百萬バーレルと掛定されて居る。その中米國は九億五百萬バーレルに上り全體の七割九分、次いで露西亞の七千萬バーレル、メキシコの六千三百萬バーレル等である。之を表示すれば次の如し

一九二七年世界原油產額

	九四、四二五千バーレル
米國	七〇、〇〇〇
露國	六三、〇〇〇
メキシコ	二〇、〇〇〇
ヴエネズエラ	三六、〇〇〇
波斯	二六、〇〇〇
ルーマニヤ	二〇、〇〇〇
蘭印	一二、〇〇〇千バーレル
ペルー	八、〇〇〇
亞爾然丁	八、〇〇〇
波蘭	五、九〇〇
トリコ	五、四〇〇
ダツト	五、〇〇〇
サラワク	一、七〇〇
日本	

コロンビヤ	一四、〇〇〇		
總計	一、二四四、九二五		

染料

い、人造藍

輸入狀況

最近三ヶ年間輸入表

	昭和二年	昭和元年	大正十四年
神戸港	一、二九七、〇九九斤	一、三五二、一六六斤	一、八六七、五六四圓
	一、七二一、二九三圓	一、八三五、二九二圓	
全國	一、八八四、八四三斤	一、九三〇、九五七斤	一、八六三、四八〇斤
	二、三二四、八四三圓	二、六九〇、六四四圓	一、六二四、〇八四圓

前年の輸入過剩と獨逸賠償藍拂下とにより在荷潤澤なる所へ財界不況の餘波をうけ內地機業不振の爲需要著しく減退せる事は輸入減退の主因である。仕出先は獨逸米國瑞西佛蘭西で獨逸が全量の半を入れて居る。內地需要高は年約二萬樽で內地では三池で多少製造されて居るが一千樽で殆んどは輸入品と見る事が出來る。相場はヂリ安で年來一樽(百十二封度入)百七十圓見當を唱へられた。

ろ、コールタール染料

最近三ヶ年間全國々別及神戸港輸入表(但し神戸港大正十四年度分はアニリン染料のみ)

	昭和二年	昭和元年	大正十四年
佛蘭西	一二五、二八斤	一八五、六九八斤	一四九、七〇三斤
	二、二〇二、七四七圓	五、〇三二、一四五圓	三三二、九五四圓
獨逸	一、二六七、二五五斤	一、九二八、五九四斤	一、八五九、六八二斤
	三、一四九、七四七圓	四、八五九、六八二圓	三、八五九、六八二圓
瑞西	一、二六七、二五五斤	一、九二八、五九四斤	一、八五九、六八二斤
	三、一四九、七四七圓	四、八五九、六八二圓	三、八五九、六八二圓

米　國	六三、五三七	七六、〇五七	
其　他	三五、五七七	八四、三七六	
全國合計	二、二八九、三八四	五、九七四	三、一七三、七五八
神戸港	二、二〇三、八七七	五、三八、〇三八	三、一七二、一四九

コールタール染料としてアニリン染料が大部分を占めて居る。神戸港は九割五分まで入れて居る。仕出地は前表に示す如く獨逸七割北米合衆國瑞典の順序で本年度は前年度に比し百二萬四千餘斤、百一萬二千圓の減少であつた。之が原因は財界の不況と農產物の不作安値により生產販賣兩方面共思はしからず自然原料たる染料の需要も前年に比し相當の減少を見たるによるものである。

本品の相場は以上の如き理由により極めて軟弱であつたが年末に至つて多少機業界に活氣を呈せるため氣配も多少持直した樣である。然し日染會の實値協定ある爲さしたる變調は見ず年東直接一圓八十錢同、ブリユー一圓九十錢より二圓五十錢コンゴーレット一圓五十錢、直接エロー四圓、ロータミン日染物九圓三十錢米品九圓五十錢、オーラミン普通三圓、硫化黑內地物三十錢より四十錢、グリーン二圓見當を唱へて居る。

尙內地コールタール染料生產高は七百萬瓩と算せられて居る。

海外狀況　獨逸は今尙世界染料產額の五割強を生產して居り、その生產高七千五百萬瓩と算せられて居る。その中一九二七年度輸出高はアニリン染料二九、七三四、九〇〇瓩アリザリンレッド九七五、〇〇〇其他アリザリン染料三、〇八八、四〇〇人造藍一、四三〇、一〇〇等で戰前の一億二千七百萬瓩に比すれば非常なる相違である。

米國は歐洲大戰により獨逸染料輸入杜絕してより勃興せるもので今や國內生產高は消費高の九四%を占めその上尙相當の輸入を見て居る。一九二七年の生產高は約九千五百萬封度であつた。

硝子板

輸入狀況

最近三ヶ年間輸入表

	昭和二年		昭和元年		大正十四年	
薄板（一平方米以下）	一、九〇、九九方米	一、三六八、三六七圓	一、七〇八、九六方米	一、三七四、五三三圓	七八〇、八二方米	八二八、九七四圓
同　其他	一三五、一三五	一四六、〇一四	一五四、七九四	一六四、三七一	六四、三七一	一二八、六七七
厚板（千平方糎以下）	二七三、八九七	六五九、三八	二六五、一七四	八三八、七五七	二三九、四五一	九三三、七六〇
同　其他	三二、八九〇	三、三七、一五一	二六三、四四三	二、四三九、九六六	一九、四六三	一、九二六、三五五
其　他	六〇三、四〇一	一、二六九、三六六	六三三、九六七	一、四四八〇、一七五	二五九、三三三	八六九、六〇一

建築樣式の變移につれ、窓硝子はじめ一般板硝子の需要は逐年增加し、本年度の消費は約二百三十萬函と推定されて居る。その中內地生產高は二百萬函、輸入約三十萬函と見る事が出來る。內地生產は內地消費の增加につれ逐年增加しつゝあるが尙一部デパート或は一般商店のショーウインドウグラス等高級硝子の止むを得ざる物の輸入と、市價の高低により一部分づゝ白耳義、英國、獨逸、支那、關東洲方面物の輸入を見るわけで、今一步にして國產品を以て殆んど自給されるの狀態にまで立至つて居る。本年度の輸入について見るに薄物、厚板共何れの品物も數量に於て前年度よりは多量に入つて居る事は前表に明らかなる所であるが之が主因として擧げられて居るものは白耳義が爲替關係の有利に乘じて盛に活躍した事と內地の需要が相當旺盛であつたに歸せられて居る。

年初輸入物、九圓三十錢旭の松印九圓三十錢と値開きは殆んどなかつたが白耳義は二月以降斷然一圓方もの値下げを斷行して來たので旭硝子に於ても不需要期市場鈍重の折柄五十錢方値下をして之に對抗するに至つたが、ベルギーは四月、五月と依然値下を連續して常に旭よりも安値を持續するの方策に出で相當悲慘な對抗戰を現出し輸入も亦この間に相當量になされて居る。かくて六月より最需要期に入り、臺灣方面への移出も頓に增加し、一方採算不引合からべルギー品の輸入減少し久しきに亘つての惡化せる市況も立直り七月松印八圓五十錢、輸入物八圓三十錢を稱へた、年末は不需要期でもあり八圓見當にて終つた。

世界狀況　（白耳義）米國に亞いでの板硝子製造國であるが米國が同時に最大消費國たる關係上、ベルギーは世界板

硝子供給國として斷然たる地位を保持して居る。同國に於ては古くより手吹法で行つて居たが最近三四年來機械吹をも採用し大いに能率を上げて居るが、其生産數量は月板硝子三百九十萬キログラム、窓硝子二千四百萬キログラムで操業率は殆んど八割であると云はれて居る。板硝子の生産高は年々減少を來しつゝあるが他面窓硝子額は年々增量を見つゝある。その理由として推測されるものは板硝子の製造は各國で近年割合に盛になりつゝあり、米、英、佛方面の一らの需要も亦減じつゝあり、窓硝子は之に反し同國製品が正に世界市場を獨占せるかの觀あり、米國向の如きは前年度に比し五割强の般窓硝子、自動車用窓硝子として盛なる需要を換起しつゝあるによるもので、米國向の如きは前年度に比し五割强の增加を示して居る。一九二七年度同國の硝子界は機械製窓硝子額は活況を呈し、手製の板硝子額に於ては市況はさして悪くなかつたが多少荷もたれの觀があつた。同國板硝子類生產狀況を表示すれば

板硝子		
一九二六年上九ヶ月	四四、〇九二、四〇〇キログラム	二〇五、九六四、〇〇〇フラン
一九二七年上九ヶ月	四二、四三五、六〇〇	二三二、〇八二、〇〇〇
窓硝子		
一九二六年上九ヶ月	一九二、九六六、一〇〇	二九〇、二九八、〇〇〇
一九二七年上九ヶ月	一八六、五五七、六〇〇	四二六、四七二、〇〇〇

銅（塊及錠塊）

輸入事情

全國

昭和二年	一六三、一七七噸	昭和元年	三三五、五三五噸 九、四四七、〇八四圓
	六、八二七、二四九圓		大正十四年 五三、九七二噸 二、四二〇、三九七圓

昭和二年度阪神兩港輸入額

大阪港	七二、三四六噸	神戸港	四〇、四四〇噸 一、五三三、六七二圓
	二、七二四、二七九圓		

國別輸入表（阪神兩港合計）

支那	三、四三六噸	米國	一〇九、三六〇噸 四、一三〇、八五〇圓
	八七、一〇〇圓		

本邦に於ける銅の需給狀態を見るに一九二五年十二月に於いて內地生產高五千六百三十九噸、輸入高百九十噸計五千八百二十九噸の供給に對し需要は輸出二噸內地消費五千六百八十七噸計五千六百八十九噸の供給過剩なりしも、一九二六年六月には內地生產五千四百八噸、輸入千九噸計六千四百十七噸の供給に對し需要は輸出十三噸、內地消費七千二十八噸計七千四十一噸であつて差引六百二十四噸の供給不足となり爲に一九二五年十二月に於いて四千九百四十九噸なりしストックは翌六年六月には二千七百四十八噸と激減したのであるが其後一般財界の不況の影響を受け需要は漸く減少傾向を示し一九二七年七月に入りては內地生產高五千百五十三噸、輸入五百七十五噸計五千七百二十八噸の供給に對して需要は五千四百六十噸あつて、差引二百六十八噸の供給過剩を見た即ち次の如し。

本邦銅需給月別表（單位噸）

月次	內地生產高	輸入高	輸出高	內地消費高	在荷高
一九二七年一月	五、七四四	八八八	〇	五、七二八	五、二二一
二月	四、九二二	一、三二一	九	六、〇五五	五、〇六九
三月	四、二七七	一、四四九	二	六、三二九	五、〇二一
四月	五、四二三	一、六九八	二	六、三八八	五、七二一
五月	五、三〇七	六二〇	一	五、八八五	五、九三三
六月	五、四五六	八三三	二	五、五一〇	六、七二八
七月	五、一五三	五七五	〇	五、四六〇	六、九九〇
八月	四、九六二	四〇〇	〇	五、三六〇	六、九七五
九月	四、八六二	五二四	五三	六、〇五六	六、八〇六
十月	五、三五五	五二五		六、一九一	六、一九一

十一月		五、五九〇		一五三
十二月				
累計		六三、五五六	二、〇九八	

次に本年度内地商情を顧るに前表よりして内地の銅價は全く米國次第なりと云ふ可く、米銅價の安定即内地銅價の安定となつて現はれたが只吾銅市況には米銅相場ならびに爲替の問題がある本年二月は爲替急騰のために内地相場が四十四圓二十八錢と云ふ大正十一年以來の安値であつたが其後爲替崩落したゝめ米銅の輸入採算が困難となり、恐慌で内地の需要が減少したが差引輸入減のために在荷が減り市價の高騰を見るに至つた。即ち十二月上旬の内地相場が四十九圓から五十圓見當で安値から五圓方の昂騰であつた。

海外事情　（米國）米國金物統計局の發表に據ると本年度本品世界生產高は百六十萬八千噸で前年に比すれば五萬八千噸の增產である而も右の增產は主に昨年下半期の生產增加に因るもので下半期の生產額は計八十三萬六千噸、前年同期より三分の增產に相當した。

此の世界的增產に拘らず各地の在荷は何れも著しく減じて居る即ちロンドンの滯銅は上述の如き理由から本年初めの三萬六千噸は逐月減少した、紐育の在荷高は上半期末には九百噸乃至十萬噸なりしも後半期には年末の九萬五千噸を除いて減少傾向を示した、今更に米銅のみの需給狀態につき最近三ケ年通計を見ると次の樣である。（單位千噸）

	生產高	輸出高	國内消費高	在荷高
一九二五年	一、三五二	五八五	八三一	七五
一九二六年	一、四四〇	五二六	九〇三	八六
一九二七年	一、四七六	六四三	八三五	九五

即ち本年の生產高は此の數年來の最高記錄で前年より三萬六千噸の增加であるが、輸出高は六十四萬二千噸を見、前年より十一萬六千噸からの激增を意味するもので大陸諸國中殊に獨逸の電氣造船、自動車工業の復興がおびたゞしき米銅の輸入を見るに至つた、次に米國内の需要は前年より七萬七千噸方減少せるもこは春夏にかけて景氣が減入つた事、またフォード自動車工場が新型發賣のため秋冬數ケ月休業せる事等がなつて力ある樣である。

今米銅相場に就いて觀るに、本年は晩春から夏にかけてジリ安の歩調で十二仙半まで下り一時は悲觀的な觀測も行はれたのであつたが秋口に入るとボツ〳〵需要の擡頭を見るに至りために市價はメキ〳〵と回復し年末には十四仙八分の一と安値より一仙八分の五の引返しを見たのであるがそも急騰と云ふではなし、一ポイント、二ポイントづゝの頗る牛歩的な上げ振りで、更にロンドンの電氣相場を見るも同樣、七月の五十九ポンド八分の七を底として自後硬調に轉じ十一月より年末にかけて高く、特に十二月末には安値より七ポンド高の六十七ポンドを現出するに至つた。

錫（塊及錠）

輸入狀況

全國

昭和二年	六二、七六擔	一〇、九六九、六二九圓	
昭和元年	六〇、七四二	一〇、六九九、八〇一	
大正十四年	四九、四九三	八、七四五、六五三	

本年阪神兩港輸入額は數量三萬五千百九十五擔、價額六百十六萬三千三百十六圓に當り之を昨年度に比ぶる時は數量千九百五十擔、價額三十三萬三千四百五十一圓の減少を見た。然らば少額ではあるがこの現象は何を物語るものか本品の需要減退を意味するものであらうか。國產の增加に因るにもあらず塊錠が年々海外から輸入されて居るのであるの事實を知つた時國產增加がよし首肯すべきものとするもその結果の程は大抵想像が卽來る、ではストックの持越が相當ありしと見るのが最も穩當ではあるまいか。由來錫市況は非常に變動が多いので、其の相場は常に思惑の對照となり、此の所堅實商人泣かせの商買であるらしい、而も本年は產地生產の振合と爲替關係からして可成りの波瀾を見た。即ち錫相場の標準となる新嘉坡錫について見るに昨年一月には產地生產の不足、爲替相場の逆調著しき等の原因により二百三圓といふ最高相場を現出したが其後需要の不振により五月には百八十圓十九錢と低落し需要期に入るに

大阪港　神戸港

昭和二年	二六、八八一擔	四、七〇六、三七四圓	八、三二四擔　一、四四七、〇八九圓
昭和元年	二四、一四〇	四、三三一、七六七	二、一二五、〇〇〇
大正十四年	一五、四〇三	二、七九九、四五三	三、二三三、〇〇〇

從つて高値を示し、十二月には百八十九圓二十七錢ㇾなつた、而して本年に入るや需給の關係が均衡を得らるゝこと需要亦相當見し結果六月には百九十三圓三十八圓を上押したが爾來市況は反落に轉じ十一月百七十五圓六十七錢ㇾ低値を示し、十二月には又復百八十七圓五十八錢ㇾ上押した。

生産並消費　錫の需要は近年益々增加の趨勢を辿り、食器、置物、花瓶、其他家具、工藝品、鍍金、合金用ㇾして愈々其の利用範圍を擴大するに至つたが之に對して我國の錫生産高は年約三百五、六十噸に過ぎざるもので年々約三千五、六百噸の塊類を海外より輸入する狀態である、即ち約四千噸弱、千二百萬圓か吾が國一ケ年の全消費高を見る事が出來る故に今加工費を原料の五割ㇾ假定すれば年額一千七、八百萬圓の全價格を見られる。

錫の世界年産額は十四萬餘噸にして、其の過半は海峽植民地は産出を見るもので、此外支那雲南省南洋バンカビツトン島、濠洲、南米ボリビヤ、英國なぎ少額の産出を見て居る、而して吾が國の産額は年額三百五十噸から四百噸見當にして、又消費高は約四千五百噸內外で大部分は之を海外に仰ぐ次第で、本年年の輸入は三千七百五十噸であつた而してこは海峽植民地並支那から主ㇾして輸入を見たもので、主なる用途は茶器、食器、其他器物の製造並に包裝紙ㇾして錫紙の製造に用ひらるゝものであるが其他鑵詰の製造には必要なものであり又近時合金材料ㇾして軍需材料用及自動車に用ひらるゝに至り其の用途は頗る廣範圍に亘るものㇾなつた、

鉛（塊及錠）

輸入事情

	全國	大阪港	神戸港
昭和二年	九三四、四二擔 一五、三一〇、九八四圓	二九、二四〇擔 二、一四六、二四〇圓	三七七、〇二九擔 五、八二二、二八〇圓
昭和元年	九二三、〇二六 一八、七五五、四三八	二〇六、六七七 四、三六六、六五八	六、四七三、〇〇〇
大正十四年	六七五、八七一 一六、三六八、九九九	二六六、四八二 六、一〇一、三五九	四、〇五八、〇〇〇

本年阪神兩港の輸入額は七百九十五萬八千四百五十八圓、數量五十萬六千二百七十九擔にして、前年度より減少する事價額に於いて二百七十四萬千二百圓、數量に於いて二萬二千七百四十四擔であつた。

本年內地商情を顧るに今標準物たるタヾナツクに就いて見るに、昨年一月本品の平均相場は二十三圓七錢なりしに爾來產地安、並に內地需要不振の影響をうけて漸落し、本年一月には十七圓六十七錢即昨年同期より五圓四十錢安の低値を示した、二月には海外高に刺戟され一氣十九圓三十八錢ㇾ近年になり大暴落を現し大し十月には遂に十三圓八十二錢ㇾ近年になり大暴落を現した。

我國に於ける鉛生産高は昭和元年度に約四千噸を見せたるも之を米國の同年度生産高六十三萬餘噸に比するときは實に十六分の一弱に過ぎず、從つて年々輸入さるゝ鉛（塊及錠）の高は昭和二年度に於いて九十二萬四千四百五十二擔（五萬五千二十六噸）であつて之に內地生産高たる四千噸を加へて合計約六萬噸が我國に於ける鉛の全消費高であつて需要の大部分は海外よりの供給に俟てる樣である。即ち輸入の消長則ち內地本業の消長ㇾ見てより我國に於ける主要鉛産出の鑛山は國富、洞爺、水澤、本の松其他の鑛山が算へらるゝも鉛鑛山ㇾしては未だ一ケ所も發見されざる樣である。

海外事情　飜つて世界に於ける鉛の生産狀態を見るに一九二五年に於いては百五十萬七千餘噸なりしが、二六年には百五十九萬五千噸を見、九萬噸弱の增産を見せた、而して本年（二七）の生産高は未だ發表を見ざるも尙此より若干增加せるものㇾ思はる。

亞鉛（塊、錠及粒）

輸入事情

	全國	大阪港	神戸港
昭和二年	四九、七二四擔 九、三五五、三六四圓	二一、三九四擔 四、三八四、四二六圓	二九、〇五九擔 二、六六六、四五六圓
昭和元年	六〇一、六三六 一四、〇三八、七二〇	二四八、七四四 五、八九一、四七九	一五三、三四三 三、五九八、〇〇〇
大正十四年	三九八、五九一 一〇、三九六、八五二	一六八、八七八 六、九七三、九〇九	一五五、三四四 一、一四八、〇〇〇

吾國亞鉛の產額年僅かに千餘噸に過ぎず需要の大部分は輸入に俟たざる可からざる有樣にあるもので、同年度の亞鉛輸入量を見るに塊、錠及粒四十四萬九千七百五十四擔　價額九百三十三萬五千三百六十五圓に達した。更に國別的に之を見るに先塊、錠粒に在りては濠洲の十五萬八千餘擔最多く加奈陀の十五萬餘擔、米國の十二萬餘擔之に次ぐ

今世界各國亞鉛生產を見るに一九二四年には百二萬噸、二五年には百十四萬一千噸二六年には百二十四萬九千噸と漸增し、年々約十三、四萬噸の增加を示し二七年度は未だ明かでないが恐らく百三十五、六萬噸は下らなかつた事と思はる而して主要生產國は今も云つても米國にして全生產高の五割近くを占め、白耳義、上部シレシヤ、佛蘭西、濠洲、加奈陀がある。

內地商情を顧るに今標準物たるA乙に就て其の市況を見るに、本品は海外相場の低落と內地需要の不振により殆ど漸落の一路を辿り來れるもので本年一月には二十二圓八十五錢になり、三、四兩月は海外高と需要期節の關係で二十四圓と小戻りを見せ、五月以降には又復軟勢を示して年末には二十二圓一錢といふ同年の低値を示したのであつた、即ち之を平均して見るに、本年は昨年の二十六圓七錢に對し三圓安く二十三圓七錢を示した。而して亞鉛相場の前途を大觀するに、本年度に於ける世界生產狀態は相當の生產過剩あるものの如くで從つて海外相場もにはかに强調は期し難かる可く一方爲替相場の强氣を示さる等の事情よりして今後尙軟弱は免れぬ所と見らるしかも尙近時需要不振、問屋筋の日和見主義を採れる吾國の亞鉛界に於いてをやである。

アルミニユーム（塊並錠）

我國に於いて本業が今日の盛大を見るに至りし事は極めて最近に屬し、戰前の塊並錠消費量は僅かであつた、而して本品は我國に其の產出を見ない結果輸入量即ち消費量を見る事が出來る。而して本品は今や軍事用及私經濟用の廣範圍に亘りて需要せられ輸入アルミニユーム錠の四十五%は臺所器具に用ひられ、三十五%はワイヤー並に銅心アルミ線に、十%は合金に、殘餘は自動車並飛行機エンヂン製造に用ひらるゝものである、水力發電事業の盛となり來れる結果送電用高壓線の製造に用ひらるゝもの、合金に用ひらるゝもの、近年漸く其の多きを見るに至つた、然るに我國は原料塊の產出を見ざる結果之を海外諸國よりの輸入に俟つもので曾つてボキシート（Bauxite）を佛國並印度より輸入してアルミニユーム製出を企畫されたのであつたが此は運賃の關係より採算割れとなりて、成功せず且アルミニユームの輸入は關稅を支拂ふも尙頗る廉價にて輸入さるゝ現狀である。

今過去三ケ年に亘るアルミニユーム（塊及錠）輸入事情を見るに左の通りである。

全國

昭和二年	九九、六五九擔	六、一五三、三三二圓
昭和元年	三五、七五五	八、八一七、二七九
大正十四年	七八、二八	一、八六〇、九九三

內地商情　アルミニユーム塊（錠）の相場は各生產國において、價格を協定され居る關係上輸入價格としては左まで變動なき譯なるも爲替相場等の一時的影響をうけ實際には相當の變動あるを免れなかつた、即ち爲替相場の平價に近かりし、本年一月には市中標準相場百封度建四十八圓九十錢なりしものが六月には財界恐慌後における對外信用の低下、即ち爲替の逆鞘甚しかりしため五十六圓の高値を見せたが其後爲替相場の見直しとともに八月には五十二圓となり、十二月には再び一圓高の五十三圓を唱へた、今過去一ケ年間における推移を見るに左の如くである。

蛸足（旭印）瑞西物相場表（百封度建）

昭和二年一月四八圓九〇	二月五一圓	三月五四圓	四月五〇圓
五月五〇圓	六月五六圓	七月五二、五〇	八月五二圓
九月五二圓	十月五二圓	十一月五二圓	十二月五三圓

次に製品相場に就て見るに製品工場の賣出値段は總體的に餘りに差異なかりしも然し一般不景氣に加へて同業者間の競爭激甚の結果遂に探算點を割るに至つたものさへ出づるに至つた。

海外事情　一九二六年の世界生產高は約二十萬噸、消費高十九萬噸を見た、而して生產消費兩方面より米國は首位を占め居り、生產額は全世界の三八%、消費高は五七、二%に相當した又瑞西約二萬五千噸を產出し、其の大部分は輸出を見た。

米國は內國生產原料のみにしては大なる不足を感ずるので獨逸、瑞西、ノルウエー佛國等より多量の原料塊輸入を必要として居た。歐洲各地の生產會社が增產計畫を實行せる動機は內地の需要增加を考慮せるは勿論乍ら、猶引續き米國よりの需要あるものとの市へ斷よりであつた。されど亞米利加アルミニユーム會社は一工場に於いて從來世界金產額に匹敵する年額十八萬噸を生產する豫定にして、最近これが實現も時の問題となり居る樣にて、尙これがいよ〳〵實現の上を生產價格は在來のものに比し餘程低廉と云ふに、現在世界の最大市場である米國へ輸入されて、從來の外國輸入品を驅逐し猶從來大需要の鐵鋼類に對抗して或程度迄の侵蝕を增すものと思はる。又一面アルミニユーム會社は他の方面において露西亞からボーキサイトの特權を獲て居る。又西班牙においては水力の特權を得猶歐羅巴アルミニユーム、カルテルに隷屬して居るし、又匈牙利のボーキサイトラストを買收する計畫も噂されて居るから近い將來にアメリカアルミニユーム會社の活動が歐洲市場に迄及び來りアメリカ生產會社と歐羅巴生產會社との商戰が舞臺を歐洲に求めて花々しく開始を見るのも遠くはあるまいと思はる。

銑鐵

輸入狀況

全國

昭和二年	七、八八二、四八二噸	三〇、九五五、四八〇圓	三、九二
昭和元年	六、六八〇、六五五	一七、五九八、二六一	二、五四
大正十四年	五、二五二、六三五	一六、六五八、三三五	二、五二

大阪港

昭和二年	三、二〇一、八八五噸	八、五二七、五二七圓	二、六五
昭和元年	二、五二二、三〇二	六、六〇〇、九六六	二、六二
大正十四年	二、〇四二、〇八二	六、三五〇、八〇九	三、〇八

神戸港

昭和二年	四九〇、四四八噸	一、三二八、五八五圓	二、七一
昭和元年	一、一〇四、四〇四	二、八八九、〇〇〇	二、六一
大正十四年	一、一〇三、〇八一	二、三五〇、〇〇〇	二、一二

本年度阪神兩港に於ける本品輸入額は九百八十六萬六千百三十圓即ち、全國總輸入額の四割七分強に相當し、前年度より三十七萬圓強の輸入を見たのであつた。而してこは本年下半期に於ける海外鐵價の騰貴と爲替の低落のため輸入値段を高騰せしめた事實さへなかつたならば尙一層の輸入ありしものと思はる。

吾國の銑鐵は其大部分の供給を印度並に滿洲に仰ぐもので、本年度此等地方からの吾が阪神兩港の輸入額は合して九百二十萬圓即兩港輸入額九百八十六萬六千百三十四圓の殆ど大部分は印度及關東洲よりの供給である。則ち吾國銑鐵の輸入は全く印度銑鐵、支那銑鐵の相場如何に左右されるものであつて、印度銑鐵輸入關稅、鐵鋼輸入關稅問題に當業者は勿論、政府筋が八喧しく言ふ所以である。其は閑話休題本年度の本品市場は一般鋼材市場の極度なる不振の餘波を受け概して活潑を缺いたと言ひ得る。

海外事情　本年度世界に於ける銑鐵生產に就いて見るに、本年は其の生產高實に金屬發見以來の最高レコードたる八千四百七十九萬グロス噸の生產を見たと言はれ、昨元年度の七千七百四十五萬グロス噸、一昨年（大正十四年）の七千五百六十八萬七千グロス噸に比し其の增加の勢、蓋し、注目すべきものがある。

鐵板

本年度に於ける本品市況は構ね軟弱歩調を以て終始した、これが原因に就ては一、內地製產の勃興に伴ひ輸出國が競爭時に輸入相場を引き下げた事二、亞鉛鍍金界が振はざりし事三、金融恐慌以來隨所に投物の出た事等を數へなければならぬ。

本年は春季及秋季需要期に於いて何れも八十錢臺を唱へてるるに比し本年は一月の七十七錢五厘を最高として一途下押し、八月の夏枯期には七十二錢八厘を最低値と唱へて居る、而して生產並輸入鋼材の需要は近年益々增加の傾向を辿りつゝあるが就中これが增加の最も著しきものは薄鋼板（厚さ〇、七ミリ以下のもの）である。これ近時亞鉛引鐵板（建築用及加工用として）琺瑯鐵器、其他各種加工用としての需要が益々增加せるによるものであつて、本品の需要が如何に旺盛なるかは左記數字によつて明かであらう。

輸入事情　全國

昭和二年	四、三七四、六六七噸	四〇、九九〇、七七七圓	三一、三七八、七二八
昭和元年	四、三七四、六六七	四〇、九九〇、七七七	三一、三七八、七二八
大正十四年	二、八八七、八八七	三一、三七八、七二八	一一、一

右表により知り得る如く昭和元年、昭和二年に於て四百萬噸餘（この價額三千數百萬圓）近くの輸入をなせるに見る

も鋼材總輸入高中數量に於いて五分の一強、價格に於て三分の一弱の多額を占むること看取し得るであらう、これ單に輸入量のみに就ての調査であるが更に内地生産としては昨昭和二年度に於いて川崎造船所五萬噸、德山鐵板二萬五千噸、八幡製鐵所一萬八千噸、日本鋼業六千噸（ゲーヂ十八番以上三十番半迄即ち十三枚物）である。終に阪神兩港の本品輸入額を見るこ左の如し。

	大阪港		神戸港	
昭和二年	五七八、六三擔	四、九七四、七二八圓	一、四七五、九七一擔	一四、八五五、〇三六圓
昭和元年	五二八、四六九	四、六二一、〇七六	一、五六五、二八九	一四、八六〇、〇〇〇
大正十四年	二〇三、一〇八	二、三五七、六二八	一、三一四、九四四	一六、四二六、〇〇〇

即ち本年阪神兩港に於ける輸入額は大阪港、神戸港ともに增加を見せて見る。

鐵（條、竿、Tアングル型類）

輸入事情

	全國		神戸港		大阪港	
昭和二年	三、四三二、九五四擔	一五、九九二、六九三圓	八三六、二九一擔	三、〇一五、四四四圓	七三一、四八四擔	三、一〇三、四五〇圓
昭和元年	四、六六八、二四八	三一、一四一、四六九	一、一九九、二三三	五、八三五、〇〇〇	一、一三一、二六八	五〇七四、一五三
大正十四年	二、三〇四、八〇九	一四、二五三、〇一〇	五一七、九三九	三、三六八、〇〇〇	七二九、四六六	四、八〇、七一七

本表によりて見る時は本年度の輸入額の減少は主こして阪神兩港に於ける輸入額の減少にある樣である。尙前表中阪神兩港輸入高に對する價額の相違は即ち兩地の特色を發揮するものであつて、其の取扱品が兩者相異るに在るものである。

鐵材市況　本年度の鐵材市況を概觀するに之を一言以て云へば極度の不振を以て推移したこ云ひ得る、市價は年初來漸落歩調を辿り四五月頃は二三製鋼會社の安値賣りに底拔けの商狀を呈し、爲に市場は混亂の極に達した、其後爲替の下落、海外鐵價の騰貴に因り漸次見直し十、十一月の需要期には年初の高値に戻り、市況は强調を持續したがこは云へ一年を通じて之を見れば近年稀に見る不況であつた、因に參考のため本年の安價相場を見るこ丸棒四分三圓五十錢、平鐵三圓三十五錢であつた。海外鐵價の騰貴こ爲替の低落は輸入値段を高騰せしめ之がため本年下半期は鐵材輸入高は激減を示し市場の滯貨は漸次整理された。

金屬工及木工機械

輸入

	全國		大阪港		神戸港	
昭和二年	七三、八九二擔	四、九八五、八二七圓	三一、六九二斤	七一、三四〇圓	四、七三三、三七斤	二、五四三、三八一圓
昭和元年	二九、六二六	三、〇四二、五七五	—	—	—	—
大正十四年	五三、六二三	五、七四四、六四五	九五、三九三	三五、九二三	一、五〇九、〇〇〇	一五〇、〇〇〇

本品本年度全國輸入高は價格四百九十八萬五千八百二十七圓にして前年に比し約二百萬圓の增加にして之を吾が阪神兩港に於いて見るも本年度輸入額は二百六十一萬五千七百二十一圓にして前年度に比し百二十四萬圓强こいふ激增振りである。之を一般に機械類の輸入額逐年減少の傾向に在る近時の狀勢に比べる時はいさゝか奇異の觀を催す可きであるか矢張此は本年特種の現象こいふ可きもので一般には國產機械類の發達の結果海外製品の輸入は逐減傾向をこれるものである。併して本年度の輸入が數量に於いて著しく增加し乍ら價額が之に伴はない所より見る時は海外相場安の結果思惑買が案外に多かつたのではあるまいかこ思はる。

發電機及電動機類

輸入事情

	全國	大阪港	神戸港
昭和二年	八、四六四、六八九斤 七、〇三〇、二〇七圓	三五七、〇六五斤 四三五、二七二圓	四、二四四、二六八斤 五、二四六、二五二圓
昭和元年	一三、三六二、八五二 一〇、六九〇、二九三	九、五一七 一一、七七二	四、三三三、三二一 五、九四四、〇〇〇
大正十四年	二、二五、一八七 二、九八一、五五一	六二、一〇五 五、五七八、五五四	五、五〇〇、〇〇〇 五、五〇〇、〇〇〇

本年阪神兩港輸入額は數量四百六十五萬千三百三十三斤價額三百六十七萬三千五百四十四圓にして之を前年に比する時は數量において四十二萬九千五百斤增加、價額において三十二萬二千百二十八圓の減少を來たした、而してこの現象は之を全國的に見るも同じく、本年度全國總輸入高は數量八百四十六萬四千六百八十九斤、價額七百三萬二百七圓にして前年に比し數量價額において各々三百九十一萬七千百六十二斤、三百六十六萬八十六圓の減少を來して居る、而してこの原因さ見らるものは生產技術の發達の結果漸く國產品が舶來品さ對抗して市場に出づるに至つたためではあるまいかさ思はる。

大阪港輸出品（內國產）

國名	數量	價格
米及籾		円
支那	一六三（增）	三、〇〇一
關東州	八	一八〇
香港	八	一三〇
印度	六一九	二一、八八〇
海峽植民地	二三四	三、九五〇
蘭印	一五	二六七
佛印	二	四四
比律賓	二	二九
濠洲	三	五三
佛印	六	一〇四
計	一、〇九九	一九、二六一
大豆		
支那	三三（增）	三五五
關東州	三八	二、七九
海峽植民地	一	一五
蘭印	一七	二三三
香港	六	六一
印度	二	一九
英領印度	一〇	一五八
合衆國	六	五五八
濠洲	八	四二八
計	二四一	四、一三

國名	數量	價格
豌豆		
支那	三二（增）	二九七
關東州	六八	七八八
海峽植民地	六	七九
比律賓	一	一三
計	九	一、〇六
隱元豆		
支那	一四二（增）	一、三八二
關東州	八七	九六八
香港	一三	一五二
印度	一	一四
海峽植民地	五〇	六七七
蘭印	一	一四
濠洲	四	五〇
計	二九七	三、二八一
其他ノ豆類		
支那	一五二（增）	一、六七
關東州	二八五	三、二七
香港	一三	一三〇
印度	一四	一四七
海峽植民地	一二八	一、四二七
蘭印	一七	一九七
佛印	二	一六
合衆國	二八	四八五

國名	數量	價格
小麥粉		
支那	二一、五五二（增）	二六六、六六六
關東州	一八五	二、五三五
香港	二、七七	二九、一〇一
澱粉		
支那	一六七（增）	一三、八二六
關東州	二、九三	三八、八四二
香港	八	八七
印度	七〇	一、二九五
海峽植民地	三三	三六六
蘭印	二	二五
佛印	一	一三
比律賓	四	四〇
還（三四斤）	〇	二
合衆國	二	二九
計	四、一〇九	五四、五四六
其他ノ穀粉類		
支那	六一九（增）	二、四一三
關東州	一、七五	三五、五四四
香港	三	三一九
印度	三	三一
海峽植民地	一一	二、七三一
蘭印	〇	六
比律賓	一	一九

國名	數量	價格
濠洲	五	五八
其他	三	三五
計	六四六	七、五九九
其他ノ穀物及種子		
支那	一	一七
關東州	一	一七
香港	一	一
印度	一	一
海峽植民地	一	一
蘭印	一	一
布哇	一	一
計	一	一
綠茶		
支那	九六（增）	七、八八八
關東州	一〇一	一三、四〇一
香港	三	二七五
印度	三	四〇〇
海峽植民地	一一	五、六七三
蘭印	二	一五六
比律賓	九	一、〇八八
合衆國	三	七五八
佛印	〇	五
濠洲	二	一八
計	三五〇	二〇、二〇一
其他ノ茶		
支那	一、三九二（增）	二五、九四四
關東州	八三五	三五、〇〇四

香 六 二六九
印 五 三〇五
海 一 二六一
蘭印 九 二六八
運 〇 三〇
佛 〇 一五
濠 〇 二
計 一 三二九

食均

支 二(増) 五〇四
關 三一 六四〇
計 三三 一、一四四

昆布及刻昆布

支 一四、三四(増) 一四、二八一
關 一五、六一四 一三九、一五九
香 一二 一八四
印 三 九四四
海 三一 三七八
蘭印 一六 二五〇
亞露 一六 一九
細 一 三〇
比 一 一
計 一七、三四(増) 一五、六一四

鮮魚介

關 三六(増) 三七一
海 一 二六
計 二 四〇五

鰛

支 八(増) 三〇九
關 四一(増) 二、九八八
印 六 一四六
香 二 三一
海 一 二七
蘭印 一 五二
計 一九 六六五

其他ノ乾魚

關 三〇(増) 一、二〇五
支 一、二〇五
香 一 八三
印 一 五五
計 一九 二九

鰹

支 三〇九
關 一〇三
計 一〇三
細 〇 一一
合 一 二七
佛 一 一〇
印 一 一〇
海 一 一七
計 一 七

佛印 一 一
合 一 一
濠 一 一
計 一 一
弗 一 一
濠 一 一
計 一 一
佛 一 一
合 一 一
英 一 一
細 一 一
印 一 一
香 一 一
海 一 一
蘭印 一 一
佛印 一 一
計 一 一
關 一 一
支 一 一
計 一 一
比 一 一
運 一 一
佛 一 一
合 一 一
埃 一 一
弗 一 一
計 一 一

清酒

支 三、八九八(石) 五四四、〇八一
關 一、九二三 三三七、四五九
濠 一 一七八、四五九
計 一 一七八、四五九

麥酒(小罎)

濠 一 五、八五三
弗 〇 九三
英 一 一〇一
細 三 四〇一
印 一 一二五
香 一 一二五
印 一 一二五
海 三 三五、五一一
蘭印 一 一二五
佛印 一 一二五
計 七 一、一二五

同(大罎)

支 二三 六、〇一三
關 三一、五四四 三一、五四四
蘭印 七、四六四 七、四六四
細 六〇 四八六

其他ノ酒類

支 一三、九五
關 一六、五九一 三五七、一七〇
印 一 一二
香 一 一二
海 一 一二
蘭印 一 一二
佛印 一 一二
英 一 一二
細 一 一二
弗 一 一二
計 一 一二

玉蔥

支 一六(増) 一三
海 一 八
蘭印 一 一二
計 一 一二

椎茸

支 三六(増) 九一
關 九 二
印 一 一二
海 一 一二
蘭印 一 一二
細 一 一二
英 一 一二
佛 一 一二
合 一 一二
弗 一 一二

其他ノ蔬菜

支 一 一九、九四一
關 一 一四、七五九
香 一 一九二
印 一 三五四
海 一 三五、六一一
蘭印 一 一二五
佛印 一 一二五
英 一 七〇
細 一 一二五
比 一 一二五
香 一 一二五
印 一 一二五
海 一 一二五
蘭印 一 一二五
佛印 一 一二五
計 一 一二五

柑橘

支 二、三九(増) 一八、九五九
關 四、六二一 三六、〇一五
海 三 一二五
計 三 六、八四四

蜜柑

支 一、九二三 一、五五五
關 一九 一八〇
濠 三〇 一七八、四五九
計 四九 一七八、四五九

林檎

支 五六(増) 三五二
關 六九 四三〇
海 二 一九
印 二 一九
蘭印 一 一四

其他ノ生果

關 二(増) 一、四二七
海 一 一二六
計 一 一二五

其他ノ乾果

關 三〇(増) 一、二〇五
支 一、二〇五
香 一 八三
印 一 五五
海 一 一二五
蘭印 一 一二五
計 一九 二九

煎餅

支 一九(増) 一、一八五
關 一九 一八〇
香 一 一二五
印 一 一二五
海 一 一二五
蘭印 一 一二五
佛印 一 一二五
計 一 一二五

其他ノ菓子

支 一、一八五
關 一九 一八〇
香 一 一二五
印 一 一二五
海 一 一二五
蘭印 一 一二五
佛印 一 一二五
計 一 一二五

其他ノ砂糖及糖菓類

支 三六、六八九
關 一三〇、二一九
香 一、三二一
印 一、三二一
海 三、一七九
蘭印 五五五
比 一
細 一
計 四八四

氷砂糖

支 七、六六八(増) 一二、〇五〇
亞露 九、一六三 一三、一四五
計 一六、八五一 二五、〇一四

精糖

支 一八四、七二九(増) 一、九六三、四三一
關 三、二六七 二九、四二五
亞露 一八、六八四 一八三、一七八
計 五五、三三五 一、九五六、〇二四

砂糖

支 一一二、〇五〇
關 一三、八一五 一三四、一四五
亞露 一〇、一六〇 一、九五六、〇二四
計 一四、一九五 一、九五六、〇二四

其他ノ砂糖及糖菓類

支 三六、六八九
關 一三〇、二一九
香 一、三二一
印 一、三二一
海 三、一七九
蘭印 五五五
比 一
細 一
計 四八四

其他ノ蔬菜

計 三一、〇四九
支 一九、九四一
關 一四、七五九
香 一、九二三
印 三五四
海 三五、六一一
蘭印 一二五
佛印 一二五
英 七〇
細 一、九二三
比 一二五
香 一二五
印 一二五
海 一二五
蘭印 一二五
佛印 一二五
計 一二五

柑橘

支 二、三九(増) 一八、九五九
關 四、六二一 三六、〇一五
海 三 一二五
計 三 六、八四四

蜜柑

支 一、九二三 一、五五五
關 一九 一八〇
濠 三〇 一七八、四五九
計 四九 一七八、四五九

林檎

支 五六(増) 三五二
關 六九 四三〇
海 二 一九
印 二 一九
蘭印 一 一四

其他ノ生果

計 一〇、七四四
支 一三(増) 一、四二七
關 一、九五九 三、九五九
海 一 一〇三
計 一 五、四八八

其他ノ乾果

關 二(増) 三一
海 〇 二九
計 二 六一

其他ノ乾貝

關 二(増) 三一
海 〇 二九
計 二 六一

乾鰕

支 一(増) 七一
海 〇 一七
合 一 二七
細 〇 一一
計 一 一〇三

乾海參

支 四(増) 五八六
關 一、六五五 二、二四一
秘 一〇 一三三
計 一三 一九

鹽節

支 七八(増) 一〇、一二五
關 一九二 三三、三六五
香 一 一八三
印 一 一五五
海 一 一二五
蘭印 一 一二五
計 一九 二九

柱貝

支 一三(増) 一、四二七
關 一、九五九 三、九五九
計 一〇三 五、四八八

鯣

支 一三(増) 一、九二五
關 一、九二五 一、九二五
計 一 一二五

其他ノ鹹魚

支 一〇一(増) 三、一〇一
關 一、五八六 三七八
香 一〇 四三
印 一〇 四三
海 一七 二、一四三
蘭印 一三 一、一四三
比 一 一二五
合 一 一二五

煎魚

支 七七(増) 三、八九九
關 三、八九九 五三、八九九
香 一 一二五
印 一 一二五
海 一 一二五
蘭印 一 一二五
計 一 一二五

| | | |

支那	二九、〇七一(斤)	二一〇、六三〇	
關東州	二、三一三	七三、一二九	
香港	一二〇	四二、三五五	
印度	四二、三六五	四五、五五五	
亞米利加	六五	八九、八三三	
比律賓	二〇〇	一二〇	
英領印度	五五、九二二	五五、九二九	
計	九七、九九二	二七四、六九六	

革製品

支那	一	二〇、九二五
關東州	一	三二、九五九
香港	一	七二一
印度	一	二、三一〇
海峽殖民地	一	一、〇四四
比律賓	一	七
合衆國	一	二二二
濠洲	一	五四三
計	一〇	五八、九二五

豚毛

合衆國	一五六(斤)	一、三五一
伯剌西爾	二〇三	一、九五九
計	一、九五九	二〇、九三三

象牙製品

支那	一	八、六六四
關東州	一	五四一
計	一	九、二〇五

其他ノ皮毛角牙類及同製品

支那	三〇、九一一	
關東州	二六、四二二	
香港	八、八九九	
印度	三、六四五	
海峽殖民地	四七五	
亞米利加	一〇〇	
英領印度	四四二〇	
濠洲	五七	
英國	三、一四二	
佛國	二、五三八	
合衆國	二三四、六〇二	
加奈陀	七二、七二一	
濠洲	八〇一	
計	三七八、七三四	

亞麻子油

支那	四四一(噸)	二、三〇五
關東州	二、一五四	四八、三六
海峽殖民地	一九	四八三
計	二、六四	八一、七五五

椰子油（コプラ油ヲ併ス）

支那	三三(噸)	三、五八七
關東州	一八五	四、九三〇
計	三一七	八、五〇七

大豆油

加奈陀	六(噸)	一四六

菜子油

支那	二三四(噸)	六、三四二
關東州	一、三六〇	三四、五三四
香港	六	一二六
印度	四四、七二三	九四四、四二八
比律賓	二〇	四二〇
英領印度	八四五	一七、三四八
獨逸	一、八九九、五八七	三五、七三五
合衆國	三五、七三五	七四、五六〇
濠洲	一、七九七	二九、五四四
計	二、九四〇、三二八	五八、九二五

樟腦油

支那	五五(噸)	一、五五
關東州	九	四八九
香港	一三	二、三一〇
海峽殖民地	一	一七
佛國	一	一七
合衆國	一二	二三五
獨逸	一三	二三五
比律賓	一	一七
計	一三五	二、五五〇

薄荷油

支那	二(噸)	一、七四一
關東州	一	九、八六
香港	一三	二、三〇五
海峽殖民地	一	一七
印度	九	一五五
計	二四	四、一二二

魚油及鯨油

支那	五〇七(噸)	九、六二九
關東州	一一四	七、〇八二
香港	一一〇	二、三二三
印度	一一〇	八、七二九
海峽殖民地	一	一七
英國	一一〇	二、三二三
佛國	三三四、六〇二	三七、八八一
獨逸	七二、七二一	一、四二二
伊太利	八〇一	一四、一二五
合衆國	三七、七二四	六四、三五五
濠洲	一、〇三三	二一、〇四四
計	四、九八一	八五、三〇七

石礦油

支那	一、二六六(噸)	二五、七二九
關東州	三、五三三	七四、三五五
香港	一	二一
計	三、五三四	七四、三七六

英國	七二	一、八九九
獨逸	三〇	六三、〇〇〇
南米合衆國	〇	一、七九二
計	五	一四二、三六八

魚油及鯨油

支那	五〇七(噸)	九、六二九
關東州	一一四	七、〇八二
香港	一一〇	二、三二三
印度	一一〇	八、七二九
海峽殖民地	一	一七
英國	一一〇	二、三二三
佛國	三三四、六〇二	三七、八八一
獨逸	七二、七二一	一、四二二
伊太利	八〇一	一四、一二五
合衆國	三七、七二四	六四、三五五
濠洲	一、〇三三	二一、〇四四
計	四、九八一	八五、三〇七

石礦油

支那	一、二六六(噸)	二五、七二九
關東州	三、五三三	七四、三五五
香港	一	二一
計	三、五三四	七四、三七六

油

關東州	四〇(瓦)	三五

黃

支那	九、九五六(噸)	三三五
關東州	一、八二〇	五五、一四四
印度	三三、二一四	一、〇二一、一四四
海峽殖民地	三八	一、一四四
亞米利加	一四	四五九
計	三五、九五四	一、一〇八、七二九

硫

支那	一三、一四四(噸)	七二、一四二
關東州	四、七二五	二九、一二一
香港	一、九二五	一〇、一八五
印度	三四〇	一、七四九
海峽殖民地	三七	一、四四九
英領印度	一、四四五	七、九三九
佛國	一四六	九〇七
比律賓	一四	一二二
亞米利加	一四	一二二
計	二三、五五一	一二五、一四二

沃度

支那	一、〇〇一(斤)	一三、五六四
關東州	二〇七	三、五三九
香港	五四	七二九
印度	一四	二三九
海峽殖民地	八	一一四
計	一、二六六	一七、八八七

酸

支那	二三三(噸)	一八、一〇五
關東州	四二〇	一六、九六九

醋

支那	一、二六六(瓦)	一七、八八七
關東州	四二〇	一六、九六九

樂子油

支那	二三四(噸)	六、三四二
關東州	一、三六〇	三四、五三四
香港	六	一二六
印度	四四、七二三	九四四、四二八
比律賓	二〇	四二〇
英領印度	八四五	一七、三四八
獨逸	一、八九九、五八七	三五、七三五
合衆國	三五、七三五	七四、五六〇
濠洲	一、七九七	二九、五四四
計	二、九四〇、三二八	五八、九二五

樟腦油

支那	五五(噸)	一、五五
關東州	九	四八九
香港	一三	二、三一〇
海峽殖民地	一	一七
佛國	一	一七
合衆國	一二	二三五
獨逸	一三	二三五
比律賓	一	一七
計	一三五	二、五五〇

薄荷油

支那	二(噸)	一、七四一
關東州	一	九、八六
香港	一三	二、三〇五
海峽殖民地	一	一七
印度	九	一五五
計	二四	四、一二二

其他ノ油脂蠟及同製品

支那	一二四、一二八	
關東州	八四、八四〇	
香港	七、〇四二	
印度	八、四九九	
海峽殖民地	四、〇〇〇	
英領印度	一、〇六六	
佛國	八〇	
比律賓	七四一	
亞米利加	四四	
計	二一、八九〇	

人參

支那	六(噸)	四、九〇一
關東州	一五一	三五、九六二
香港	一五一	六、五二二
海峽殖民地	一	二三、九四五
計	一五八	四一、一〇五

阿膠

支那	二一、八五五	
關東州	四、七二一	
香港	一、三五二	
海峽殖民地	九六	
英國	二四三	
獨逸	一三	
佛國	一三	
比律賓	一三	
亞米利加	一三	
計	二九、〇七二(斤)	

海參

支那	三〇	
關東州	七	
香港	九〇	
海峽殖民地	五	
亞露	三、八六七	
細	七二、二四八	
計	七二、二四八	

蠟

支那	四四一(噸)	一九、三七二
關東州	二五	一、二三一
香港	二七	一、二五五
比律賓	二	一〇二
英國	四二	一、九三七
南米合衆國	一〇	四五五
計	四九	二、二六一

木

支那	八四一(噸)	三、六四一
關東州	二六	一、二五二
香港	二七	一、二五二
比律賓	二五	一、一五二
英國	四二	一、九三七
南米合衆國	一〇	四五五
計	一、三三一	六二、九二七

石鹼（化粧用）

支那	五六、一〇九、六(打)	二、四〇五、二五五
關東州	五五四、二二五	二三、七八一
香港	三三〇	一四、一七〇
印度	一、〇五五、一二五	四五、二七五
海峽殖民地	一、一七四、三五〇	五〇、一七〇
佛國	一〇	四二九
亞露	一、七九七	七七、一七五
比律賓	四四〇	一八、九二五
遲	三三五	一四、三五五
細	二一〇	九、〇三〇
北米合衆國	五五	二、三六五
喜	一八	七七五

香水及香油

支那	二四一、二六七(打)	七六、八八九
關東州	二四、七四六	九一、二一一
香港	一五	五六九
印度	五九、一六〇一	二五九、一六〇一
海峽殖民地	一	四、三〇
遲	一五	五九、一六〇一
細	一五	五九、一六〇一
弗	一	四、三〇
濠	一五	五九、一六〇一
計	一五	五九、一六〇一

香 二 一〇五
印 二 八八
海 一一 一〇
亞露 四 一四
計 六六八 一四六

硫酸

支 二〇、三五七(擔) 一二五、六四五
關 一、一四八 九、一八
香 五、〇三八 二三、九八九
印 八五〇 五、四三三
海 七、一四 五、四三三
蘭印 一、六八九 九、七四一
佛印 一五四 一、二七
比 五、四六八 三三、三七
遲 二七 一九三
細 一〇 一四七
計 三五、七六〇 二〇四、〇九五

硫酸銅

支 一、〇〇(擔) 五、一一〇
關 一九一 一、三七
蘭印 一三五 四、九三〇
亞露 二五六 一五、三二
計 七三一 四一、八七二

硝酸

支 二七、六八三(擔) 三五〇、五六四
關 三、三八五 一五、三二
計 二、三五〇 一四一、八七二
香 二七、一八〇

印 海 蘭印 比 遲 計

苛性曹達

支 三五〇(擔) 三、六八二
關 一四三 一、四三二
蘭印 五 四九七
計 四〇 五、一四

硫化曹達

支 五〇、〇四四(擔) 二七、一七
關 二、〇〇八 三、五六
香 三、一七四 一七、九八二
海 三五 二一〇
蘭印 三五、四一八 三五九、六七五

沃度加里

支 九四三(斤) 一一、四三
關 四四二 五、三六三
香 七七 八五〇
印 三六一 三、三
海 七 七八
蘭印 一五 一、六六
計 二、〇四八 二三、七五九

クロール酸加里

墨 五 二
米 二 一
埃 三一 二一
弗 四 二
濠 二四 一五
計 四、九八三 三五、四四五

齒磨粉

支 一 一
關 一 一
印 一 一
海 一 一
蘭印 一 一
佛印 一 一

白粉

支 一 一
關 一 一
香 一 一
印 一 一
海 一 一
蘭印 一 一
計 一 一

薄荷玉

支 三四、一九六(打) 三四、八〇九
關 一、六二九 一、八一
香 五〇五 五、七三
印 一、九一八 一、九二
海 一、三五二 一、三七
蘭印 二六、七二四 二六、七四
佛印 一一〇 一、三五
比 一、三五五 一、三七
遲 一、〇五〇 一、〇五
典 三五〇 三五
墨 八二 八二
濠 二、〇八五 二、〇八
計 八九、五六八 八九、五六

殺蟲粉

支 二、二三八(擔) 一六五、九五四
關 一、七二三 八八、二四四
香 一一 一一
印 三四 二、九二
海 一一 一一
蘭印 一 一
佛印 一 一
亞露 一 一
比 二 二
遲 三七 一、七二
英 一七 一、〇九二
合 二七二 一九、八九八

其他ノ調製薰香類

支 三六 三六
關 二一〇 二一〇
細 五 五
遲 二一 二一
英 一二六 一二六
計 一四四、一六八 一四四、一六八

其他ノガーゼ脫脂綿及繃帶

支 一八八、五五六 一八八、五五六
關 一三五、三一六 一三五、三一六
香 一、一五三 一、一五三
印 一、一三一 一、一三一
海 六、〇〇一 六、〇〇一
蘭印 七八 七八

其他ノ藥材化學藥及製藥

支 一、五四六、七五〇 一、五四六、七五〇
關 五七九、七二七 五七九、七二七
香 一一三、五四六 一一三、五四六
印 五〇、〇八八 五〇、〇八八
海 一四三、五二三 一四三、五二三
蘭印 七九、一四七 七九、一四七
佛印 七、三五 七、三五
亞露 二、五三六 二、五三六
比 一、九二九 一、九二九
遲 一〇、三一九 一〇、三一九
細 二、四三七 二、四三七
佛 二九一 二九一
伊 五五四 五五四
土 一、九八〇 一、九八〇
合 五八〇 五八〇
墨 二、四四二 二、四四二
南米 一、一三〇 一、一三〇
濠 一二三 一二三
其他 二、五六〇、二四四 二、五六〇、二四四
計 三〇四、五一〇 三〇四、五一〇

賣藥

支 一四二 一四二
關 七、三八二 七、三八二
遲 三五〇、八九二 三五〇、八九二
細 一四 一四
計 三五四、二四〇 三五四、二四〇

樟腦

支 一六五(擔) 二九、一二六
關 五五四 八、八四四
香 四四 六、八一
印 四四 六、八一六
海 四九 六、八一六
蘭印 一四 二、三七三
比 六 八九七
遲 三 四〇〇
細 一 一二九
英 一 一七五
合 二 一七五
墨 一 一七五
南米 一 一七五
濠 二 一七五
計 二九三 二七八、六三〇

薄荷腦

支 三(擔) 二、九二一
關 一四 一、一七
香 一四 一、一七
印 一四 一、一七
海 一四 一、一七
蘭印 一四 一、一七
佛印 一四 一、一七
比 一四 一、一七
遲 一四 一、一七
英 一四 一、一七
合 一四 一、一七
墨 一四 一、一七
南米 一四 一、一七
濠 一四 一、一七
計 一四 一、一七

晒粉

支 六、一二〇(擔) 五九、四三〇
關 六四四 六、八四三
香 二一四 九二〇
海 一〇 一六四
蘭印 八 五一
佛印 三八 三六四
比 三 四〇
遲 一 一〇
細 一 一〇
計 一四七 一四七

炭化石灰

支 四、九九八(擔) 四一、六九九
關 六四四三 五、〇七
香 二、三九一 一一、三七
海 一、九二一 一三、四三七
蘭印 一三 一八〇
比 一二 一二三
計 九、九八三 八二、〇一一

ナフタリン

支 七四〇(擔) 八、五六七
關 四二三 七、〇七
香 五九 一、一三
印 四四 一、一三
海 三 一一〇
蘭印 一一〇 一、一三
比 一 九
計 一五、一三三 一二、一三三

關	一	一八二、四四六	
香	一	四三、六一九	
印	一	二、七七九	
海	一	四三、五二三	
蘭印	一	二、〇八〇	
佛印	一	二六	
亞露	一	二四八	
比	一	一一〇	
暹	一	四、七二七	
細	一	一三	
合	一	四、二五三	
埃	一	九	
濠	一	三五三	
計	一	六三八、六九五	
爆發藥			
支	一〇〇、八一五(斤)	一二九、三八	
關	二三、〇九五	二三、五二五	
計	一二三、九一〇	一四〇、八三三	
燐寸(安全製)			
支	三(千箇)	九三七	
關	二	一、三五四	
海	二	一、四四四	
蘭印	〇	二三七	
細	〇	七	
計	七	四、〇一七	
コールター染料			
支	三二〇、三五〇(斤)	一四〇、三九	

關	三四、八四四		
印	八、六七七		
海	二、九三七		
蘭印	八九八		
計	三五、三三七		
金屬粉			
支	八七、四四一(斤)	六四、三二四	
關	一四、六三四	一四、八三八	
印	八、三九〇	九、〇一六	
香	七五	六八	
海	二四三	三六	
蘭印	九五	七二	
比	三三五	二四四	
計	二一、一四四	八九、〇二〇	
鉛丹			
支	一九九、三七一(斤)	四六、五九一	
關	二三、三六九	五〇、四六六	
印	八三六、三六九	一九六、三一九	
海	一五、三七	三、三四〇	
蘭印	二七、六五九	六、四七七	
佛印	三、〇五〇	九七七	
亞露	四八、四一四	一〇、七九九	
暹	一、三四三、二九	三五、〇〇〇	
計	一、六九九、三九一	三九八、三九一	
石炭タール及瀝青			
支	三、二六三(噸)	一三、一四五	
關	六、〇五二	二四、二四四	
香	八〇	五二四	

印	一五、一〇三		
海	九、三七七		
蘭印	二、九〇九		
計	二七、〇二二		
粉			
關	六四、三二四		
印	一四、八三八		
香	九、〇一六		
海	六八		
蘭印	三六		
比	七二		
計	八九、〇二〇		
丹			
關	四六、五九一		
印	五〇、四六六		
海	一九六、三一九		
蘭印	三、三四〇		
亞露	九七七		
暹	一〇、七九九		
計	三九八、三九一		
瀝青			
關	一三、一四五		
香	二四、二四四		
細	五二四		

印	一、一四五		
蘭印	二、七七九		
暹	一、二〇八		
細	四三		
計	二三、五二三		
筆			
關	二四四、二六六(箇)	六三、〇九〇	
香	一四、九八九	六、四五九	
印	四三、一三三	一四、四四八	
海	二一、〇四八	五、三四四	
蘭印	二、九〇九	一、〇四四	
佛印	二六	一〇	
亞露	二四八	一〇	
比	一一〇	四二	
暹	四、七二七	一、七四四	
細	一三	五	
合	四、二五三	一、四四四	
埃	九	三	
濠	三五三	一二四	
計	六三、〇九〇	二四、一四四	
鉛			
支	五四、一六六(斤)	一四、九八九	
關	一四、九八九	六、四五九	
細	四三	一四	
計	二三、五二三	八、三四四	
鉛			
印	一一、一四五	四、一四四	
暹	二、七七九	一、〇四四	
細	一、二〇八	四二	
合	四三	一四	
弗	一一	四	
計	二九、二五〇	一一、七四四	

支	二四〇、三三(斤)	一五六、〇三五	
關	五八、六六二	二九、〇五五	
香	一七、七四八	一一、四二四	
印	一〇、二五六	四、八八三	
海	三三、一四六	一四、〇九一	
蘭印	七、〇一九	三、〇四四	
佛印	三一、九八一	一四、九二一	
亞露	一、六八〇	七四四	
比	一五、六七七	六、四四四	
暹	一、八七七、三九	九六、六四〇	
計	二、一四四、八四四	五四八、三四四	
其他ノ染料顏料塗料及壞充料			
支	三五、八三一	一五、三四四	
關	二六八、一三三	一一四、四四四	
香	一八、九五五	七、九四四	
印	一二、七一一	五、三四四	
海	九九、九四三	四三、七四六	
蘭印	五、三六	二、三四四	
佛印	三一	一三	
亞露	三一	一三	
比	一七	七四	
暹	一六、一四四	六、九四四	
細	二、〇四	八四四	
英	三、〇〇〇	一、二四四	
佛	二〇〇	八四	
獨	一三、三四四	五、五四四	

南米	一	三〇〇	
弗	一	二四五	
布	一	四五	
計	一	七〇、三六	
紡績絹絲			
印	一〇一(噸)	七二、〇八六	
綿			
支	二八二(噸)	一七、八三二	
關	七三三	三八、七六九	
香	四	二八八	
印	一	三〇	
海	一六	一、二四四	
亞露	二四〇	一八、四四九	
比	一〇一	四、四四四	
細	一〇	四四	
濠	一	四五	
計	一、三八	七六、七七七	
麻類			
支	六(噸)	三三六	
關	三六	二、六二一	
計	四二	二、九九七	
綿纖絲(二〇番迄)			
支	一三、二四四(噸)	一、二四一、一九五	
關	四、五六二	三八七、五五〇	
香	九、九九	六八二、六〇六	
印	三二五	三二、九七二	
蘭印	一、三〇〇	一〇四、六二三	

亞露	七	六、六〇三	
比	〇	五、三九	
土	一	六〇〇	
計	二、七〇〇	二、三五七、〇五五	
同(同以上)			
支	六、七〇二(噸)	一、二四七、九四二	
關	三、九二一	一、六〇一、三五二	
香	一四四、三一八	一七、五二四、五八三	
印	一四三、八一七	三八二、一七	
海	九、三九	八八七、六一七	
蘭印	二七〇	四〇、九二三	
亞露	二五二	二七、四三八	
比	一四三	一七、四三四	
暹	二、九四四	二六七、八五七	
細	六二四	六三、二四四	
埃	一、三三	六五、一三三	
弗	三四四	二八、二五四、三八	
計	二四四、一五七	二八、二五四、三八	
綿絲糸			
支	九七四(噸)	一六三、六八四	
關	三三八	五三、三〇六	
香	一八六	一、四〇四	
印	三	四四六	
海	二	一七六	
蘭印	三三	五、三七四	
亞露	七	一、〇一一	
比	〇	九	

英	一	一三〇	
濠	〇	二六四、七九七	
計	一、四四四		
レース絲			
支	四五(噸)	六一、三四四	
關	一四〇	一六、九三四	
印	三、二六	三五四、四四九	
海	二四四	二七、二四六	
蘭印	〇	一、二四四	
佛印	三	四三四	
計	五四一、三六六		
麻絲及麻線			
支	三六(噸)	三一、三五四	
關	二六一、八一六	三五、三四四	
香	二六	二、九九七	
印	四	三四四	
蘭印	一六	一、九四四	
亞露	一、八三	二四四	
比	一五六	一九、三四四	
伊	〇	三、三〇七	
計	三二四、三四〇		
麻繩			
支	一、三〇五(噸)	一五八、四三一	
關	三、九二一	五四二、一〇三	
蘭印	一〇	一、四四二	
佛印	一一	一、五四一	
亞露	一〇一	一二四、一六二	
比	七	一、三五〇	

計	五、八〇九		
絲			
支	一四八、〇七(噸)	三三六、一四四	
關	一、五八四	三四四、四四四	
印	二四	五、三四四	
海	二一	四、五四四	
蘭印	〇	一四四	
英	六六七、四四二	一五四、四四四	
計	二、一四七、〇四二	四六五、四四四	
屑綿及屑綿絲			
支	四、八三(噸)	七七、八五四	
關	二、〇六二	四二、一三三	
香	一七	二九一	
海	一、八四〇	三六、八四四	
蘭印	七四六	一四、八三九	
亞露	一七	二四四	
比	一、三六八	二三、八四四	
英	三、〇〇〇	四三、一四〇	
獨	一三、三四四	二六、八六六	
白	一二五	二、九八六	
合	一二、五九七	二四八、七四四	
濠	三、四一九	七七、六四四	
計	三一、二四四	六三七、八五七	
其他ノ線繩紐類			
支	一、六四六(噸)	一、六一一、一三四	
關	一、六四	一、三四四、四四四	
香	三	二、七四四	

印　一九七　三三、七〇六
海　二九　三、一四六
蘭印　四五　三、八九
亜露　二　一六八
濠　四　四九六
計　三、七〇六　三六、一七九一

其他ノ絲縷繩索及同材料

支　一　八四、七九四
關　一　三一、六三四
香　一　六、九二八
印　一　八九、八一九
海　一　六〇
蘭印　一　四六八
亜露　一　三
英　一　二四、二七
佛　一　一〇
白　一　四六八
加　一　五、一四七
濠　一　二六六、七〇七

羽二重

支　一四三(斤)　二、八三五
關　二六　六〇七
印　三　六九二
計　二一〇　四、一四四

甲斐絹

支　七五(碼)　四七

印　三三、七〇六
海　三、一四六
蘭印　三、八九
亜露　一六八
濠　四　四九六
計　三、七〇六　三六、一七九一

其他ノ絲縷繩索及同材料

支　一　八四、七九四
關　一　三一、六三四
香　一　六、九二八
印　一　八九、八一九
海　六〇
蘭印　四六八
亜露　一三
英　一三
佛　一　一〇
白　一　四六八
加　一　五、一四七
濠　一　二六六、七〇七

羽二重

支　一四三(斤)　二、八三五
關　二六　六〇七
印　三　六九二
計　二一〇　四、一四四

甲斐絹

支　七五(碼)　四七

關　五、一八　三、五六〇
計　五、二六三　三、六〇七

繻子

支　七五八、五二(碼)　五二九、〇一八
關　二一六、〇〇八　一三五、二五五
香　三六、八二七　三〇、八六〇
海　六、〇一一　三、八四〇
蘭印　三五、六四〇　一五、二六六
比　六〇〇　三三三
計　一、〇五三、五九九　七〇四、六一七

琥珀織及絹ポプリン

支　二一八、四六六(碼)　一三七、八四七
關　四五六、三七三　三〇六、二五四
香　七六、三三三　四五、四二三
印　五六、七二三　四二、八三二
海　一、九二〇　七九七
蘭印　三四四、一三〇　一四四、一三二
亜露　九〇　三七
其他　二、七〇〇　一、一五四
計　八六七、三五二　五六九　四三八

富士絹類

支　一、二八六(碼)　八八〇
關　一、九二九　七九二
香　一〇〇　六六
海　一〇一　六〇
蘭印　九〇　三七
合　一〇〇　一〇〇

縞

支　七五八、五二(碼)　五二九、〇一八
關　二一六、〇〇八　一三五、二五五
香　三六、八二七　三〇、八六〇
海　六、〇一一　三、八四〇
蘭印　三五、六四〇　一五、二六六
比　六〇〇　三三三
計　一、〇五三、五九九　七〇四、六一七

琥珀織及絹ポプリン

支　二一八、四六六(碼)　一三七、八四七
關　四五六、三七三　三〇六、二五四
香　七六、三三三　四五、四二三
印　五六、七二三　四二、八三二
海　一、九二〇　七九七
蘭印　三四四、一三〇　一四四、一三二
亜露　九〇　三七
其他　二、七〇〇　一、一五四
計　八六七、三五二　五六九　四三八

富士絹類

支　一、二八六(碼)　八八〇
關　一、九二九　七九二
香　一〇〇　六六
海　一〇一　六〇
蘭印　九〇　三七
合　一〇〇　一〇〇

其他ノ絹織物(綿入共)

支　一　六六、二五五
關　一　二七、七一八
香　一　三、九一〇
印　一　三、六六
海　一　七、三四〇
蘭印　一　七、二六〇
比　一　一、一四〇
遅　一　一、六六
弗　一　一、三四
布　一　二〇六
其他　一　五、三五
計　一　三七、一四六

縞木綿

支　一九三、六七六(反)　七三、一九五
關　一〇二、〇八　三九、一四〇
香　二六、九三　一〇、七〇七
印　一〇、〇〇七　三、九六〇
海　七、三四〇　二、九〇〇
蘭印　一、九六〇　七六〇
比　一三五　五三
遅　一、一四　四五
弗　一、二四　四九
濠　一、一四　四五
計　一三、一四　五、一四〇

壁織及縮緬

支　四、七六六(碼)　一、九五五
關　一二、一三〇　四、七四二
香　三　一
海　一六五　六三
蘭印　一六五　六三
亜露　一　一
濠　一　一
計　一六、三一〇　六、四八八

絣木綿

支　一、二五六(反)　四八二
關　一、九二九　七九二
香　一〇〇　六六
海　一〇一　六〇
蘭印　九〇　三七
合　一〇〇　一〇〇

色木綿

比　九、三三　三、五二〇
遅　一、六〇　六三〇
細　二四四、三五〇　一〇五、三五五
亜　八六、三一〇　三四、一四〇
埃　一、六六、七六〇　六五四、四四〇
喜　三四、一四〇　一三、五六〇
弗　七、九二〇　三、一四〇
濠　三、一〇七、二四四　一、二三五、一四〇

絣木綿

支　一、二五六(反)　四八二
關　四五六、三七三　三〇六、二五四
香　七六、三三三　四五、四二三
印　五六、七二三　四二、八三二
海　一、九二〇　七九七
蘭印　三四四、一三〇　一四四、一三二
亜露　九〇　三七
其他　二、七〇〇　一、一五四
計　八六七、三五二　五六九　四三八

白木綿

支　四四、三一四(碼)　六、二五二、三五七
關　七、九六〇、〇一〇　三、一四〇、四〇〇
香　九、三九二、六四〇　三、六九二、一四〇
印　二六八、〇四〇　一〇五、六〇〇
海　一、〇三五、〇四〇　四〇五、六〇〇
蘭印　三、三九二、八一〇　一、三四〇、一四〇
亜露　一、〇〇〇　三九六
比　一、一四三、五四〇　四五一、四〇〇
遅　三、三四〇　一三二
細　二一、六三二　八、三四〇
土　三〇、〇〇〇　一一、八〇〇
亜　三五、〇〇〇　一三、八〇〇
弗　七六、九四〇　三〇、一四〇
濠　一、三二、一四〇　五一、四〇〇
其他　一三、四五〇、七一八　五、三四〇、一四〇
計　二八、五七三、三五〇　一一、二四〇、一四〇

小倉織

支　三、三〇、三八〇(碼)　九六、一三九
關　五九三、六八四　一九九、一三四
香　九(〇)　二、五五
印　二六、七〇〇　六、六一九
海　四、六五　一、七二四
蘭印　一七五、五一〇　七一、三五五
亜露　七、三三〇　二、七六一
濠　一、一四〇　四六二
計　一三六、四五〇、七一八　二八、五七三、三五〇

生金巾

支　四九、〇四二、五三一(碼)　九、九二四、六四五
關　一〇、六一〇、九四一　二、〇五五、七九六
香　四、一〇五、三六〇　一、七八八、五四〇
印　三一、九五八、三六四　七、九六八、一四〇
蘭印　一二五、一九五、三〇一　四七、六〇〇、一四〇
亜露　七八、二一〇　二四、〇〇〇
遅　一、四〇〇　四〇〇

被褥布

支　七、七八〇(打)　一三一、四六〇
關　一三五、五一五　四七、〇一四
印　一、六四一　一三
海　一、八四五　六七六
蘭印　七、七五四　二、七四〇
亜露　一、六四一　七〇二
比　一、〇三一　三七二
細　一、二四二　四七九
弗　三、一〇五　一、二四〇
濠　三三、一八一　一二、一四〇

綿縮

支　二、一八九、三八八(碼)　四三二、六六八
關　二七六、八二〇　九三、一四〇
香　三五、一五五　一二、四〇〇
印　二六八、一〇〇　九一、六〇〇
海　九、六八一　三、二九〇
蘭印　二、三〇〇　七八〇
比　二、四〇〇　八一〇
亜露　二、四〇〇　八一〇
土　三、〇〇〇　一、〇一〇
濠　一、七六九　六〇〇
其他　四一　一四
計　五七、九七五　一九、七二五

綿フランネル

支　三〇、七四〇、六〇〇(碼)　七、一〇一、〇〇〇

關　七、三〇四、〇一〇　三、一四〇、四〇〇
香　九、三九二、六四〇　三、六九二、一四〇
印　二六八、〇四〇　一〇五、六〇〇
海　一、〇三五、〇四〇　四〇五、六〇〇
蘭印　三、三九二、八一〇　一、三四〇、一四〇
佛印　一、〇〇〇　三九六
亜露　三五四、二六〇　一三九、一四〇
比　五、四四〇　二、一四〇
遅　二一、六三二　八、三四〇
細　二一、六三二　八、三四〇
秘　六六、九四〇　二六、〇一〇
智　六、〇四〇　二、三七〇
亜　三六、〇〇〇　一四、一四〇
弗　七九、六一〇　三一、一四〇
濠　一、三二、一四〇　五一、四〇〇
其他　一三、四五〇、七一八　五、三四〇、一四〇
計　二八、五七三、三五〇　一一、二四〇、一四〇

小倉織

支　三、三〇、三八〇(碼)　九六、一三九
關　五九三、六八四　一九九、一三四
香　九(〇)　二、五五
印　二六、七〇〇　六、六一九
海　四、六五　一、七二四
蘭印　一七五、五一〇　七一、三五五
亜露　七、三三〇　二、七六一
濠　一、一四〇　四六二
計　一三六、四五〇、七一八　二八、五七三、三五〇

生金巾

支　四九、〇四二、五三一(碼)　九、九二四、六四五
關　一〇、六一〇、九四一　二、〇五五、七九六
香　四、一〇五、三六〇　一、七八八、五四〇
印　三一、九五八、三六四　七、九六八、一四〇
蘭印　一二五、一九五、三〇一　四七、六〇〇、一四〇
亜露　七八、二一〇　二四、〇〇〇
遅　一、四〇〇　四〇〇

綾木綿(ドリル)

支　一〇、〇九九、一九八(碼)　一、八六九、七五五
關　四三五、五二八　八七、三二一
香　三〇七、一〇〇　六二、三四二
印　二、三三五、四三七　二、三四〇、一四〇
海　四〇一、〇〇〇　八七、一四〇
蘭印　二、三五九、三〇五　八九〇、一四〇
亜露　一六、〇〇〇　三、四〇〇
佛印　一、〇〇〇　三九六
亜露　三五四、二六〇　一三九、一四〇
比　五、四四〇　二、一四〇
遅　二一、六三二　八、三四〇
細　二一、六三二　八、三四〇
土　三〇、〇〇〇　一一、八〇〇
亜　三五、〇〇〇　一三、八〇〇
弗　七六、九四〇　三〇、一四〇
濠　一、三二、一四〇　五一、四〇〇
其他　一三、四五〇、七一八　五、三四〇、一四〇
計　二八、五七三、三五〇　一一、二四〇、一四〇

綾金巾及ジーンス

支　八四、九六九、一八六(碼)　二七、七六六、六二七

細	七四、六三〇	亞	九七、五〇〇
土	一三、一六〇	埃	一五四、一七〇
埃	二〇、〇一〇	弗	二六、九八〇
喜	二三、〇〇〇	其他	二七、三〇〇
濠	四一、一六〇	計	五、三一四、八三〇
計	二三〇、二九〇、二〇五		

生シーチング

支	三、七八〇、一四二(碼)	英	一、〇一〇、一一四
關	三四、一五六、六〇〇	細	四、一一三、一四四
香	二四、一〇〇、〇〇〇	其他	一、〇一〇、一一四
印	一四、一四四、二〇〇	計	四、一一三、一四四
海	一、八一七、一〇一		
蘭印	四、八〇七、八〇〇		
亞露	二一二、六四〇		
比	一、〇〇〇、〇〇〇		
智	七、〇〇〇、〇〇〇		
亞	八三、三〇〇		
南米	六〇、八〇〇		
埃	四、五三一、七〇〇		
喜	三八、八〇〇		
弗	一〇、八四九、〇〇〇		
濠	三六八、一五〇		
計	四七、六九六、六〇二		

晒金巾

支	四七、七九六、九五五(碼)	亞	一〇、一七九
關	三、一二四、三〇三	埃	一五四、一七〇
香	四、五二、一五六	弗	三五、七四〇
印	一、九八、三〇〇	其他	三、七九四
海	三一、八〇〇	計	一、〇一〇、一一四
蘭印	一、〇〇、〇〇〇		
亞露	一八九、三四五		
比	九二、二五		
遠	九九、四五〇		
細	二四、〇〇〇		
其他	一、〇〇〇		
計	六〇、八〇、三三一		

晒シーチング

海	二、四六〇(碼)	其他	一、三四〇
蘭印	一、八九、三四五	計	一、三四〇
亞露	九二、二五		
比	六二、九一七		
遠	一、八四〇		
弗	二、一八四		
其他	三、二三		

色金巾及緋金巾

支	一七、六四九、九二五(碼)	細	九、〇〇〇
關	一、七四〇、五四五	濠	二、三九七
香	二、七九、三五七	計	一、七八、一九一
印	一、五一、一四五		
海	五五、一四〇		
蘭印	四、二八、四六六		
亞露	一五、〇六五		
比	六二、九一七		
遠	二一、八四〇		
弗	三、二三		
其他	七、八一		

天竺布

支	一五、六九、八四二(碼)	濠	五四、八七、六四〇
關	二、九八、一四一	計	九、三七、一六二
香	八五一、〇〇〇		
印	四、一三九、七七		
海	五七、三五五		
蘭印	二、七五、七五〇		
亞露	九、〇〇〇		
比	四、五〇〇		
遠	一七、二〇〇		
細	四、二〇四、九六		
英	九、〇〇〇		
土	八二、五〇〇		

更紗

支	四六、五三六、六八二(碼)	亞	一、三五五、一七四
關	四、七六、一八四	埃	一、〇一〇、一一四
香	二、〇五五、八〇〇	弗	七、六一、七三
印	一、三一七、九八〇	其他	一、〇一〇、一一四
海	四、八四〇	計	一、〇一〇、一一四
蘭印	七〇四、七〇〇		
亞露	一、三一、〇五九		
比	二、三〇〇		
遠	五五、六八〇		
弗	三四、一八〇		
濠	五四、八七、六四〇		
計	二八、〇六、六八四		

綿帆布

支	八七、三〇(碼)	埃	九六、一六九
關	一四四、五三〇	弗	二六、五〇〇
香	八四、三五五	其他	二七、三〇〇
印	二一、三三五	計	五、三一四、八三〇
海	四四、九七一		
蘭印	五、四〇〇		
亞露	一、九四四		
比	三、五六、四五〇		
遠	一、八四〇		
細	四、一三、一四四		
其他	一、〇一〇、一一四		
計	四、一三、一四四		

綿縐子

支	一、九、三五九、三五〇(碼)	濠	二、八六、〇七
關	九、八七、〇〇	計	一、七八、一九一
香	一、二七、二五〇		
印	一、二七、二五〇		
海	六二、九〇〇		
蘭印	九、三六、一五五		
佛印	二、七〇〇		
亞露	一、四四、七〇〇		

細	四、一三	遠	九〇
其他	九、九〇	其他	三、六
計	四七、一五九、六六〇	計	一四〇、八三、四九〇

綿ボプリン

支	一、一五〇、三三〇(碼)	弗	一、一五五、三五五
關	四三四、五三〇	其他	一、〇〇〇
香	一三五、四三〇	計	二、八六六、三五〇
印	三七八、六〇〇		
海	一〇〇、三六〇		
蘭印	六六八、五一〇		
亞露	九〇〇		
遠	三、〇〇〇		

其他ノ綿織物

支	八、六六九、七三	蘭印	一、一四六、八四一
關	一、一五〇、三三〇	亞露	一九、四三一
香	三五二、八四〇	比	六、七七
印	一〇二、四七九	遠	一、〇四一
海	一一、三五五	細	一、九四二
蘭印	六六八、四四五	合	一、九四二

同上(毛製及毛綿製)

支	一、一八、一〇九	細	四、一三
關	六四四、七三五	其他	四五〇、六九〇
香	一、一七、一〇〇	計	一、一七、一〇〇
印	一、一六、三三〇		
海	一〇〇、三五〇		
蘭印	一、一五、三五五		
亞露	一一八		
遠	一、〇〇〇		
弗	一、三四四		
計	一、三五、三四五		

其他ノ毛織物(綿入)

支	一七、一〇九	細	四五〇、六九〇
關	六四四、七三五	計	一、一七、一〇〇
香	一、一五		
印	九六一		
亞露	一、九		
計	八二、九七		

カンヴアス

支	三二、九九七	蘭印	三、〇二二
關	二四四、三六六	合	一一〇
蘭印	三八、七五〇	計	二三、三五七

其他ノ麻織物(綿入)

支	二九、〇八五	香	二一七
關	八六、〇八八	蘭印	五、三四四
香	一九、四三一	比	一、七二一
印	六、七七	遠	一、〇四一
海	一〇四、七九	計	一、九四二
蘭印	六六、八四五		
亞露	一、一四六、八四一		

メリヤス地

支	七八五、六二六(碼)	濠	一、七一二
關	九四、一六六	計	一、〇一五、六五七
印	七、九四四		
海	二、九一〇		
蘭印	五三、九四一		
合	二〇九、九三三		
計	六三、九三七		

其他ノ布帛

支	一、〇二五、六五七	英	一、二六九、四六二
關	一、二四一、一八一	合	一、二六九、四六二
香	五六八、四九九	計	一、二六九、四六二
印	三五二		
海	一、七二一		
蘭印	三六六		
比	四、六二五		

手巾(絹製)

支	一、九四二(打)	印	一、〇二一
關	三五二	海	三六、九〇五
香	一、〇二一	(三〇五)	四四
印	三三〇	蘭印	一、八一四
海	〇	佛印	四八七
(三〇五)	一九九	亞露	二、五九七
蘭印	五	比	一九
佛印	八	遠	一九
亞露	二、五九七		
比	一九		
遠	一九		

同上(綿製)

支	三六、一六八	歐	四
關	二六六	墨	一〇
香	七、六九	其他	四四
印	四〇	計	三六、九〇五
海	三〇〇		
蘭印	一、五〇五		
佛印	一、四三		
亞露	二、五九七		
比	一九		
遠	一九		
英	一、九二		
土	七二		

關	一	七一二三	九四一、一六六
印	一	一六、〇五〇	七、七七八
海蘭印	一	一、八九七	一、二四一
亞露	一	九四三	一、五八〇
比	一	四一〇	四三三
遲	一	八五	一八七
細	一	一〇〇	三一〇
計	一	二九、二四五	一〇八、八五二

綿製浴巾

支	一	一四、七八二(打)	二九、四六九
關	一	四七、〇五七	七一、〇五四
香	一	六八九	一、五四九
印	一	一〇、六二五	三五、〇三七
比	一	一、二七七	三、五四〇
濠	一	一、二四〇	三、一四〇
計	一	七一、二五二	二四一、一四一

地毯(其他)

支	一	一、八一〇	五、三五四
關	一	五〇	一四一
濠	一	一五一	七、三六五
計	一	一、二六一	五、六一七
支	一	一、一七七	六、三二七
關	一	三〇一	一、三五五
海	一	二、一五〇)	七、三〇一
加	一	二、三五〇	一〇、五四五
計	一	二、五三一	一〇、五四五

テーブルクロース(其他)

支	一	四五六(打)	五、九四六
關	一	七〇三	八、九一六
海	一	三八	三五五
蘭印	一	九	一〇五
計	一	一、二〇五	一五、四九七

トリムミング

支	一	一三、一〇二	一〇、六七八
關	一	一〇、五四五	四九、〇四一
香	一	二五	一九六
印	一	一九六	一五〇
海	一	一五〇	一、二五〇
蘭印	一	二五	二九〇
佛印	一	二五	二九〇
比	一	二五	二九〇
濠	一	二五	二九〇

ドイリ及センター

計	一	七四、二二一	八四八

打紐眞田紐類

支	一	二一七、七四〇	一、八五五
關	一	一、八六五、六九七	二一五
香	一	九、六九七	一一〇
印	一	一三〇	一五
蘭印	一	七〇	八
比	一	一、四三四	一六五
濠	一	一四七、九五一	一六九
計	一	二九、四六九	三三九
支	一	一四、七八二(打)	一六、四五五
關	一	七一、〇五四	八一、六二五
香	一	一、五四九	一七六
印	一	三〇、七四〇	三四二
蘭印	一	一四七、九五一	一六九
海	一	六七、一五三	七六九
蘭印	一	一、二四八	一四二
比	一	三四〇	三九
遲	一	一、四三四	一六五
細	一	六八四	七八
合	一	一、四三四	一六五
秘	一	三〇五	三五
智	一	一、四三四	一六五
埃	一	一七一	一九六
弗	一	一、八八九	二一五
濠	一	一、四三四	一六五
計	一	二五四、一四一	二九一、一四一

漁網

支	一	一七〇(斤)	二一八
關	一	五、一五〇	一、四〇三
蘭印	一	七〇三	九〇
比	一	四〇	五一
計	一	六、七五五	八九

ランプ心

支	一	一五、七四七	一九七
關	一	五、〇六六	六五
印	一	一、三六八	一七
蘭印	一	二、一〇五	二六
比	一	一、八八九	二四
弗	一	一九七	二五
計	一	三九、三七二	四九二

ホース及機械用ベルチング

支	一	一五、七二五(斤)	三〇、七九九
關	一	二四、七二〇	三、一七二
印	一	一、四四二	一八三
海亞露	一	八二	一〇五
英	一	二五	三六
計	一	四三、八八九	六六、四〇五

麻嚢

支	一	一二五(千個)	三、〇四九
關	一	二七五	八九、七一〇
海	一	一	三五
計	一	三八七	一三、九七四

綿嚢

支	一	三一〇(千個)	三四、二五八
關	一	二四七	二〇、五三三
計	一	五五七	五四、七九一

絹製品

支	一	一四九	一三一
關	一	一三一	一一五
海	一	二〇	一七六
合	一	二五	二二〇
計	一	一九六	一六七

布帛製品(其他)

支	一	一五四、〇五五	一三四、〇五五

關	一	一二三、八〇八	一四三、八〇八
香	一	七、八三五	七、八三五
印	一	一三、八三三	一三、八三三
海蘭印	一	八、二四八	八、二四八
比	一	三五、八八八	三五、八八八
遲	一	二一、九六八	二一、九六八
細	一	一〇一、二六〇	一〇一、二六〇
英	一	一〇〇	一〇〇
佛	一	二七	二七
和	一	一五一	一五一
合	一	五〇、八五二	五〇、八五二
加	一	一、一一二	一、一一二
喜	一	三)	三)
弗	一	二六七	二六七
濠	一	二、六〇四	四五五、〇九〇
計	一	一、九七九	一、九七九

洋服用シャーツ

支	一	三四六(打)	七、五八七
關	一	三五一、五六六	五、三四四
海蘭印	一	六、一八八	九四一、七五一
計	一	九、六二五	一六〇、二三八

カラー及カフス

支	一	三三、〇一〇(打)	四四一、四四一
關	一	二一、七五九	三五〇、一五七
香	一	三、七四四	四四、七七四

印	一	一四三、八〇八	一四三、八〇八
海蘭印	一	七、八三五	七、八三五
佛印	一	八、二四八	八、二四八
計	一	三五、八八八	三五、八八八

肌衣(綿メリヤス製)

支	一	一〇七、二五八(打)	一七九、〇七五
關	一	三七、三一〇	三五、一二三
香	一	一五五	八二一
印	一	一一四六、一七六	三、七四四、七三八
海蘭印	一	四四、八〇五	一六、六八九
亞露	一	三五、〇四七	四三、九五六
比	一	六五、〇四〇	四四、七四四
遲	一	八四〇	三三九、〇四四
細	一	三四四	三、二四二
英	一	四三六、五一〇	九、九二四
佛	一	四四、五六二	二、二四三、四六七
白	一	九四〇	一六、〇五〇
歐	一	八八	二六六
合	一	二二、一七四	六七、五六〇
秘	一	一四四、〇四〇	七、四七八
南米	一	一四八	一、九七八
埃	一	二二、一四〇	四四、九五三
喜	一	九、三四七	四四、七九二
弗	一	三二、七六三	一五八、四六六
濠	一	三四〇	八四二

同上(綿縮製)

計	一	一、九七八、五七九	八、二九五、九三三
支	一	五、九四四(打)	二四、八九〇
關	一	四、七二九	二五、六九七
香	一	三三	一〇二
印	一	二、一〇一	四二、八六一
海蘭印	一	八九二	八、五七六
遲	一	一〇	九、四五八
細	一	九〇	七四
計	一	二五、五四二	五〇、八五二

同上(其他)

支	一	五、五二六(打)	四〇、七五六
關	一	三、二四四	五六、八八八
印	一	一、八五〇	四、七四二
海	一	二〇	四〇
蘭印	一	三	七四
亞露	一	一九	三六
比	一	一三	二六
計	一	一〇、八九九	三六、八八一

メリヤス製手袋

支	一	一九二、〇四九(打)	三二六、七二八
關	一	六三、八九一	二二六、八四四
印	一	四、三五〇	一四、九八〇
海	一	一〇	三四
蘭印	一	一〇	三四
亞露	一	二、七二五	九、六八八

運	一	二五五	四五〇
合	一	二六二、三九〇	二一六
計	一	四四四、八八九	四四四、八八九

足袋(メリヤス製)

支	一	二四四、四四〇(打)	四六七、三六八
關	一	四三、八六〇	一二一、四九〇
香	一	一、八八五	一、七一〇
印	一	二七、七二八	一〇、六四九
海	一	四四、一四四	一四四、〇五四
蘭印	一	一、六八五	八、七〇九
亞露	一	二、一八五	一〇、〇一〇
比	一	二、一八〇	三、七四四
遲	一	二四四	七九二
細	一	九〇〇	一、九三五
英	一	九七、九三三	一四二、七五九
佛	一	八〇七	一、一〇一
獨	一	四八	一〇一
歐	一	五)	一〇一
加	一	六〇〇	一、二〇二
秘	一	五、一〇〇	一〇、八五五
智	一	六、七〇〇	一二、四五二
南米	一	一五〇	三四三
喜	一	四〇〇	五三四
弗	一	一、四四九	三、九〇〇
濠	一	二、一五六	八、二〇三
計	一	二三四、三四一	四六八、九一五

足袋(其他)

支	六、八九〇(打)	二九、一九二
關	一六、二七七	五八、〇二二
香	一六	九三
印	七	四〇
海	五〇六	三、三二九
蘭印	六九	五四七
還	一	一〇
漆	四	四四
計	二二、六七九	八七、二七二

肩掛

支	三二〇(打)	六、七〇七
關	一、一四四	二五、六〇五
印	七二四	六、九〇九
亜露	二一二	三、八九二
還	一、〇四四	三、〇〇八
計	三、五二四	五二、一八一

帽子(フエルト製)

支	三四、八六六(打)	六〇二、五九九
關	四〇、九九一	四八、一四一
香	一、二五五	一〇、九四五
印	四〇八	三、四一三
海	二四二	二、四八六
蘭印	四、三五三	四七、八五〇
亜露	六〇	七、七一六
還	三四〇	三、〇八八
計	三四、八六六(哥)	六〇二、五九九

帽子(麥稈製)

支	九、七〇三(打)	二七、一九二
關	一、八三五	二八、八八八
香	一〇〇	三八五
印	四一	五一〇
海	三、三二九	五四、五六
蘭印	五六	五二〇
亜露	一	一三
細	一五、一八九	一七一、四七五
計	二一、九三一	二七一、四七五

帽子(模造バナマ)

支	二、二八二(打)	四六、〇九二
關	三三四	七一、二四四
香	一〇〇	三、八九四
印	一〇	五〇五
蘭印	一〇	五二〇
亜露	一	一三
比	一	一三
還	一八	二一四
計	二二四	三、二三四

帽子(其他)

支	—	一九、八三〇
關	—	七四、二八二
香	—	四、八八八
印	—	二二、〇七四
海	—	五、三二一
蘭印	—	三、七三一
亜露	—	九一
比	—	二
還	—	二
計	—	三、〇三五

靴(革製)

支	二八二(打)	三、九三九
關	一、六〇四	二三、八九四
海	一六	二九五
蘭印	一三〇	四五二
計	若干五四、二四一	若干五四、二四一

スリッパー

支	五、九七五(打)	二二、三九八
關	四一、五七六	一六四、二九四
香	九三	三七二
印	二三	八一、一四八
海	八一、一四八	三二、四七九
蘭印	三、四七九	一一、二八六
佛印	一〇	三四
細	五六	一九二
墨	八	二七
計	一六、六五七	六六、八四七

其他ノ履物

支	—	七〇四、三一四
關	—	二三〇、三四六
香	—	九、九一七

印	一	三五、〇〇八
海	一	六八、五三五
蘭印	一	二九、一六〇
佛印	一	八一
亜露	一	一三八
比	一	三、〇六七
還	一	三二七
細	一	一〇、九四四
喜	一	一〇
弗	一	三四五
濠	一	三四五
其他	一	一、一〇九
計	一	三四八

紐

支	七五、〇三六(哥)	二四、一四八
關	一九、五六二	六八、三五五
香	一、三五〇	四、八八八
印	三、八五三	一三、六七一
海	七、一七五	二五、九五四
蘭印	五、九五四	二三、一三八
亜露	四九	一九二
比	二、六二八	九、〇七五
還	四六、〇七五	一六四、一四〇
細	一、六〇四	五、七二四
喜	三五	一三五
弗	一、八五九	六、五八九
濠	一、二四八	四、四五六
其他	一、一〇九	三、八九八
計	八四、三一四	三〇〇、三四六

釦(金屬製)

支	四三四、八七四(哥)	一五二、八八九
關	一九、五七六	六三、三五五
香	一、〇〇〇	三、五〇〇
印	四、八一	一六、七五五
海	一、七二一	五、〇〇五
蘭印	一、四二一	四、三五五
亜露	一、六二五	五、六八九
比	一、一四二	三、九〇二
還	一、〇四四	三、六四五
細	一、〇四四	三、六四五
喜	一、〇四四	三、六四五
弗	一、〇四四	三、六四五
濠	一、〇四四	三、六四五
其他	一、〇四四	三、六四五
計	三、〇四四	一〇、六四五

細	一	三八九
西	一	九〇
弗	一	五二二
英	一	五一
計	若干五四、二四一	若干五四、二四一

海	九九六
蘭印	九、七一八
亜露	四三
比	一〇〇
計	六四、七〇一

釦(貝製)

支	四四、九六六(哥)	三四九、三二九
關	一四、七七一	一一四、七一一
香	二、三三七	一八、三四五
印	三九、三六五	三〇七、一四八
海	六、〇四二	五一、八八七
蘭印	五、一四〇	四一、九八九
亜露	一九五	一、五二七
還	一、九四四	一四、七二五
比	一、五二〇	一一、七七二
細	一、〇四四	八、二三七
英	三、九三五	二四、六八五
加	一、〇四四	八、二三七
濠	一、〇四四	八、二三七
其他	一、〇四四	八、二三七
計	三、〇四四	二四、六八五

釦(骨角製)

支	一、三〇三、二四九(哥)	三八五、七一七
關	一五五、五八〇	四六、五〇〇
香	一、七〇九	四、八一一
印	一、一四九	三、四二五
海	一、一四一	三、四二二
蘭印	四、三五五	一二、九〇一
亜露	五〇五	一、五二五
比	三〇五	一、〇〇二
還	一、〇四四	三、一二二
英	二、四四八	七、二五五
加	九六〇	二、八〇〇
濠	五、一四四	一六、一七八
計	一五二、三五七	四五六、五八六

海	九、一四四
蘭印	三三、一八
亜露	一五九
比	九、七三八
還	一四三
計	四四、七二〇

釦(其他)

支	九一、一四四
關	三三、一八
香	一五九
印	九、七三八
海	一四三
蘭印	四、七二〇
亜露	六〇
還	三四〇
計	一四八、一四五

セルロイド製櫛

支	三九、三六六(哥)	一五四、八一
關	一四、四四六	三二、四七一
香	七七	一、六七六
印	四、六五九	三四、七八八
海	九九七	二、八二一
蘭印	六五	三七三
亜露	二	一〇
比	五〇	一六三

釦(其他)

支	一	六、六五〇
關	一六五	一、〇五五
香	一四、一〇三	四、一〇三
印	四二九	一、九二六
海	二六	一〇三
蘭印	七、一五二	二八、一五二
亜露	一、一五二、六六二	四六八、三五七
還	一、一五二、六六二	四六八、三五七
細	一	四

硝子製腕輪

支	四一(哥)	一三六
香	二五〇	一、〇三〇
印	一、一四五、一四一	四、七六二
海	三六、三五三	一二五、三四〇
蘭印	一四四〇	三五五
合	三五五	一、四二〇
加	一、〇〇〇	四、一四〇
亜	四五	一七五
計	一、八三九、五六六	六三、一三六

其他ノ身邊粧飾用細貨類

支	—	六六、三二五
關	一、六三一	六三、六三五
香	一、七一三	七、〇四〇
印	一、一四二	三、九〇二
比	一、一四二	三、九〇二
還	一、一四二	三、九〇二
細	一	四

還	五五九	六、六五〇
英	一三	一七五
合	三四〇	一四、一〇三
加	二六	一四二
濠	一四四	五、九二〇
計	三六、一四四	一三六、一四〇

加	八〇、六八一	四九、二三一
墨	一四、八五五	一〇、三〇二
北米	一、七七六	四六、一四六
智	四、〇〇二	一五、八六八
亜	四、〇〇二	一五、八六八
伯	一一、九一六	四二、〇七九
南米	六、八五一	二五、九五四
埃	五二、六七五	一三、一三八
喜	八四	四九
弗	六、一六七	二、六二八
濠	九四、九〇四	四六、〇七五
其他	三〇〇	三〇〇
計	三、三九七、八三九	一、六〇四、一四〇

合 二、八二五
濠 一七 一
布 三一 一
計 三、一〇、九一七

帶類

支 一 一
關 一、六七〇 一
香 四四、七〇七 一
印 二、七四四 一
海 一、五五三 一
蘭印 二、六五五 一
亞露 二、七八 一
比 七、一六四 一
還 二五一 一
土 一八 一
合 七〇 一
喜 三七 一
計 九、二三三 一

帶子

支 三八六、九五〇(打) 二六七、八九
關 一四八、二〇四 一一、九、五三
香 一五〇 六五二
亞露 七三五 六三八
計 五五六、〇三九 三八、九一

メリヤス製さるまた

支 一七、八二四(打) 一二六、二五五
關 五、四四六 三五、四四六

香 四九 一
印 一、〇〇〇 一、五〇九
海 九四九 九四九
蘭印 一、一〇三 一、一〇三
亞露、比 三三四 三五
還 七七 七七
細 二五〇 二五〇
英 二五〇 二五〇
弗 二五〇 二五〇
計 一、三四八 一、三四八

洋服

支 一 一
關 四、八五 四、八五
香 一九、九四三 一九、九四三
海 一、七一二 一、七一二
蘭印 七六 七六
亞露、比 五 五
還 三三四 三三四
細 七二 七二
英 二五〇 二五〇
弗 一、三四 一、三四
計 五五、六四一 五五、六四一

きもの

支 三四 三四
關 五六二 五六二
海 一三七 一三七
合 五 五
細 七 七
加 一 一
計 二七、六一八 二七、六一八

其他ノ衣類及同附屬品

香 四九 一
印 一、〇〇〇 一、五〇九
海 九四九 九四九
蘭印、亞露、比 一、一〇三 一、一〇三
還 三三四 三五
細 七二 七二
英 二五〇 二五〇
弗 一、三四 一、三四
計 五五、六四一 五五、六四一

製紙用パルプ

支 二、八七八(噸) 二、七五、一九
關 一四 一四
香 一、一三四 一、一三四
印 一、七〇五 一、七〇八
海 一、七〇八 一、七〇八
蘭印 四四、四一七 四四、四一七
亞露 八、〇一六 八、〇一六
比 二、八四四 二、八四四
還 一、一五〇 一、一五〇
細 七三 七三
英 一、五五三 一、五五三
佛 二、六八 二、六八
合 七、一四四 七、一四四
秘 二五一 二五一
南米 一八 一八
埃 七〇 七〇
喜 三七 三七
弗 七、三三 七、三三
計 九六、一八八 九六、一八八

印刷料紙

支 二、七五、一九 二、七五、一九
關 三〇、七三 三〇、七三
香 七、九八六 七、九八六
海 六七九 六七九

煙草用紙

支 一〇、八四(噸) 九九、七四〇
關 二、七〇 二、七〇
香 三〇五 三〇五
印 一四 一四
海 八四九 八四九
蘭印 一四 一四
亞露 一、一四三 一、一四三
比 一、九四 一、九四
還 一、一五〇 一、一五〇
細 一、三四 一、三四
英 一、三四 一、三四
佛 五五 五五
合 一四 一四
弗 一四 一四
計 一、〇、八四(噸) 九九、七四〇

雁皮紙及薄葉紙

支 一二(噸) 一二、五一九
關 九 一、一七
印 三 一〇一
海 一 一五
還 二 二一
計 二七 二、一四〇

吉野紙及典具帖

支 六(噸) 九二

關 一二 二、一四三
合 九 一、四一七
計 二一 三、五五七

鳥ノ子紙

支 八、五〇五(噸) 七、四四四、四一七
關 一九八、六六五 一九八、六六五
香 七、四四四、四一七 一九、七九二
海 一、〇五四 一、〇五四
亞露 二一一、一四四 二一一、一四四
還 一、〇五六 一、〇五六
計 一八、九一六 四四四、二六七

連史紙

支 五五五、九三五(刀) 三七六、六九二
關 二七三、五八四 一八六、一九〇
香 五八、三三〇 四四六、四七六
海 六、六一五 五、九八四
亞露 三五 三五
還 八一〇 六六〇
計 八九、二九七 六一六、〇三二

半紙及美濃紙

支 一、一九五(噸) 八三、三九二
關 二、六五五 一、九六(噸) 四六、七一八
香 六 一、六四〇、六四八 三三
印 一 一〇一
海 三六 七六八
蘭印 五〇〇 五〇
計 三、八一〇 二〇八、八五七

包裝用紙

支 一七、一三四(噸) 三二、二九
關 六、八四三 二九、七五〇 三三四
香 八 三八一 六、八五五
印 三八一 九三
海 八 九三 一〇
蘭印 九三 一〇、四〇六 一〇
計 二五、三四七 一〇、八五六

塵紙

支 八四七(噸) 三一、五九
關 三、五五〇 一、六一、九二一
香 九一 一、三五一 二七
印 三 一、〇八 一四
海 三 九一三 一二
蘭印 二 八〇六 一〇
亞露 一 六〇 一
還 一〇三 二、五二〇 二二
細 二、五二〇 二二
和 一、〇〇一 一、〇〇一 一
細 一、三 一、三
蘭印 一、三 一、三
海 一、〇五六 一、〇五六
印 三〇 三〇
香 二八〇 二八〇
關 四四、九五四 四四、九五四
支 五三、七五七 五三、七五七
計 七、九 七、九

其他ノ日本紙

英 一 一
白 一 一
合 九六 九六
濠 二 二
弗 一〇二、九三一 一〇二、九三一
計 一〇二、九三一 一〇二、九三一

其他ノ紙

支 四一、五九七 四一、五九七
關 二二、四四七 二二、四四七
香 一五、三五六 一五、三五六
印 三、〇九一 三、〇九一
海 六三四 六三四
蘭印 一七九 一七九
亞露 二、七〇九 二、七〇九
比 四、三〇九 四、三〇九
還 三五三 三五三
細 二二〇 二二〇

帳簿及手帳

英 一 一
白 一 一
合 一、二六八 一、二六八
濠 二、八五〇 二、八五〇
弗 八七 八七
計 六九三、一〇四 六九三、一〇四
支 五四、三九五 五四、三九五
關 一三、一四九 一三、一四九
印 七一 七一
海 九三五 九三五
蘭印 二、〇一八 二、〇一八
比 三、六一九 三、六一九
還 九五〇 九五〇
細 二、一五五 二、一五五
英 二、一五五 二、一五五
佛 六、八五 六、八五
埃 八五 八五
弗 一、三四 一、三四
濠 四四 四四
計 一八八、七四四 一八八、七四四

封筒

支 九、二六(千個) 一五、七九五
關 三一、五六七 五六、八一一
香 四四 一四
濠 一、三五〇 二、六五五
印 一、三五〇 二、六五五

海	二三、四四七	二〇、九八七	
關	一七四	四六六	
印	一〇〇	一三〇	
還	五七	一七九	
細	五六、一〇五	九七、〇〇	
計			

煙草用吸口

關	三、三〇〇(千個)	四、三七八	

紙製ナフキン

支	二、五四四(千個)	四、四八一	
關	七、三二〇	八、七三二	
香	一三四	一八四	
海	八一〇	一、〇一九	
關印	一、七五五	二、四四五	
英	三〇〇	四五五	
墨	四五五	六四四	
濠	五〇〇	五四〇	
計	一、七二九	一、九二八	

レーベル

支	一、一七一	一、三六一	
關	一、七一〇	一、七一〇	
香	一一三	一一三	
印	二、三九七	二、四七二	
海	一、三二一	一、三二一	
關印	三、三二一	三、三二一	
計	一五、三二一	一五、三二一	

骨牌

支	七〇、二一九		
關	二〇、九四三		
香	一、三四八		
印	一、八七七		
海	一、〇四九		
關印	二一五		
英	三一一		
其他	九六、一四一		
計	一二九、七四一		

紙箱及紙筒(ボール製共)

支	七六、三三一		
關	二、三九二		
香	五九三		
印	二、三八八		
海	四、八四五		
關印	九二一		
比	九九七		
還	九、五二一		
英	五、四四〇		
合	三、二七七		
加	二三六、五六九		
計			

書籍及雜誌

支	二〇、七〇一		
關	二一三、九三五		
香	一六		

印刷物

印	一六五		
關印	一一二		
海	二一八		
印	一一		
香	一、二四		
關	一、〇三七		
支	一、三九五		
計	四四		
弗	一四七、九八四		
合	一一三		
英	一八		
細	一七		
還	六四		
比	一三		
佛印	一、三七一		
關印	一、三四三		
海	一、三三四		
印	一、三四五		
香	一、三四五		
關	六一九、八七八		
支	一三四、二〇〇		
計	八、五三二		
佛	一一三		
英	一一三		
細	一一三		
還	一一三		
比	一一三		
佛印	一一三		
關印	一一三		
海	一一三		
印	一一三		
香	一一三		
關	一一三		
支	一一三		
計	一四七、九八四		
弗	一一三		
合

合	三五、三九七	五五、六二一	
加	一五七	四〇七	
濠	二、七五二	二七、四八二	
計	五七、三八八	九四、九二二	

硝子珠玉及球

支	—	六六八、九四五	
關	—	四、一〇六	
香	—	三、四九七	
印	—	四四五、八四九	
海	—	一、三一六	
蘭印	—	二、五九二	
佛印	—	三四、一〇三	
亞露	—	二、七一七	
比	—	一、一四五	
遲	—	一、八六五	
細	—	四四、一〇三	
英	—	一、三四六	
佛	—	一、八六五	
獨	—	六四一	
伊	—	一、四〇三	
西	—	八	
合	—	一〇六、八〇五	
墨	—	五三〇	
亞	—	一、七一一	
埃	—	一、四五二	
弗	—	一、七一一	
濠	—	四〇二 六	
計	—	七二四、五一〇	

支	七七、六八一	八二、六九九(打)	
關	六八、三三二	八四、七七二	
香	二、〇九六	二八、七六九	
印	七九五、二九一	一、五二一、六四二	
海	一二四、六九四	一六三、八七四	
蘭印	三二、〇二二	四七二、七五四	
佛印	一五、八二六	二一、一七二	
亞露	八三	一一〇	
比	五七、一三九	七〇、三六九	
遲	四三、七六八	五四、一三七	
細	一、三九〇	三、二一〇	
加	二一、七九九	二、四三五	
喜	三、五四四	三、八三〇	
弗	一、六二四	一、八六一	
濠	三五、七〇五	五二、一〇九	
其他	一、六八	二一〇	
計	一、五四一、一四二	二、五六四、〇〇九	

ウオッチグラス

關	三五六(哥)	三五四	
香	一、八六	九四〇	
印	八、八二六	七、三九九	
海	一、〇三五	一、〇三五	

硝子コップ

喜	一二四、五七六	二七、八二一	
弗	六、七六二	一、六〇九	
濠	五九、六六四	三二、九一七	
計	六、九六一、〇一七	二、一四一、七九八	

硝子鏡

支	四、三二(千個)	七三、三三	
關	七、一七四	三〇一、六一三	
香	八七	三、四五三	
印	三、〇五二	三四九、九五五	
海	一四	三、七一〇	
蘭印	三五〇	四〇、〇〇六	
佛印	一	一九四	
亞露	一三	三、九二一	
比	七	二、一〇三	
遲	八	二、一五九	
細	九	一、三四八	
(二個)	〇	五一	
(四八個)	〇	一〇三	
(三六四個)	〇	六〇	
墨	一六	六六六	
亞	一六	六六六	
喜	六	一、三六六	
弗	六	一、一二四	
濠	二	八、四六八	
計	一、四七四、三一三	一、四七四、三一三	

其他ノ硝子及同製品

支	一	一五五、七二一	
關	七五、四二三	八、六二八	
香	一	一	
印	二五七、四〇〇	二五七、四〇〇	
海	三五、三五六	三八、九五五	
蘭印	一	一	

重石礦

佛印	—	三、八四四	
亞露	—	一三一	
比	—	一七、九四四	
遲	—	一二、三一三	
細	—	一〇五	
英	—	二七四	
佛	—	七、七	
合	—	一、四六二	
加	—	一、八四〇	
埃	—	四四	
喜	—	四、六九一	
弗	—	一、三四六	
濠	—	七、五八八	
計	—	六三、〇五二	

マンガン礦

支	〇	八、九二九(擔)	
關	—	五、八九九	
香	—	一、四三八	
印	—	一	
遲	—	一四九	
計	—	五〇、四九	

其他ノ礦

支	—	三、八四四	
關	—	一七、九四四	
計	—	二一、五三八	

獨	二	四二	
濠	一	一八二、五〇七	
計	一五、八九二	一八二、五〇七	

同（線索）

支	一、三二六(擔)	三〇、八五二	
關	一、五三一	四一、三三五	
海	二	四四	
亞露	一五	二八〇	
比	三九	七九五	
計	二、九〇三	七三、二七四	

同（筒及管）

支	四、三〇六(擔)	六一、三四六	
關	二三、七九二	三二、一四〇八	
香	二四	四、四八九	
蘭印（一〇K）	〇	二	
亞露	二、〇八三	五一、三八二	
細	一三	一三五	
計	三〇、四〇七	四三、七二一	

同（屑及放）

支	五九、五三三(擔)	一九二、〇一五	
關	一九、七九六	六、〇五〇	
香	五八九	二、〇一二	
計	七九、九〇八	二五四、五二一	

同（其他）

支	一、四三(擔)	七、八六八	
關	一、四二	四、八一〇	
亞露	六、〇三	二五、五二一	

鐵（塊及錠）

支	一、〇六三(擔)	四、五六六	
關	六九七	八、二六九	
印（四三ト）	〇	二	
亞露	一、六八五	九、五二九	
遲	八	二八〇	
計	三、四六三	三一、六四六	

同（條竿及板）

支	二〇、五六八(擔)	二五七、五四一	
關	八三、七四〇	七二七、四九九	
香	九二七	一一、七七三	
印	二、六三	二一、七三三	
海	五九六	九、五一九	
蘭印	三、七四〇	四四、四一七	
亞露	三、七三九	六二、九五一	
遲	三、七五八	四九、八五四	
細	四八	六四七	
合	一	一〇	
弗	五	六九	
計	一、六七、〇一三	一二九、九〇八	

同（線）

支	四、三九〇(擔)	四九、九三五	
關	二三、二三三	一、四七九	
海	四〇	一	
蘭印	二	二	
亞露	九四	六	
細	一三	一	

印	一七	八二七	
蘭印	一	七五	
計	一、八〇一	一三、五八四	

箔

支	四三(擔)	二一、三二七	
關	七五一	四二、八二八	
海	八	四〇二	
亞露	二八〇	七三、五六七	
比	七五	三九二	
計	一、一八一	六四、五六七	

鉛（塊及錠）

支	一三〇(擔)	三、〇〇一	
關	一八七	五、八九七	
香	五	二〇四	
印	五四〇	一三、七九二	
遲	五〇八	一五、八三五	
計	一、三七)	三八、七一七	

眞鍮及黃銅（條及竿）

支	五、七八二(擔)	二〇五、五七七	
關	二一〇	七、六八一	
香	一、四四五	四八、一七〇	
印	一、四四五	四八、一七〇	
海	〇	一	
亞露	一七	五八六	
比	一七	五八六	
計	八、四三	二九九、九五五	

同（板）

支	五五、五九八(擔)	二六五、九五七	
關	一、九六一	四九、一七九	
香	一五	七三一	
印	一、〇四七	一、一九七	
海	一、一九七	四九、一七九	
蘭印	九〇	四	
遲	一、五六九	四四八、六五九	
細	二九	一、五六九	
其他	八、五七	四四八、六五九	
計	三一、六四六	三一、六四六	

同（線）

支	二、〇二一(擔)	九五、七二五	
關	七、八五一	三五六、九五七	
香	三一	一、六六九	
海	二	一一〇	
蘭印	二、一四	九六、七二九	
亞露	八三	三、八五九	
計	一二、一四四	五五四、〇五九	

同（其他）

支	八四三(擔)	三七、〇四五	
關	九四〇	四、二六一	

亞露	一	八三五	一九八、七三四
比	一	八三五	一九八、七三四
還	一	八三五	一九八、七三四
細	一	八三五	一九八、七三四
獨	一	八三五	一九八、七三四
合	一	八三五	一九八、七三四
土	一	八三五	一九八、七三四
計	一	八三五	一九八、七三四

銅製品

支	一	八三五	一九八、七三四
關	一	八三五	一九八、七三四
香	一	八三五	一九八、七三四
印	一	八三五	一九八、七三四
海	一	八三五	一九八、七三四
蘭印	一	八三五	一九八、七三四
亞露	一	八三五	一九八、七三四
比	一	八三五	一九八、七三四
還	一	八三五	一九八、七三四
細	一	八三五	一九八、七三四
合	一	八三五	一九八、七三四
計	一	八三五	一九八、七三四

真鍮製品

支	一	八三五	一九八、七三四
關	一	八三五	一九八、七三四
香	一	八三五	一九八、七三四
印	一	八三五	一九八、七三四
海	一	八三五	一九八、七三四
蘭印	一	八三五	一九八、七三四
細	一	八三五	一九八、七三四
佛	一	八三五	一九八、七三四
合	一	八三五	一九八、七三四
弗	一	八三五	一九八、七三四
布	一	八三五	一九八、七三四
計	一	八三五	一九八、七三四

アンチモニー製品

支	一	八三五	一九八、七三四
關	一	八三五	一九八、七三四
香	一	八三五	一九八、七三四
印	一	八三五	一九八、七三四
海	一	八三五	一九八、七三四
蘭印	一	八三五	一九八、七三四
比	一	八三五	一九八、七三四
土	一	八三五	一九八、七三四

青銅製品

亞露	一	八三五	一九八、七三四
比	一	八三五	一九八、七三四
還	一	八三五	一九八、七三四
細	一	八三五	一九八、七三四
獨	一	八三五	一九八、七三四
合	一	八三五	一九八、七三四
土	一	八三五	一九八、七三四
計	一	八三五	一九八、七三四

銅線

支	一	八三五	一九八、七三四
關	一	八三五	一九八、七三四
香	一	八三五	一九八、七三四
印	一	八三五	一九八、七三四
海	一	八三五	一九八、七三四
蘭印	一	八三五	一九八、七三四
亞露	一	八三五	一九八、七三四
比	一	八三五	一九八、七三四
還	一	八三五	一九八、七三四
細	一	八三五	一九八、七三四
合	一	八三五	一九八、七三四
計	一	八三五	一九八、七三四

同（線）

支	五、四五八（擔）	二三六、三五九	五三〇、七三六
關	四一〇	一七、一五六	八〇、八〇六
香	一、二五〇	五二、三二九	二四〇、五二一
印	二一七	九、〇一七	三、一七三
海	一〇	五、四四八	一、九三五
蘭印（八斤）	〇	一、四九六	一、一四三
比	三一	一、二三三	五三〇、七三六
還	三六	一、二三三	五三〇、七三六
計	七、四五一	三五六、八四五	一六三、八五五

同（其他）

支	八六八（擔）	三五、四五七	一六、三五二
關	五一七	二三、八〇〇	一〇、九〇〇
印	二三	一、二三三	五三〇、七三六
亞露	一〇七	八、八六〇	三、九〇〇
計	一、五〇七	一〇一、一五〇	四六、三五二

其他ノ金屬

支	一	二三、八五五	一〇、九〇〇

絶縁電線

支	三、七六二（擔）	二三九、六二八	一九六、七二四
關	六、六三一	三五二、一五〇	一四五、三五二
香	一三八	一四、二五八	五、八四〇
印	三	二五二	一〇三
海	三五	四、六四	一、九〇六
蘭印	一六	一、三二一	五四二
亞露	九	八五九	三五二
細	九	一、二〇六	四九四
計	一〇、四〇一	六五五、三五九	二六九、九四〇

農具及工匠具

支	一	七九、二七一	三二、六〇〇
關	一	一九六、七五九	八〇、五〇〇
香	一	五六二	二三〇
印	一	六九	二八
海	一	二、二三二	九一五
蘭印	一	四三三	一七八
佛印	一	四三三	一七八

合	一	二六四	一〇八、五二四
弗	一	八	三、二九二
計	一	一六、五五五	六、八〇五

アルミニウム製品

支	一	二六四	一〇八、五二四
關	一	二六四	一〇八、五二四
香	一	二六四	一〇八、五二四
印	一	二六四	一〇八、五二四
海	一	二六四	一〇八、五二四
蘭印	一	二六四	一〇八、五二四
佛印	一	二六四	一〇八、五二四
亞露	一	二六四	一〇八、五二四
比	一	二六四	一〇八、五二四
還	一	二六四	一〇八、五二四

ニッケル鍍製品

支	一	二六四	一〇八、五二四
關	一	二六四	一〇八、五二四
蘭印	一	二六四	一〇八、五二四
佛印	一	二六四	一〇八、五二四
香	一	二六四	一〇八、五二四
印	一	二六四	一〇八、五二四
海	一	二六四	一〇八、五二四
蘭印	一	二六四	一〇八、五二四
亞露	一	二六四	一〇八、五二四
比	一	二六四	一〇八、五二四
還	一	二六四	一〇八、五二四

鐵釘類

支	一	二六四	一〇八、五二四
關	一	二六四	一〇八、五二四
香	一	二六四	一〇八、五二四
印	一	二六四	一〇八、五二四
海	一	二六四	一〇八、五二四
蘭印	一	二六四	一〇八、五二四
佛印	一	二六四	一〇八、五二四
亞露	一	二六四	一〇八、五二四
比	一	二六四	一〇八、五二四
還	一	二六四	一〇八、五二四
滦	一	二六四	一〇八、五二四
弗	一	二六四	一〇八、五二四
埃	一	二六四	一〇八、五二四
計	一	二六四	一〇八、五二四

琺瑯鐵器

支	一	二六四	一〇八、五二四
關	一	二六四	一〇八、五二四
香	一	二六四	一〇八、五二四
印	一	二六四	一〇八、五二四
海	一	二六四	一〇八、五二四
蘭印	一	二六四	一〇八、五二四
佛印	一	二六四	一〇八、五二四
亞露	一	二六四	一〇八、五二四
比	一	二六四	一〇八、五二四
還	一	二六四	一〇八、五二四
滦	一	二六四	一〇八、五二四
弗	一	二六四	一〇八、五二四
埃	一	二六四	一〇八、五二四
計	一	二六四	一〇八、五二四

鐵鍋及鐵釜

支	一	二六四	一〇八、五二四
關	一	二六四	一〇八、五二四
香	一	二六四	一〇八、五二四
印	一	二六四	一〇八、五二四
海	一	二六四	一〇八、五二四
蘭印	一	二六四	一〇八、五二四
亞露	一	二六四	一〇八、五二四
比	一	二六四	一〇八、五二四
還	一	二六四	一〇八、五二四
細	一	二六四	一〇八、五二四
土	一	二六四	一〇八、五二四
計	一	二六四	一〇八、五二四

石油罐

支	一	二六四	一〇八、五二四
關	一	二六四	一〇八、五二四
香	一	二六四	一〇八、五二四
印	一	二六四	一〇八、五二四
海	一	二六四	一〇八、五二四
蘭印	一	二六四	一〇八、五二四
亞露	一	二六四	一〇八、五二四
比	一	二六四	一〇八、五二四
還	一	二六四	一〇八、五二四
細	一	二六四	一〇八、五二四
計	一	二六四	一〇八、五二四

針

支	八六四、〇九三（千個）	九七、五三四	四〇、二五二
關	三二、一五七	三、五九二	一、四八四
香	一〇九、一六一	一二、二五〇	五、〇五〇
印	二一、二五〇	二、三五八	九七〇
佛印	二一、二五〇	二、三五八	九七〇
比	一、七五〇	一九七	八一
細	一、七五〇	一九七	八一
計	九四、一四五	一〇、六二〇	四、三七二

骨傘

支	三三、〇五六（打）	四九、七一九	二〇、四五〇
關	一三、六三一	一九、六三一	八、〇五〇
香	二三四、三五三	三三、七五九	一三、八五〇
印	一、九二八	二七七	一一四
比	一、九二八	二七七	一一四
計	二五一、一四七	三六、一五三	一四、八二八

レール

香	一	二三〇、九〇五	一〇、九〇〇
印	一	二、八三一	一三四
海	一	二、四二一	一一四
蘭印	一	二、四二一	一一四
亞露	一	二、四二一	一一四
比	一	二、四二一	一一四
還	一	二、四二一	一一四
細	一	二、四二一	一一四
英	一	二、四二一	一一四
滦	一	二、四二一	一一四
其他	一	二、四二一	一一四
計	一	二、四二一	一一四

ナイフ

支	九、一三五（打）	一七、一二九	六、八〇〇
關	八、一八二	一〇、三六六	四、一〇〇
印	一七二	九、六六一	三、八〇〇
海	七九	四、四八四	一、七〇〇
蘭印	四九	二、七七八	一、〇〇〇
細	三	一七二	六八
計	一八、六六八	一〇五、三五九	四一、五〇〇

縫針

支	八六四、〇九三（千個）	九七、五三四	四〇、二五二
關	三二、一五七	三、五九二	一、四八四
香	一〇九、一六一	一二、二五〇	五、〇五〇
印	二一、二五〇	二、三五八	九七〇
佛印	二一、二五〇	二、三五八	九七〇
比	一、七五〇	一九七	八一
細	一、七五〇	一九七	八一
計	九四、一四五	一〇、六二〇	四、三七二

傘骨

支	三三、〇五六（打）	四九、七一九	二〇、四五〇
關	一三、六三一	一九、六三一	八、〇五〇
香	二三四、三五三	三三、七五九	一三、八五〇
印	一、九二八	二七七	一一四
比	一、九二八	二七七	一一四
計	二五一、一四七	三六、一五三	一四、八二八

鐵鍋及鐵釜

支	一	二六四	一〇八、五二四
關	一	二六四	一〇八、五二四
香	一	二六四	一〇八、五二四
印	一	二六四	一〇八、五二四
海	一	二六四	一〇八、五二四
蘭印	一	二六四	一〇八、五二四
亞露	一	二六四	一〇八、五二四
比	一	二六四	一〇八、五二四
還	一	二六四	一〇八、五二四
細	一	二六四	一〇八、五二四
計	一	二六四	一〇八、五二四

石油罐

支	一	二六四	一〇八、五二四
關	一	二六四	一〇八、五二四
香	一	二六四	一〇八、五二四
印	一	二六四	一〇八、五二四
海	一	二六四	一〇八、五二四
蘭印	一	二六四	一〇八、五二四
亞露	一	二六四	一〇八、五二四
比	一	二六四	一〇八、五二四
還	一	二六四	一〇八、五二四
細	一	二六四	一〇八、五二四
計	一	二六四	一〇八、五二四

其他ノブリキ製品

支那	二、八三五、九	二、〇八五	三、〇四〇
關東	五五、一〇三	五六、八八	二、六五五
香港	七、三一七	八〇	八三五
印度	九五、一一三	五	
海峽	一九、二〇八	一、二五三、一一三	
蘭印	二、九六四		
亞露	三八二		
比律賓	一、四六二		
還	三九七		
合衆國	五、四九九		
墨	二〇三		
濠洲	一、九八七		
計	四〇、七八四		

其他ノ鐵製品

支那	四〇一、五九四	佛	三〇四
關東	七九三、二九	合衆國	二、〇八五
香港	九、五六六	弗	二六八
印度	一四、二一三	濠洲	五四八
海峽	九、九七八	布	八〇
蘭印	六、三一六	其他	五
亞露	一一、七六一	計	一、二五三、一一三
比律賓	二、一三一		
還	二五七		
細	一、〇六四		
英	九〇三		

其他ノ金屬製品

支那	一六、四三七	關東	四、〇四一
關東	二四、五九九	香港	九四〇
香港	四四六	印度	二、六二五
印度	一、五〇八	海峽	一、四一二
海峽	六八三	蘭印	一、〇八一
蘭印	三、七一四	亞露	一三五
比律賓	三四二	細	一三一
還	一三三	合衆國	一、二五三
英	一五〇	濠洲	二五五
合衆國	一五一	計	三〇、一七四
濠洲	五七〇		
計	四八、六七二		

掛時計及置時計

支那	二六、九六六	佛	三〇四
關東	三五、三五五	合衆國	二、〇八五
香港	四、〇七四	弗	二六八
印度	二、七〇九	濠洲	五四八
海峽	八、七四二	布	八〇
蘭印	一、六二三	其他	五
亞露	二五五	計	一、二五三、一一三
比律賓	一九〇		
還	四五三		
細	二、七〇九		
合衆國	五四四		
計	八三五		

醫療器及同部分品

支那	六五、九二〇	佛	一、四一二
關東	三五、一八六	合衆國	一、一四六
香港	一四、四六三	弗	八、四一九
印度	六、七二三	濠洲	一、九〇八
海峽	三六、七二一	布	一四、七八四
蘭印	四四、四三五	其他	一九、八〇七
比律賓	七、三二一	計	一四〇、七八四
還	九、七三五		
墨	五一〇		

理化學器及同部分品

支那	二七、一五四	佛	一、四一二
關東	一〇九、二〇〇	合衆國	一、一四六
香港	四九二	弗	八、四一九
印度	二、四五八	濠洲	一、九〇八
海峽	一、〇五〇	布	一四、七八四
蘭印	九〇九	其他	一九、八〇七
比律賓	五七七	計	一四〇、七八四
還	七五		
英	一、五四九		
獨逸	五〇		
布哇	五、四〇八		
計	一四九、〇〇二		

樂器及同部分品

支那	二〇、一七四	佛	一、四一二
關東	八三、二八〇	合衆國	一、一四六
香港	九二〇	弗	八、四一九
印度	一、八三	濠洲	一、九〇八
海峽	一、四一二	布	一四、七八四
蘭印	六、七二三	其他	一九、八〇七
亞露	一二五	計	一四〇、七八四
細	一三一		
合衆國	一、二五三		
濠洲	二五五		
計	一四九、〇〇二		

其他ノ學術器及同部分品

支那	六九、七九八	佛	一、四一二
關東	一九七、三五九	合衆國	一、一四六
香港	三、一一七	弗	八、四一九
印度	三、九三八	濠洲	一、九〇八
海峽	八、七四二	布	一四、七八四
蘭印	一、六二三	其他	一九、八〇七
亞露	二五五	計	一四〇、七八四
比律賓	一九〇		
還	四五三		
細	二、七〇九		
合衆國	五四四		
計	二八五、七二一		

人力車及同部分品

支那	二〇、一七四	佛	一、四一二
關東	八三、二八〇	合衆國	一、一四六
香港	九二〇	弗	八、四一九
印度	一、八三	濠洲	一、九〇八
海峽	一、四一二	布	一四、七八四
蘭印	六、七二三	其他	一九、八〇七
亞露	一二五	計	一四〇、七八四
細	一三一		
合衆國	一、二五三		
計	一四九、〇〇二		

自轉車及同部分品

支那	一五、二三三	海峽	二四七
關東	一四、二七五	蘭印	四
香港	四七二	還	二
印度	一七、六二三	計	一、五七五
海峽	一八、八〇一		
計	六六、三九四		

ゴムタイヤー

支那	六九六(噸)	六六、七〇九	
關東	六一九	六三、八九八	
香港	六	七五一	
印度	一	六六	

其他ノ車輛及同部分品

支那	一、八、九四二	埃及	一四〇
關東	一、〇〇三、七四四	佛印	一、〇三三、七〇五
香港	八一	計	一、〇三三、七〇五
印度	四一		
海峽	二、二九		
蘭印	八、三四		
細	二八		

汽罐及同部分品

支那	一二、六二四	佛印	三、〇〇〇
關東	三〇、〇七四	計	三、一四〇
比律賓	四五二		
計	四三、一二三		

電氣機械及同部分品

支那	六四、七〇五	香港	二〇九、八五六
關東	二〇、八五七	印度	一五、〇五一

電話機及同部分品

支那	四七六、九二一	佛印	一、四一二
關東	二一〇、七四二	合衆國	一、一四六
香港	一五、六八一	濠洲	一、九〇八
印度	一一、三五六	計	一四〇、七八四
海峽	三〇〇、七一三		
蘭印	二五七、六一六		
佛印	九二		
還	一八、〇三一		
細	四四一		
伯	一五		
埃	三八〇		
弗	一二		
濠	九八六		
其他	一九)		
計	一、二九三、一二六		

金屬工木工機及同部分品

支那	六三	佛	一四〇
關東	一、三三五	合衆國	二〇一
香港	一八九	濠洲	二〇五
印度	八九	計	二九三、九七)
海峽	一八八		
蘭印	三一四		
比律賓	一四		
還	二九		
細	一〇〇		
計	一〇五、六六〇		

印刷機及同部分品

支那	八八、九二一	南米	二、三三、一三一
關東	五七、一四五	白	一、八六
香港	二一	伊	三三一
印度	一四七、四九〇	合衆國	三〇、〇七四
海峽	一、四一二	伯	九八
蘭印	一、一四六	佛	三、〇〇〇
英	三、九七五	計	三、一四〇

紡績機織布器及同部分品

支那	一、八三八、九一六	埃及	一四〇
關東	一〇五、〇九五	佛印	一、〇三三、七〇五
香港	一、三五六	計	一、〇三三、七〇五
印度	一七、二四一		
海峽	六、〇四六		
蘭印	三三、九七五		
英	三、九七五		
佛	三、〇〇〇		
白	一、八六		
伊	三三一		
合衆國	九八		
伯	四七、四九〇		
南米	五、〇三八		
計	二、三三、一三一		

印刷機及同部分品

支那	八八、九二一	香港	二〇九、八五六
關東	五七、一四五	印度	一五、〇五一

香	一	三七、二四四	
印	一	一、〇一〇	
海	一	二一、七五九	
蘭印	一	一、四〇二	
比	一	四一七	
瑞	一	二、八九九	
計	一	二一〇、四八九	

其他ノ機械及同部分品

支	一	三〇六、〇一〇	
關	一	五三四、一二八	
香	一	一六、二一三	
印	一	六〇、四九八	
海	一	九、〇六一	
蘭印	一	三三、九八八	
亞露	一	一、三一五	
比	一	三、五四五	
瑞	一	八六二	
細	一	九七）	
合	一	八一二	
亞	一	二三五	
伯	一	五一七	
計	一	九四八、一四三	

糸

支	一	八（千個）	七一
關	一	六五	五、五二一
香	一	一	五二
亞露	一	三	二三八

瓜

支	一	八（千個）	七一
關	一	六五	五、五二一
香	一	一	五二
亞露	一	三	二三八

計	一	七	六、五二三

竹材

支	一	一二五	
關	一	二、一四四	
計	一	二、三九九	

箱板及樽板

支	一	九七、二八八	
關	一	三〇、二七七	
蘭印	一	一九九、一八五	
加	一	四五六	
計	一	二六七、二一六	

燐寸軸木

支	一	五五〇（千束）	七、五〇

燐寸箱用經木

支	一	三〇、四二四（箱）	三三八、九六八
關	一	四、八一三	二七、一二六
計	一	三五、三六	二六六、〇九四

其他ノ木材及板

支	一	八〇、九九〇	
關	一	三三四、六四四	
香	一	一四四、五六八	
印	一	二一、八七一	
蘭印	一	一三二、〇九八	
佛印	一	三五〇	
合	一	二、二四四	

計	一	一三	

竹

支	一	一二五	
關	一	二、一四四	
計	一	二、三九九	

箱板及樽板

支	一	九七、二八八	
關	一	三〇、二七七	
蘭印	一	一九九、一八五	
加	一	四五六	
計	一	二六七、二一六	

燐寸軸木

支	一	五五〇（千束）	七、五〇

燐寸箱用經木

支	一	三〇、四二四（箱）	三三八、九六八
關	一	四、八一三	二七、一二六
計	一	三五、三六	二六六、〇九四

其他ノ木材及板

支	一	八〇、九九〇	
關	一	三三四、六四四	
香	一	一四四、五六八	
印	一	二一、八七一	
海	一	一三二、〇九八	
蘭印	一	三五〇	
佛	一	二、二四四	
合	一	一、三五〇	

英	一	一四、七一一	
弗	一	一〇、一〇一	
計	一	四七、九八一	

木炭

支	一	五〇（噸）	四八七
關	一	三三	一七三
香	一	五	一七三
海	一	二九	六〇九
計	一	二一〇、四八九	

繩索以及莚（藁製）

支	一	三、八七八	
關	一	七四七	
亞露	一	二	
比	一	九七	
計	一	四、七二四	

蔗（花莚單製）

蘭印	一	三八〇（枚）	二三五

眞田（麥稈製）

支	一	五（千束）	一、八四一

同（疊表）

支	一	二六（枚）	四〇
關	一	四一	一〇
海	一	一五	九五
計	一	九六	

同（其他）

支	一	一八九	
關	一	一、二一六	
海	一	二三一	
蘭印	一	二三	
計	一	一、六四八	

傘柄及傘手

支	一	五八、四四二（打）	三八、九三二
關	一	四、九八五	八、六一九
香	一	四、二六〇	五五二三
印	一	一二三、二二五	一七一、一五三
海	一	五〇〇	八六一
蘭印	一	二、一四五〇	二、一四五
比	一	二一、一四四七	二四、二六三
英	一	二、八〇一	一、七四六
佛	一	一〇、三一五	八、七五〇
獨	一	一、四九五	一、七四六

行李鞄及籠（柳製）

支	一	三七五（個）	一、四三一
關	一	五九一	一、六三五
海	一	四四八	一、三五一
細	一	二一	四四
濠	一	二九	一一
計	一	一、五五四	四、三〇三

合	一	五	一、八九
布	一	五四	一、二一六
計	一	二五、一九四	一三一

洋傘（綿布張）

支	一	五六、〇四八（打）	五八四、三五七
關	一	一、五三四	一六、七二五
香	一	一七	二四七
印	一	二、三七	二〇、一二九
海	一	四三	五六九
蘭印	一	一、三五四	一三、六八
比	一	三一	二三二
弗	一	七五	九六六
其他	一	六	七二
計	一	六、二四四	六三五、四四三

同（絹布張）

支	一	一八（打）	五、一二八
關	一	八九二	二四、五八一
印	一	一三	三四、二四三
計	一	一、〇八	三〇、二四二

木製品

支	一	一	六六、八九八
關	一	一	三〇〇、七五五

自	一	一八、二〇〇	一三、二四八
伊	一	一、九二〇	一、六一八
和	一	三、〇〇〇	二、七九五
合	一	五一、〇八八	四七、〇八八
北米	一	一、五六〇	一、五五六
埃	一	一〇	一二
弗	一	三	七
計	一	三五、八二九	三二、一二四

洋傘（綿布張）

支	一	五六、〇四八（打）	五八四、三五七
關	一	一、五三四	一六、七二五
香	一	一七	二四七
印	一	二、三七	二〇、一二九
海	一	四三	五六九
蘭印	一	一、三五四	一三、六八
比	一	三一	二三二
弗	一	七五	九六六
其他	一	六	七二
計	一	六、二四四	六三五、四四三

同（絹布張）

支	一	一八（打）	五、一二八
關	一	八九二	二四、五八一
印	一	一三	三四、二四三
計	一	一、〇八	三〇、二四二

木製品

支	一	一	六六、八九八
關	一	一	三〇〇、七五五

香	一	一〇、〇一〇	
印	一	二一、七五九	
海	一	一、四〇二	
蘭印	一	四一七	
比	一	二、八九九	
瑞	一	二一〇、四八九	
計	一		

其他ノ機械及同部分品

支	一	三〇六、〇一〇	
關	一	五三四、一二八	
香	一	一六、二一三	
印	一	六〇、四九八	
海	一	九、〇六一	
蘭印	一	三三、九八八	
亞露	一	一、三一五	
比	一	三、五四五	
瑞	一	八六二	
細	一	九七）	
合	一	八一二	
亞	一	二三五	
伯	一	五一七	
計	一	九四八、一四三	

糸

支	一	八（千個）	七一
關	一	六五	五、五二一
香	一	一	五二
亞露	一	三	二三八

瓜

支	一	八（千個）	七一
關	一	六五	五、五二一
香	一	一	五二
亞露	一	三	二三八

計	一	七	六、五二三

竹材

支	一	一二五	
關	一	二、一四四	
計	一	二、三九九	

箱板及樽板

支	一	九七、二八八	
關	一	三〇、二七七	
蘭印	一	一九九、一八五	
加	一	四五六	
計	一	二六七、二一六	

燐寸軸木

支	一	五五〇（千束）	七、五〇

燐寸箱用經木

支	一	三〇、四二四（箱）	三三八、九六八
關	一	四、八一三	二七、一二六
計	一	三五、三六	二六六、〇九四

其他ノ木材及板

支	一	八〇、九九〇	
關	一	三三四、六四四	
香	一	一四四、五六八	
印	一	二一、八七一	
海	一	一三二、〇九八	
蘭印	一	三五〇	
佛	一	二、二四四	
合	一	一、三五〇	

英	一	一四、七一一	
弗	一	一〇、一〇一	
計	一	四七、九八一	

木炭

支	一	五〇（噸）	四八七
關	一	三三	一七三
香	一	五	一七三
海	一	二九	六〇九
計	一	二一〇、四八九	

繩索以及莚（藁製）

支	一	三、八七八	
關	一	七四七	
亞露	一	二	
比	一	九七	
計	一	四、七二四	

蔗（花莚單製）

蘭印	一	三八〇（枚）	二三五

眞田（麥稈製）

支	一	五（千束）	一、八四一

同（疊表）

支	一	二六（枚）	四〇
關	一	四一	一〇
海	一	一五	九五
計	一	九六	

同（其他）

支	一	一八九	
關	一	一、二一六	
海	一	二三一	
蘭印	一	二三	
計	一	一、六四八	

傘柄及傘手

支	一	五八、四四二（打）	三八、九三二
關	一	四、九八五	八、六一九
香	一	四、二六〇	五五二三
印	一	一二三、二二五	一七一、一五三
海	一	五〇〇	八六一
蘭印	一	二、一四五〇	二、一四五
比	一	二一、一四四七	二四、二六三
英	一	二、八〇一	一、七四六
佛	一	一〇、三一五	八、七五〇
獨	一	一、四九五	一、七四六

行李鞄及籠（柳製）

支	一	三七五（個）	一、四三一
關	一	五九一	一、六三五
海	一	四四八	一、三五一
細	一	二一	四四
濠	一	二九	一一
計	一	一、五五四	四、三〇三

合	一	五	一、八九
布	一	五四	一、二一六
計	一	二五、一九四	一三一

洋傘（綿布張）

支	一	五六、〇四八（打）	五八四、三五七
關	一	一、五三四	一六、七二五
香	一	一七	二四七
印	一	二、三七	二〇、一二九
海	一	四三	五六九
蘭印	一	一、三五四	一三、六八
比	一	三一	二三二
弗	一	七五	九六六
其他	一	六	七二
計	一	六、二四四	六三五、四四三

同（絹布張）

支	一	一八（打）	五、一二八
關	一	八九二	二四、五八一
印	一	一三	三四、二四三
計	一	一、〇八	三〇、二四二

木製品

支	一	一	六六、八九八
關	一	一	三〇〇、七五五

佛	一	一〇、〇一〇	
墨	一	二一二、三五八	
計	一	二一三、三六八	

護謨製品

支	一	二〇五、八五三	
關	一	一九七、二一六	
香	一	七、三二九	
印	一	二四、八八八	
海	一	五三、八五五	
蘭印	一	二、七七八	
英	一	四、九二八	
獨	一	二一三	
墨	一	二、一二九	
加	一	一、九二〇	
細	一	二、一二六	
合	一	一、三五〇	
埃	一	八、八六一	
弗	一	六九	
墨	一	二六一	
濠	一	一〇三	
布	一	一九一	
計	一	三三一、三三五	

漆器

香	一	一、八〇九	
印	一	二六八	
海	一	一、二二五	
蘭印	一	五五、五六八	
比	一	一、四四五	
英	一	一、二三五	

セリユロイド製品

支	一	一三二（噸）	三〇、六一九
關	一	六	九九〇
計	一	一九	三一、六〇九

支那	一	一、六九七	四三、六四六
關東州			六六、〇八九
香港	三一七	一八、二四九	
印度		一、五六七	
海峽植民地		一、九〇七	
比律賓		六七	
濠洲		一七	
英領印度		六三	
獨逸		六〇〇	
合衆國		二一、六三四	
加奈陀		六六九	
墨西哥		一六三	
濠洲		六、九六七	
新西蘭		二五、三三五	
計		二五、三三五	

ブラッシュ（髪用）

支那	四八一（打）	一、六九七	四三、六四六
關東州	四四三	一、一四四	六六、〇八九
香港	三九一	一、五七七	
印度		一、一四四	
海峽植民地		六九	
比律賓	一一	八三	
濠洲		一五、六七二	
英領印度		三三、五五一	
合衆國		一九一、四四一	
加奈陀		三五、七三〇	
墨西哥	七〇	九三五	一、〇三三
濠洲		一二、四九五	
新西蘭		三三、五四一	
計		三九四	

同（齒用）

布哇	二	一七八	四三、六四六
計	五一、六六九	五四一、五五二	
支那	三四、〇三〇（打）	三三五、一一八	
關東州		六八、〇〇一	
香港	九七、四八二	一、三一〇	
印度	六二九	二四、六六八	
海峽植民地		六、九七四	
蘭印		三五、八七三	
亞露	九六〇	二一、一六一	
比律賓	二〇〇	五七一	
濠洲		二四六	
英領印度	二、一三六	一、六五四	
合衆國	一九二、三五〇	二九六、〇三〇	
加奈陀	一、〇四七、七三三	一、〇九七、七三三	
墨西哥	四七、五八八	四六、六一五	
埃及	一〇、三三六	三、五五七	
喜望峰	（八四〇）	一四四	
濠洲	一、〇〇八	一、五九一	
新西蘭	四八二	四〇〇	
布哇	九六	一、三三〇	
其他	四、三四四	一、五五五	
計	一、八六一、二七五	一、七六一、四四五	

同（爪用）

支那	九九七（打）	一、二四一	
關東州	六二	一、三四二	

同（衣服用）

支那	三〇六四（打）	一、一四六	
關東州	六六、〇八九	二一、六三四	
香港	一二	一〇四	
印度	一、一四四	一、一四四	
海峽植民地	六九	一、五七七	
蘭印	一一	一、一四四	
比律賓	八三	六六	
濠洲	一五、六七二	一、一四四	
英領印度	三三、五五一	六六〇	
合衆國	一九一、四四一	二一、六三四	
加奈陀	三五、七三〇	三九六	
墨西哥	九三五	一〇四	
埃及	七〇	八	
喜望峰	一、〇三三	一一四	
濠洲	三九四	四八、八一八	
新西蘭	三九	一一四	
布哇	三七	一一四	
計	一、〇三三	三〇六、一〇一	

同（其他）

支那	三八、四五四	五三、六五五	
關東州	四〇三	一六、一六一	
香港	一一、四八二	一、三四四	
印度	一、一四四	一六六	
海峽植民地	一、一四四	一六六	
蘭印	一、一四四	一六六	
比律賓	一一	一六	
濠洲	一、一四四	一六六	
英領印度	一、一四四	一六六	
合衆國	一、一四四	一六六	
加奈陀	一、一四四	一六六	
墨西哥	一、一四四	一六六	
埃及	一、一四四	一六六	
喜望峰	一、一四四	一六六	
濠洲	一、一四四	一六六	
新西蘭	一、一四四	一六六	
布哇	一、一四四	一六六	
計	一、一四四	一六六	

電燈球

支那	七〇、一九八（打）	一二四、六九九	
關東州	五二、三一〇	八七、九〇九	
香港	二一、〇六五	一九、〇四一	
印度	二四、一五六	二四、八三九	
海峽植民地	二、九一三	一七、九三九	
蘭印	六二	五、一六八	
亞露	七五	一、一五〇	
比律賓	一、一五〇	二、八三九	
計	一二、七二九	三四、七三一	

其他ノランプ及同部分品

支那	一	六〇二	
關東州		三〇、六九〇	
香港	一〇三	一、三〇三	
印度	三七	五、三四五	
海峽植民地		一、〇七五	
蘭印		二、八二四	
亞露		二二六	
比律賓		二九二	
濠洲		五、二七七	
英領印度		五、一六八	
合衆國		五五	
墨西哥		一二五	
濠洲		三一五	
新西蘭		六七	
布哇		九五、五四二	
計		一四〇、一九一	

白耳義	一	一六、七三三	四二
計	一六、七三三	四二	

瓶具（セリユロイド）

支那	三四、九〇三	一一、一五九	
關東州	一〇、一五一	一、八四八	
香港	一、一八八	三、三二一	
印度	一、六六七	一、六六七	
海峽植民地	三〇、一九七	一、九一四	
蘭印	一、九一四	一五五	
比律賓	一、九一四	一五五	
濠洲	一、九一四	一五五	
英領印度	一、一五九	一五五	
佛領印度	一、一五九	一五五	
白耳義	一、一五九	一五五	
伊太利	一、一五九	一五五	
和蘭	一、一五九	一五五	
典西	一、一五九	一五五	
合衆國	三、九二〇	三一五	
墨西哥	三一、八五五	三、五六四	
亞剌比亞	二、九四四	二九五	
埃及	一、八二〇	一七三	
喜望峰	一、一六六	一六六	
濠洲	三、三五五	三五五	
新西蘭	六二〇	六二	
計	一九三、〇六〇	一七、一九八	

扇子及團扇

比律賓	一〇〇	五、一七五	
濠洲	三四	九三七	
佛領印度	一	四	
喜望峰	一〇	四八、五六七	
計	一、四四八	四八、五六七	
支那	一四、〇〇〇（千個）	一〇、九三三	
關東州	一四、六六六	一〇、九三三	
香港	一、三三	八八	
印度	一五、一四四	七八一	
海峽植民地	一五	一〇	
蘭印	一七	一一	
比律賓	一七	一一	
濠洲	一七	一一	
英領印度	一、一四四	七六二	
合衆國	一、一四四	七六二	
墨西哥	一、一四四	七六二	
埃及	一、一四四	七六二	
喜望峰	一、一四四	七六二	
濠洲	一、一四四	七六二	
新西蘭	一、一四四	七六二	
布哇	一、一四四	七六二	
計	一、一四四	七六二	

造花

支那	一	二九二	
關東州		一、一七二	
香港	一	七九	
印度		七九	
海峽植民地		七九	
蘭印		七九	
比律賓		七九	
濠洲		七九	
英領印度		七九	
合衆國		七九	
墨西哥		七九	
埃及		七九	
喜望峰		七九	
濠洲		七九	
新西蘭		七九	
布哇		七九	
計	一	二九二	

屏風

香港	三四、六七一	一一〇、〇三五	
印度	一、六九九	六六、一六九	
海峽植民地	三、一四八	一一、四八二	
蘭印	一一	三七	
佛領印度	一五、六七二	三三、五五一	
亞露	一一、一四五	七四八	
比律賓	一一、一四五	七四八	
濠洲	一、〇八〇	三七〇	
英領印度	一、〇八〇	三七〇	
佛領印度	九三	三二	
白耳義	七〇	二四	
合衆國	三〇三	一〇四	
墨西哥	六三	二二	
濠洲	四〇	一四	
新西蘭	六九、七四二	二三、七四二	
計	一一三、七四二	三九四	

鞄提嚢旅櫃及佩袋類（革製）

支那	三七五	一二、七五五	
關東州	二一	一、三五二	
香港	五一	一七、五五五	
印度	一一	三七	
海峽植民地	八一	二七	
英領印度	七〇	二三	
墨西哥	一	三	
濠洲	一	三	
計	三一二	一〇四、三三三	

甑具（護謨製）

支那	六四、四八一	蘭印	三
關東州	三七、〇九四	比律賓	一、〇四二
香港	二、三〇四	英領印度	九四二
海峽植民地	八五、五三三	細亞土耳其	二一
蘭領印度	一、一七六	英領印度	五一
佛領印度	(一〇)	合衆國	六一
比律賓	四二一	墨西哥	一、六三二
還	六八六	佛蘭西	三
細亞土耳其	一、六七	瑞典	一、六三二
英領印度	一、八四	濠洪	一、三四六
佛蘭西	一、一九一	計	二七、二四一
歐羅巴露西亞	一三〇		
合衆國	一七		
墨西哥	二四		
加奈陀	六二		
合衆國	一、一五五		
佛蘭西	一、八四		
喜望峰	一〇		
濠洪	一、〇四四		
計	二九、一二六		

同（木製）

支那	七、一九二	海峽植民地	三
關東州	一、一九二	蘭領印度	九四二
香港	一、一九二	比律賓	二一
海峽植民地	一、一九二	細亞土耳其	五一
蘭領印度	一、一九二	英領印度	六一
佛領印度	一、一九二	合衆國	三
關東州	八二〇	瑞典	一、六三二
支那	一、八九八	濠洪	三
		計	二七、二四一

同（其他）

支那	三二、七一九	蘭領印度	一、〇四二
關東州	九、〇四七	比律賓	九四二
香港	三、八六八	細亞土耳其	五一
海峽植民地	五〇、一五一	英領印度	六一
蘭領印度	四九、七八九	合衆國	一、六三二
佛領印度	一、〇二〇	瑞典	三
比律賓	一、六八	濠洪	三七六
還	三五八	計	二七、二四一
細亞土耳其	一、七五四		
英領印度	一、九八五		
白耳義	七六		
伊太利	二〇		
和蘭	四〇		
歐羅巴露西亞	八〇		

人造肥料

支那	二(擔)	墨西哥	二四
關東州	五一	加奈陀	一、六三二
蘭領印度	四	智利	一、四四三
還	一九	合衆國	一、一五三
細亞土耳其	三	計	七、三〇〇
英領印度	一六		
佛蘭西	一〇		

燐酸肥料

支那	三、〇九五(擔)	英領印度	七、四五三
關東州	二、七六三	佛蘭西	七、六二九
蘭領印度	一、四四三	歐羅巴露西亞	一、一五二
香港	一、一五三	合衆國	一、九一三
海峽植民地	一、一五三	計	三一、六九一
蘭領印度	一、一五三		
佛領印度	一、一五三		
比律賓	一、一五三		
還	一、一五三		
細亞土耳其	一、一五三		
英領印度	一、一五三		
白耳義	一、一五三		
和蘭	一、一五三		
智利	一、一五三		
合衆國	一、一五三		
墨西哥	一、一五三		
加奈陀	一、一五三		
智利	一、一五三		
合衆國	一、一五三		
計	三一、六九一		

油粕

關東州	一七(擔)	墨西哥	一二五
蘭領印度	九	埃及	三五三
合計	四五四	喜望峰	三五〇
	四八〇	佛蘭西	二五
		瑞典	三八一
		濠洪	一、六三二
		計	五三七、九九七

其他ノ肥料

支那	一二五	關東州	三五
		支那	一三

其他ノ雜品

支那	八六	蘭領印度	一、〇四二
關東州	六〇三、五〇一	比律賓	九四二
香港	三六、一八七	細亞土耳其	五一
海峽植民地	九、六一〇	英領印度	六一
蘭領印度	一三五、五六三	合衆國	三
佛領印度	一、九一〇、〇七	瑞典	一、六三二
比律賓	一、三四六	濠洪	三
還	六〇、一四一	計	二七、二四一
細亞土耳其	一、九八三		
英領印度	六八〇		
佛蘭西	四、九四一		
獨逸	二五、一四七		
白耳義	一、九八三		
和蘭	二一〇		
合衆國	七、四四三		
墨西哥	一九四		
加奈陀	一三		
智利	九四四		
濠洪	一、三四六		
布哇	一、四〇、六七一		
計	四、三三六、二三五		

小包郵便物

支那	一、一九二、二五五	墨西哥	一二五
關東州	一、一九二	加奈陀	一、六八一
香港	一、一九二	智利	一、四四三
海峽植民地	一、一九二	合衆國	一、一五三
蘭領印度	一、一九二	墨西哥	一、一五三
佛領印度	一、一九二	加奈陀	一、一五三
關東州	八二〇	智利	一、一五三
支那	一、八九八	合衆國	一、一五三
		計	三一、六九一

再輸出（略ス）

國別要計表

支那	一七、五四一、九〇五	墨西哥	一二五
關東州	四二、五五五、四一一	埃及	一、五七七
香港	一四、三五一、三五三	玖瑰	一七
海峽植民地	七六、八六、三〇三	北米合衆國	一、五三一
蘭領印度	三、七〇、一一三	秘露	一、三三
佛領印度	一一、九〇五	伯剌西爾	八四
比律賓	一、二五七、五一一	南米	一、〇一〇
還	一、一五七、七九一	埃及	一、五五五
細亞土耳其	一、九四六、七三五	喜望峰	一、九四四
英領印度	一、九四六、七三五	濠洪	一、〇〇五
佛蘭西	一、九四六、七三五	新西蘭	一、九四四
獨逸	一、九四六、七三五	布哇	一〇
白耳義	一、九四六、七三五	其他	六
伊太利	一、九四六、七三五	計	七、五八五、三三九
和蘭	一、九四六、七三五		
智利	一、九四六、七三五		
澳洪	一、九四六、七三五		
瑞典	一、九四六、七三五		
伊太利	一、九四六、七三五		
白耳義	一、九四六、七三五		
獨逸	一、九四六、七三五		
佛領印度	一、九四六、七三五		
英領印度	一、九四六、七三五		
細亞土耳其	一、九四六、七三五		
還	一、九四六、七三五		
比律賓	一、九四六、七三五		
佛領印度	一、九四六、七三五		
蘭領印度	一、九四六、七三五		
海峽植民地	一、九四六、七三五		
香港	一、九四六、七三五		
關東州	一、九四六、七三五		
支那	一、九四六、七三五		
墨西哥	一、九四六、七三五		
合衆國	一、九四六、七三五		
墨西哥	一、九四六、七三五		
加奈陀	一、九四六、七三五		
智利	一、九四六、七三五		
合衆國	一、九四六、七三五		
歐羅巴露西亞	一、九四六、七三五		
葡萄牙	一、九四六、七三五		
土耳其	一、九四六、七三五		
丁抹	一、九四六、七三五		
西班牙	一、九四六、七三五		
波斯	一、九四六、七三五		
露西亞	一、九四六、七三五		
諾威	一、九四六、七三五		
典	一、九四六、七三五	

大阪港輸入品

國名	數量	價格
植物、枝、幹、莖及根（栽植又ハ接木用ノモノ）		
支那	一	三八九
英國	一	一四二
計	一	五三一
牛		
支那	一四（頭）	一、〇五〇
其他ノ培殖用菌類		
合衆國	六九五（斤）	一、〇四〇
其他ノ動物		
支那	一	九、二〇八
英國	一	二〇〇
合計	一	三六
計	一	九、八四四
輸入品第一類要計表		
支那	一	一〇、六四七
英國	一	二〇〇
合計	一	一四二
計	一	一〇、八四九
玄米		
支那	一、九〇六（噸）	一九、三三八

精米		
支那	四二、四三二（噸）	五一、七九六
關東	二、二七七	三三、五八〇
印度	二	二四
蘭印	一	九
還	一四	一七二
合計	（六四斤）〇	三
計	四四、七三六	五四五、五四四
砕米		
支那	七、一三二（噸）	五八、〇五五
其他ノ米及籾		
蘭印	一八〇（噸）	六四（斤）
パールバーレー		
英國	八六（斤）	二四
合計	七二	一六
計	一七七	四）
小麥		
支那	二、六七四（噸）	一八、五六七
關東	二、九五四	二〇、五二九
合計	八〇、九二	五二五、一〇二
加奈陀	六三、三三	五九八、七一五
滿洲	五八、三三八	五九一、二〇〇
計	二〇七、五七〇	一、三五四、三〇三
粟黍及稗		

高粱・玉蜀黍		
支那	一五、八六八（噸）	五三、八八九
關東	七二、九四七	一八、〇九四
亞露	二一、七三六	五九、九一四
計	一四八、五七二	一四八、九二四
蕎麥		
支那	一四、一五四	三五、〇六〇
關東	五、六二七	一、四二〇
蘭印	四四八、〇一八	一二四、八二六
計	四六七、七九九	一二九、八二二
大豆		
支那	二三、六三二（噸）	一三九、七九二
關東	四〇、三八五	一〇、六四七
計	八、六七一	一、七三五
小豆		
支那	一、九八二（噸）	一二、三五
關東	五七、〇三六	一〇、四九八
佛印	八、六五六	一、六八〇
還	四、三三	八五〇
計	五四、三五〇	一五、〇一〇

豌豆		
支那	三、五〇五（噸）	二四、八六一
緑豆		
關東	九（噸）	五九
計	四	二六
豌豆		
支那	一六、五七五（噸）	二九、九七七
關東	五九九	二、四三〇
計	一七、一七五	三二、八〇〇
落花生（脫殼セザルモノ）		
支那	三、五七五（噸）	四一、二六
關東	九二四	八、六八五
計	四、五〇一	四九、八二一
同（其他）		
支那	一五、八七八（噸）	三七、六三三
關東	三、一一	四三、六九一
蘭印	五一五	六、六九九
弗	一三	一〇五
計	二九、七一七	二八、一四八
其他ノ豆類		
支那	二九八（噸）	一、五五八
印度	四	三九
計	三〇三	一、五九七
小麥粉		
合衆國	七五五（噸）	七

加奈陀		
滿洲不	一四、四一六	四四、九一四
計	一〇、二六五	八三、四二八
オートミール	三五九	三五、八二五
英國	三、三五三（斤）	一、一四〇
合計	二四、四一三	八、七一八
タピオカ及マニオカ（粉狀ノモノ）	二七、七六五	一〇、一一〇
海峽	五七五、八五二（斤）	四九、三一三
蘭印	一三、八一〇、六一七	一、〇四〇、一五五
計	一四、三八六、四六八	一、〇八九、八九八
同（其他）		
海峽	二、〇八八（斤）	二四五
蘭印	九、五二六	六七
合計	一四	一〇
	二、〇六二六	九三
セーゴ（粉狀ノモノ）		
海峽	四二五、五九二（斤）	三四、七二四
セーゴ（其他）	一、五六八（斤）	三二
コーンスターチ		
合衆國	五、一八〇、一二五（斤）	四六、一四四
其他ノ穀粉及澱粉	二五五、三一二（斤）	七、一八九

亞麻子		
計	六、一〇六	四四、九一四
莨麻子		
支那	八、一〇〇	八九、四三五
關東	二九、〇〇二	一、二九七
印度	一、二五八	三五、三一七
蘭印	三九、三一三	一、七二一
佛印	六、八五八	六三、九二七
計	七一、一四九	二、一九七
棉子		
支那	七八四、五六六（噸）	九九、七四五
關東	二七、一二五	一、五二五
蘭印	五〇三	一、四六九
弗	四一〇	一、〇〇〇
計	八三、五四三	三、九三三
其他ノ採油用種子		
支那	一〇（噸）	五〇
蘭印	四八	三五五
佛印	一	三
計	五九	四〇八
アイヴオリーナット其他鈕釦製造用核子		
漆	七六、七六六（斤）	八三、一二九
假	一〇	三
計	七六、七六六	八三、一二
其他ノ穀物及種子（醫藥用ノモノヲ除ク）		
支那	九八七（斤）	一四八
關東	三三	二〇五
印度	一七	四
海峽	一九	三一
計	二三	三八
胡麻子		
香港	一、八五、〇六八	一五、〇八一
英國	一〇八	九六
合計	二、七四〇	八七
	二二三、七四〇	二三、一六七
荏胡麻子		
支那	一三、六九四	一六六、八一九
關東	三四、三七〇	三四二
海峽	一一	四〇
計	一三、六九四	一六六、八一九
菜子及芥子		
支那	二三八、九四四（噸）	二、一五二、七五二
關東	三、五二六	三四、五一〇
計	二四二、四七〇	二、一八七、二六二
亞麻子		
支那	五三五（噸）	五九〇、一六一
印度	六、七九八	六七、八〇三
海峽	一、六九三	一、八五四
計	七、一〇六	六七、一八八
大麻子		
支那	五〇六（噸）	五、六七〇
關東	一、一〇三	七七、六九七

輸入品第二類要計表		
支那	一	七、〇九九、八六九
關東	一	一一三、九四三
香港	一	八〇、九四五
印度	一	九六、七三一
海峽	一	一、八六二、四六七
蘭印	一	一五、五一四
佛印	一	二七、九四二
亞露	一	四、四九八
還	一	一、五一三
英國	一	一、〇〇五、五六〇
合衆國	一	四四五、六二九
加奈陀	一	一、五七四
弗	一	五五七、八二五
漆	一	三
假	一	三一五
不計	一	二、三一〇、四六三
蔬菜果實及核子（砂糖糖蜜糖水又ハ蜂蜜ヲ）以テ貯藏シタルモノ		
支那	一四（斤）	五

印 四、九四五
蘭印 三八〇
英 三、一三一
佛 二、〇六七
合 一、九八二
漆 四〇七
計 二一、九二六

蔬菜（罐詰ノモノ）（容器共斤）
佛 三、一八一
合 二七、九七五
計 三一、一五六

同（罐詰ノモノ）
英 三、四三九（斤） 一、四五五
佛 八五〇 三九三
合 七五 二六
計 四、三六四 一、九五四

同（其他）
支 三八、〇八三（斤） 五、一八五
關 三、一七一 二、一三六
計 五一、二五四 七、五〇一

果實（罐詰ノモノ）（容器共斤）
英 一、五二六 六四一
歐 二、八二〇 八七一
合 一、九八八 五三一
加 五三 二九
計 二四、九二六 七、〇〇九

核子（罐詰ノモノ）
英 三、九〇（斤） 一四九
佛 二二 一三
計 四二九 二八二

果實及核子（罐詰ノモノ）（容器共斤）
シトロン 三六 二七〇
英 八、三三二（斤） 二、二九一

其他ノ生果
支 五三（斤） 一三
關 一八六 七、九〇
合 四、三五一 一、三三
計 四、五九九 一、三五三

乾果
支 七九、四四八（斤） 七、八四一
關 一八 九
合 八四 五一
計 七九、五五〇 七、九〇一

栗子
支 七二五、七四九（斤） 二二、四五六
關 二〇一 三一
計 七二五、九五〇 二二、四八八

其他ノ核子
英 七二八（斤） 九四
佛 一、四八九 二、〇六一
合 八〇九 六〇八

其他ノ果實及核子
計 三、〇四五 一四四
英 三〇〇（斤） 一三
佛 一、三二（斤） 一、七二八
合 一九八 七四
計 一、五二〇 七二六

茶
印 一、六七〇 一八
蘭印 三五 五
計 一、七〇五 二三

紅茶粉
印 三、八八一（斤） 二九、三二四
蘭印 三、八八六 二九、三二七
計 七、七六七 五九、六五一

珈琲（種子）
蘭印 四八〇、九九七（斤） 五、八〇五
細 八、九八七 一〇一
英 一〇、一〇一 一二四
合 三五、〇〇七 三九三
伯 三五 二
弗 九、九一一 一〇五
假 二六、三五八 二九五
不 二、〇〇〇 二二
計 六〇〇、一六二 七、〇〇九

同（其他）（斤）
印 一〇 一
和 三 一
合 二、二九二 一八
計 二、三〇五 二〇

チユリー其他ノ珈琲代用物
英 三、五七三 一四
佛 一、六〇 一二
合 一、七二五 一三
計 三、三三三 二六

其他ノ果實及核子
佛 三〇〇（斤） 一、七一四
茶 一、六七〇（斤） 一、三二五

コーコー（砂糖ヲ加ヘザル其他）
英 四、七一（斤） 一、一〇七
佛 三、〇二七 一、三一九
和 一、六四八 三七〇
合 三七、四九六 一、三一九
計 四、三二三 一、三三三

胡椒（種子）
海 三、〇七〇（斤） 三、一九六
還 九八七 四四四
計 四、〇五七 三、七四〇

同（其他）（容器共斤）
英 一二、六六九 一、二三
カカー（粉狀ノモノ）
印 三、三〇 一、二一四
英 六二、八七九 二二、四五七
計 六四、九〇九 二三、六七一

マスタード（粉狀ノモノ）
英 三、〇九三（斤） 一、九五三
合 六〇 七四
濠 六五九 八四五

計 三、八二二

砂糖（和蘭標本色相第十一號未滿ノモノ）
蘭印 四六、一七三（擔） 四四〇、八六七
比 六三、〇八四 六、四五六
玖 二七、九七四 二七八、九六三
計 八〇、六〇三 七八二、九一四

同（和蘭標本色相第十五號未滿ノモノ）
蘭印 五九三、六七九（擔） 六、六九、〇四九
玖 二六、七三八 二八九、三五一
計 六、〇四三 六、九九八、四〇〇

同（同上第十八號未滿ノモノ）
蘭印 七二、三九〇（擔） 七二三、〇〇一

同（同上第二十二號未滿ノモノ）
蘭印 二八三、一〇六（擔） 三、三七一、三〇八
玖 一、三〇一 一四、一九九
計 二八四、四〇七 三、三八五、八〇七

同（其他）
蘭印 二五五、三八五（擔） 三〇〇、四九七
和 （三〇斤）〇 七
合 一、七八九 二
不 （一〇斤）〇 一
計 二五五、四六四 三三三、二九五

氷砂糖角砂糖棒
關 （一斤）〇（擔 五

砂糖其他類似ノモノ
合 二） 五〇四
計 二〇 五〇九

葡萄糖麥芽糖及飴
支 五〇（斤） 三
獨 四四 二一
計 四四九 二四

蜜
合 三三五（斤） 二六

菓子
支 六〇（斤） 二
關 二 一
英 四、四三一 三、六四〇
佛 三、三七八 三、三六五
獨 八二 六八
合 三、七一八 二、三六八
計 二、六〇七 九、四六四

ジャムフルートゼリー類（容器共斤）
關 一、一五〇 三八
英 八、六〇〇 二一
合 六二 三
計 九、八三二 三、五八一

ビスケット（砂糖ヲ加ヘザルモノ）
英 一七九 八六六
佛 二、三六八 一、〇四四
合 二〇、四七三 七、五二五
亞 一、三五五 五一二
南米 七一、八〇九 二四、三〇六

ソース（樽入ノモノ）
英 三、八五二（斤） 一二、四二九

同（其他）（容器共斤）
英 三、九八五 一、三五
合 九八、七五五 三四、八六〇
計 一〇三、九二（擔）三、二四五、八九三
濠 一〇三、三八五 一九五
計 三、二五三、三九六

其他ノ鳥獸肉（生鮮ナルモノ）
支 六（斤） 二
合 二、三五八 六八
計 九、四六四

鳥獸肉類（罐詰罐詰又ハ壜詰ノモノ）（容器共斤）
英 三七 一九
佛 二四 八六六
合 二、〇四四 七三二
亞 七、五二五 二、七一一
南米 二四、三〇六 八、三四五

牛肉（生鮮ナルモノ）
英 四、三五四 一、五四
關 一、五〇 六二
計 八、六〇二 三、三二

食酢（醋酸）重量十グラム未滿
關 三四（立） 七
英 四、三四八 二、八三三
計 四、五八三 二、八六〇

計　二六、〇五〇　四三、九三〇

ソーセージ
支　三八(斤)　一三
ハム及ベーコン
支　七(斤)　六
英　一、一四　一、三九五
計　一、一四　一、四〇一
鹽鯨（尾肉）
合　二、三八〇(斤)　三八一
其他ノ鳥獣肉類
支　三一(斤)　一一
關　四八　五〇
計　六九　六一
鰯油漬（罐詰壜詰又ハ壺詰ノモノ）
（斤及容器共斤）
佛　三九四　四〇三
諾　四、四五二　四、四三九
計　四、八四六　五、〇三一
其他ノ魚介類（罐詰壜詰又ハ壺入ノモノ）
（容器共斤）
關　四　三
印　三五　三三
英　一五　九一
佛　一四五　一六〇
諾　四三八　二七

合　五〇八　四六七
計　一、二八一　一、〇三一
乾魚（單ニ蒸シ又ハ燒キタルモノヲ含ム）
支　三〇(斤)　一〇
其他ノ魚介類
支　四〇(斤)　一六
合　八、二八一　一、四二九
計　八、三〇一　一、四四五
天然バター
合　二三、五五八(斤)　四四、三〇一
濠　四三三　五〇一
計　三三、九八一　四四、八〇二
人造バター及ギー
印　二五七(斤)　一九一
亞露　二一五　一五八
英　六一　三二
和　一、一五五　五〇三
濠　一、一七二　九六〇
計　二、八八六　一、八四三
チーズ
佛　一、九〇三(斤)　二、四六三
瑞　二、二九九　三、〇七七
和　三九八　三一九
合　一三　一九
加　三七八　二八五
計　五、〇九一　六、一七三

コンデンスドミルク（乾キタルモノ）
（容器共斤）
合　二七、八六七　一〇、八四四
濠　九二五、六一四　一、〇四六、二三三
計　九三三、四八一　一、〇五七、〇七七
コンデンスドミルク（其他）
合　二九六、八七九(斤)　七一、九二〇
濠　二九七、三三五　一一〇
計　二九七、三三五　七三、〇三〇
インフアンフード
（容器共斤）
英　一四、五六一　二三、四九九
肉越幾斯
合　七六六(斤)　五、五〇
ペプトン其他類似ノ滋養食料
佛　四、五八六(斤)　一〇、二〇二
獨　一、一〇四　三、三二三
計　五、六九二　一三、七二五
鳥卵（生鮮ナルモノ）
支　三七、四八六(壜)　一、七八五、七二〇
關　三　一
計　三七、五〇九　一、七八四、七四〇
卵黄粉
支　一、四四(斤)　一、七二
卵白粉
支　六五、四六九(斤)　一〇五、三一〇
鳥卵液
支　七、三八(斤)　二一、一九四
礦水其他ノ諸飲料
支　一六(立)　五
支那酒（釀造シタルモノ）
關　九、二八(立)　二八
麥酒
支　八〇四(立)　二九
英　四、五八八　一、六二
計　四、六八八　一、六五一
天然葡萄酒（罐入ノモノ）
關　八七(立)　二五
英　二、七〇二　一、〇三
佛　一五、〇六九　五、八八
獨　一九三　六七
葡　三六〇　一二七
不　六　二
計　一、八四三　六、一七三

支　一、四四七(斤)　一、七二
卵白粉
支　六五、四六九(斤)　一〇五、三一〇
鳥卵液
支　七、三八(斤)　二一、一九四
礦水其他ノ諸飲料
支　一六(立)　五
支那酒（釀造シタルモノ）
關　九、二八(立)　二八
麥酒
支　八〇四(立)　二九
英　四、五八八　一、六二
計　四、六九二　一、六五一
天然葡萄酒（罐入ノモノ）
關　八七(立)　二五
英　二、七〇二　一、〇三
佛　一五、〇六九　五、八八
獨　一九三　六七
葡　三六〇　一二七
不　六　二
計　一、八四三　六、一七三
ヴエルモツト（罐入ノモノ）
佛　一、〇五二(立)　八七九
伊　三、〇〇九　二、九五六
計　四、〇六六　三、八三五

其他ノ葡萄酒（罐入ノモノ）
英　九〇〇(立)　一、四三九
佛　九)　一七二
獨　四三六　八二七
伊　六三一　一、七三〇
計　二、〇五七　四、一七三
天然葡萄酒（其他）
佛　五四〇、七三三(立)　一三三、一九一
伊　二、三三六　二八〇三
西　三〇三、五五三　八二、八八八
合　一〇一　一、五九八
計　八五九、七〇二　二三〇、二六〇
葡萄酒（酒精十四ヲ超エザル）（其他）
佛　一三四(立)　六七
其他ノ葡萄酒（其他）
佛　三、三二四(立)　一、三二四
西　六三)　二九二
計　四、六三　一、八〇六
シヤンパン其他ノスパークリングワイン
佛　一、六一五(立)　六、〇三三
獨　三八　九二
計　一、六五三　六、一三六

其他ノ酒類（其他ウイスキー釀入）
關　二八三(立)　七三
英　三、三三　九、一九七
佛　（一八〇立）　〇　一
計　三、八〇六　九、九二
其他ノ酒類（其他ノ其他釀入）
關　一二九(立)　一一〇
英　二、九八九　五、八三〇
佛　二、九二九　一八、七二八
伊　六六　六七
瑞　一五三　四七)
和　一三　二六
露　一　三
丁　五七四　一、四八二
計　一六、八四三　二六、七一六
同（其他ウイスキー其他）
英　九八五(立)　二、三五六
同（其他其他ノ其他）
英　六九八(立)　七四一
鹽（粗製）
支　一五九、七二一(噸)　二七、七六一
獨　四二、八六一　四九、〇三二
計　二〇一、五九二　一五六、八五四
其他飲食物（砂糖ヲ加エタルモノ）
支　六五〇(斤)　四九八

細　六、四〇八　一、七二三
英　一七、〇五六　二三四、三八四
佛　二三四、〇九八　五四四、〇九八
獨　七、三五六　三、五四七
伊　三、五四七　三一、一六五
瑞　三一、一六五　二、八九五
和　二、八九五　三
諾　三　八二、一四〇
西　八二、一四〇　一、四八二
露　一、四八二　八七一
丁　八七一　三〇二、九三〇
歐　三〇二、九三〇　五八四
合　五八四　五八二、六一三
加　五八二、六一三　七、三五二
玖　七、三五二　二四七
亞　二四七　二六、七一六
伯　二六、七一六　五、八〇八
南米　五、八〇八　一、〇六二、二〇二
弗　一、〇六二、二〇二　一五、九三〇
濠　一五、九三〇　一、三二九
假　一、三二九　三〇、一四五、四一三
不　三〇、一四五、四一三
計

輸入品第三類要計表
支　五、五二九、一九一
關　八五、八二七
印　五四、〇六七
海　三、二九六
蘭印　二、七四九、七五一
亞露　一五六
比　六三、〇八四
運　四四四

葉巻紙巻煙草
支　四八、四二五、〇〇〇(本)　一八六、八七七
關　二、二四〇、〇〇〇　七九、八〇九
計　六九、六八五、〇〇〇　二六六、六六六

同（其他）			
支那	五一、八八九（斤）	二三、八九二	
海峡植民地	一三	五	
英領印度	四六五	二八〇	
仏領印度	七五	九〇三	
濠洲	一、五五〇	一、八七七	
計	五三、九九二	二六、〇三四	
兎毛皮			
支那	五九三（斤）	一、七四六	
英領印度	八三	二、一〇〇	
不明	一四、二五六	九、四四五	
計	一四、九二二	一三、二九一	
其他ノ毛皮			
支那	三三五（斤）	二、六二二	
關東州	九七〇	一、一九二	
印度	四四〇	七、六九	
英領印度	二	四八	
仏領印度	五四	二、一〇一	
和蘭領印度	三〇〇	八、七一八	
合衆国	一六九	四、三〇六	
南米	六六	一、七二五	
不明	二、三五八	三〇、〇七	
計			
牛皮及水牛皮			
支那	五五、一四七（擔）二、二五〇、七二五		
關東州	五五五	二六、三五三	
海峡植民地	七〇	三、三五二	
英領印度	三、八六〇（斤）	一、三五〇	
仏領印度	一	一	
和蘭領印度	一	一	
合衆国	一、三五五	一、三五五	
南米	一、三五九	一、三五九	
不明	一、三五五	一、三五五	
計	一、三五六	一、三五六	
豚毛			
支那	三〇一、三八八（斤）	七七、一八五	
其他ノ獣毛			
支那	一〇一、八五二（斤）	二五、〇二二	
關東州	三〇、八三七	三、一三	
英領印度	三、一三	一、三一九	
合衆国	九四四	一、三一九	
濠洲	九〇三	一〇、三六八	
計	一四六、八四四	二九、九五〇	
羽毛（其他）			
支那	七四九（斤）	三二五	
英領印度	五六五	一〇〇	
計	一、三一四	四二五	
羽毛及羽毛皮製品			
合衆国	一	一	
クイルプリッスル及ホーンプリッスル			
英領印度	二三（斤）	五三	
仏領印度	一一〇	二〇	
計	二三三	七二	

細	二八	一、七八八	
佛領印度	六	四〇八	
合衆国	三、二〇〇	一二、一六七	
仏領印度	二八〇	一五、八二七	
濠洲	九三	四三、四八七	
計	六〇、一八九	三、四七九、一九七	
其他ノ皮類			
支那	一八、〇八六（擔）	九二一、五〇六	
關東州	七、五九四	三八四、七二七	
關印（一斤）0	四〇	二〇〇	
合衆国	四〇	二、五五〇	
南米	一、七二四	五一、三七一	
濠洲	二七、四七四	一、三六二、三六九	
牛水牛馬緬羊及山羊革（塗リタル）			
關東州	二三四（斤）	二六八	
獨逸	九六	六〇九	
合衆国	三、八八〇	一五、二二一	
計	三、九一〇	一六、一四八	
同（染又ハ着色シタルモノ）			
關東州	四六（斤）	三七一	
獨逸	二、一三	一六、九九〇	
伊太利	一	一二	
和蘭	一、六四一	一四、五六四	
合衆国	一〇、九二一	七六、一六四	
計	一四、七四三	一〇八、一〇一	

靴底革（バックベンドストリプ其他之ニ類似スルモノ及靴底形ニ裁チタル）			
合衆国	四、八三（斤）	四、九九五	
靴底革（其他）			
支那	二七、三六六（斤）	二四、五八九	
關東州	一〇	二〇	
計	二七、三七六	二四、六〇九	
其他ノ牛水牛及馬革			
支那	一〇〇（斤）	一三五	
英領印度	八三五	一、八三	
合衆国	一、六四七	五、〇八一	
計	二、六八二	七、〇一九	
羚羊革（模造羚羊革ヲ含ム）			
英領印度	四六（斤）0	二	
合衆国	四六	三六	
計	九二	三八	
ローラーレザー	一四〇（斤）	一、七四九	
其他ノ緬羊及山羊革			
支那	一、六七九	三	
獨逸	五	八	
和蘭	一	一	
濠洲	五〇	三六八	

計	二、六一六	二、〇七七	
鰐魚革（其他）			
海峡植民地（三五七K）0（斤）	七	二	
屑革			
支那	四〇〇（斤）	三七	
關東州	三六一	一七六	
英領印度	三	一	
合衆国	四〇	三	
計	八〇四	三三七	
其他ノ革類			
支那	一（斤）	一	
合衆国	一、四二五	一四、〇三一	
計	一、四二六	一四、〇三四	
機械用ノ帶及管（革製）			
英領印度	三（斤）	一	
獨逸	一五五	一二五	
合衆国	三四六	三四六	
計	一四七	一四八	
帽子用裏革（模造革）			
關東州	一、三六六（斤）・	八、二八	
英領印度	三九	二、三五三	
合衆国	二七	九四	
計	一、六八三	二、三六四	
其他ノ革製品（其他）			
支那	一	二	
印度	一	三	
海峡植民地	一	七	

獣筋			
印度	二六八、三四四（斤）	一二〇	
ブラッダー			
支那	五〇（斤）	一三	
殻			
支那	二三、二九二（擔）一、〇三三、〇九三		
關東州	二九	四〇	
印度	一、〇二七	四〇	
海峡植民地	一、二六	四	
佛領印度（四四四斤）0	一八	六	
濠洲	三〇〇、三九六	一三、八三七	
計	一、七九、一六九	六〇、一五五	
甲			
海峡植民地	五五（斤）	一、二六	
和蘭領印度	一、七〇六	二六、三九九	
計	一、七九九	二七、六三五	
珊瑚製品			
伊太利	一	四	
鼈甲製品			
海峡植民地	一	二、九八六	
眞珠			
濠洲	三（瓦）	七〇〇	
綿	六、二三〇（斤）	三、〇九四	
海合計			

獣骨（醫藥用ヲ除ク）			
支那	一八九、九三五（斤）	七六、八三	
關東州	三〇〇	一二〇	
海峡植民地	八二	二、一八七	
和蘭領印度	二、八八〇	一〇、二三三	
英領印度	一、九四五	八、三四三	
獨逸	七六五	二、三七五	
亜米利加合衆国	四一七	一、七六九	
濠洲	二、九六五	一〇、九四三	
象牙			
印度	五六（斤）	五〇〇	
英領印度	三五	一一一	
佛領印度	五、八〇三	四五、七八〇	
計	五、八九四	四六、三九一	
獣角（醫藥用ヲ除ク）			
支那	二二、一〇五（斤）	八二	
關東州	四、八三二	二七一	
佛領印度	四一	一一	
濠洲	六五、四三〇	八、五九二	
英領印度	六五、四二八	九、七〇六	

療ノモノヲ除ク）			
支那	一八九、九三五（斤）	七六、八三	
關東州	三〇〇	一二〇	
印度	八二	二、一八七	
海峡植民地	二、八八〇	一〇、二三三	
和蘭領印度	一、九四五	八、三四三	
英領印度	七六五	二、三七五	
亜米利加合衆国	四一七	一、七六九	
濠洲	二、九六五	一〇、九四三	
南米	一三、二六九	五一、六七一	
濠洲	二〇、九四三	一五一、〇〇五	
同製品（化學試驗用ハイドバウダー）			
獨逸	八（斤）	一一〇	
同製（其他）			
支那	一	三六〇	
輸入品第四類要計表			
支那		六、二三五、二六五	
關東州		四四九、九五四	
印度		三一、六二八	
海峡植民地		一六二、九七九	
和蘭領印度		三三四、五六八	
細		一、九八七	
英領印度		三三、五六八	
佛領印度		一、八二〇	
獨逸		二六、三二八	
伊太利		三、九六七	
濠洲		八、七〇六	
和蘭		一六、六三二	
合衆国		二六九、九二三	
亜米利加合衆国		二、三五五五	
南米		一、八一五五	
佛		六一、六五六	

濠 — — 五四三、一六四
不 — — 二二、九六九
計 — 八、一九〇、九七〇

植物性芳香揮發油（大茴香油其他贅澤品關稅課稅品ニ該當ノモノ）

海 九〇 二一六（斤）
英 八〇七 三四一、二三
佛 三〇、六〇七 一七、六四三
獨 一、三四七 一、二九〇
伊 六九六 三、二八四
瑞 二四〇 一六、二六〇
和 一、五八九 八 一、〇一〇
合 一五 一三 一、〇一〇
濠 八四四 一三 一、〇一〇
假 一 一三 一、〇一〇
計 九、〇四六 一三 一〇三、六〇九

同（其他）

蘭印 二一、七四二（斤） 三六、七二一
佛 一七、四四〇 四四、八四六 二五、三四一
獨 三、一八二 一七、七〇五 一、五二三
和 三三七 二、〇六八 一八、八六二
合 一 三〇〇、三六〇
假 一 三八、四六六
不 一 三〇〇、三六〇
計 三八、四六六 三〇〇、三六〇

松精油（罐入又ハ樽入ノモノ）

支 一〇、八八二（立） 六、二二六
印 三、九〇七 一、八七二
合 六、二九六 二、〇四七
計 二一、〇八四 一〇、一三五

其他ノ植物性揮發油

支 五八八 二、九九八（斤）
關 四二 二一〇
獨 一五 一
計 六四五 三、一六九

亞麻子油（罐入又ハ樽入ノボイルド油）

英 六三 一、六九三（斤）

同（其他）

和 七 三（斤）

蔥麻子油（罐入樽入又ハ壺入ノモノ）

支 六八 九三、〇六〇（斤） 一九六、三一八
蘭印 六八 二六〇 三〇、〇一八
佛印 六、二四五 九五、三五八 二〇三、六三一
計 六、八七三 一、七八〇 八、二〇三

阿列布油（罐入又ハ樽入ノモノ）

佛 六、八七三 六、四三三（斤）
西 九九六 一、七八〇
計 七、八六九 八、二〇三

同（其他）

英 一〇、八八二（立） 六、二二六
印 三、九〇七 一、八七二
合 六、二九六 二、〇四七
計 二一、〇八四 一〇、一三五

其他ノ植物性揮發油

支 五八八 二、九九八（斤）
關 四二 二一〇
獨 一五 一
計 六四五 三、一六九

落花生油

關 三〇五 一、四四九（斤）

大豆油

關 五、七八 一八、二六二（斤）

棉子油

關 三四、七三七（斤）

桐油

支 一七二、五二六 二四九、八六一（斤）
合 六八、二五四 二四、〇四三
計 二四、六七七 一〇、一四三

落花生油

關 三〇五 一、四四九（斤）

大豆油

關 五、七八 一八、二六二（斤）

棉子油

關 三四、七三七（斤）

桐油

支 一七二、五二六 二四九、八六一（斤）
合 六八、二五四 二四、〇四三
計 二四、六七七 一〇、一四三

椰子油（容器共斤） 二三三

英 二六七
海 一七、二五二（斤） 三、六三三
佛 三、三五三 一、二九〇
伊 八、〇五一 五、三九
合 二八、六七七 一〇、一四三

落花生油

關 一、四四九（斤） 三〇五

大豆油

關 一八、二六二（斤） 五、七八

棉子油

關 三四、七三七（斤） 二八、八四四

桐油

支 一七二、五二六 二四九、八六一（斤） 六八、二五四
合 二四、〇四三
計 二四、六七七 一〇、一四三

牛脂

支 一〇、一六四（擔） 三三、九六八
關 一〇一 二、一八四
濠 八九、六七五 一、八九九、五三三
計 九九、九四〇 二、一二五、一四五

同（其他）

蘭印 二一、七四二（斤） 三六、七二一
佛 一七、四四〇 四四、八四六 二五、三四一
獨 三、一八二 一七、七〇五 一、五二三
和 三三七 二、〇六八 一八、八六二
合 一 三〇〇、三六〇
假 一 三八、四六六
不 一 三〇〇、三六〇
計 三八、四六六 三〇〇、三六〇

松精油（罐入又ハ樽入ノモノ）

支 一〇、八八二（立） 六、二二六
印 三、九〇七 一、八七二
合 六、二九六 二、〇四七
計 二一、〇八四 一〇、一三五

其他ノ植物性揮發油

支 五八八 二、九九八（斤）
關 四二 二一〇
獨 一五 一
計 六四五 三、一六九

亞麻子油（罐入又ハ樽入ノボイルド油）

英 六三 一、六九三（斤）

同（其他）

和 七 三（斤）

蔥麻子油（罐入樽入又ハ壺入ノモノ）

支 一九六、三一八 九三、〇六〇（斤）
蘭印 六八 二六〇 三〇、〇一八
佛印 六、二四五 九五、三五八 二〇三、六三一
計 六、八七三 一、七八〇 八、二〇三

阿列布油（罐入又ハ樽入ノモノ）

佛 六、八七三 六、四三三（斤）
西 九九六 一、七八〇
計 七、八六九 八、二〇三

同（其他）

英 六、二二六 一〇、八八二（立）
印 一、八七二 三、九〇七
合 二、〇四七 六、二九六
計 一〇、一三五 二一、〇八四

原油及重油（二十ヲ超エザルモノ）

合 二三〇、〇四九（瓦） 二七、三八八

同（二十五ヲ超エザルモノ）

合 二一、五四〇（瓦） 二、六〇六

同（三十ヲ超エザルモノ）

合 二四八、三五〇（瓦） 三、八〇七

同（三十五ヲ超エザルモノ）

合 一、三五七、九二三（瓦） 一五八、〇五六

同（四十ヲ超エザルモノ）

合 二、二四四、七六六（瓦） 二六七、〇四八

同（其他）

合 二、五八四、三四一（瓦） 三三七、三二四

其他ノ礦油（比重〇・七二〇ヲ超エザルモノ）

合 二六、〇五八（瓦） 二、四三八

同（比重〇・八七六二ヲ超エザルモノ）

合 二、三五七、〇六八（瓦） 二七九、三三六

同（其他）

合 二、三五四、〇六八（瓦） 二七九、二六四

輸入品第五類要計表

支	一	七七七、三三六	九〇、三四〇（斤）
關	一	三九、〇八四	一六、六八八
印	一	二八四、一五五	一、六八八

其他ノ礦油（比重〇・八七六二ヲ超エザルモノ）

合 一、三五七、〇六八（瓦） 六六三、〇八八

同（比重〇・八七六二ヲ超エザルモノ）

關 二、五〇〇（瓦） 一、二五

同（比重〇・八七六二ヲ超エザルモノ）

英 八、一〇一（瓦） 七、九八五
獨 一、五二四 一、一一
白 三、三〇九 三、三三
合 八八、一九五 一三、一〇六
計 一四六、〇五一 一〇一、〇〇三

同（比重〇・九二一八ヲ超エザルモノ）

關 五、三四〇（瓦） 四、〇五九
佛 四、七四九 四、九八四
獨 三〇、六九〇 三九、三三五
合 五二、五九四 五九、九一五
計 九二、一〇二 一〇九、五九二

其他ノ礦油

關 一七四（噸） 二、七二一
英 二 四五
獨 一、八三二 二七、六七七
合 一〇一、六七一 一四七九

計 九、四八七 一三二、一五
ワセリン（其他） 三、七五六
合 二五八、二八一（斤）
パラフインワックス（融解點攝氏四十五度ヲ超エザルモノ）
蘭印 二一、七七一（噸） 二五八、八〇七
獨 二 八九
合 一〇八 一、五五五
計 二六〇 四三一

同（其他）

印 一七、六三二（噸） 二七、五七八
蘭印 八四、三〇八 一、三八六、四六九
獨 四 三〇九
瑞（九斤） 〇 三
合 七、三八六 一一一、三三
計 一〇九、三三〇 一、七四四、六七三

漆蠟及櫨蠟

支 一七五、四三〇（斤） 四一、三三六

カーノーバワックス

合 一五、七三九（斤） 一五、八九六

蠟燭

合 二七（斤） 三
石鹼（薰香ヲ付シタルモノ） 二（斤） 一

其他ノ礦油（比重〇・八七六二ヲ超エザルモノ）

合 一、三五七、〇六八（瓦） 六六三、〇八八

同（比重〇・八七六二ヲ超エザルモノ）

關 二、五〇〇（瓦） 一、二五

同（比重〇・八七六二ヲ超エザルモノ）

英 八、一〇一（瓦） 七、九八五
獨 一、五二四 一、一一
白 三、三〇九 三、三三
合 八八、一九五 一三、一〇六
計 一四六、〇五一 一〇一、〇〇三

同（比重〇・九二一八ヲ超エザルモノ）

關 五、三四〇（瓦） 四、〇五九
佛 四、七四九 四、九八四
獨 三〇、六九〇 三九、三三五
合 五二、五九四 五九、九一五
計 九二、一〇二 一〇九、五九二

其他ノ礦油

關 一七四（噸） 二、七二一
英 二 四五
獨 一、八三二 二七、六七七
合 一〇一、六七一 一四七九

英 三 一
佛 二 三五
和 一 一
合 一 一
計 七 一

香水（其他）

（容器及內裝共斤） 三、〇一八
英 五一〇 四、五六五
佛 四、二五三 三四四一
獨 一二五 一、三五
和 三、三九一 三五九
合 二九五 三、一〇
計 二〇、七一三 一四、六七一

薰香ヲ付シタル油脂蠟及其ノ製品

（容器及內裝共斤） 四四
關 六 一
英 九 二、五九
和 二、〇八九 七六六
合 一、〇六 一九
佛 一九 五、二六九
計 三、四四三 二、〇九

同（其他）

英 六（斤） 二
佛 七九 二七
和 八〇 三〇一
合 一、三〇一 二七
計 二、〇八七 一〇

其他ノ礦油

關 一七四（噸） 二、七二一
英 二 四五
獨 一、八三二 二七、六七七
合 一〇一、六七一 一四七九

其他ノ油脂蠟（其他）

支 九七、八三五（斤） 六六、二六一
關 九七、八三五 六、二六
印 七七 六二
海 二二三 一四五
蘭印 一四三 九五
獨 六五 六二
瑞 二四 一六
和 二七 一八
合 二、八九九 一、九六
計 三四四、六三一 二三、三七

油脂蠟製品

支 一 八七九
英 一 四三五
佛 一 九五
獨 一 一
瑞 一 一
典 一 一
合 一 一
計 一 一

輸入品第五類要計表

支	一	七七七、三三六	九〇、三四〇（斤）
關	一	三九、〇八四	一六、六八八
印	一	二八四、一五五	一、六八八

海　一、七七八
關印　一、六七二、四八六一
佛印　六、二四五
還　一
英　五七、四二五
佛　八八、三五四
獨　二五七、四三三
白　三、三〇九
伊　一、三七九
瑞　三、六四九
和　三九、九四七
典　一八〇
西　九九六
合　一、九九一、九七七
濠　一、九〇〇、五七三
假　一八八、八七五
不　二
計　七一、九七、二四八

杏仁苦扁桃仁
支　七八、三四四（斤）
關　二八、三〇七
計　一〇六、八五一

大風子、小豆蔻、肉豆蔻
肉豆蔻花、蔥澄茄、コロシント實、コルヒクムネ、トンカ豆、ブアンラ豆、アニースネ大茴香、小茴香、ストロファンツスネ及アジョーワンネ
支　一九、四九五（斤）
海　三
關印　九四三
英　一
合　三五六
計　二、〇四一

甘草
支　一、〇四八、一〇三（斤）
關　一、一六七、九六〇
計　一、三二六、〇六二

吐根
英　三九八（斤）
合　八三〇
計　一、〇五七

ホップ
合　七、二六五（斤）
セメンシナ
印　一、四八六（斤）
丁香
支　一、八〇〇（斤）
海　一三、六八四
獨　九
計　一三、六九三

大風子、小豆蔻、肉豆蔻
肉豆蔻花、蔥澄茄、コロシント實、コルヒクムネ、トンカ豆、ブアンラ豆、アニースネ大茴香、小茴香、ストロファンツスネ及アジョーワンネ
支　二九五
海　三三九
關印　一
英　三五六
合　三五四五
計　四、三五六

甘草
支　二五二、四二六
關　三三二、一六九
計　五八四、五九五

吐根
英　二、九八二
合　七、一五五
計　一〇、七一七

大黄
支　一三八、三一〇（斤）　四四、九九七
志　一〇、七一六
松　七、八五四
獨　三、三〇九
伊　一、三七九
瑞　三、六四九
和　三九、九四七
典　一八〇
西　九九六
合　一、九九一、九七七
濠　一、九〇〇、五七三
假　一八八、八七五
不　二
計　七一、九七、二四八

遠志
支　三四、四三（斤）　一〇、七一六

甘松
支　三三、九〇二（斤）　七、八五四

イリス根コロンボ根海葱ヤラツバー根及ヴエヂウアー
獨　一、六六七（斤）　一、三二二

コカ葉ヤボランヂ葉パツチユリー葉
海　八、〇三〇（斤）　六〇三

桂皮
支　七八、三八四（斤）　二、九〇七
英　六二　一〇二
計　七八、四五一　二一、〇〇九

コンジユランゴ皮カスカラサクラダリナロヘローズウツドサツサフラス木
獨　八（斤）　六
合　四、七二一　三
計　四、七二九　九

大黄
支　一三八、三一〇（斤）　四四、九九七

遠志
支　三四、四三（斤）　一〇、七一六

甘松
支　三三、九〇二（斤）　七、八五四

イリス根コロンボ根海葱ヤラツバー根及ヴエヂウアー
獨　一、六六七（斤）　一、三二二

コカ葉ヤボランヂ葉パツチユリー葉
海　八、〇三〇（斤）　六〇三

桂皮
支　七八、三八四（斤）　二、九〇七
英　六二　一〇二
計　七八、四五一　二一、〇〇九

コンジユランゴ皮カスカラサクラダリナロヘローズウツドサツサフラス木
獨　八（斤）　六
合　四、七二一　三
計　四、七二九　九

キナ皮
關印　二、六七〇（斤）　八、四六六

サンダラムアルブム
支　二、五四二（斤）　五二三
印　一二五　二一〇
計　二、六七〇　三三三

其他ノ白檀
支　九、五〇八（斤）　五九二

麝香
支　一四三（斤）　六七、七七八

安息香阿魏蘆薈及沒藥
海　二、三七〇（斤）　五七五
和　二、〇六七　一、〇六〇
喜　六　一九
弗　三八、五六三　九
計　四二、九〇六　九、三五三

沒食子其他類似ノタンニン材料
支　五、二八四（斤）　一三三、五七一
印　三二　二、六二一
關印　二　一三一
佛　三、〇九九　三、〇一〇
獨　一　一〇
弗　四六、六五五　四、二五二
計　一八五、七〇九　一八、七一九

阿仙藥其他ノタンニン越幾斯

支　一六（擔）　七二七
印　三二八　四、〇五〇
海　七八七　二、三八三
獨　三　七六
弗　一、七三五　三一、二一〇
不　八　二〇〇
計　二、七七七　五六、六五六

甘草越幾斯
關　六七、五九五（斤）　三五、八四一

バルサム
英　九九三（斤）　五　〇四九
獨　一、二六四　二、〇七二
和　一八九　一、〇四〇
計　二、四四六　七、四六一

生インディアラツバー及生ガタパーチヤ
印　二八、九二八（擔）　五九七、五七三
海　五、八五四　五五二
關印　一七　一、九〇四
比　一五、四八三　一、七一九
還　一三三　一〇三
英　一七、八二九　一、七一八
合　二一　二〇二
計　七三、七〇一　六、七〇一

セルラック
印　三、七三二（斤）　六、四一三

松脂
支　一六（擔）　七二七
印　四、〇五〇　三三八
海　二、三五三　七八七
獨　三　三
弗　一、七三五　三一、二一〇
不　八　二〇〇
計　五六、六五六　二、七七七

赤燐
獨　一（斤）　五
不　七六　七九
計　七七　八四

硫酸
關印　一、〇二四（擔）　一二、一三五
合　一三七　二二
假　一三　二一
計　三、三七　二七〇

其他讓謨及樹脂
印　一〇三、二六四（斤）　三三、六三五
海　二三四、五三八　八六、九九九
關印　四七六、四四〇　一九〇、四九六
英　二一、三四〇　一六、三〇三
獨　六二、六九　二、七三三
白　三三、三〇五　一、二五
和　二〇、三二　四、七二三
弗　九九九、二九一　三六七、八六九
計　一、二五四、三五五　四四、九九七

硫黄
支　一、〇二四（擔）　一二、一三五

膠
獨　一、〇〇〇（斤）　一五
合　一、〇〇〇　六二九
計　二〇、三二　四、七二三
弗　九九九、二九一　三六七、八六九

阿
支　一、〇〇〇（斤）　一五
獨　一、〇〇〇　六二九
合　五、六七〇　三、五五一
計　七、三〇　四、三五九

ゼラチン
英　一、六八〇（斤）　五、六六二
佛　一、三五五　一、六六六
獨　六、八〇二　五、九六六
計　九、七八五　一二、一七四

砒
支　一、〇二四（擔）　一二、一三五

赤燐
獨　一（斤）　五
不　七六　七九
計　七七　八四

硼酸
英　八四、一六六（斤）　一六、九三
獨　八　九
白　八、五〇〇　一、八八
不　八〇三　一八
計　九三、四七　一九、〇一七

醋酸
獨　八〇、四五六（斤）　二五、四五五
伊　九、九九九　二、九六一
合　一五　五
計　九〇、四七　二八、四二

乳酸
獨　四二（斤）　三一
酸　五〇（斤）　二五

褐石酸
獨　一、四二三（斤）　一、四九六
關　一、五四〇　一、五八八
計　三、〇四四　三、九五三

酒石酸
獨　八四、一六六（斤）　一六、九三
獨　八　九
白　八、五〇〇　一、八八
不　八〇三　一八
計　九三、四七　一九、〇一七

醋酸
獨　八〇、四五六（斤）　二五、四五五
伊　九、九九九　二、九六一
合　一五　五
計　九〇、四七　二八、四二

乳酸
獨　四二（斤）　三一
酸　五〇（斤）　二五

褐石酸
獨　一、四九六（斤）　一、五五八
關　一、五四〇　一、六〇四
計　三、〇三六　三、一六二

アセチールサリチール酸
獨　八、三三三（斤）　九、四九二

石炭酸
英　一〇、七三三（斤）　五、一四〇
關　一二、一三五
合　二二、一三三
假　二一
計　三三、八三七

苛性曹達及苛性加里（精製ノモノ）
獨　一〇（斤）　七
合　一　一
計　一一　一二

苛性曹達（其他）
合　八三（斤）　七、四二五
計　一二　一二

曹達灰
支　一七九、八九二（斤）　四〇、三七六（擔）
弗　一八八、〇八五　二、六、九八三
不　二、八九八　一二、七七）
計　二三一、三二〇　九〇八、六四四

硝酸曹達（其他）
智　五四（擔）　五二〇

硝酸加里
英　八四　一八

	獨	三一〇、六九	
	計	三一〇、六三	
鹽化加里及硫酸加里（精製ノモノ）			二六、八五九
			二六、八七七
	獨	四五二（斤）	一二五
鹽化加里（其他）	合	八五、〇七七（斤）	四、三二七
クローム酸加里	獨	一六六（斤）	一〇
重クローム酸加里	獨	二一二（斤）	二四四
過滿俺酸加里	獨	一〇〇（斤）	六
	合	八三	四四
	計	九三	五〇
ブローム水素酸ブローム加里其他ブローム鹽類	獨	五八（斤）	九七
	合	四六	五九
	計	一〇四	一五六
鹽化バリウム	獨	五四、八三七（斤）	三、二七八
過酸化バリウム	獨	一六、三五三（斤）	三、三五四
過酸化水素	英	二、三五五（斤）	一、七七七

	獨	一、八三五	
	伊	六、〇〇〇	
	瑞	四、三三	
	計	一四、四二	
礬	一七（斤）	一	
明	支	三四	七
	合	三四	七
	計	五一	八
フエロ青化曹達	英	三三、五一〇（斤）	八、九九七
フエロ青化加里	獨	八、三〇一（斤）	三、八七九
フエロ青化加里	獨	三五（斤）	三五
	合	二	二
	計	二七	二七
鹽化アムモニウム	英	九三、五九五（斤）	二、九六〇
	獨	五四、三五六	七、三九八
	合	五〇、六〇三	七、三四〇
	濠	一、七〇五	一九六
	計	三〇〇、三五九	二七、八四
硫酸アムモニウム（精製）	獨	一七（斤）	九
硫酸アムモニウム（其他）	關	九八三（擔）	七、三五五

	獨	三、五二七	二五
	濠	二、三二三	一、七七九
	計	三、五三	二六、七九
炭酸アムモニウム及重炭酸アムモニウム	獨	一六、六六七（斤）	二、〇八九
硫酸ニッケルアムモニウム	獨	八（斤）	二
	合	一、五二三	二六二
	計	一、五三〇	二六三
硝酸トリウム	獨	一六七（斤）	四二五
硝酸セリウム	獨	一、〇三〇（瓦）	四
醋酸石灰	合	三、三六六（擔）	三七、三一七
アセトン	合	八五、三三三（斤）	三四、三四六
フオルマリン	典	三〇三（斤）	八五
	合	六六	二
	不	五〇〇	一
	計	八七〇	二六六
木精	印	三、七一八（斤）	一、三三一

	獨	八四、九六六	三〇、〇二九
	合	一四、七二七	五、一四〇
	計	一〇二、四二一	三六、三三
酒精	佛	八（立）	七
	獨	三三	一〇九
	計	四一	一六
グリセリン	英	一九、九五九（斤）	二、四四六
	佛	一、六四七	九七九
	獨	八、九一〇	五、〇九六
	合	三	一
	計	三〇、五二九	一八、四九二
クロロフオルム	獨	四、一五五（斤）	二、二九三
ハイドロサルフアイット	白	二六（斤）	一四
乳糖	獨	二（斤）	一
ナフタリン	關	三、五二九（斤）	三九二
	獨	一七、〇〇九	一、二九二
	計	二〇、三二八	一、六九二
龍腦艾版人造龍腦	支	一〇〇（斤）	九六〇
	獨	八三	一七
	計	二六二	一、三八

	獨	一、七五〇	
	瑞	八三	
	計	一、七八三	
ベンゾール其他	關	三六八、二九九（斤）	三四、八二五
コールタール分餾物	合	二四、二五五	四、二五四
	計	三九二、五二四	三九、〇七九
其他ノタールタール分餾物ヨリ誘導シタル化學的成品	英	一五、二四九（斤）	一四、五七一
	獨	三、八八五	三、七〇五
	和	四九五	七六一
	合	三三、六九二	三一、四二〇
	不	九五	二三五
	計	四二、六四一	四一、六九〇
サントニン	英	三〇一、〇〇〇（瓦）	一六六、三一七
	露	四〇、〇〇〇	二六、二六六
	計	三五一、〇〇〇	一九二、五八二
鹽酸キニーネ	關印	二六九、三五五（瓦）	九、三七七
硫酸キニーネ	關印	五六六、八五〇（瓦）	一五、七七三
コカイン	南米	一〇、〇〇〇（瓦）	一七、〇八七
燐酸コデイン	英	二八三、五〇〇（瓦）	五四、四八二

	獨	五〇五、六三〇	一二三、九六六
	合	五三、八五五	八、八〇〇
	計	八四二、九五五	一七七、三三八
カゼイン	獨	一〇〇（斤）	七六
	濠	一八一、四九五	七六、九五）
	新	二三七、〇〇九	五三、八七二
	計	三〇八、五二四	一三〇、八九八
ペプシン	獨	五六（斤）	四九
ベーキングパウダー	英	一（斤）	一
	合	二、二三四	二、八四七
	計	二、二三五	二、八四八
酒精劑（フルートエッセンス、リキユールエッセンス其他類似ノモノ）	英	八四九（立）	一〇、八二七
	獨	八五	一、二三三
	和	一〇三	四五一
	合	一、四二三	三四七
	計	一、四三三	二三、八四七
同（其他）	獨	一八（立）	一八〇
人造麝香	佛	一、三二六（斤）	六、八七九

	獨	八三五	
	瑞	八三四	
	和	八四〇	
	計	三、八二三	
其他ノ薫香性化學藥	英	九、六六（斤）	八、三三五
	佛	二、二四九	二、〇八三
	獨	二、六七一	二、〇八八
	瑞	六七三	一、四四七
	和	五三一	一、三五五
	計	六、九六五	三五、二〇五
齒磨粉其他調製薫香類	英	一	六七三
	佛	一	一、九五〇
	獨	一	二四四
	和	一	一、五三五
	合	一	一、四〇二
	計	一	六、五八五
蠅取紙	獨	一〇、二七四（斤）	三、七九五
殺蟲粉	關	一二九（斤）	三
ローラーコンポジション	英	八五（斤）	一一
	獨	三〇三	二九二
	計	三八七	四〇三
プラスター			

（内裝共斤）

	英	五三	一、九六
ガーゼ其他外科用材料	獨	六〇（斤）	二九六
其他ノ藥材化學藥及製藥（人造香料）	佛	一	一〇、七九三
	獨	一	四、五四七
	瑞	一	七一〇
	和	一	三、一四八
	不	一	四九三
	計	一	一九、六九一
其他ノ藥材化學藥及製藥（其他）	支	一	九六、六二九
	關	一	七、九九二
	印	一	九〇〇
	海	一	六〇三
	薩印	一	一
	英	一	一七、八一
	佛	一	三三、一九二
	獨	一	七四、七四三
	伊	一	二、六二三
	瑞	一	七、七二
	澳	一	一、一
	和	一	一三、三一〇
	合	一	二五五、二六四

亜	—	二、八一六	
濠	—	二、〇三〇	
不	—	一、二五三	
計	—	三九七、〇九六	
薬材化學薬及製薬調合品			
支	—	三三四	
英	—	一、〇八九	
佛	—	六、五七七	
獨	—	二一、九三	
瑞	—	一〇六	
和	—	一六七	
合	—	二二七、一九七	
不	—	四七五	
計	—	二六七、一三八	
火薬			
獨	六二、九二八(斤)	三三、五七〇	
ダイナマイト			
英	一一、三四〇(斤)	六、二五六	
獨	五二四、六三二	三四四、四六七	
計	五三五、九七三	三五〇、七三三	
デトラートル			
獨	二四、七四八(斤)	六六、九三一	
其他ノ爆發薬			
獨	六九〇(斤)	一、六一九	
カートリッヂ(裝藥シ裝彈シタル金屬製ノモノ)			
佛	(内裝共斤)	八、四〇一	
獨	一五、七九六	二九、〇四一	
白	二三三	五八六	
合	二	二九	
計	二四、五四三	四一、三一七	
同(裝藥シ裝彈シタル其他ノモノ)			
英	(内裝共斤)	一〇、二八七	
獨	二、八〇四	二、一二四	
合	三、六四三	二、五一〇	
計	一八、七〇〇	一四、九二一	
同(裝藥シタル其他ノモノ)			
獨	(内裝共斤)	四、八〇二	
白	三、〇一一	二、九四四	
計	一〇、九八三	七、一四六	
輸入品第六類要計表			
支	—	八四九、四一六	
關	—	四三五、七五八	
印	—	七八、七二三	
海	—	七一四、六五一	
關印	—	二八一、六五一	
比	—	一、九〇四	
遲	—	一五、四八二	
英	—	四〇二、二四六	

佛	—	八九、四〇四	
獨	—	八七、八一七	
白	—	一二、四五三	
伊	—	九、四四一	
瑞	—	一四、八六二	
澳	—	一七一	
和	—	三、五九一	
典	—	八五	
露	—	二六、二六六	
合	—	五六四、六四八	
智	—	五〇〇	
亜	—	二、八一六	
南米	—	一七、〇七七	
喜	—	九	
弗	—	八一三、九一八	
濠	—	九七、九二五	
新	—	五三、八七二	
假	—	二七〇	
不	—	一五、八七一	
計	—	五、三九〇、八五五	
天然藍(乾キタルモノ)			
印	二、六四一(斤)	五、一六二	
關印	三、〇八四	六、三〇〇	
計	五、七二五	一一、四六二	
餅紅花			
支	五、一五二(斤)	三、三一三	
其他ノ餅紅花			
支	一、四九八(斤)	七二一	

海	—	四、一二七	
計	—	五六、六二五	
鹽基性染料			
獨	—	二、八〇九	
直接染料			
獨	—	二、〇三八	
酸性染料			
獨	—	六〇(斤)	
媒染染料及酸性媒染染料			
獨	(〇、一六七K)	〇(斤)	三
硫化染料			
獨	(〇、四三K)	〇(斤)	六
油解染料			
獨	—	七六(斤)	四八一
酸化コバルト(呉須ヲ含ム)			
支	—	四二四(斤)	五三七
英	—	三、二〇四	二〇、六六二
獨	—	一、二五一	五、七八〇
計	—	五、二六九	二六、九七九
金液			
合	一、二五六、三五二(瓦)		二七四、一九八
青銅粉其他類似ノ金屬粉			
英	—	八二(斤)	二七一
獨	—	八、二四五	二、〇九六
合	—	一、三五一	一、三五一

計	—	九、四三〇	二、九一八
プラッシアンブリユー			
獨	二、〇〇〇(斤)	八六二	
合	一、一〇二	一、〇六五	
計	三、一〇二	一、九二七	
群青			
支	一〇〇(斤)	二五	
英	三五六	一六九	
獨	五〇	一八二	
計	五〇六	三七六	
鉛白鉛丹及リサージ			
獨	五八〇(斤)	二五	
硫化バリウム			
獨	六八、七九〇(斤)	三、八八六	
不	六三、二七六	四、三九五	
計	一三二、〇六六	八、二八一	
酸化チタニウム			
佛	一八三(斤)	七〇	
白亜ホワイチング			
英	一一四、〇八七(斤)	九、四一〇	
獨	八、三三三	七七三	
計	一二二、四三〇	一〇、一八三	
鶏冠石及雄黄			
支	四八〇(斤)	二四〇	
雌黄及ドラゴンスグラッド			
合	七六〇(斤)	四七一	
カーボンブラック			
合	一、七〇一(斤)	六四七	
不	八九〇	三三三	
計	二、五九一	八七〇	
漆			
支	九五五、一三九(斤)	一、七三〇、二四二	
佛印	一九、四四三	一七、八二四	
計	九七四、六二三	一、七四八、〇五六	
ヴアニシュ			
英	九七(斤)	三一六	
佛	六六	八一	
獨	八〇	三七	
合	一、六八八	三、三二一	
加	六三五	六六六	
計	二、五六八	四、三二一	
ホタール			
支	二〇、七二〇(斤)	一、四八六	
アスフアルト			
關	一、三五四(斤)	九六	
合	二〇七、四五七	九、七五九	
計	二〇八、九八一	九、八五五	
道路修築用コールタールピッチ又ハアスフアルト製品			
合	四七、五二一	一、四一三	

計	—	一、〇〇八	
カーボンブラック			
合	一、七〇一(斤)	六四七	
不	八九〇	三三三	
計	二、五九一	八七〇	
漆			
支	九五五、一三九(斤)	一、七三〇、二四二	
佛印	一九、四四三	一七、八二四	
計	九七四、六二三	一、七四八、〇五六	
ヴアニシュ			
英	九七(斤)	三一六	
佛	六六	八一	
獨	八〇	三七	
合	一、六八八	三、三二一	
加	六三五	六六六	
計	二、五六八	四、三二一	
ホタール			
支	二〇、七二〇(斤)	一、四八六	
アスフアルト			
關	一、三五四(斤)	九六	
合	二〇七、四五七	九、七五九	
計	二〇八、九八一	九、八五五	
道路修築用コールタールピッチ又ハアスフアルト製品			
合	四七、五二一	一、四一三	

計	—	三八五	
カーボンブラック			
合	一、七〇一(斤)	六四七	
不	八九〇	三三三	
計	二、五九一	八七〇	
漆			
支	九五五、一三九(斤)	一、七三〇、二四二	
佛印	一九、四四三	一七、八二四	
計	九七四、六二三	一、七四八、〇五六	
ヴアニシュ			
英	九七(斤)	三一六	
佛	六六	八一	
獨	八〇	三七	
合	一、六八八	三、三二一	
加	六三五	六六六	
計	二、五六八	四、三二一	
ホタール			
支	二〇、七二〇(斤)	一、四八六	
アスフアルト			
關	一、三五四(斤)	九六	
合	二〇七、四五七	九、七五九	
計	二〇八、九八一	九、八五五	
道路修築用コールタールピッチ又ハアスフアルト製品			
合	四七、五二一	一、四一三	

計	—	三八五	
同(印刷用液泥狀樽入其他ノモノ)			
英	二、〇〇〇(斤)	三五七	
同(印刷用液泥狀其他ノモノ)			
英	(容器共斤)	八四	五〇
佛	六六	八一	七
合	一、六八八	三、三二一	三五
不	五三九	一、九一七	一四〇
計	二、五六八	六六六	六三
同(印刷用固形ノモノ)			
佛	五六〇(斤)	一、九九五	
インキ(其他)			
英	二(斤)	九	
墨及朱墨			
支	四三(斤)	七三	
畫筆及テーラースチョーク			
英	三六、二五四(斤)	二三、〇六五	
和	二一〇	二八四	

計	—	九、四三〇	二、九一八
プラッシアンブリユー			
獨	二、〇〇〇(斤)	八六二	
合	一、一〇二	一、〇六五	
計	三、一〇二	一、九二七	
群青			
支	一〇〇(斤)	二五	
英	三五六	一六九	
獨	五〇	一八二	
計	五〇六	三七六	
鉛白鉛丹及リサージ			
獨	五八〇(斤)	二五	
硫化バリウム			
獨	六八、七九〇(斤)	三、八八六	
不	六三、二七六	四、三九五	
計	一三二、〇六六	八、二八一	
酸化チタニウム			
佛	一八三(斤)	七〇	
白亜ホワイチング			
英	一一四、〇八七(斤)	九、四一〇	
獨	八、三三三	七七三	
計	一二二、四三〇	一〇、一八三	
鶏冠石及雄黄			
支	四八〇(斤)	二四〇	
雌黄及ドラゴンスグラッド			
合	七六〇(斤)	四七一	
カーボンブラック			
合	一、七〇一(斤)	六四七	
不	八九〇	三三三	
計	二、五九一	八七〇	
漆			
支	九五五、一三九(斤)	一、七三〇、二四二	
佛印	一九、四四三	一七、八二四	
計	九七四、六二三	一、七四八、〇五六	
ヴアニシュ			
英	九七(斤)	三一六	
佛	六六	八一	
獨	八〇	三七	
合	一、六八八	三、三二一	
加	六三五	六六六	
計	二、五六八	四、三二一	
ホタール			
支	二〇、七二〇(斤)	一、四八六	
アスフアルト			
關	一、三五四(斤)	九六	
合	二〇七、四五七	九、七五九	
計	二〇八、九八一	九、八五五	
道路修築用コールタールピッチ又ハアスフアルト製品			
合	四七、五二一	一、四一三	

エザルモノ）（容器共斤）　合　五六　四四

同（其他）　合　七、八五〇（斤）　三、二九九

バッテー　合　五九二（斤）　二九四

其他ノ類似ノ塡充料　合　四五三（斤）　三七

封蠟　英　四五四（斤）　一、二一六

其他ノ染料及顔料　支　四〇、三二六（斤）　三二、一四六

關　二〇、七四五　三一

英　一七、三五六　四、五六七

獨　一九、〇三五　一七、六七二

合　六、七九九　一三、二四三

計　四八、一二〇　三八、九二九

其他ノ塗料　關　八一（斤）　四〇

獨　三五七　一三五

合　二六、七六九　三、二一一

計　二九、三八七　三三、二八四

輸入第七類要計表　支　一、七四九、八六三　一、三九五

關　一　一

印　一　一

海關印　一　一

佛印　一　一

英　六、一〇〇　一、八一四

佛　三、五二八　一四、一七四

獨　六、三五九　三六、一三〇

和　一　一

合　一　一

加　一　一

不　一　一

計　二、二九九、六四七

寶

綿

印　二、八九六（擔）　四六、三〇八

海關印　五、〇〇七　八一、六九七

弗　三九　八五、〇六六

計　二、三九五　五、七九八

綿

支　二一〇　四二六（擔）　二九七、九二七

印　七六四、一五五　二七、六三五、七二一

蘭印　三四　一、五六三

合　二三、四四六　三、三二一

弗　一、四八〇、四二五　一九、〇三五

不　三〇八　四、七六九

計　五七、八六二、三六四

綿織絲（單撚及雙撚生二十四番ヲ超エザルモノ）　支　一、九五四（斤）　三九七、八五八（斤）　三五、六三三

關　三〇〇　三二四

計　三九八、一五八　三五、八九六

同（單撚及雙撚生四十二番ヲ超エザルモノ）　支　一二、二四〇（斤）　一〇七、三〇五

同（單撚及雙撚生八十番ヲ超エザルモノ）　英　三〇五（斤）　九二五

同（單撚及雙撚生其他）　英　二九六（斤）　一、二七一

同（單撚及雙撚其他二十四番ヲ超エザルモノ）　關　二五四（斤）　三二

綿絲及綿線（絕造其他）　英　二一八　七六三

佛　二、六四一　三二、〇三五

計　二、八九九　三三、七九八

同（其他ノ其他）（心又ハ糸巻共斤）　合　二四三　八四三

亞麻苧麻及ラミー　支　六一、六七五（擔）　一、八四三、七六三

大麻黃麻及マニラヘンプ　支　四二、五五四（擔）　八五九、六三八

關　二、九七六　三一、四九九

計　六四、二五三　九六四、三五五

其他ノ線繩索組紐及組繩（綿製）　佛　二（斤）　三　八

合　五　二

計　七　二

同（亞麻苧麻ラミー大麻マニラヘンプンー又ハ二以上ニテ製シタルモノ）　支　二、七〇〇（斤）　五六〇

關　一五、〇四三　三、九二八

英　三　二

瑞　一七　三一

合　二、二四八　一八、九八三

計　二〇、二五五　三三、二九三

同（染メザルモノ又ハ捺染セザルモノ梳毛糸其他）　英　四、七六三（斤）　八、三五一

同（染メザルモノ又ハ捺染セザルモノ紡毛ノモノ）　英　四、五二九（斤）　四三、三〇三

同（其他梳毛糸三十二番ヲ超エザルモノ）　英　三、二〇九（斤）　四〇、一七三

計　六四、二五三　九六四、三五五

其他ノ線繩索組紐及組繩（綿製）　佛　二（斤）　三　八

合　五　二

計　七　二

同（亞麻苧麻ラミー大麻マニラヘンプンー又ハ二以上ニテ製シタルモノ）　支　二、七〇〇（斤）　五六〇

關　一五、〇四三　三、九二八

英　三　二

瑞　一七　三一

合　二、二四八　一八、九八三

計　二〇、二五五　三三、二九三

同（其他）　支　三〇、〇五六（斤）　八、〇四八

合　六三　一一〇

計　三〇、一五八　八、一五八

故線繩索組紐及組繩　支　七七、二三二（斤）　二一、三四九

英　一四、三二五　一、〇一八

計　九一、四四七　一三、三六七

輸入品第八類要計表　支　一〇、八五四、六二四　四七、一四一

關　一　一

合　五八五　一、五二六

不　四八九　一二五

計　一、〇七四　二七五

アーチストカラー及アーチストペーント（メタルチウブ入）（容器共斤）　獨　八三〇　一、六七七

合　一、九七九　四、四二〇

計　二、八〇九　六、〇九七

コッパーペーント其他類似船底塗料　關　三六八（斤）　九二

英　二、一〇九　七、三一八

獨　一、六七七　五三九

合　三四〇　二二三

計　三、四八六　八、六三三

バテントドライヤー　英　五五〇（斤）　一八三

エナメルペーント（容器共斤）　英　六五、七三　三

合　三七、〇四〇　三

不　七　五

計　六五、七二一　三七、〇八八

其他ペーント（一個ノ重量容器共六キログラム超過ノ計）　關印　一〇　三〇〇

計　四五、七四〇　八九一、四三七

其他ノ植物織維　支　二、三六八（擔）　三三四、一七三

關印　六、三三三　一〇八、五八七

佛印　二〇　二七

合　一四　一六八

不　一四　一四四

計　一八、七五二　四四三、四四九

黃麻織絲　關　六、七四四（斤）　一、九四七

羊毛（カード又ハコームシタルモノ）　支　一九五（擔）　三〇、七五一

同（其他）　支　一、三三三（擔）　八三、四六九

關　四七　二、三五五

英　一　七〇

弗　五八〇　七五、六八一

濠　一、六四四、八六二　二四、八二〇

不　一　一

計　一、六六、八二三　二三、四六八、一四三

山羊毛及駱駝毛（カード又ハコームシタルモノ）　支　一六三（斤）　一五〇

同（其他）　支　六五、七三三（斤）　三六、一二九

關　七〇、一〇三　二、六七七

計　七〇、一〇三　二、六七七

毛織絲（染メザルモノ又ハ捺染セザルモノ番手ノ異リタル糸ヲ撚合セタルモノ及輪糸）　英　九〇七（斤）　二、〇〇三

同（染メザルモノ又ハ捺染セザルモノ梳毛糸三十二番ヲ超エザルモノ）　英　六四、一五六（斤）　一四五、八五七

佛　五六、一四六　一六〇、八四八

計　一二〇、三〇三　三〇六、七二五

同（染メザルモノ又ハ捺染セザルモノ梳毛糸其他）　英　四、七六三（斤）　八、三五一

同（染メザルモノ又ハ捺染セザルモノ紡毛ノモノ）　英　四、五二九（斤）　四三、三〇三

同（其他梳毛糸三十二番ヲ超エザルモノ）　英　三、二〇九（斤）　四〇、一七三

亞麻布苧麻布ラミー布及大麻布（綿入共）

關	二四八（方碼）	一七九	
英	九〇一	二、一三五	
獨	六、三六	一、三七六	
合計	三六二	五三	
	七、七五九	三、七四二	

其他ノ麻織物

支那	五、五九九（方碼）	一、七八一	
英	一三、四九九	二、〇五一	
合計	九、〇四八	二、八三三	

毛天鵞絨及プラッシュ類

佛	一、六七四（方碼）	五、五七四	
獨	一四八	二八九	
合計	七一	五二	
	七〇	一〇	

毛製ラシヤ及セルヂ類（二百瓦以下）

關	四二（方碼）	六六二	
英	一九、二八三	四、〇八四	
佛	二〇、五二五	四、七九	
獨	七、〇四八	一、四五九	
合計	三四四、五七七	八〇、八三三	

毛製ラシヤ及セルヂ類（五百瓦以下）

關	一、〇〇五	一、二四〇	
英	五、四三七	二、四九四	
瑞	一	一	
不合計	六、六二	一	
	一一〇、八三〇	五六、六〇八	

生金巾及生シーチング

英	九、三二	六、六二	
獨	一、三七六	一	
合計	三六二	五三	
	七、七五九	三、七四二	

其他ノ手織布（生）

支那	三三〇（方碼）	三〇	
印	八八	一三	
合計	七二	二五	
	三九）	六八	

晒金巾及晒シーチング

英	四二、〇三五（方碼）	一八、〇三七	
不合計	二三五	五二	
	四二、二五〇	一八、〇八九	

其他ノ手織布（漂白）

英	五、三〇七（方碼）	三、三一七	
獨	一九、〇八一	二四七	
佛	二六、五二三	四、〇八四	
獨	八、六八五	一、四七九	
瑞	四五、四四〇	三三、四五九	
合	三、九五〇	一、一六四	
不計	五二三	七六二	
	一一〇、八三〇	五六、六〇八	

其他ノ手織布（其他）

關	一九八（方碼）	一四七	
英	五二、〇八一	二六、五二三	
佛	八、六八五	四、〇八四	
獨	九八四	四七九	
瑞	四五、四四〇	三三、四五九	
合	三、九五〇	一、一六四	
不計	五二三	七六二	
	一一〇、八三〇	五六、六〇八	

綿紋織布及紗織布

英	三三、二七一（方碼）	一九、九八六	
佛	一、七九七	二、八九二	
獨	三七八	五六三	
白	三、九九八	五、六六七	
合	二九八	一〇三	
不計	六〇	二八	
	二八、七八二	二九、二五九	

其他ノ綿織物（漂白）

英	七、二五（方碼）	二、一四四	
合計	八	三	
	七二	二、二六七	

綿イタリアンス及綿繻子類

關	六五五（方碼）	二八六	
英	七四、四三一	二四、一四三	
獨	三七	一三	
瑞	一、五三一	一五二	
不計	七六、四三八	二四、一四三	

（其他ノ綿織物ハ本項末ニ記載セリ）

黃麻布

關	六三、七五〇（方碼）	一〇、八四〇	
印	四、三三一	一、三四〇	
合計	八九三	二七五	
	九、〇一〇	三、一〇一	

フランネル類搦織布及縮等

不計	一九三（方碼）	八七	
英	二、八四六	一、二五	
佛	二	一	

天鵞絨ブラッシュ類

英	一〇、七三二（方碼）	二四、六七三	
獨	一、三五二	五二	
佛	五、四三五	二、〇三六	
獨	一六、〇七三	六、三四二	
伊	九、九三一	三、四五一	
和	二、一三六	七五	
合	八九八	三三	
計	七一〇	二五	
	五七、四四〇	二〇、七四二	

其他ノ綿織物（漂白）

英	七二五（方碼）	二、一四四	
合	八	三	
計	七二	二、二六七	

綿イタリアンス及綿繻子類

關	六三五（方碼）	二八六	
英	七四、四三一	二四、一四三	
獨	三七	一三	
瑞	一、五三一	一五二	
不計	七六、四三八	二四、一四三	

（其他ノ綿織物ハ本項末ニ記載セリ）

黃麻布

關	六三、七五〇（方碼）	一〇、八四〇	
印	四、三三一	一、三四〇	
合計	八九三	二七五	
	九、〇一〇	三、一〇一	

毛製ラシヤ及セルヂ類（二百瓦以下）

關	四二（方碼）	六六二	
英	一九、二八三	四、〇八四	
佛	二〇、五二五	四、七九	
獨	七、〇四八	一、四五九	
瑞	四五、四四〇	三三、四五九	
合	三、九五〇	一、一六四	
不計	五二三	七六二	
	一一〇、八三〇	五六、六〇八	

毛天鵞絨及プラッシュ類

英	一、六七四（方碼）	五、五七四	
佛	一四八	二九九	
獨	七一	二五	
合計	二七	一〇	
	七〇〇	二、四九四	

毛製ラシヤ及セルヂ類（二百瓦以下）

關	四二（方碼）	六六二	
英	一九、二八三	四、〇八四	
佛	二、一二五	四七九	
獨	一、六八五	四五九	
瑞	四五、四四〇	三三、四五九	
合	三、九五〇	一、一六四	
不計	五二三	七六二	
	一一〇、八三〇	五六、六〇八	

毛製ラシヤ及セルヂ類（五百瓦以下）

關	一、〇〇五	一、二四〇	
英	五、四三七	二、四九四	
瑞	一	一	
不計	六、六二	一	
	一一〇、八三〇	五六、六〇八	

生金巾及生シーチング

英	九、三二	六、六二	
獨	一、三七六	一	
合計	三六二	五三	
	七、七五九	三、七四二	

其他ノ手織布（生）

支那	三三〇（方碼）	三〇	
印	八八	一三	
合計	七二	二五	
	三九）	六八	

晒金巾及晒シーチング

英	四二、〇三五（方碼）	一八、〇三七	
不計	二三五	五二	
	四二、二五〇	一八、〇八九	

其他ノ手織布（漂白）

英	五、三〇七（方碼）	三、三一七	
獨	一九、〇八一	二四七	
佛	二六、五二三	四、〇八四	
獨	八、六八五	一、四七九	
瑞	四五、四四〇	三三、四五九	
合	三、九五〇	一、一六四	
不計	五二三	七六二	
	一一〇、八三〇	五六、六〇八	

其他ノ手織布（其他）

關	一九八（方碼）	一四七	
英	五二、〇八一	二六、五二三	
佛	八、六八五	四、〇八四	
獨	九八四	四七九	
瑞	四五、四四〇	三三、四五九	
合	三、九五〇	一、一六四	
不計	五二三	七六二	
	一一〇、八三〇	五六、六〇八	

綿紋織布及紗織布

英	三三、二七一（方碼）	一九、九八六	
佛	一、七九七	二、八九二	
獨	三七八	五六三	
白	三、九九八	五、六六七	
合	二九八	一〇三	
不計	六〇	二八	
	二八、七八二	二九、二五九	

其他ノ綿織物（漂白）

英	七、二五（方碼）	二、一四四	
合計	八	三	
	七二	二、二六七	

綿イタリアンス及綿繻子類

關	六三五（方碼）	二八六	
英	七四、四三一	二四、一四三	
獨	三七	一三	
瑞	一、五三一	一五二	
不計	七六、四三八	二四、一四三	

（其他ノ綿織物ハ本項末ニ記載セリ）

黃麻布

關	六三、七五〇（方碼）	一〇、八四〇	
印	四、三三一	一、三四〇	
合計	八九三	二七五	
	九、〇一〇	三、一〇一	

フランネル類搦織布及縮等

不計	一九三（方碼）	八七	
英	二、八四六	一、二五	
佛	二	一	

天鵞絨ブラッシュ類

英	一〇、七三二（方碼）	二四、六七三	
獨	一、三五二	五二	
佛	五、四三五	二、〇三六	
獨	一六、〇七三	六、三四二	
伊	九、九三一	三、四五一	
和	二、一三六	七五	
合	八九八	三三	
計	七一〇	二五	
	五七、四四〇	二〇、七四二	

毛綿製ラシヤ及セルヂ（二百瓦以下）

關	六二（方碼）	六六二	
英	一九、九六三	四、〇八四	
佛	二、〇六四	四七九	
獨	九、四八四	一、四五九	
白	六八六、九九六	二三四、一四三	
和	六六七、六六一	二三四、一四三	
不計	三八六	一三四	
	八九〇、六七一	三〇七、二五六	

同（其他）

英	一九、四四二（方碼）	七二、七四一	
獨	二四、九九七	八五、四六五	
計	四四、四三九	一五六、一〇六	

毛綿製ラシヤ及セルヂ（二百瓦以下）

關	六六二（方碼）	六六二	
英	一九、七四一	四、〇八四	
佛	二、〇六四	四七九	
獨	九、四八四	一、四五九	
白	六八六、九九六	二三四、一四三	
和	六六七、六六一	二三四、一四三	
不計	三八六	一三四	
	八九〇、六七一	三〇七、二五六	

同（五百瓦以下）

英	六九四、六七二（方碼）	七七二、七八六	
佛	三九四	一三五	
獨	二一、九八一	七、五三	
計	七一七、〇四七	二四五、九三	

同（其他）

英	五五七、一四三六（方碼）	一九二、八六四	
獨	五〇、二〇一	一七、二五九	

支那	七六（方碼）	二三〇	
英	七〇六、七九〇	一	
佛	一九、九六三	四三、三一一	
獨	一四〇、一二六	三九、六一〇	
白	一、〇八五	二、四四六	
和	二、二四五	一、九五六	
不計	三八六	七四六	
	八九〇、六七一	二、二九、七三六	

同（其他）

英	一九、四四二（方碼）	七二、七四一	
獨	二四、九九七	八五、四六五	
計	四四、四三九	一五六、一〇六	

毛綿製ラシヤ及セルヂ（二百瓦以下）

關	六六二（方碼）	六六二	
英	一九、七四一	四、〇八四	
佛	二、〇六四	四七九	
獨	九、四八四	一、四五九	
白	六八六、九九六	二三四、一四三	
和	六六七、六六一	二三四、一四三	
計	三八六	一三四	
	八九〇、六七一	三〇七、二五六	

同（五百瓦以下）

英	六九四、六七二（方碼）	七七二、七八六	
佛	三九四	一三五	
獨	二一、九八一	七、五三	
計	七一七、〇四七	二四五、九三	

同（其他）

英	五五七、一四三六（方碼）	一九二、八六四	
獨	五〇、二〇一	一七、二五九	

油布及リノリユーム

英	一五七、六六四（斤）	六九、九四七	
獨	二九、四一三	九、五一四	
瑞	八	二	
和	六、九六四	二、三〇五	

ブックバインダークロース

獨	一、九七七（斤）	一、二四七	

其他ノ布帛

支那	一	一	
英	一二七、六五五	四九、二四四	
佛	一四	一七	
計	一二七、八二九	四九、二六一	

天鵞絨ブラッシュ類（絹製又ハ絹入）

英	四、二七一（方碼）	一、六八六	
獨	五、六四八	一、二〇四	
瑞	九四	二〇九	
計	一〇、〇一三	三、二七九	

ブックバインダークロース

獨	一、九七七（斤）	一、二四七	

油布及リノリユーム

英	一五七、六六四（斤）	六九、九四七	
獨	二九、四一三	九、五一四	
瑞	八	二	
和	六、九六四	二、三〇五	

其他ノ布帛

支那	一	一	
英	一二七、六五五	四九、二四四	
佛	一四	一七	
計	一二七、八二九	四九、二六一	

天鵞絨ブラッシュ類（絹製又ハ絹入共）

英	四、二七一（方碼）	一、六八六	
獨	五、六四八	一、二〇四	
瑞	九四	二〇九	
計	一〇、〇一三	三、二七九	

ブックバインダークロース

獨	一、九七七（斤）	一、二四七	

油布及リノリユーム

英	一五七、六六四（斤）	六九、九四七	
獨	二九、四一三	九、五一四	
瑞	八	二	
和	六、九六四	二、三〇五	

其他ノ布帛

支那	一	一	
英	一二七、六五五	四九、二四四	
佛	一四	一七	
計	一二七、八二九	四九、二六一	

天鵞絨ブラッシュ類（絹製又ハ絹入）

英	四、二七一（方碼）	一、六八六	
獨	五、六四八	一、二〇四	
瑞	九四	二〇九	
計	一〇、〇一三	三、二七九	

其他ノ綿織物

英	八三、二四九（方碼）	四九、〇三七	
佛	三、三六六	一、〇三三	
獨	五二六	四九九	
合計	八〇七	二五九	
	九四、一三八	五五、八三八	

其他ノ布帛

支那	一	一	

ガンニー嚢

關	一	一	
英	一〇	一	
計	二七、八二九	一一	

ホース及機械用ベルチング

合計	二七（斤）	四二	
	七九、三八〇（斤）	三一、四〇〇	

ガンニー嚢（故）

關印	一	一	
英	一〇	一	
計	二七、八二九	一一	

襤褸

支那	四六、八〇一	一七、八六六	
關	三七二	一四二	
英	一八〇	六九	
合計	二、〇一四	一、一七九	
	五九、一七九	二三、一四九	

其他ノ綿織物

英	八三、二四九（方碼）	四九、〇三七	
佛	三、三六六	一、〇三三	
獨	五二六	四九九	
合計	八〇七	二五九	
	九四、一三八	五五、八三八	

其他ノ布帛

支那	一	一	

關		一四四、六七五	
英		三三七、〇四〇	
佛		三、七九〇	
獨		五六、七九一	
瑞		一七九、〇六二	
和		一、六八四	
合		二四四、七六六	
加		一一	
不		一七三	
計		六〇六、七六三	

其他ノ布帛製品

支		三八	
關		一〇	
印		五	
海		一四、九四六	
英		一二五	
佛		一九、一〇〇	
獨		一九	
白		九六	
瑞		五〇	
澳		一、一六〇	
和		三、八七三	
合		四九、七二七	
計		三九、三四九	

輸入品第九類要計表

支		三、九八五	
關		二六、〇五〇	
印		七、二〇九	

海		五	
關印		一	
英		五、〇八九、四五三	
佛		八六、一〇八	
獨		七五四、六二四	
白		八、二七	
伊		一五、四五五	
瑞		三二四、八四四	
澳		五〇	
和		八、二七九	
合		一五一、六七七	
加		一一	
工		一〇	
不		四、三九六	
計		六、五八三、八一三	

雨衣（絹製又ハ絹入ノモノ）

合	三（斤）	一〇	

メリヤス製肌衣（綿製）

合	（打及斤）二（斤）	九	

同（毛製又ハ毛綿製ノモノ）

英	（一九）一三	（打及斤）七九一	

其他ノ肌衣（其他）

合	二（打）	三七	

手袋（革製ノモノ）

英	四（斤）	五八	
合	二〇	四五	
計	二四	一〇三	

同（綿製亞麻製綿亞麻製毛製又ハ毛綿製ノモノ）

獨	三〇（斤）	四三八	
瑞	一七	四五	
計	四七	四八三	

同（讃謨製ノモノ）

合	四五（斤）	八四九	

足袋（綿製毛製又ハ毛綿製ノモノ）

英	九六（斤）	一、二四九	
佛	五〇八	一、一九七	
瑞	一九	五一	
計	六三	二、四九七	

同（絹製又ハ絹入ノモノ）

英	一（斤）	四	

マフラー（其他）

英	四（斤）	六六	
瑞	（〇、四七斤）〇	一	
計	四	六七	

肩掛及襟卷（綿製亞麻製苧麻製毛製又ハ毛綿製ノモノ）

英	（一九）一三	（打及斤）七九一	

同（毛製又ハ毛綿製ノモノ）

合	（一/二打）二（斤）	九	

メリヤス製肌衣（綿製）

合	三（斤）	一〇	

雨衣（絹製又ハ絹入ノモノ）

關		五	
英		一	
佛		五、〇八九、四五三	
獨		八六、一〇八	
白		七五四、六二四	
伊		八、二七	
瑞		一五、四五五	
澳		三二四、八四四	
和		五〇	
合		八、二七九	
加		一五一、六七七	
工		一一	
不		一〇	
計		四、三九六	

同（絹製ノモノ）

英	二（斤）	一八〇	
合	二（斤）	五九	
計	二（斤）	五九	

襟飾（絹製又ハ絹入ノモノ）

英	二〇（斤）	六三	
佛	三	三一	
計	三	六五四	

衣服用ベルト（其他革製ノモノ）

瑞	一（斤）	六	

衣服用ベルト（其他ノ其他）

瑞	一（斤）	五	
不	三）	四六	
計	三一	五一	

帽子及帽體（其他絹製又ハ絹入シルクハット及オペラハット）

英	五（打）	一、一三	

同（其他フエルト製帽子羊毛製ノモノ）

英	一四一（打）	九、三九六	
瑞	二	一三	
計	一四三	九、四〇九	

同（其他フエルト製帽子其他）

英	一四（打）	一、三五三	

同（其他フエルト製帽體其他羊毛製ノモノ）

獨	一二〇（打）	九九六	
伊	六〇	七三三	
瑞	一六九	一、二一六	
計	三八九	三、一〇五	

同（其他麥稈製經木製又ハ混製ノモノ）

合	一（打）	五	
不	八	一四	
計	九	一九	

同（其他ノ其他布帛製又ハメリヤス製キヤップ）

瑞	五（打）	四五	

其他ノ帽子及帽體

支	一〇、八五〇（打）	六、七一四	
印	（三個）〇	三	
英	二九	四五一	
伊	一	一四	
瑞	（一個）〇	一	
合	二	二六	
計	一〇、八九一	七、二〇九	

短靴（革製ノモノ）

英	六（斤）	四一	
伊	〇	三	
瑞	三	三〇	
合	四	一六	
計	三	九〇	

同（帆布製其他）

瑞	六（斤）	七	

護謨製被覆靴

獨	一、一〇〇（斤）	二、三三七	

スリッパー（其他）

支	四〇（斤）	一四	

其他ノ履物

印	一三（個）	一	
澳	三	五	
計	一五	六	

釦卸（包）

	（内裝共斤）三七〇	三、一二七	
英			

同（金屬製）

獨	（内裝共斤）三五二、六八〇	五四、六九四	
合	一、六三二	五、七五六	
計	三七、三一三	六〇、四五〇	

同（アイヴオリーナット製）

獨	五二	四八〇	
伊	二、三五一	九七一	
合	二、一五三	一、〇九一	
計	五、七四九	二、〇七一	

身邊粧飾用細貨類

支		二	
英		三、七一〇	
瑞		一三	
智		三七一	
合		一、三一八	
加		二	
不		一六	
計		五、四三一	

其他ノバックルフック及アイ類

獨	一、六九六（斤）	一、〇六一	
伊	二五三	二六九	
合	三	一〇九一	
計	三一、八八	二、四三三	

其他ノ衣類同附屬品及其部分品（毛皮絹貴金屬貴石等ヲ用ヒ又ハ刺繍シタルモノ）

支		一四六	
關		三〇九	
佛		七	

バックル

	（内裝共斤）	一、七四六	
伊	二（斤）	一、二一四	
計	三三	三、九五三	

同（其他）

獨	二、二四二（斤）	一、二一四	
伊	三三	三五八	
計		一、四六二	

同（陶器又ハ硝子製）

獨	（内裝共斤）九九	三五六	
チ	五三	一八	
計	一五二	四七四	

フック及アイ

獨	（内裝共斤及斤）一、三三一	一、二四七	
合	一六	一五	三一
計	一、三四八	一、六二二	一、六一七

シューフック及シューアイレット

關	（内裝共斤及斤）三〇六	二四九	七七九

合　五
不　二
計　四六九

其他ノ衣類同附屬品及其部分品（其他）

支　八
英　一、一八八
獨　九二四
瑞　五九八
チ　一〇六
合　八五五
計　三、七一三

輸入品第十類要計表

支　六、九五七
關　一、〇八八
印　四
英　二、四〇〇
佛　二、九八一
獨　六六、八三
伊　七、三〇九
瑞　七四四
澳　五
チ　二、一一
合　一五、九六七
計　二七、四九九

其他ノ製紙用パルプ

英　一〇三
合　二（擔）
計　一、二五三

印刷料紙（アートペーパー）

英　六九二
獨　二、四四六
典　五三〇
合　一
計　三、〇〇三

印刷料紙（其他有色ノモノ）

英　五七六（擔）
獨　一、二〇三
典　一、八九〇
計　四、〇九九

印刷料紙（其他ノ其他平方米ノ重量五六グラム以下）

英　三九九（擔）
獨　一、二四四
和　四、二八〇
典　二、七三〇
諸　四四二
合　一、三五一
計　一六七、四四五

印刷料紙（其他其他）

關　一、一五六
英　六六二
獨　三、二九一
和　一、七二一
典　二八二
諸　六、六七三
計　一五、八三七（斤）

模造日本紙及チッシューペーパー

英　三（擔）
佛　（二九斤）　〇
獨　七七三
典　三、三〇七
諸　二、七五八
不　二
計　六、八四三

模造羊皮紙類（其他）

英　一六（擔）
獨　一、二九五
典　一、〇八〇
諸　二
計　三、四一三

トレシングペーパー

獨　八一五（擔）　七〇九

油紙

獨　（二斤）　〇（擔）　五一

リントランスファーペーパー

佛　八八八（斤）　二、二六九

其他ノ紙（其他ノ金屬ノ箔又ハ粉ヲ用ヒタルモノ）

佛　四九五（斤）　一、七九二
獨　一、三六八　四、六三三
白　五二三　二〇〇
計　二、二六六　二、二五三

其他ノ紙（表面ニ着色押形付ノモノ）

獨　一五三（擔）　四、六三三

其他ノ紙（表面着色其他）

英　五（擔）　一、三五〇
獨　三八〇　二、三九一
白　一八九　五、二四七
澳　一九　四三四
典　二四　六九一
合　（七斤）　〇　五
不　三〇　九〇〇
計　六四七　一八、八一八

其他ノ紙（捺染ニ押形ヲ付シタル）

合　一（擔）　一五六

其他ノ紙（捺染シタルモノニシテ其他）

獨　八四四（擔）　二、四九九

其他ノ紙（其他縮揉シタルモノ）

獨　九八（斤）　二四

其他ノ紙（其他ノ金屬ノ箔又ハ粉ヲ用ヒタルモノ）

典　一九　一、七五五
計　五六二　三、一三〇

包裝用紙及爨寸用紙

英　三七一（擔）　五、二四〇
獨　七、四〇四　二五、一二五
和　（八斤）　〇　二
典　三五三、七〇四
諸　二、七九九　二、七二一
合　一三　一三
加　三、〇〇四　三六、〇二〇
不　三、二七五　四九、三五八
計　三五、八〇九　五、三四三
　　六六九、四〇二

壁紙

英　九、六八八（斤）
獨　二、七六八　一、四八八
白　一、三五五　一、〇六六
合　八、六二一　五、三一〇
計　三三、三五〇　一四、一三〇

板紙

英　二二三（擔）　三、四八九
獨　三五二　八、一四八
和　五九　九四〇
典　八二六　一五、四一五
諸　一、六四四　三三、九七七
合　（八）　四、〇五五
計　三五、八四四

唐紙

典　一九　一、七五五
計　五六二　三、一三〇

印刷料紙（其他其他）

關　一五九（擔）　一、八三九
英　二八、二五五
獨　一三、九五五
和　五六、九八二
典　二六、五一〇
諸　五、三二九
計　一三一、五一〇

筆記用紙

關　二八（擔）　八三九
英　三〇、九一三
獨　八九、九一七
和　一九四
典　一、三二四
合　三一、九八二
計　五五、〇六九

圖畫用紙

佛　一、三二八（斤）　五七四
獨　一、三五二　五八一
和　一、九八六　八五（擔）
計　四、六六六　二、〇〇五

プロシチングペーパー

佛　五四（斤）　一九
合　五九、三五五　一八、一五六
計　五九、三五七　一八、一七五

濾紙

獨　四四三（斤）　一、四四七

寫眞用紙（プロマイド及プラチナムペーパー）

（內裝共斤）

關　四〇　八八
英　一九、八七六　六七、〇四五
白　四七　一一〇
合　一〇、六〇七　二六七、九七八
計　一〇、五七〇　三五五、三三一

寫眞用紙（其他）

（內裝共斤）

英　七五九　一、六五〇

カーボンペーパー

（內裝共斤及斤）

英　五四　四一
獨　一七　八
合　八、六一〇　八三
計　八、六八一　一四、六九八
　　七、五四〇　一五、一九三

金剛砂紙

英　九二七（斤）　六二六
獨　九、九九七　二、四四七
瑞　三　三五
合　九〇〇　二、七〇九
計　二、八五七　五、八五一

ウォールドボード

獨　五四八（斤）　一六八
合　一〇、〇七〇　八二一
計　一〇、六一八　九七九

支　三五、八三七（斤）　一三六、二六七
關　一、五四八　二九四
計　二三七、三七五　一三六、五六一

模造日本紙及チッシューペーバー

英　三（擔）　八六
佛　（二九斤）　〇　三〇
獨　七七三　一三、八一五
典　三、三〇七　六九、一八〇
諸　二、七五八　五六、二四六
不　二　四一
計　六、八四三　一三九、三九八

模造羊皮紙類（其他）

英　一六（擔）　四八六
獨　一、二九五　三八、四九九
典　一、〇八〇　五二、九七一
諸　二　五七
計　三、四一三　九二、四八三

トレシングペーパー

獨　八一五（擔）　七〇九

油紙

獨　（二斤）　〇（擔）　五一

リントランスファーペーパー

佛　八八八（斤）　二、二六九

其他ノ紙（其他ノ其他）

支　三〇　四四
英　一　一
獨　九五九　一四、六九〇
典　一、二五三　九三
諸　一
計　一七、四三四

白紙帳簿（唐紙製）

支　九四（斤）　五八

白紙帳簿（其他其他）

伊　二（斤）　五
合　一〇九　一一四
計　一〇三

書式類

英　三（斤）　二
合　七三　二、九二一
計　七五六　二、九五四

書狀用紙（箱入ノモノ）

（箱共斤）

支　六　二四

書筒（其他）

支　一三（斤）　七
伊　三（斤）　六

レーベル（一斤）
關 五
英 一、三一
合計 一、三一
佛 一、八三
合 一一〇
和 二九
計 二、一七九
骨牌（五五〇斤）
和 一、三一
合 九四八
計 二、一七九
寫眞（一斤）
關 二
英 五一
獨 八
瑞 四六
典 二
和 二
合 二
計 五二
書籍（印刷シタル其他）
支 七八
關 三三
英 一、一九一
佛 三
獨 四、六八
瑞 四三
和 四
合 一
計 一五二
書畫（其他）
支 七二（個）
關 一
英 六
白 六
和 一
合 五三
不 五
計 一四三
ガードカレンダー及ブロックカレンダー
支 六八（斤）
印 八
英 一七四
合 五〇
計 二〇〇
繪葉書
關 二（斤）
和 〇
計 二
書籍及雜誌類
關 一、〇六〇（個）
支 一、〇六〇
印 一四、四七一
英 三九
海 一七
英 九四
佛 一、一三
獨 一
合 六、八五一
計 六、七八八

其他ノ紙製品及パルプ製品
支 四五
英 三四五
佛 一〇六
獨 四、一四八
白 八五六
瑞 二六
和 九六
合 六、一七二
計 二、九四
輸入品第十一類要計表
支 一四二、六五一
關 二一、二五
印 二五
海 一三七
英 一七五、三五五
佛 九、一六九
獨 三五四、〇一三
白 七、四八五
伊 一一
瑞 一三一
和 一三、一六九
典 九五、八八九
諾 一二九、六九
合 五五六、四五四

加 一〇三、〇八ノ
濠 一 一三五
不 一 六、四八九
計 一 二、一九三、五〇一
シリカサンド其他ノ砂及礫（其他）
支 一〇四、〇〇〇（斤） 一、八〇〇
關 三七、〇八一 六、九四四
印 一〇八、三八〇 九四五
海 一、九一六、〇一三 二一、〇三二
獨 一七〇 七
計 二、四四六、五五三 三〇、七七九
フリント
支 五一、六五三（斤） 七八〇
金剛砂其他ノ研磨用礦物材料
合 一二三（斤） 五六
カーボランダム其他ノ研磨用人造礦物材料
合 五六、一五八（斤） 一八、八九八
パスブリック
英 七、二五三（斤） 五九四
メタルポリッシュ（液狀又ハ泥狀ノモノ）
合 一、四三四（容器共斤） 五四五
メタルポリッシュ（其他容器ニ入レタルト否トヲ分タズ五百グラムヲ超ヘザルモノ）
英 三、二二一 一、二三八
瑞 五六 一七九
合 八〇 八五
計 一、四〇二 一、二三八
（容器共斤）
メタルポリッシュ（其他ノ其他）
合 一、七八〇（斤） 五七一
人造砥石（其他）
英 一五五（斤） 三九一
獨 一二〇 一七一
合 二三、八三二 二三、五五一
計 二四、一二八 二三、五五一
其他ノ砥石（天然ノモノニシテ枠柄等ヲ有セザルモノ）
英 四九（斤） 八二四
獨 五 九
合 三、二五五 三、二八五
計 四、一二八 三、二八五
其他ノ砥石（其他）
獨 三〇（斤） 二四

スレート及同製品（屋背用板）
支 三八、三七八（斤） 一、二八五
スレート及同製品（其他）
合 五五（斤） 三
リソグラフイックストーン（其他）
獨 七四、六六七（斤） 九、二〇一
合 四、〇七六 三一〇
不 九九九 二九〇
計 七九、二〇三 一〇、二一一
貴石（機械用又ハ工業用ニ供スルタメ形ツクリタルモノ）
關 二、二四 八〇（瓦）
英 四、五二七 四、五二七
瑞 七 六六
計 二、〇三四 四、六七七
貴石（其他）
印 一四（瓦） 三
佛 九〇 九四
獨 二、三五 二、三〇
不 三〇〇 二七〇
計 六七 六一六
半貴石及同製品（其他機械用又ハ工業用ニ供スルモノ）
英 三、七九九（瓦） 五三
半貴石及同製品（其他）
支 五、九二七（瓦） 一、〇七四
印 三三 六六
計 五、九九九 一、一四〇
石（工ヲ加ヘザルモノ又ハ單ニ割リタルモノ）
支 一九、六六九（擔） 二一、一五五
關 五二九 五八八
計 二〇、一九八 二二、八三
石製品（其他）
支 二六（擔） 六一〇
還 八 二九
英 （二〇斤） 〇 三五
獨 一 二四
伊 一 一〇〇
合 二 五四
計 一、一〇一
メーアシャウム及人造メーアシャウム製品
佛 四七（斤） 三五
石絨及石絨製品（塊粉及纖維狀ノモノ）
支 六、六二四（斤） 一九、五九
關 七九、三四〇 一六、七〇

印 八、五〇 一、四〇〇
英 一〇、〇三八 二、一五八
計 一七、九二二 四〇、〇七七

同（絲）

英 五七六（斤） 三二九
獨 三、六五七 四、二一一
計 四、二三三 四、四四〇

同（板）

英 一五四（斤） 三四
獨 一二九、四七二 一三、五七三
合 四二、三四八 六一、四二六
計 一六一、九四四 七五、〇三三

同（其他）

關 二、八四四（斤） 八二〇
英 四四三 一、三四三
獨 六四六 六八五
合 一三、五二七 四三、〇三三
計 一七、四一九 四五、八五〇

雲母（塊及粉）

獨 九、八九〇（斤） 二、五七五
支 一（斤） 二

同（板、着色又ハ粧飾セザルモノ）

印 二、五七〇（斤） 八 七四七

雲母製品（其他）

合 一（斤） 二

滑石及ソープストーン

支 一五九、一二六（擔） 二四二、〇七二
關 六八、六六四 一〇六、一八四
計 三二七、九二 三四八、二五六

燐礦石

合 九三、四四一（擔） 一〇六、一六二
埃 四三七、三二五 四九六、一五〇
弗 三〇五、一九七 三三三、一七二
其他 三一〇、八八一 三八一、四〇〇
計 二、八五四、八六四 二、九二一、三四七

石膏（燒カザルモノ）

支 六〇、三三（斤） 一六、七五九
英 九六 二
佛 二四 三
獨 五五九、一二七 五、六五二
合 八三一 一、三八四
濠 六六 二
計 一、一七三、三四六 二三、八〇二

同（其他）

獨 三〇、九七（斤） 七八
合 一、八、三七 一、三九五
計 四九、三四 二、一二三

石膏製品（其他）

伊 六（個） 一五一

粘土

支 一〇四、一二〇（擔） 七三、〇九一
關 四八、九四五 三一、九二一
白 （二三斤） 〇

ドロマイド及マグネサイド

支 四、九八八、六一〇（斤） 五四、五六三
關 七、三四〇、三〇二 一三七、九三九
計 二、三三八、九三五 一九、五〇三

其他ノ礦物及同製品（工ヲ加ヘザルモノ）

支 二、九二四、七〇四（斤） 四〇、〇〇〇
關 五六八、九九七 七、七六三
計 三、五〇三、七〇一 四七、四七六

同（粉碎シ又ハ燒キタルモノ）

關 八二、八一〇（斤） 九八九
獨 一、九一〇 一七四
合 九〇、六四四 一〇、六四四
計 一七五、二〇三 二一、八〇七

同（其他）

支 一 五
關 一 六、五二三
香 一 九一
英 一 二五五
合 一 一〇五
計 六、九六九

輸入第十二類要計表

支 四、九八八、六一〇（斤） 五四、五六三
關 七、三四〇、三〇二 一三七、九三九
計 二、三三八、九三五 一九、五〇三

印 一、四〇〇 一、四〇〇
英 一〇、〇三八 二、一五八
計 一七、九二二 四〇、〇七七

同（絲）

英 五七六（斤） 三二九
獨 三、六五七 四、二一一
計 四、二三三 四、四四〇

同（板）

英 一五四（斤） 三四
獨 一二九、四七二 一三、五七三
合 四二、三四八 六一、四二六
計 一六一、九四四 七五、〇三三

同（其他）

關 二、八四四（斤） 八二〇
英 四四三 一、三四三
獨 六四六 六八五
合 一三、五二七 四三、〇三三
計 一七、四一九 四五、八五〇

雲母（塊及粉）

獨 九、八九〇（斤） 二、五七五
支 一（斤） 二

同（板、着色又ハ粧飾セザルモノ）

印 二、五七〇（斤） 八 七四七

雲母製品（其他）

合 一（斤） 二

滑石及ソープストーン

合 一二、四八八 二、七〇
計 一〇、〇三八 一〇、七二四

石墨

關 九（擔） 七
合 六、九 一、九六
計 六、八 一、九七三

石墨製品（其他）

英 三四〇（斤） 一六三
合 五〇 二、二〇
計 八四七 三、四四三

コークス

支 二六（噸） 一、五二一
關 九四 三、三六一
計 一三 四、九二二

石炭

支 四〇、七六二（噸） 六三一、五二一
關 四二、三〇五 五、〇九七、四六
佛印 六四、三六三 九二一、七二六
亞露 四、四〇〇 五七、六〇〇
英 四四 五四、四六〇
計 五三、三〇四 六、七〇三、七六三

ボートランドセメント其他類似ノ水硬セメント

關 一三、〇二九、一五五（斤） 三六、七一〇
合 三、三三 五〇
計 一三、〇三二、四八八 三六、七六〇

香

印 一、四〇九 一、四〇〇

海

佛印 二一、〇三二 二、一六八
亞露 九二、七六六 一〇、七七七
遞 五七、六〇〇 一、九
英 一七、二四四 三三
佛 三三 一
獨 三五、〇四〇 二四五
合 一、二六九、八五二 一〇、三四五
埃 四九六、一五〇 三三、一四一
弗 三三三、一四一 二
濠 三八一、四〇〇 三、〇四〇
其他 二
不 五六〇 四
計 一〇、二九八、五九六 一〇一、九四六

耐火煉瓦

關 六、六六〇（噸） 五、九四四
英 二、二六八 三七、三五八
計 八、九二六 四三、二四二

其他ノ煉瓦（其他ノ其他ノモノ）

英 一、三二七（擔） 二七、七七
計 八七八（斤） 五〇

耐火性粘土製品（坩堝）

支 一五九、一二六（擔） 二四二、〇七二
關 六八、六六四 一〇六、一八四
計 三二七、九二 三四八、二五六

燐礦石

合 九三、四四一（擔） 一、〇六二
埃 四三七、三二五 四九六、一五〇
弗 三〇五、一九七 三三三、一七二
其他 三一〇、八八一 三八一、四〇〇
計 二、八五四、八六四 二、九二一、三四七

石膏（燒カザルモノ）

支 六〇、三三（斤） 一六、七五九
英 九六 二
佛 二四 三
獨 五五九、一二七 五、六五二
合 八三一 一、三八四
濠 六六 二
計 一、一七三、三四六 二三、八〇二

同（其他）

獨 三〇、九七（斤） 七八
合 一、八、三七 一、三九五
計 四九、三四 二、一二三

石膏製品（其他）

伊 六（個） 一五一

粘土

支 一〇四、一二〇（擔） 七三、〇九一
關 四八、九四五 三一、九二一
白 （二三斤） 〇

同（其他）

關 六、九四五（斤） 一、三四
支 一、一四 二
計 八、九二六 四三、二四二

其他ノ煉瓦（其他ノ其他ノモノ）

關 五、九四四（擔） 五、九四四
英 二、二六八 三七、三五八
計 八、九二六 四三、二四二

耐火煉瓦

關 六、六六〇（擔） 五、九四四
英 二、二六八 三七、三五八
計 八、九二六 四三、二四二

同（其他）

關 一九二（斤） 一九
陶磁器（貴金屬又ハ金屬ヲ用ヒタル）
印 一八（個） 六

同（其他ノモノノ內碍子）

獨 九〇五（斤） 四三五

同（其他ノ其他）

支 一七、〇五五 一六六
關 一二三、一二〇（斤） 三七三
印 三三五 七
蘭印 二 一
佛印 四〇 七
遞 七五 四四
英 一、〇四八 三九七
佛 二 一
獨 六一 二四
丁 二、八三 一、二四
合 一、二六九 四一五
計 三三六、三〇三 三二、一七八

硝子棒及硝子管（フューズトシリカ製ノモノ）

英 五一（斤） 一、八一五

硝子板（無色平面厚二ミリメートルヲ超エザルモノノ內一平方米突ヲ超）

獨 七九六 一、三四
獨 一、三四 九〇九

硝子珠玉及珠（模造貴石模造金屬、模造眞珠、模

エザルモノ）

關 三六二、六一〇（平方米突） 二八一、二〇八
獨 一二 一八七
計 三六二、六三一 二八一、三九五

同（無色平面厚四ミリメートルヲ超エザルモノノ內一平方米突ヲ超エザルモノ）

獨 二、六八一（平方米突） 二、六八一
計 二、六八一 二、六八一

同（無色平面其他ノ其他）

獨 一、二六九、八五二（平方米突） 一、二六九、八五二
合 四九六、一五〇 三三、一四一
埃 四九六、一五〇 三三、一四一
弗 三三三、一四一 二
濠 三八一、四〇〇 三、〇四〇
其他 二
不 五六〇 四
計 一〇、二九八、五九六 一〇一、九四六

耐火煉瓦

關 六、六六〇（擔） 五、九四四
英 二、二六八 三七、三五八
計 八、九二六 四三、二四二

其他ノ煉瓦（其他ノ其他ノモノ）

英 一、三二七（擔） 二七、七七
計 八七八（斤） 五〇

耐火性粘土製品（坩堝）

支 一五九、一二六（擔） 二四二、〇七二
關 六八、六六四 一〇六、一八四
計 三二七、九二 三四八、二五六

燐礦石

合 九三、四四一（擔） 一、〇六二
埃 四三七、三二五 四九六、一五〇
弗 三〇五、一九七 三三三、一七二
其他 三一〇、八八一 三八一、四〇〇
計 二、八五四、八六四 二、九二一、三四七

石膏（燒カザルモノ）

支 六〇、三三（斤） 一六、七五九
英 九六 二
佛 二四 三
獨 五五九、一二七 五、六五二
合 八三一 一、三八四
濠 六六 二
計 一、一七三、三四六 二三、八〇二

同（其他）

獨 三〇、九七（斤） 七八
合 一、八、三七 一、三九五
計 四九、三四 二、一二三

石膏製品（其他）

伊 六（個） 一五一

粘土

支 一〇四、一二〇（擔） 七三、〇九一
關 四八、九四五 三一、九二一
白 （二三斤） 〇

同（其他）

關 一九二（斤） 一九
陶磁器（貴金屬又ハ金屬ヲ用ヒタル）
印 一八（個） 六

同（其他ノモノノ內碍子）

獨 九〇五（斤） 四三五

同（其他ノ其他）

支 一七、〇五五 一六六
關 一二三、一二〇（斤） 三七三
印 三三五 七
蘭印 二 一
佛印 四〇 七
遞 七五 四四
英 一、〇四八 三九七
佛 二 一
獨 六一 二四
丁 二、八三 一、二四
合 一、二六九 四一五
計 三三六、三〇三 三二、一七八

硝子棒及硝子管（フューズトシリカ製ノモノ）

英 五一（斤） 一、八一五

硝子板（無色平面厚二ミリメートルヲ超エザルモノノ內一平方米突ヲ超）

獨 七九六 一、三四
獨 一、三四 九〇九

硝子珠玉及珠（模造貴石模造金屬、模造眞珠、模

（磨カザルモノ）

獨 四〇二（斤） 七九六
光學用レンズ及プリズム（其他）
佛 五九三（斤） 六六六

顯微鏡用オブゼクトグラス

關 五（千個） 一〇
寫眞用乾板（現像セザルモノ）
（內裝共斤）
英 四八、三三 六二五、六〇四
獨 一三 二五
合 一七八、八〇一 一六八、八七三
不 二 二
計 六六七、一〇〇 七八四、五〇三

眼鏡（其他）

瑞 二五二（個） 五七
硝子鏡（其他）
英 五〇（個） 三
獨 二 一
伊 三三 一〇
合 九〇 八八六
計 一、一三四 九〇九

光學用レンズ及プリズム

獨 四〇二（斤） 七九六

眼鏡用硝子（鑄タルモノ又ハ切リタルモノ）

關 五九、四四七 四九、七七六
獨 四、七九八（對） 一、九〇五

加　九　六六
北米　二三　一
計　三、〇七　二、二三三

輸入品第十三類要計表

支　一　一七、一二一
關　一　三二七、二九〇
印　一　一九
海　二
關　二
佛印　三
暹　四關
英　六八五、三〇〇
佛　三、三五七
獨　二、一四六
伊　一三、七三六
瑞　五七
智　八三、三七〇
和　八
典　二八五
丁　三、八五八
合　一五、二三四
加　六六
北米　一
不　一、七九七
計　一、三五九、二六五

亞鉛礦（燒キタルモノヲ含ム）

支　三九（擔）　二、二三三

鐵礦（燒キタルモノヲ含ム）

支　二六八（擔）　六二
其他ノ鐵礦、マットポットム及礦滓　四八、七四七（擔）　二二四、六四三
關　六、五四一
香　二四、一五一
印　三六、二二六
關印　一、四四三
佛　四一
獨　一五〇
合　一
保工　三四、四五六
不　三、一七四
計　三一〇、九〇五

金（板及帶）

合　三、五六一（瓦）　九、五四〇

白金

合　二一、四八八（瓦）　二五、〇九二

銑鐵

支　四〇、〇〇〇（擔）　一〇、〇二一
關　三、〇五五、七六六
計　三、〇九五、七八六

同（其他ノ其他ノモノ）

支　八（個）　一六
印　二七　六
海　二八　二
關印　一　一〇
英　一四五　五二
佛　一、四四四　二六二
獨　八四四　一一
和　一五　八
典　七三　二
不　二六五　一
計　二、二三　一三

同（其他フユーズドシリカ製ノモノ）

英　九（斤）　四九五

同（其他ノ其他ノモノ）

支　八（個）　一六
印　二七　六
海　二八　二
關印　一　一〇
英　一四五　五二
佛　一、四四四　二六二
獨　八四四　一一
和　一五　八
典　七三　二
合　二六五　一
計　二、二三　一三

其他ノ硝子製品（貴金屬ヲ用ヒタルモノ）

佛　二、六五二（個）　一、〇九八
獨　一　一
合　五　三五
計　二、六五八　一、一三五

同（其他フユーズドシリカ製ノモノ）

英　九（斤）　四九五

硝子珠玉ヲ含ム）

佛　三三、九〇〇（瓦）　一二八
獨　二、三四四、二三三　一六、五八九
伊　五、六四三、三六〇　一三、七四六
智　三五、九九七、六八三　一七〇、四二九
計　四四、〇九、三六六　一〇〇、八九二

計　八〇、〇六六　三二八、五九〇

同（丸角及半形ノモノ其他）

關　一九、四二七　四三（擔）　三七六
英　一、六二　三〇、四七五　七三
佛　一四二、六六九　一、五四〇　三七
獨　九、一一〇　二、九二四　七
白　二、八六　一、〇九　三
澳　六九　一　一
智　一、九五三　一四五　一
和　一、二八九　一四四　一
合　一七七、七四〇　八九九六、〇四四　二四

同（テー形及アングル形）

關　一、〇五四　一九（擔）　一〇二
英　二、〇五四　五二、九五〇　一六六
佛　三八　一、六二二　一六六
獨　一五八、一一七　六二三、一六二　一六六
白　二一、一五〇　八五、六〇四　四四二
合　七二　四四二
計　一九〇、四七〇　七六二、五二六

同（其他）

英　一〇、五五九（擔）　四三、八九五
佛　二、七九七　一〇、五八九
獨　二一四九、三四七　一、〇一九、四三九　一五八
白　九、八三五　三七、九九七
瑞　三八

英　二三九、一五五（擔）　一、一七、一二八
佛　一、六二　一〇、四九九
獨　三一〇、四七二　一、六二
白　九八六　三、八二
澳　二、八六　一一
智　六九　一
和　一、九五三　一四五　一
合　一、二八九　一四四　一
計　八九六、〇四四　二四

同（同厚二ミリ以下）

獨　一九、四三〇（擔）　一二三、三五五
白　二、一五二　一一、一五二
合　五四、八五三　一四〇、三九一
計　一四〇、三九一　一四〇、三九一

同（同其他）

關　四、九七二　二六一（擔）　一、三五五
英　一八、六一〇　一、三五五
佛　四四　二一〇
獨　一〇八、一三六　四八九、八〇七
白　一三、二九五　六〇、九五五
合　五、七五七　四一、九二四
計　一三三、一六五　六一三、八六一

同（錫鍍シタルモノ葉鐵及葉鋼）

支　六八（擔）　二八五
英　八、四一九　三三、五六〇
獨　三三七　二、一八〇
合　二一、五六〇　一〇、二八三
不　五一三　二、一〇九
計　一三、一〇九　三、一〇九

英　一、三五九（擔）　一、一七、一二八
佛　一、六二　一〇、四九九
獨　三一〇、四七二　一、六二
白　九八六　三、八二
澳　六九　一
智　一、九五三　一四五　一
和　一、二八九　一四四　一
合　一七七、七四〇　八九九六、〇四四　二四
計　八〇、〇六六　三二八、五九〇

同（亞鉛鍍シタルモノ）

英　二（擔）　一、三四一
獨　八六一　二、三四一
合　一、一二五、二八〇　三五三、八六五
計　二七三、三〇八　一、一二五、二八〇

同（其他卑金屬ヲ鍍シタルモノ）

獨　五（擔）　一、二九五
不　一　一
計　九、四六〇　一〇〇、四六一

鐵線（卑金屬ヲ鍍シタルモノ）

關　二（擔）　一、三四二
英　三五〇、五五五　一四四、九一〇
獨　一五四、七四七　一八一、五二六
白　七〇四　四四、六六九
澳　五三　四四〇
合　三、三五二　三三六、五三二
計　三五、八五五　三三六、五三二

同（其他）

英　一四三（擔）　二、八七九
獨　三三六　三、〇五六
合　三、四二九　一七、八六五
計　四、一六八　二三、七八四

リードワイヤ

英　二（擔）　九二一

同（同厚〇、七ミリ以下其他）

英　八五（擔）　一、八六〇
佛　二、七九七　一〇、五八九
獨　一、〇一九、四三九　三七、九九七
白　九、八三五　三七
瑞　一五八

鐵リボン

佛	二五五(擔)	一五、〇一五	
獨	八〇三	一四、六二七	
白	一〇〇	五、八〇七	
典	一〇	九四五	
合	(一六斤) 〇	四	
不	一	二五	
計	一、一六九	三六、四二三	

帶(箍鐵)

英	三三一(擔)	二、四四六	
獨	二、八二八	五九、二七六	
白	七六七	三、五五五	
合	五三	九二七	
不	一、七九二	五七、三三三	
計	一五、七七一	七一、九二七	

線索

獨	三五(擔)	一、二一七	

鐵筒及管(金層ヲ鍍セザルエルボー及ジョイント)

英	一五(擔)	一九六	
合	(一〇斤) 〇	七	
計	一五	二〇三	

鐵筒及管(金屬ヲ鍍セザル其他内徑四五ミリ以下)

英	一〇(擔)	六〇一(擔)	五、六二六
佛	一〇三	一〇、一〇三	八一、三七九
獨	五一、二〇八	四三九、〇八五	
チ	四	四	
合	八一、三六三	八一、三五八	
計	七〇、七〇九	五九七、四七二	

同(同内徑一五〇ミリ以下)

關	(四七斤) 〇(擔)	三〇	
英	八、五五四	二一四、五九三	
佛	八、四四二	六八、六一九	
獨	七四、四六一	六四八、七五五	
チ	一、一〇七	一〇、七四五	
合	三八、二八九	三三三、八九五	
計	一三〇、八三	一、一九六、四三七	

鐵筒及管(金屬ヲ鍍セザル其他ノ其他)

英	三七、一四四(擔)	三一、一四四	
佛	二、三〇四	二一、八四〇	
獨	六八、六五六	六八、〇一五	
白	五三	四九一	
合	二九、一二〇	二九、一二〇	
計	一四八、八二六	一四八、八二六	

同(卑金屬ヲ鍍シタルモノ)

英	一八〇(擔)	一、七二一	
獨		三四五	

扇及故鐵

計	七、一四五	八四、九三六	
	七、六三一	九三、一三一	
支	九六、二五五(擔)	二〇三、一六九	
關	二九、四九六	五四、六七三	
香	八、一八	一四、五六〇	
印	一八、一三七	三八、一九八九	
海	六、三三七	一七、三六六	
蘭印	九一、六三一	一六八、三九五	
亞露比	二、八七九	四、九〇四	
遐	四、五〇五	一二、七〇〇	
英	三九、〇一七	九、四四五	
獨	一五、四四一	四二、九四二	
白	九、九三	五五、五七三	
合	二九三、二一四	三四、三〇〇	
加	四、六〇六	七二、九八七	
濠	一〇、一三六	九、三八三	
假	四、九五〇	二一、七〇九	
不	一、〇〇三、〇七六	九一〇	
計	二、八七九	二一、三二、四三一	

特殊鋼(稅表ノ一)

關	六二〇(擔)	二六、三三九	
英	二七七	一八、九九五	
獨	一三六	二、〇二四	
澳	八七九	一一、三二一	
チ	〇	三、四二五	
典	二五四	五、〇六六	
合	七、一四五	八四、九三六	
計	七、六三一	九三、一三一	

特殊鋼(稅表ノ二)

關	三三(擔)	七一九	
英	三九七	二一、九六五	
佛	二八	三、五四二	
獨	三六三	四、七二〇	
澳	五九三	七、〇〇七	
計	二八七	二六、〇〇三	

アルミニューム(塊錠及粒)

支	一、七七八(擔)	二一四、四五六	
佛	一七一	二一、九七二	
獨	四、八三	三〇〇、六八〇	
白	五、七四四	三八、〇七八	
伊	二、一一六	一四〇、四〇〇	
瑞	六、四九一	四三、三四七	
諾	二、九八	二九、八三〇	
合	四五五	二九、九〇五	
不	二八	一、三三八	
計	三三、八〇五	一、五三四、〇一六	

アルミニューム(線及管)

獨	一三三(擔)	一〇、七〇七	

同(扇及故)

支	一、九四四(擔)	五〇、九六八	
關	一三一	五、四一一	
海	一三〇	四	

銅(塊及錠)

支	三、〇一三(擔)	七四、六四五	
合	六九、三三三	二、六三九、八三四	
計	七三、三四六	二、七一四、二七九	

同(線金屬ヲ鍍セザル徑〇、五ミリ以下)

合	二四(擔)	四、一一	

同(筒及管金屬ヲ鍍セザル)

合	二八(擔)	四八二	

同(屑及故)

支	七〇八(擔)	一九、八三二	
關	五、二一一	一七、一七九	
海	五	一八四	
英	三三〇	五、七九	
合	一、三三一、三六二	三六、五七二	
計	一、四二、九、九二七	一、四二、九、九二七	

鉛(塊及錠)

支	一、七五八(擔)	三二、二五〇	
印	九九、三二三	四九、三三三	
海	九	二五四	
佛印	一、六九三	二七、七七	
合	三、五一四	三六、四四九	

同(屑及故)

支	九三(擔)	一八、二六四	
關	一二六	二、四五六	
印	八八四	一六、七八八	
蘭印	一、六二四	二八、一九三	
海	三、七七一	六〇、八四五	
計	七、三二六	一三六、六六六	

ニッケル(條竿及板)

不	四(擔)	六〇一	

同(塊及粒)

獨	(一〇斤) 〇(擔)	一〇	

同(屑及故)

關	五〇(擔)	一、二六一	

水銀

支	九、四八二(斤)	二六、五三四	
加	濠	一五、四四一	二六〇、九九九
計		三九、五二二	六六五、一九五
		二、一四六、二五〇	二、一四六、二五〇

同(屑及故)

支	四〇六(擔)	三、〇〇一	
關	一四	二、六八	
印	一四	二一三	
英	二七	四、二七	
合	二〇〇	三、三三五	
不	一一八	一、五二八	
計	九五五	一四、四七四	

錫(塊及錠)

支	二、三五五(擔)	二、一二〇、八一六	
香	一、四七五	二五二、五九六	
印	三八二	六一、〇四〇	
海	一、八七九	二、一二六、四六四	
蘭印	八〇三	一五一、八〇三	
佛印	八	一、四四六	
計	二六、八八一	四、七〇六、三二七	

同(屑及故)

海	一三四(擔)	八、一〇一	

亞鉛(塊錠及粒)

佛印	三〇五〇(擔)	五九、九二九	
合	四一、四〇二	八八〇、一六	
加	五三、〇四二	一、一二五、二七	
濠	二三、九七六	四、三八四、四二六	
計	二一、二五九	二、九二、九二七	

同(筒及管金屬ヲ鍍セザルモノ)

合	六(擔)	一、五六六	

同(屑及故)

支	七、七五(擔)	二〇三、一九六	
關	五、四七三	一三七、四六四	
香	一、〇七一	二六、〇八二	
印	(一六斤) 〇	六	
海	八七六	二〇、一六七	
蘭印	三五一	六、一六四	
英	六三五	一五七、六四	
合	一、八八三	五〇九、一九八	
假	五九	一、七六九	
不	四三	一、〇三〇	

蒼鉛

獨	八(斤)	六六	

安知母尼及硫化安知母尼(塊及錠)

支	二〇、二一(擔)	五四八、二〇〇	

同(屑及故)

支	五一(擔)	六六	

眞鍮及青銅(塊及錠)

支	一八、三九八(擔)	四五、七二一	
印	二九八	七、八五〇	
合	二〇九	六、二六九	
計	一八、九〇五	四二九、八九三	

同(筒及管金屬ヲ鍍セザルモノ)

合	六(擔)	一、五六六	

同(屑及故)

支	七、七五(擔)	二〇三、一九六	
關	五、四七三	一三七、四六四	
香	一、〇七一	二六、〇八二	
印	(一六斤) 〇	六	
海	八七六	二〇、一六七	
蘭印	三五一	六、一六四	
英	六三五	一五七、六四	
合	一、八八三	五〇九、一九八	
假	五九	一、七六九	
不	四三	一、〇三〇	

同(板其他厚〇、七ミリ米以下)

獨	四四(擔)	一〇、八五三	

同(板ニッケルヲ鍍シタルモノ)

獨	(三四斤) 〇(擔)	四五	

同(板其他ノ其他)

英	三九九(擔)	九、八九一	
獨	五、〇六九	一三〇、一六九	
合	八六	四、六五九	
計	五、五五四	一三四、七一九	

同(扇及故)

支	九三(擔)	一八、二六四	
關	一二六	二、四五六	
印	八八四	一六、七八八	
海	一、六二四	二八、一九三	
計	七、三二六	一三六、六六六	

ニッケル(條竿及板)

不	四(擔)	六〇一	

同(塊及粒)

獨	(一〇斤) 〇(擔)	一〇	

同(扇及故)

關	五〇(擔)	一、二六一	

水銀

支	九、四八二(斤)	二六、五三四	

計　三五、〇三六　九一、九一七、七〇〇

鐵

支　二、一三九(斤)　一、一二七
獨　一九　一七
合　二七一　六〇七
計　二、三五九　一、七五一

バビツツメタル其他ノアンチフリクシヨンメタル（塊及錠）

海　二六七(斤)　一〇九
英　三、四三九　二、二一〇
獨　一二四　一二五
合　一、八五四　一、六三〇
計　五、六三四　三、八五六

同（屑及故）

支　三二(斤)　一二六
關　二、六五二　四〇六
海　三、七八二　一、三三二
英　一、三九九　四四八
合　七、一一〇　二、四七三
計　一五、一七五　四、七六六

鍍金銀シタル金屬（其他）

獨　四四(斤)　二七五

其他ノ金屬（塊錠及粒）

關　二〇(斤)　一〇
獨　二、三二三　一、一〇八
合　五、九四一　二、九五九

計　四　五　一五
不　四一

ブーツプロテクター（鐵製）

英　七、四三三(斤)　一、九五一
佛　五九　三五
瑞　三二　四〇五
典　四八　五〇
合　一〇一　一三一
計　七、九六三　二、五九一

其他ノ釘

瑞　四(斤)　五
合　二〇、九一〇　一三、五九
計　二〇、九二四　一三、四〇四

ベアリングボール

獨　四、六四八(斤)　一、六四六
合　二、一七九　三六九
不　五一六　七六
計　五、三六三　七、六八八

ベルトフアスナー（鐵製）

英　一六、八三(斤)　九、八七一
獨　二、一〇一　一、八六二
計　一九、五三四　一一、七三三

金屬銅（繊リタル鐵製ノモノ）

獨　六、五五四(斤)　二、八三四

計　五八、五五三　二一、三四七
合　六五、一〇七　二四、一六一

フレキシブルチユーブ（鐵製）

獨　八、三七一(斤)　五、八〇八
合　一九二　一二五
計　八、五六三　五、九三三

同（其他）

獨　五七　九〇
合　五四四　一、二二九
計　六〇一　一、三一九

鐵道建設用材料（其他）

英　一六八(斤)　三九

同（タイプレート及スリーバー）

關　二(噸)　八

家屋橋梁船舶等ノ建設材料（鐵製）

獨　四五(噸)　一、〇一七
瑞　二九〇　五、八〇二
計　三三五　六、八一九

壓搾瓦斯塡充用鐵製シリンダー

關　一、一五五(斤)　三五六
獨　四、一七七　一、三七七
不　一、三五〇　五〇

計　一九、四四七　七、一〇一
合　二〇、一〇四　七、三四一

絕緣電線（其他ノモノノ內フレキシブルコード其他ノモノ）

英　七七(斤)　三〇
合　八九　二九
計　一六六　五九

絕緣電線（金屬ヲ以テ鎧裝シタルモノニシテインデアラバー又ハガタパチヤーヲ用ヒタルモノ其他ノ其他）

獨　一、四三〇(斤)　八六

鏈（其他ギアリングチエン自轉車用ノモノ）

英　六一六(斤)　一、一一
合　一、四一〇　三
不　二、〇三九　二
計　三、五六三　一、三一三

同（其他鐵製其他五〇〇グラム以下）

獨　一〇、九〇五(斤)　五、三五二

機械用チエンベルチング

合　九九(斤)　三七

鏈（其他鐵製其他其他）

獨　四三、一九三(斤)　一二、一一七

同（其他其他）

獨　七四四(斤)　六、二七四

コック及ヴアルグ類（卑金屬ヲ鍍シタルモノ）

關　二六八(斤)　六六
合　五四四　二、一二九
計　八三　二、八八五

同（鐵製ニシテ百キロ以下）

英　五、一八七(斤)　三、五九九
合　二、一〇九　二、三三三
計　七、二九六　五、九三二

同（鐵製ニシテ千キロ以下）

英　七、五五九(斤)　三、三五九
瑞　七八　二九二
計　八、三三七　三、九三一

同（眞鍮又ハ青銅製）

合　一(斤)　一
計　三、三三四　三九、四五二

滬　一九、四七九　二四、三〇四
計　二、七一四　二九、五六九

同（條竿板鉦帶線筒及管）

關　二四一(斤)　一六四
獨　三、九二〇　二、五三三
合　一、六〇〇　一、〇二三
計　一五、七五一　一七、八二二

同（線索及撚合線）

關　一七二(斤)　六一
合　一五三　三三〇
計　三二五　三九一

同（アルミニユーム箔）

佛　二九五(斤)　四七三
獨　八七九　六四七
白　六四六　一、〇〇五
瑞　六二二　八八七
計　二、四三二　三、九八〇

同（屑及故）

支　三、六二二(斤)　八六四
關　三八、九六六　三、五七二
海　二〇二　六二
計　一四二、七九九　三三、四九八

輸入品第十四類要計表

支　一　四、〇三四、七六三
關　一　三、五〇二、四三九
香　一　三一七、四八九
印　一　六、三六二、二〇五

海　一　二、三七〇、一四四
關　一　三五、六〇七、七四四
佛　一　四、九〇四、一二七
亞　一　二、一〇〇、八
比　一　三、六七七、八九八
瑞　一　二三六、〇四〇
獨　一　六、六四九、九〇三
白　一　一四〇、四〇〇
伊　一　四三四、三九二
瑞　一　四四、二九七
澳　一　三三、〇五一
チ　一　一〇、四九八
和　一　二〇、〇三
典　一　二九、八五〇
諸　一　八、七三、三〇七
加　一　一、三九五、六二九
合　一　三、〇三八、八一〇
漆　一　一〇四、三九七
假　一　三〇、六八二
不　一　四二、三七二、五六〇
計　一　四一、四一五

鐵釘（金屬ヲ鍍セザルモノ）

英　六六(噸)　一、〇四九
獨　三五　二、一五九
典　四八　一二、四一五

合　二四、三〇四　九一、九一七、七〇〇

同（其他）

關　一、九三三(斤)　九〇
獨　三、八一三　七五二
合　一、三四四　二〇三
計　一七、八二一　一、九四四

ウツドスクリユー（鐵製）

英　一、七二〇(斤)　四三一
獨　六二、六七五　一八、三八八
典　一四、七一六　五、三六六
合　三七六、七三四　一四〇、八三三
計　四五六、三九五　一六四、九一八

同（眞鍮又ハ青銅製）

合　七〇八(斤)　二、五九七

ボールドナツト及ワツシヤ（鐵製）

英　二六二(噸)　五、一〇四
獨　六二五　五、九八三
合　八九四　二八、二九〇
不　一　九
計　一、七八二　三九、四八六

鐵リベツト

合　一七三(噸)　四、九三三

ドツグスパイク（鐵製）

合　一〇(噸)　二六
澳　一〇(噸)　二六

同（眞鍮及青銅製）	英	三（斤）	一、〇四七
	獨	三	一、〇四七
	合	三	一、四四八
	計	三	二、一四九八
鉄	獨	三一〇（斤）	三、九一二
	合	三一〇	三、九一二
	計	三一〇	五、八六四
鉄	英	二（斤）	一、九四九
	獨	二	一、九四九
	合	二	三、八九八
	計	二	三、八九八
槌	英	二、三七八（斤）	八三五
	佛	一六	一五
	典	一〇	一四
	合	二、三八六	一、九二一
	計	四、七九〇	三、〇六六
レンチ及スパナー（卑金屬ヲ鍍シタルモノ）	英	一〇八（斤）	二五
	獨	三三	四三
	合	七六二	八九三
	計	一、〇九六	一、三五八
同（其他）	關	二三九（斤）	五六
	佛	二、二三九	二、二七一
	獨	一八、一九五	一八、四四二
	合	四三、八二八	四七、〇六三
	計	七三、三九六	六七、八〇二

バイブカッター及ラチエット	英	八三二（斤）	九八七
	佛	二〇九	二三一
	獨	七一三	七七五
	合	四、七七二	五、八六九
	計	六、五三六	七、八二二
トングニッパー及プライヤー（五キロ以下）	英	二七二（斤）	九三四
	獨	四、八四九	四、一七八
	瑞	一三五	一二六
	合	一三、五三三	一〇、四二〇
	計	一八、六八八	二五、六五八
同（其他）	合	三、〇四〇（斤）	一、九二七
ヴアイス	關	二五六（斤）	二〇
	英	二七六	二七
	佛	一、八九六	八二七
	獨	一、七四〇	一、二〇
	瑞	二六	一四
	合	四、二五一	二、九二一
	計	六、五七二	四、一九二
鑢（一〇センチ以下）	關	一〇七（斤）	一八五

	英	三五九	七、四五八
	獨	三三	七五八
	瑞	一六一	三、八四六
	合	二、〇四二	一、四三九
	計	二、二一六	五、八六四
同（二〇センチ以下）	關	六一（斤）	二三五
	英	三、七四八	二、七七
	瑞	一、三八八	二、三八
	合	一、四三九	二、二六八
	計	二、二〇八	四、七〇八
同（三〇センチ以下）	英	一三六（斤）	二五六
	瑞	二四五	三、〇六六
	合	三、〇六六	三、〇六六
	計	四、七〇	七、九二二
同（其他）	英	七六（斤）	一四〇
	獨	六	六
	瑞	一八	二八
	合	二、三三	六、七四八
	計	二、四八	七、〇三八
オーガー	合	一、二五四（斤）	二、七四一
ストックダイス又ハスクリユーブレート（箱入ノモノ）			

	計	一三、三五	三九、四五三
螺鉄及ハツトフヅク及戸窓家具等ノ金具（卑金屬ヲ鍍シタル）	獨	五九一、六八〇（個）	四、二八〇
	合	五、二九八	三、六四六
	計	五九六、四六六	七、九二六
同（鐵製）	獨	一五七、六三一（斤）	三六、〇五五
	典	六三、一八五	一五、三一〇
	合	一五、三〇四	八、〇二三
	計	二三五、一一〇	五九、二九七
同（眞鍮又ハ青銅製）	獨	五〇五（斤）	二九七
	合	二七	四五七
	計	六二二	七二四
鎖及鈎（卑金屬ヲ鍍シタル）	獨	一三四、六三一（個）	七、二六一
	合	二、〇三五	一、四七九
	計	一三六、六六七	八、七四〇
同（鐵製）	獨	六三、二九八（斤）	三六、九七五
	典	八八九	三二六
	合	二、八七三	四、六一九
	計	六六、〇六〇	四一、九二〇

	英	二九七（箱共斤）	一〇五
	獨	一、五九三	一、七二五
	合	五、九一三	二三、六五九
	計	七、七六二	一五、三九
同（其他）	英	五九五（斤）	一、三九五
	獨	二七三	〇
	瑞	二一、七二〇	四二、二六
	合	三三、三九八	四三、九五一
	計	三九、八八三	四九、七二六
其他ノ工匠具農具及同部分品	關	三五〇	一
	英	一三、三五七	一
	佛	七、八二五	一
	獨	一、七一〇	一
	瑞	一、八六五	一
	典	一〇	一
	澳	二、六五六	一

	歐	一	九四五
	合	一	六三、一〇二
	計	一	一〇三、〇五五
ドリルピットリーマー及スクリユータップ（一五ミリ以下）	英	一七一（斤）	一、〇一八
	獨	四、七四五	九、九四三
	瑞	〇	一四三
	チ	四二五	二六
	合	四、〇一四	二八、一五一
	計	九、三四五	三九、二六〇
同（二五ミリ以下）	英	四二（斤）	七
	獨	三、三六四	五、七二三
	合	三、三三四	九、三三〇
	計	五、七五〇	一五、一三〇
同（其他）	英	三三（斤）	一二
	澳	五一	二〇〇
	合	七七	一、三三二
	計	七八〇	四、六四三
スクリユージャック	合	二、八〇六（斤）	九、九五三
及物（貴金屬ヲ用ヒタル）	獨	四〇六（個）	一九三

	合	四四	二三六
	計	四四〇	二三六
ポケットナイフ（其他）	英	三六九（個）	四四
	佛	一六	一三
	獨	二五七	一〇一
	瑞	一一	三七
	典	二四	七七
	計	一、二九五	四四
剃刀（有柄ノモノ）	獨	二、一六九（個）	二、四五八
同（其他安全剃刀用）	獨	五六二、四四〇（個）	九、三五九
同（其他其他）	獨	九、七二二（個）	一、一五〇
	合	八、一〇〇	三、三三三
	計	一七、八二一	四、六七三
其他ノ刃物	佛	三三	一二
	獨	四四、八二二（個）	三、八二〇
	伊	五七	一〇
	瑞	一〇八	三五
	典	一〇一	六八
	合	一四、二四九	八、一〇〇
	不	五	一〇
	計	五九、三五五	二三、二三八
スプーン（其他）	英	九八（斤）	四四
	合	四	一三
	計	一〇二	一三七
罐口用キャプシエール	英	三（千個）	二四四
	佛	五	二九
	獨	二、三三〇	九、八二七
	和	一、三五〇	六、八二七
	計	三、八八八	一六、六七七
縫衣機用針	獨	二一（斤）	一五〇
	合	一二	三〇〇
	計	三三	四五〇
筆嘴（金製）	合	三三（斤）	四一〇
其他ノ針類	關	三五八（斤）	三五七
	獨	一〇五一	三、四九八